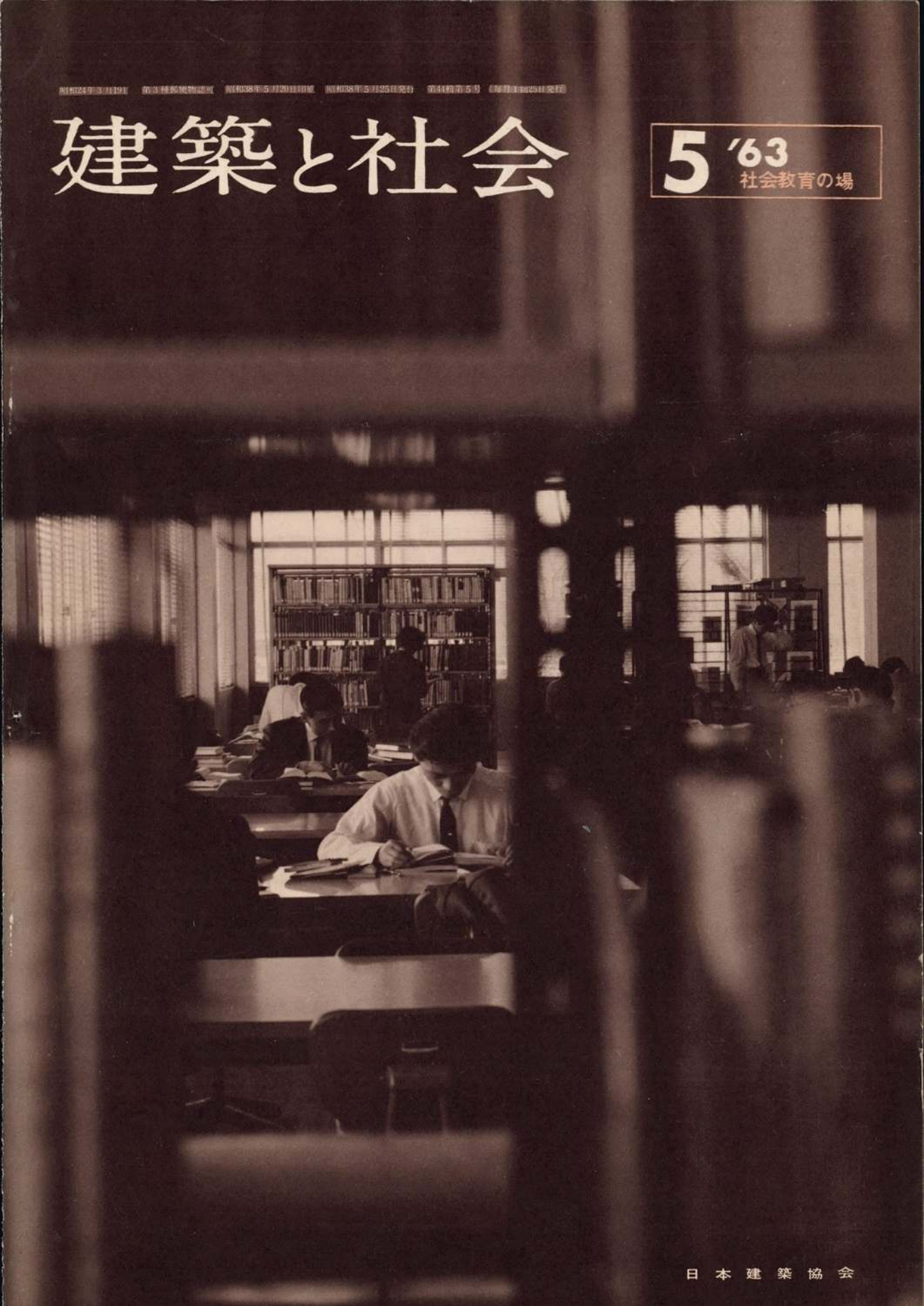
昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和38年5月20日印刷　昭和38年5月25日発行　第44巻第5号　毎月1回25日発行

# 建築と社会

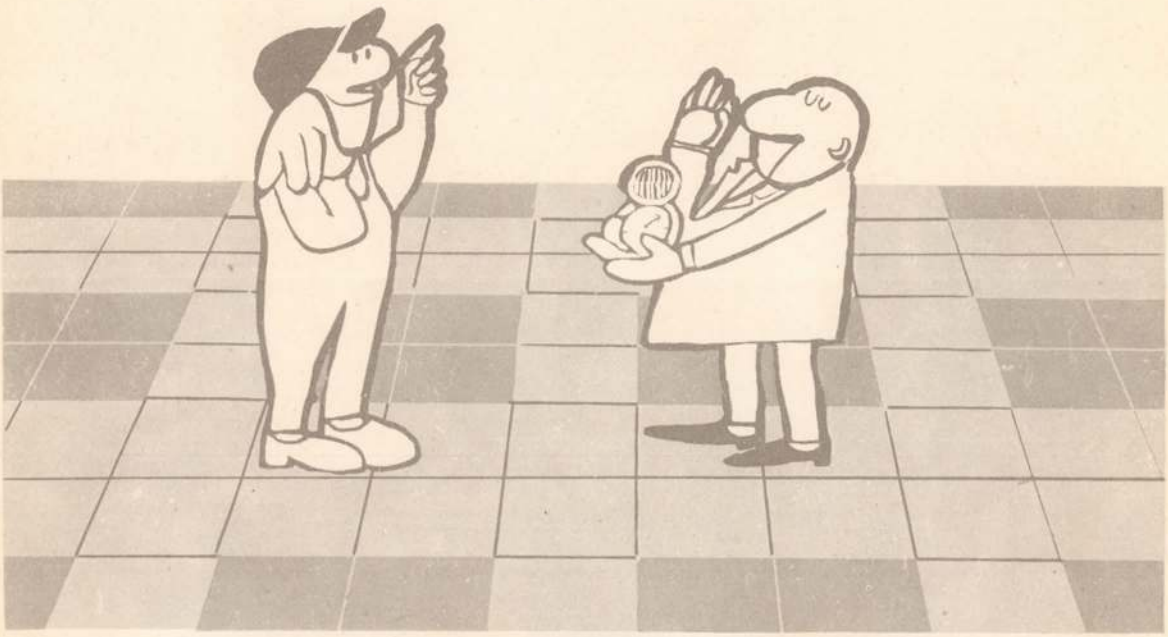
5 '63
社会教育の場



日本建築協会

■304.8㎜×304.8㎜厚さ2㎜ ■一面坪¥3500→4000 ■カタログ進呈

# まず　Pタイルの床！　クロウト筋の意見です



美しい！はがれない！傷がつきにくい——Pタイルに関しての一致した意見です　玄人筋からは『柔軟性で木やコンクリートの床にも馴み易く仮敷もいらぬスピーディな施工性』といわれます。Pタイルはどんな場所でも明るい環境をつくる床材〔製法特許品〕です！

# 三星プラスタイルP

田島応用化工KK★

東　京／東京都千代田区神田岩本町13　TEL(866)代6101
大　阪／大阪市西区京町堀1ノ74　TEL(441)代5951
名古屋／名古屋市西区桜木町3丁目8番地　TEL(57)2732
広　島／広島市鉄砲町108　TEL(2)2281
博　多／福岡市万行寺前町14　TEL(2)2807

# 日東紡の建築材料……

**ファイロン**
米国との技術提携による本格的FRP採光材料

**ニットータイル**
美しい色調で伸縮性のない塩化ビニール床タイル

**ミネラトーン**
絶対不燃で、独特の美しいパターンの天井吸音板

**スプレーテックス**
凡ゆる材質にも施行可能な吹付方式のロックウール新製品

**ロックウール**
保温・保冷・吸音にすばらしい性能の断熱・吸音材

**コンスリバンド**
全ゆるタイプのジョイントに完全防水接ぎ目封緘材

**カーポート**
ファイロン使用の簡易組立自動車々庫

## 日東紡績株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5—1　興銀ビル　TEL（202）1301
東京・名古屋・浜松・札幌・仙台・広島・福岡

すまいをカラー設計する美しい床材

- 程よい弾力性
- 美しい色彩
- 工事が簡単
- 価格が手頃

## ビニラート VINYLART タイル

各種製品　リノリューム・リノタイル・Nタイル・スポンジシート

TOYO LINOLEUM MFG CO.,LTD.

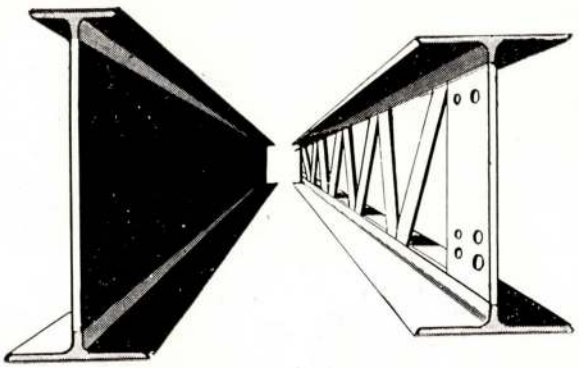
美しい床材をつくって40年

## 東洋リノリューム株式会社

大　阪・大阪市南区順慶町通り4丁目（三和ビル）TEL 271—5051（代）
東　京・東京都中央区銀座4丁目（三和ビル）TEL 561—1701. 2564

新時代の建設には新時代の形鋼

# NKK-T形鋼



用途
■ 各種I，H，T形鋼用
■ 各種オープンウエブ材用
■ 非対称断面形鋼用

特長
■ 溶接が容易
■ サイズが豊富

NKK

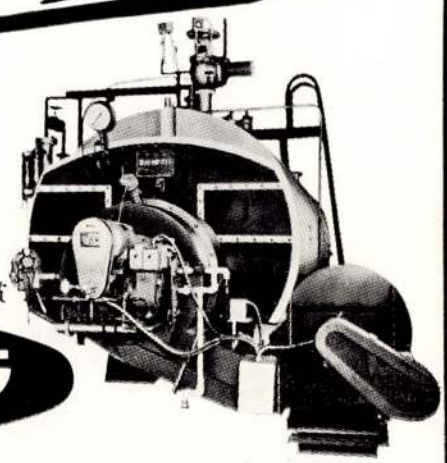
## 日本鋼管

本社　東京都千代田区大手町
大阪営業所　大阪市東区今橋5の23　TEL(202)6251代表

……繁栄を招く……

……よい製品……

驚異的蒸発量！



37年度に紫綬褒章受賞

MPボイラ

## 株式会社平川鉄工所

本社・工場　大阪市大淀区大仁西2の1　TEL (458) 3631(代)～5
東京営業所　東京都中央区八重洲6の7　TEL (272) 2721 (代)
九州出張所　北九州市小倉区富野545　TEL (52) 4862
滋賀工場　滋賀県野洲郡野洲町三上　TEL 野洲局 405

● あなたの忠実な…

ドアーボーイ！

＊紫綬褒章に輝く＊

# ニッカナ ドアーチエック

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社




(R 型)

型状優美
故障絶無

NHN

# 東洋シヤッター

甲種、乙種防火シャッター製造施工

●品　種　キングゴールド（特殊チタメート処理）・亜鉛メッキ樹脂塗料焼付仕上

■スプリングシャッター ■重量スプリングシャッター ■手動式電動式シャッター ■特許自動シャッター

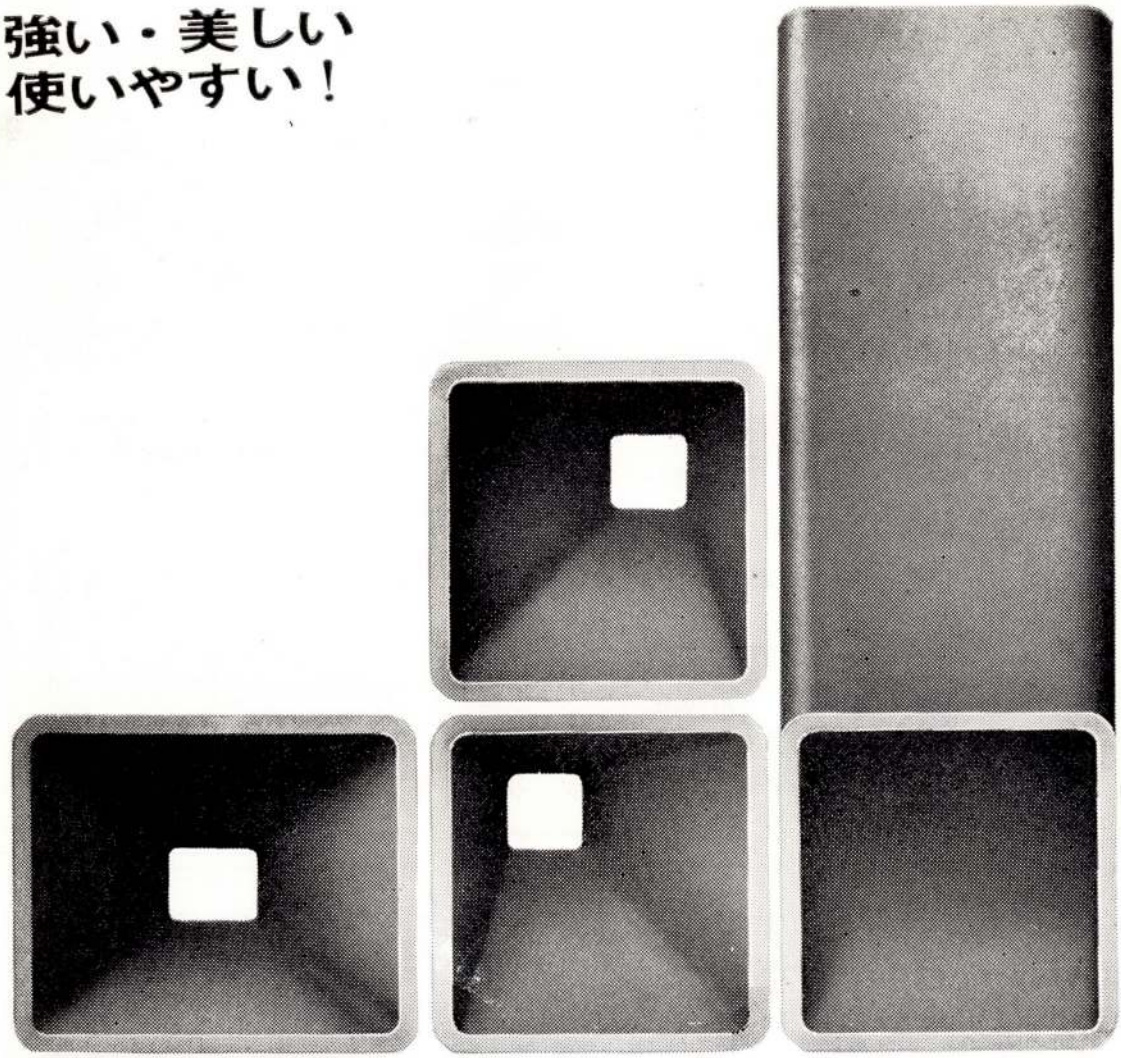
建築業者登録番号（チ）第5807号　甲種・乙種防火戸

東洋シヤッター株式会社

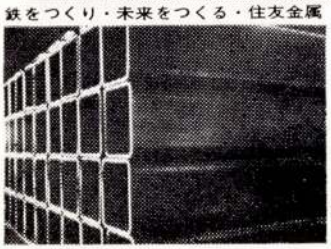
本社・工場　大阪市西淀川区佃町4丁目33番地　電話（代表）471－8331

支店出張所　大阪(351)-7308・東京(771)-1171・名古屋(02)-0933・京都(7)-3581・神戸(22)-1489・福岡(3)-4103　其の他全国主要都市

# 強い・美しい
# 使いやすい！



鉄をつくり・未来をつくる・住友金属



## 住友の 角形鋼管

**住友金属**

住友金属工業株式会社
本社／大阪市東区北浜5の15（新住友ビル）
支社／東京／営業所／福岡・広島・名古屋・仙台・札幌

燃えない都市づくりのため
角形鋼管が　注目をあびてきました。欧米諸国では　角形鋼管の
シャープなもち味が早くから買われ　学校やビルを初め住宅などにもどしどし使われています。

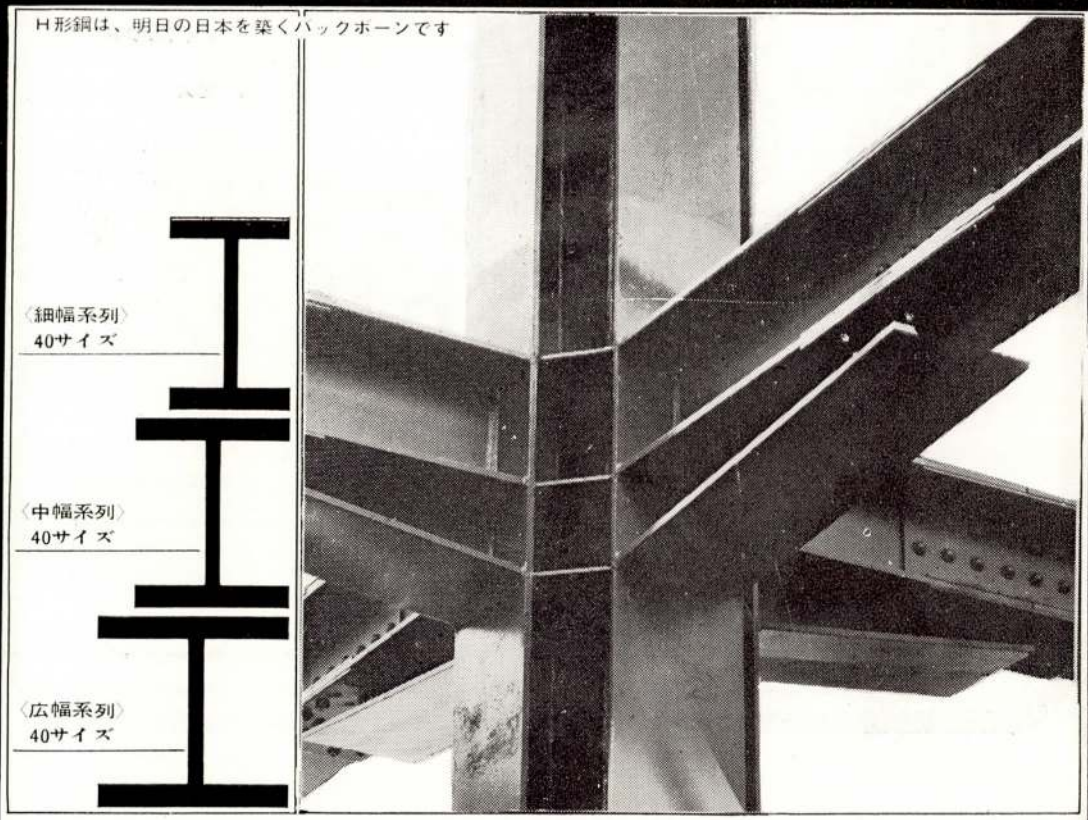
■すぐれた断面性能　■パイプの強さに角形の使いやすさをプラス

■両端を閉鎖すれば　内面からの腐食度はゼロ。耐久力は抜群。

■仕上材とよく調和し加工・組立も簡単。

"強く　美しく　使いやすく"
現代感覚を生かすのに最適です。

H形鋼は、明日の日本を築くバックボーンです




# 120サイズ／H形鋼が使いやすくなりました!!

●弊社では、最新鋭のユニバーサルミルによって50サイズの〈H形鋼〉を製造してまいりましたが、このたび〈H形鋼〉をいっそう経済的にご使用いただくために、各ウェブ高さ、フランジ幅ごとに厚さの異なるサイズを追加し、合計120サイズの〈H形鋼〉の製造販売をはじめました。

●これによって、ほぼおなじウェブ高さ、フランジ幅のなかで、設計に応じて、最適の断面性能の〈H形鋼〉を自由にお選びになれるわけです。また、ご要望に応じて、即時、納入できるように、東京・大阪・名古屋の3地区に各サイズの在庫を準備いたしました。

〈特　性〉

同一重量に対する圧縮耐力……広幅系列〉中幅系列〉細幅系列
同一重量に対する曲げ耐力……細幅系列〉中幅系列〉広幅系列
同一ウェブ高さに対する曲げ耐力……広幅系列〉中幅系列〉細幅系列

〈主な用途〉

広幅系列……柱材、基礎杭、山留材、トラスメンバーなど
中幅系列……柱材、はり材、桁材など
細幅系列……はり材、桁材、複合材〈十字柱、ラチス柱〉など

〈H形鋼〉のご使用については、弊社市場部建材サービス班へお問合わせください。＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

☞ お知らせ

5月10日から電話番号が下記のように変更になります。
電話・東京〈212〉大代表4111

八幡製鐵（マルエス）

本社　東京都千代田区丸ノ内1ノ1〈鉄鋼ビル〉電話・東京〈201〉大代表1141

# NS-85

●WHを自由に変えられるハーフメイドサッシ
●無理のない合理的な設計
●設計から取付まで一貫したサービス
●安直　廉価

## スピンドルのハーフメイドサッシ

●オーダーメイド：アルミ、スチール、ステンレスサッシドア各式

**日本スピンドル製造株式会社**　金属成型事業部

| | | |
|---|---|---|
| 大阪営業所 | 大阪市東区備後町(綿業会館内) | 電大阪 (202) 7991 (代) |
| 茨木第一工場 | 大阪府茨木市太田新田60 | 電茨木(07262)4741(代) |
| 茨木第二工場 | 大阪府茨木市太田上野 | 電茨木(07262)5065・5066 |
| 本社 | 兵庫県尼崎市潮江(国鉄尼崎駅北) | 電大阪 (401) 5551 (代) |
| 東京事務所 | 東京都千代田区(丸ビル403号) | 電東京 (201) 0875・3605 |

完全な防水に…

## レオパールBA

■ 永久に老化しない
■ 伸びる（伸長率 500%）
■ −30°C〜+70°Cの範囲で完全に使用し得る
■ 酸、アルカリに強い

ドイツと技術提携により国産化完成
製造元　タキロン化学株式会社

## 防水のコンサルタント

各種防水の設計から施工まで

**日本綜合防水株式会社**

取締役社長　山崎慎二

本社　東京都千代田区神田猿楽町1の9(大平ビル2階)
電話 (201) 7691 (代表)
大阪営業所　大阪市東区道修町1−4(株井ビル)
電話 (202) 6884
工事事務所　東京都板橋区板橋町6の3356　電話 (961) 5089

地盤の注入に…　(薬液注入工法)

## 特許 ケ・ミイ・ゼクト工法

■ 地盤の固結と沈下防止
■ 地下水の遮断阻止と漏洩防止
■ 隧道地下室、貯水池ダム等の漏洩水防止



# 驚異的低価格

性能も乗心地もトップレベル
中高層建築に最も理想的な

## 規格型乗客用昇降機

# パブリベータ

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 6人用・8人用 |
| 運転条件 | 交流可変速度45 m／min |
| 操作方式 | セレクチブ、コレクチブ<br>（運転手なし乗合全自動式） |
| 位置表示 | フラッシュライト式 |
| 扉 | 乗場、カゴ共1枚片引自動扉<br>（セフティーエッヂ付） |
| 乗場寸法 | 760㎜×2050㎜ |

# 規格化と量産
# 然も総てに画期的な

特許
## クマリフト ジュニアー

J－30
食堂・喫茶店向
三相・単相　100V／200V ¼HP
積載量　25kg　毎分速度　20m
カゴ鋼製　有効500×500×600㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付
出入口　三方向自由
全機構が壁付のため通路工事簡易

特許
## クマリフト マスター



M－50
食堂・旅館向
三相交流　200 V ½HP
積載量　50kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　有効 600×600×750㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付　出入口三方向自由

M－100
料理店・ホテル・学校給食・商店・工場向
三相交流　200V 1HP
積載量　100kg　毎分速度30m
カゴ鋼製　有効750×750×900㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付　出入口三方向自由

M－200
三相交流　200V　2HP
積載量　200kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　900×900×1050㎜
押釦式全自動運転・各階扉付

M－300
三相交流　200V　3HP
積載量　300kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　1,000×1,000×1,200㎜
押釦式全自動運転・各階扉付

クマガイ　日本エレベータ協会々員

# クマガイ工業株式会社

大阪市西区京町堀二丁目三十番地
電話　441—4748・0209・7788　381—0822・2686・4527

| | | |
|---|---|---|
| 東京支店 | 東京都北区岸町1—9 | TEL 東京（911）4253・（919）3062 |
| 名古屋支店 | 名古屋市中区東陽町7—2 | TEL 名古屋（24）0372 |
| 京都営業所 | 京都市中京区二条通西洞院西入 | TEL 京都（23）9532 |

何よりも安心できる　**年限仕様**

# Ⓐ アスタイト防水

| 地区 | 組合員名 | 住所 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 近畿（順不同） | (株) 久保商店 | 大阪市北区真砂町5 | 大阪 (341)0207～8・4836～7 |
| | (株) 木下謹三商店 | 大阪市西区江戸堀南通5ノ35 | 大阪 (441)5408・5486 |
| | (株) 井上浄夫商店 | 大阪市西区江戸堀下通1ノ7 | 大阪 (441)8531～5 |
| | (株) 大和商会 | 大阪市南区高津町4番丁73 | 大阪 (631)6221～4 |
| | (株) 石田建材店 | 大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31 | 大阪 (301)3340・3505 |
| | 内外工業株式会社 | 大阪市阿倍野区旭町1ノ51 | 大阪 (631)3434～6 |
| | 旭化建工業株式会社 | 大阪市北区茶屋町38 | 大阪 (371)6555～7 |
| | 日本瀝青工業(株)大阪支店 | 大阪市北区富田町40 | 大阪 (341)1804 |
| | 石井建材有限会社 | 神戸市兵庫区荒田町1丁目 | 神戸 ⑤2140・2697 |
| | (株) 中出商会 | 神戸市兵庫区上沢通6ノ9 | 神戸 ⑤4630 |
| | タテベヤシ商店 | 京都市下京区四条大宮南入学校前 | 京都 ⑧0871～2 |
| | 田島応用化工(株)大阪出張所 | 大阪市西区京町堀1ノ74 | 大阪 (441)5951代表 |
| 東海 | 岡田建材株式会社 | 名古屋市西区桜木町3ノ8 | 名古屋 ⑰7461～3 |
| | (株) 名建商会 | 名古屋市中区宮出町41ノ2 | 名古屋 ㉔1329・2817・2106 |
| | 高橋建材店 | 名古屋市中区材木町1ノ12 | 名古屋 ㉓3295 |
| 北陸 | 北川瀝青工業株式会社 | 金沢市西側町8 | 金沢 ②4552～3 |
| | 北川瀝青工業(株)富山出張所 | 富山市奥田新町23 | 富山 ②2218 ③1014 |
| | 北川瀝青工業(株)福井出張所 | 福井市大和中町70 | 福井 ②4532 |
| | (株) 小島工務店 | 高岡市大坪旭町2丁目32ノ1 | 高岡 ③2463 |
| | (株) 小島工務店富山営業所 | 富山市神通町3区1003 | 富山 ②8221 |
| 中国・四国 | 青盛建材株式会社 | 広島市鉄砲町108 | 中 ②2281～4 |
| | 青盛建材(株)岡山営業所 | 岡山市東田町3 | 岡山 ②7911・8169 |
| | (有) 小野甚商店 | 岡山市内山下30ノ10 | 岡山 ②4272 |
| | (株) 浜原豊商店 | 尾道市吉和町新浜 | 尾道 2760 |
| | (株) 浜原豊商店防府支店 | 防府市大林寺 | 防府 ②3611～2 |
| | 古市断熱工業株式会社 | 高松市宮脇町960 | 高松 ③5034 |
| | 正和商事株式会社 | 松山市1番町21 | 松山 ②8161～5 |
| 九州 | 青盛建材(株)福岡営業所 | 福岡市万行寺前町14 | 東 ③1225～6 |
| | 高稲工業株式会社 | 長崎市大橋町138 | 長崎 ④1726 |
| | 高稲工業(株)小倉営業所 | 小倉市西本町2 | 小倉 ⑯6177 |

建設省阪建22号認可

三星

## 西日本アスファルト事業協同組合

大阪　大阪市西区京町堀1－74　TEL ㊵ 代表5951
東京　東京都千代田区神田岩本町13（田島応用内）　TEL (866) 代表6101
東海　名古屋市西区桜木町3－8　TEL ⑰ 2732
博多　福岡市万行寺前町14　TEL ②・28・07
岡山　岡山市西古松299－5　TEL ④2692

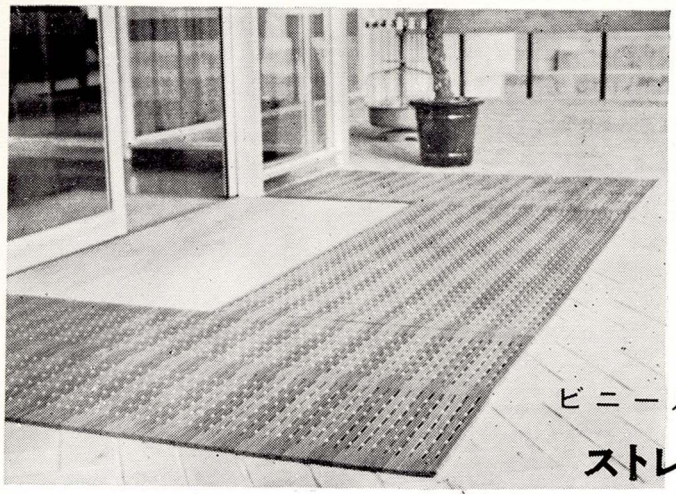
# アスファルト防水は年限保證する
# 日本アスファルト防水工業会の仕様による
# 経験と技術の工業会員へ

## 日本アスファルト防水工業会員名簿　（イロハ順）

| 地区別 | 会社名 | 住所 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 北海道地区 | 日本スレートKK | 札幌市北三条東4－1 | ②3458・4426 |
| 東北地区 | 大和工業KK 仙台出張所 | 仙台市二日町1－2 | ③7790・②0335 |
| 関東地区 | 井上瀝青工業KK | 東京都中央区銀座東2－13 | (541)1974-5 |
| | 伊藤建材KK | 東京都台東区浅草田島町77 | (871)5311(841)5729 |
| | 北条瀝青工業KK | 東京都中央区湊町3－7 | (551)2676・4382 |
| | YK金岡興業 | 東京都新宿区柏木5－1172 | (361)5947・(371)1337 |
| | 高山工業KK | 東京都千代田区神田小川町1－8 | (251)0161-3・1301-2 |
| | 瀝青建材KK | 東京都中央区銀座東3－11 | (541)6945・7834 |
| | 桑原建材KK | 東京都文京区新諏訪町6 | (921)0448・0647 |
| | 大和工業KK | 東京都荒川区南千住6－42 | (891)1144-6・7155-7 |
| | マサル瀝青工業KK | 東京都台東区新坂本町61 | (841)8501・(871)2851 |
| | 藤井工業KK | 東京都文京区林町94 | (941)0271・2582 |
| | KK三柏商会 | 東京都千代田区神田同朋町3 | (251)8867・7517 |
| | KK金港商店 | 横浜市西区高島町1－1 | ㊹7846・8476-7 |
| 東海地区 | 中央建材工業KK | 名古屋市中区南久屋町3－12 | ㉔0496・2066・8700 |
| | 日本建材興業KK | 名古屋市西区南押切町5－12 | ㊺6860・2574・0415 |
| 近畿地区 | 日新工材KK | 大阪市西区新町北通1－17 | ㊶3785-6・2721 |
| | マルエス工業KK | 大阪市福島区上福島南1－152 | ㊺2360・2030 |
| | KK新光商店 | 大阪市南区塩町通2－13 | ㉖7195-7・4467 |
| | 高山工業KK 大阪営業所 | 大阪市北区老松町2－19 | ㊶5976-8 |
| | 清水興業KK | 大阪市北区鶴野町34 | ㊲0251-3 |
| 中国地区 | 豊永建材KK | 広島市南竹屋町103 | ④3567 |
| | 東中國防水工業YK | 岡山市磨屋町22 | ③2211・6302 |
| 四国地区 | 大三工業KK | 高松市内磨屋町7 | ②8697 |
| | KK山本商会 | 松山市萱町2－95 | ②2717・8422 |
| 九州地区 | 日新興業KK | 延岡市本小路74 | 4305 |
| | 大同工業KK | 宮崎市橘通6－82 | 8155-6 |
| | KK工材社 | 門司市大里東通10丁目 | ㊳1468-9 |
| | 安藤工事KK | 福岡市大浜1丁目新町95 | ②6968・③5765 |
| | KK北原建材商会 | 鹿児島市上之園町62 | ④0001-2 |


## 日本アスファルト防水工業会関西事務所

大阪市西区新町北通1-18　日新工業KK大阪支店　(531) 5281-3



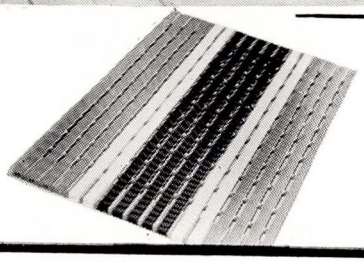
JEWELRY COLORS
IN
6

グッドセンスを
敷こう
ストレートで
行こう

ビニール

ストレート ライン マット

WAKE A GOOD SENSE
PAT. PENDING



ミヅシマ
株式会社 水島商店
MIZUSHIMA CO. LTD.
大 阪・大阪市西区北堀江上通一丁目
京 都・京都市中京区蛸薬師烏丸西入
福 岡・福岡市下対馬小路一二八

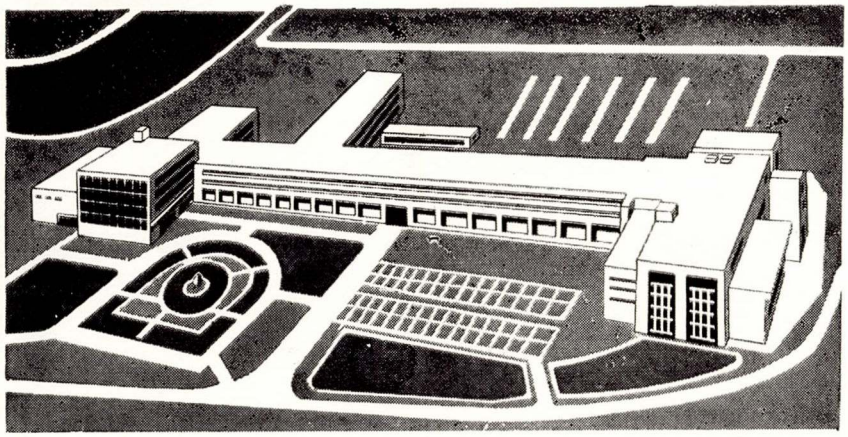
アルミパールタイル
ヤハズラス
新
木毛セメント板
カラーベストス
ボード
建
スロール
ビニール加工板
メラミン加工板
材
ビニ床タイル
プリント合板

四ツ橋
ウモト
生きる近代建築に
魂ある文化材

30メーカー代理店

モデルハウスと展示
すまいの用材店
西区立花通2電(531)2843

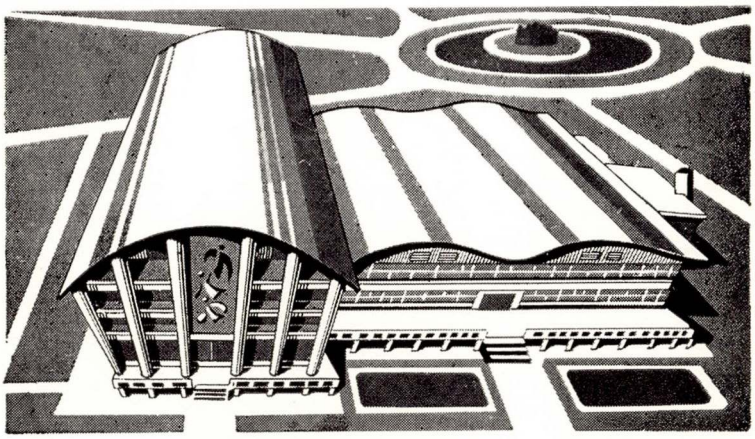
大阪・四ツ橋
株式会社 山本建材社
TEL (541) 1861~5・2131・2233・7060・7161



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

# 日泝スーパーアルソイド
# 日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーキング材　シールセメント



## 日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL (271) 7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL (807) 代表 0161～5

大阪営業所及大阪工場
大阪市東淀川区堀上通り3—39
TEL (391) 0924～5・2045・2079

# あなたのセンスがそのまゝ生きる！

## 伝統と技術にはぐくまれた美しい3つのデザイン

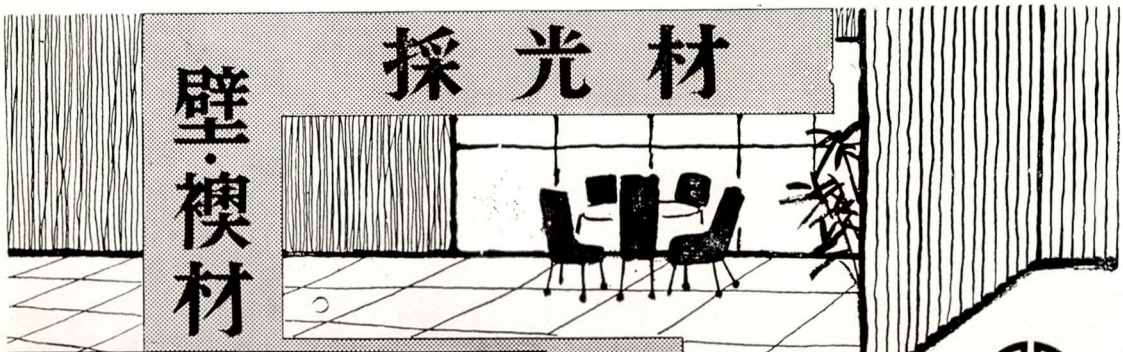


| ●ダイナミックタッチ | ●やわらかい甘いムード | ●端正な感触・・・・ |
|---|---|---|
| ジュピター　L1305 | ヴイナス　L1223 | アポロ　L1306 |
| 陶器・金具セット | 陶器・金具セット | 陶器・金具セット |
| 1級・¥15,400　並級 ¥13,900 | 1級 ¥15,000　並級 ¥13,560 | 1級 ¥14,200　並級 ¥12,700 |

Toyotoki 東洋陶器株式会社

本社/小倉　工場/小倉、茅ヶ崎、滋賀
大阪営業所/大阪市東区高麗橋Tel(231)4518～9 1424





採光材

壁・襖材

床材

優れた品質で定評のある丈夫な長物床材
ロンリウム

カラーフルで鮮彩な肌面が美しい床材
ロンタイル

全層同質で強く値段も安い経済的な床材
ロンリウムK
ロンタイルK

軽く強く美しい採光用の屋根・間仕切材
ロンガラスト
ロンプレート
ニューロンプレート

簡単に貼れ水拭き出来る優雅な壁・襖材
ロンフイックス

K

ビニール
川口ゴムの建材！

川口ゴム工業株式会社

本　社　東京都葛飾区本田四ッ木町54　電話 東京(697)6141(代表)
東京営業所　東京都千代田区神田松永町13（川口ビル）　電話 東京(291)4941～4946
大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33　電話 大阪(271)4358～9

昭和38年度役員

## 昭和38年度役員選任

昭和38年3月開催の定時評議員会において，副会長1名，理事15名の改選を行ない，次のとおりそれぞれ選任されましたのでここに会告申し上げます。

記

| | 新任 | 留任 |
|---|---|---|
| 会長 | | 尾崎久助 君 |
| 副会長 | 竹中錬一 君 | 東畑謙三 君 |
| 〃 | | 塚本猛次 君 |
| 理事 | 増井敏克 君 | 浦辺鎮太郎 君 |
| 〃 | 橋本忠保 君 | 桐本楠雅 君 |
| 〃 | 田中良太郎 君 | 佐野正一 君 |
| 〃 | 恒岡俊行 君 | 菅　陸二 君 |
| 〃 | 岡本　弘 君 | 足立　孝 君 |
| 〃 | 大林芳郎 君 | 浅沼猪之吉 君 |
| 〃 | 白井周二 君 | 鴻池藤一 君 |
| 〃 | 銭高輝之 君 | 松村雄吉 君 |
| 〃 | 藤木正一 君 | 梶本秀尾 君 |
| 〃 | 山本竜太郎 君 | 佐藤　太 君 |
| 〃 | 高須洪一郎 君 | 須賀豊治郎 君 |
| 〃 | 樋口勝栄 君 | 室谷山水 君 |
| 〃 | 横田喜一郎 君 | 村石秋吉 君 |
| 〃 | 中村金三 君 | |
| 〃 | 光安義光 君 | |

なお評議員の互選により評議員会議長および副議長が次のとおり選任されました。

評議員会　議長　神谷新一 君
　　副議長　広瀬　勇 君

昭和38年4月1日

社団法人　日本建築協会

理事会務分掌

## 理事会務分掌

4月11日開催の第1回理事会において，下記のとおり理事の会務分掌が決まりましたので会告申し上げます。

| | 主記 | 主計 | 編集 |
|---|---|---|---|
| (技術部門) | 浦辺鎮太郎 君 | 田中良太郎 君 | 足立　孝 君 |
| | 桐本　楠雅 君 | | 岡本　弘 君 |
| | 佐野　正一 君 | | 恒岡　俊行 君 |
| | 菅　陸二 君 | | 橋本　忠保 君 |
| | 増井　敏克 君 | | |
| (総合部門) | 鴻池　藤一 君 | 大林　芳郎 君 | 浅沼猪之吉 君 |
| | 銭高　輝之 君 | | 白井　周二 君 |
| | 松村　雄吉 君 | | |
| (電気部門) | 梶本　秀尾 君 | 山本竜太郎 君 | 佐藤　太 君 |
| (管工部門) | 須賀豊治郎 君 | 高須洪一郎 君 | 樋口　勝栄 君 |
| (建材部門) | 横田喜一郎 君 | 室谷　山水 君 | 村石　秋吉 君 |
| (支　部) | 中村　金三 君 | | 光安　義光 君 |

## 会館建設資金借入金の償還当選通知

会館建設資金借入金の
償還当選

先年近畿建築会館設置に際し，新設資金として借用いたしましたものについて，これが一部償還の抽せんを去る 3 月28日の定時評議員会終了後同席上において執り行ないましたところ，下記のとおり償還が決定いたしましたので会告いたします。なお償還金のお支払は 5 月15日より行ないます。

記

| | |
|---|---|
| ¥ 100,000 | 日新工業KK大阪支店殿 |
| ¥ 100,000 | 吉野石膏KK殿 |
| ¥ 50,000 | 竹林塗装工業KK殿 |
| ¥ 100,000 | 水島正男殿 |
| ¥ 50,000 | 村石秋吉殿 |
| ¥ 20,000 | 鍵仲建設KK殿 |
| ¥ 50,000 | 斉久工業KK殿 |
| 合　計　¥ 470,000 | |

なお以上の外，日本建築学会よりの借入金500万円に対し，今回100万円（昨年度分50万円，本年度分50万円）を償還することになっております。

## 小原流家元教場見学会

見　学　会
小原流家元教場

1. 日　　時　5月18日（土）集合午後 1 時30分⟶解散 4 時30分
1. 集 合 所　阪急御影駅出口付近（本会旗目標）
1. 申し込み　5 月15日までに電話による。ただし定員 100 名にて先着締切る。

設　計　清家清研究室
施　工　株式会社　新工務所

**建物概要**

所 在 地　神戸市東灘区御影町
建築面積　108坪　　延 面 積　216坪
構造規模　R.C 2階

## 松下電器産業株式会社総合研究所見学会・予告

見　学　会：予　告
松下電器産業 KK 総合研究所

1. と　　き　5 月下旬
1. 開催通知はハガキでおこないます。

**建築概要**　設計・施工　株式会社　竹中工務店
所 在 地　守口市八雲旧下島375
建築面積　1,835.83m²
延 面 積　22,021.7m²
構造規模　R.C　地下 1 階，地上 8 階，塔屋 4 階

# 青年建築家のみなさまへ

## ——「建築と社会」1963年7月号
## 「青年建築家特集号」企画——

将来の建築をになってたとうというはきに富んだ青年建築家，真摯な夢を描きだそうとしている青年建築家，デザインに構造に，創意と工夫をもつ青年建築家，劣悪な諸条件にもかかわらず，そこに筋の一本通った構想をもつ青年建築家……，そういった新人の出現こそ，今日の建築界にあたらしい刺激を与えるものとして，大いに期待されるものであります。

こうした創意にみち，将来性のある青年建築家のために，「建築と社会」7月号を恒例のとおり「青年建築家特集号」として編集することになりました。本年は，その第10年目に当ります。ねがわくは，下記の規定をご参照の上，ふるって応募されんことを，そして，建築界に新風をおくりこまれんことを。

### 応　募　規　定

1. 応募される人は，35才ぐらいまでの青年建築家で，本会会員にかぎります。（提出期日までに入会手続をすませた方なら可）
2. なるべくすいせん者を通して応募されんことを希望しますが，そのすいせん者の見当らない人は，直接当編集委員会にお申出下されば，その任務を代行いたします。
3. **提　出　資　料**

（i）本人の写真・氏名・生れ年・最終学歴・業歴・作品略歴(簡略に)

**（ii）実施作品の場合**

共同設計による作品でも可。

a，鮮明なる写真

b，プラン（黒インキング）

c，概要（所在地・設計施工者名・規模・坪数・工期・主要仕上）

d，設計者としてのことば（400字ていど）

**（iii）設計計画の場合**

（意匠計画・構造計画・施工計画・都市計画等）

a，その案を表示する資料

b，その案の概説（1000字ていど）

**（iv）建築評論の場合**

建築に関連した評論でも可。

枚数400字詰原稿用紙20枚以内

4. **提　出　期　間**　昭和38年5月25日までに必着ねがいます。
5. **選衡の上掲載**

編集委員会で選衡の上，20名以内を選び，掲載を決定いたします。したがって，掲載権およびディスプレイは本委員会に一任ねがいます。

6. 掲載の分は，掲載誌および規定の稿料を呈上します。
7. 提　出　先　　大阪市東区北浜3—37

日本建築協会編集委員会

青年建築家特集号係

昭和38年5月

社団法人　日本建築協会編集委員会

# 昭和38年度常設・特別委員会委員

4月11日の理事会において，下記のとおり昭和38年度常設および特別委員会の委員委嘱を決定いたしましたので，ここに氏名を掲載いたします。

日本建築協会

（敬称略・五十音順）　◎印委員長

## 事業委員会

◎見学・講演・説明・映画・展示・懇親会などの事業の企画および実施

赤崎尚信（赤崎建築事）
審　忠夫（国鉄大阪建築区）
東　孝光（坂倉準三建築研）
井上　滉（大阪建築事）
伊東　健（不二建設）
岩本尚三（大阪市計画局）
大久保博一（国鉄大阪工事局）
岡本行善（昭和設計事）
岡本　弘（浅沼組）
奥田　寛（日本住宅公団）
尾亀清四郎（三晃商会）
角橋徹也（大阪府企業局）
樫根英郎（大林組）
紙野佳人（大阪大学）
河野　清（大阪府建築部）
鹿島欽司（清水建設）
木村博己（大阪郷政局）
駒　日出男（駒建築事）
小松次郎（増岡組）
佐孝義治（近畿日本鉄道）
白井和成（近畿電通局）
鈴木洋也（東畑建築事）
谷川丈夫（西原衛生工業所）
内藤一真（竹内建築事）
中村信夫（大阪市交通局）
萩野　敬（橋本硝子店）
原田守蔵（原田商店）
平田作太郎（平田タイル）
広瀬修三（小笠原浜田建築事）
藤井靖之（日建設計工務）
藤沢達夫（近畿地方建設局）
政岡基次（松村組）
◎増井敏克（大阪市交通局）
松下良一（日本住宅公団）
松村慶三（倉敷建築研）
三品哲夫（大阪市建築局）
三宅昭栄（三宅電気）
道田泰治郎（新工務所）
水本　稔（竹中工務店）
宮後　健（宮後健建築事）
森田孝雄（国鉄大阪管理局）
矢野豊作（藤木工務店）
山本　茂（大日本土木）
山本義樹（錢高組）
若林季雄（鹿島建設）

## 編集委員会

◎会誌「建築と社会」の企画・編集

＊足立　孝（阪大）
＊浅沼猪之吉（浅沼組）
石原正雄（京工大）
泉沢哲史（鹿島建設）
生方文次（日建）
大辻真喜夫（竹中工務店）
＊岡本　弘（浅沼組）
大久保昌一（住宅公団）
金本賢治（大阪建築事）
神出津嶺雄（安井建築設計事）
川崎　清（京大）
木村義雄（住宅公団名古屋）
鬼頭寿郎（清水建設）
黒羽啓明（阪大）
斎藤　昇（市大）
＊佐藤　太（近畿電気）
篠田駿二（大林組）
白砂剛二（大阪市営繕課）
＊白井周二（清水建設）
多淵敏樹（神戸大）
高田　威（大成建設）
◎＊恒岡俊行（大阪府営繕課）
＊寺内　信（大阪府企業局）
永見正雄（国鉄）
西部明郎（電々公社）
西村正邦（近畿地建）
＊橋本忠保（住宅公団）
林野全孝（市大）
比石英二（比石建築設計事）
＊樋口勝栄（三機工業）
広瀬二郎（日建）
広原盛明（京大）
堀　照男（兵庫県建築）
牧原敬典（西野田工高）
＊光安義光（兵庫県）
光崎育利（大工大）
宮脇　毅（大林組）
＊村石秋吉（浪速合板）
森　正信（清水建設）

＊印 編集理事

## 法規委員会

建築に関する法規の研究ならびに普及

伊藤幸一（清水建設）
石川俊一（大阪府指導課）
越智隆晴（兵庫県教育委員会）
大津敏晴（貝塚市建築課）
恩田一則（大阪市消防局）
小林得志（小林得志建築事）
駒　敬三（駒建築事）
近藤達夫（大阪市計画局）
◎佐野正一（安井建築設計事）
坂内幾男（坂内建築設計事）
田中政二（大島応用化学工業）
田村真二（竹中工務店）
竹内博文（大阪市営繕部）
竹口信夫（大阪市建築課）
禰屋毅一（京阪神急行）
野田年三（近畿電通局）
三浦二三男（住宅公団）
三輪雅久（大阪市立大）
森川喜代之助（森川建築事）
山田忠顧（大阪市街地改造課）
山木康雄（大阪府指導課）
吉村　卯（大阪府計画課）
渡辺甚吉（大阪市建築課）
新開信之（大林組）

## 住宅委員会

住宅に関する調査研究と講座などの普及

足立　孝（阪大）
尾村倭文樹（南海電鉄）
奥田　実（日本住宅公団）
◎海上静一（海上静一建築事）
景山正明（大建ウオールボード）
金森梁雄（京阪電鉄）

亀田　喜代子（竹中工務店）
木村　多津子（大阪市大）
黒谷　俊一（日本住宅公団）
小島　将志（大阪市大）
小林　昭夫（松下電工）
島田　儀（大阪府住宅建設）
篠塚　宏三（大阪工業大）
田中　孝司（大和ハウス）
高木　幹祐（八幡エコンスチール）
竹内　さく（神戸山手女子短大）
中間　廉之助（大阪市住宅建設課）
楢崎　正也（大阪大）
野々村　五四男（大阪市大）
福永　薫（福永建築事）
星　広文（平和建設）
松本　大平（田島応用化工）
村上　秀夫（八幡製鉄）
森元　政雄（大林組）
山本　茂（大日本土木）

## ■ 出版委員会

◎建築に関する出版物の刊行

市川　宏（東畑建築事）
乾　亮三（今宮工業高）
木村　喬夫（大阪建築事）
清水　寿栄次（関西電力）
◎田中　良太郎（大阪市立大学）
寺沢　一夫（大林組）
富吉　志乃武（日建設計工務）
長沢　徹夫（竹中工務店）
西川　真澄（清水建設）
前川　純一（神戸大学）
松野　淳（須賀工業）
渡辺　勇（間組）

## ■ 教育委員会

建築教育についての調査研究ならびに講座などの企画

安藤　繁夫（国鉄工事局）
相川　三郎（東住吉工高）
池亀　暢雄（池亀建築設計事）
石川　宏（石川建築事）
板垣　精治郎（大阪府建築部）
岩下　久哉（鹿島建設）
岡　三郎（岡組）
奥山　清治郎（都島工業高）
景山　正明（大建ウオールボード）
北山　雄造（藤田組）
小阪　義夫（大阪大学）
近藤　史郎（鴻池組）
佐田　哲雄（不動建設）
斎藤　暢（大阪市立工芸高）
篠原　太郎（近畿建設）
谷口　尚武（大林組）
寺岡　真（大阪府建築部）
富吉　志乃武（日建設計工務）
中道　朝男（中道組）
永井　実（布施工業高校）
◎橋本　忠保（日本住宅公団）
日名　命雄（大阪建築事）
福留　豊（近畿地方建設局）
前川　敬蔵（東畑建築事）
増田　幸次郎（大阪市建築局）
安田　貫三（戸田組）
山田　幸一（大阪市大）
山本　亀太郎（大末組）
山本　茂（大日本土木）
山本　元次郎（神戸製鋼所）
吉田　勇（清水建設）
渡辺　嘉郎（大阪郷政局）
渡辺　禎巳（大阪市建築局）

## ■ 建材委員会

一般建材とくに新材料の審査検討をして斯界の向上発達を図ることに努める

大井　弘治郎（大井建築事）
◎岡本　弘（浅沼組）
奥島　正一（大阪大）
香取　礼三（東畑建築事）
北山　二十三（竹中工務店）
榊　弘美（東西建築サービス）
後川　春雄（大阪建築事）
橋本　良介（大林組）
竹内　孝（近畿設計事）
地引　友次（文部省工事）
政岡　基次（松村組）
松本　宇一（大阪市建築局）
室井　修（日建設計工務）
元木　貞次（呉羽紡績）
矢野　豊作（藤木工務店）
吉田　滋（清水建設）
若木　望太郎（倉敷レイヨン）

## ■ 近代建築調査委員会

日本の近代建築れい明期に建てられた記念すべき建物を調査して記録にとどめようとする特別の委員会として設立された。

浅野　清（大阪市大）
今林　彦太郎
岩崎　甚太郎（大林組）
内田　成之（須賀工業）
桐本　楠雅（大阪市建築局）
近藤　豊（大阪学芸大）
坂本　勝比古（神戸市建築局）
作間　日出生（大阪建築事）
設楽　貞三（設楽設計事）
島田　勝次（神戸大）
◎滝沢　真弓（神戸山手短大）
塚本　猛次（日建設計工務）
西山　卯三（京都大）
林野　全孝（大阪市大）
堀内　甚吉（大阪工大）
政岡　基次（松村組）
山本　潔（山本窯業化工）
鷲尾　九郎（竹中工務店）

特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
CERAMIC　SKIN
建造物の外壁面に!!陶器の壁紙
セラクロス
CERAMIC CLOTH
山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL(371)4851～3
関東地区取扱店・小林窯業株式会社
東京都太田区新井宿2－1500TEL (771) 6347




営業品目
- ▶波型石綿スレート・大波・小波・大平板
- ▶厚型スレート
- ▶関西石綿煙突・普通品・特製品・火口用
- ▶メタルラス・リブラス　（日米ラス）

日本工業標準規格　No. 161厚型スレート
〃　No.6500波型スレート
法定不燃材認定番号　No.5009

**関西スレート株式会社**

本社・工場　尼崎市尾浜字竹原３５０
電話大阪（481）8847～9・7310
営業所　東京・三島・名古屋・高松・広島

初めてできた日本住宅専門の
日本建具の方式にもとづいた

# すまいのアルナサッシ

# すまいの アルナ サッシ

ALNA　アルミサッシの日本の草分，車両・船舶のアルミサッシの専門メーカーナニワ工機が十年の経験を傾け，アルミの特性を日本の建具に生かして，日本住宅向アルミサッシを作りました

特　長　部屋のもつ特性に応じてデザインを変えました

- □ 座敷や居間の縁先には　L型 を
- □ 応接間や居間や寝室の窓には　M型 を
- □ 厨房や浴室やトイレの窓には　K型 を

（特にK型は金網入7ミリガラスを入れて乙種防火サッシ）

▷ それぞれの部屋の特性に合わせて

▷ 機　能　経　済　快　適　近代性

▷ の4点に設計を工夫しました

価　格

- ○ 従来の上等の木製建具よりローコスト
- ○ きっと建築ご予算内におさまります

お申込次第美しいカタログをお送りします

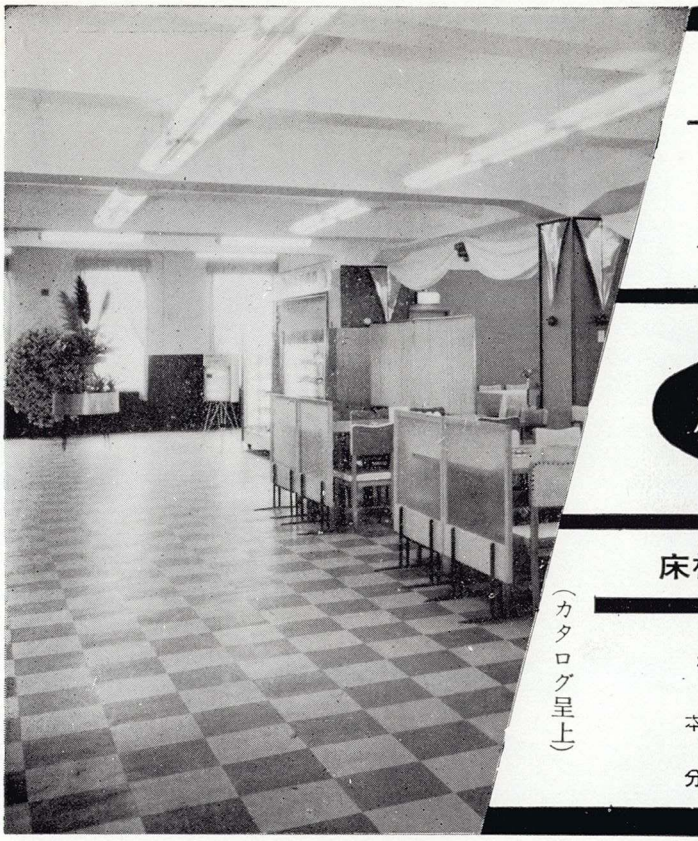
# すまいの アルナ Hドア　ハニカム構造

- □ 日本で初めてできたアルミ製のパネルドア
- □ 軽くて（10キロ）強く　開閉が常に軽快です
- □ 日本住宅の玄関向に設計しました


ナニワ工機
株式会社

大阪アルナ販売サービス
尼崎市北難波町1の3
電話　大阪(401)　7281－7287

東京アルナ販売サービス
東京都千代田区神田岩本町6扇ビル
電話　東京(851)3657・9431



美しい床……

しかも永い間耐える事が特長です。優れた製品として皆様に御満足願える様、最高の施工技術を持って弊社で責任施工を致しております。

# 桂のビニールタイル

床材料の販売・工事（責任施工）

（カタログ呈上）

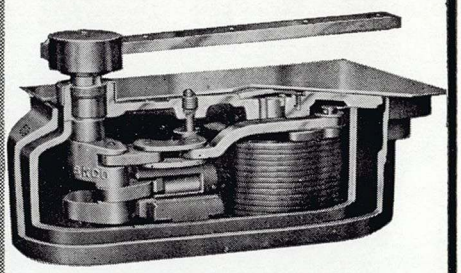
株式会社 **桂 商会**

本社 大阪市大淀区国分寺町1丁目1番地
電話 (351) 6625・7778－9
分室 大阪市大淀区天満橋筋六丁目12

S.K

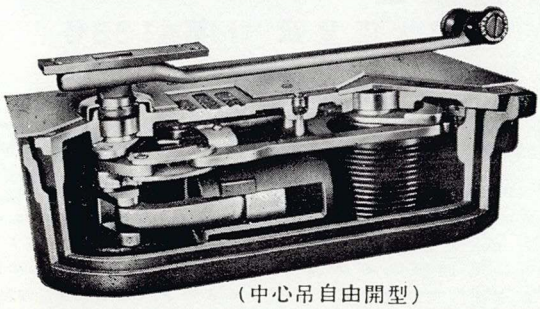
近代人の感覚にマッチする

# ユートピア印



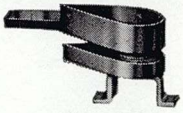
（片開持出吊り型）

## フロアーヒンヂ　ピポットヒンヂ



（中心吊自由開型）





上枠・上扉　　下枠・下扉
（ピポット・ヒンヂ持出し吊り型）
（カタログ御入用の節は御申込下さい）

製造元

**敷島金物株式会社**

大阪府布施市横沼町1の46　電話布施　(721) 7713～4
東京都千代田区神田三崎町2の26　電話東京 (332)5310 (301)0403



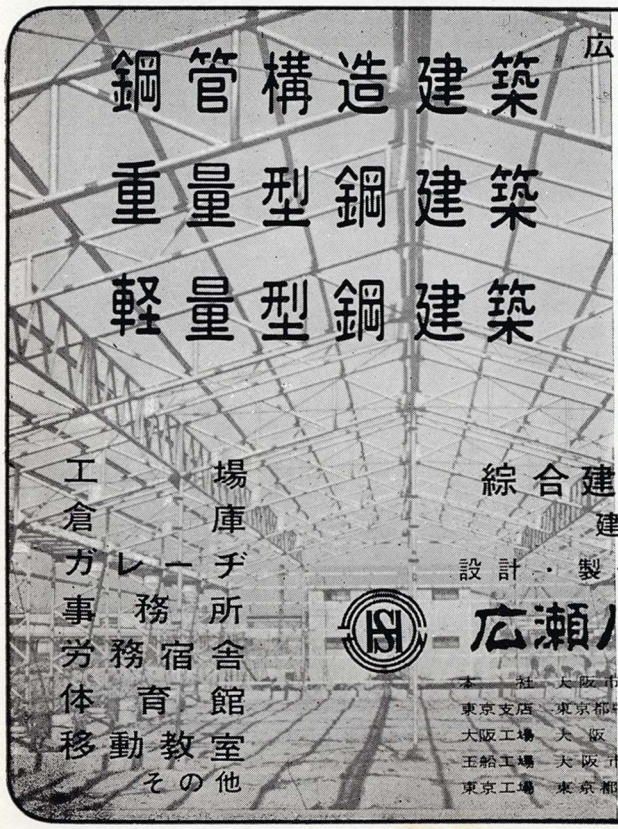
自然の光を
そのまま室内へ…

## アクリドーム

アクリドームは、自然の光をやわらかく室内に導き入れます。
アクリドームは、強くて軽く、耐候性に富んでいます。
アクリドームは、付属金具とセットの規格品で、広範囲にご利用いただいております。

三菱レイヨン株式会社

本　　社　東京都中央区京橋２の８（新光ビル）　電話（281）5551(大代)
大阪支店　大阪市北区中之島２の２２（新朝日ビル）　電話（202）2241(大代)
名古屋支店　名古屋市中村区堀内町4の1(毎日名古屋会館)　電話（55）7131（代）



鋼管構造建築
重量型鋼建築
軽量型鋼建築

工場
倉庫
ガレーヂ
事務所
労務宿舎
体育館
移動教室
その他

広瀬式組立建築
インスタントハウス　から本建築まで!!

最新の設備と
優秀な技術を誇る

綜合建設業
建設大臣登録　(ト)第4133号
設計・製作・施工・販売

広瀬ハウス工業株式會社

本　　社　大阪市西区西長堀北通３丁目２の３　TEL(531) 9351代表 (541) 7721代表
東京支店　東京都中央区日本橋小舟町２の７(小舟ビル)　TEL(661)4974.4844
大阪工場　大阪市港区北福崎西之町８　TEL(571) 5137
玉船工場　大阪市西区九条中通４丁目４００　TEL(541) 3041代表
東京工場　東京都江東区北砂町６丁目１４８の２　TEL(644) 7854

# 建築と社会

1963年・第44集・5月号・目次

ARCHITECTURE & COMMUNITY ©　社会教育の場と建築特集　5


作品作風　大阪府農林技術センター……設計監理 大阪府建築部営繕課 KK大阪建築事務所 施工 鉄道建設興業KK……11
阿倍野電話局……設計 日本電信電話公社建築局 施工 株式会社 浅沼組……16
スケッチブック　南海電鉄沿線に建つ新住宅設計コンクール入選作・入選8点・佳作10点……18
建築の眼　担当50音順：松村 慶三・水谷 頴介・三輪 泰司・和田 周蔵……24
本文
1社会教育施設とは
わが国の社会教育施設の現状……中島 俊教……26
社会教育施設設計の諸問題……河野 通祐……30
2公民館と図書館
公民館計画の諸問題……西川 馨……34
公共図書館の計画をめぐって……栗原嘉一郎……37
3社会教育施設の現状分析と問題点
大都市の場合—大阪市の社会教育施設—その現状と問題点—……O.U.R.研究会……45
ニュータウンの場合—高蔵寺ニュータウンと社会教育施設—……土肥 博至……56
4随想・ルポ　まえがき……松井 昭光……63
公民館の諸問題……荒木兵一郎……64
グロステス——会館にみる変形意欲——……鳥田 家弘……65
ALLとNOTHINGの谷間を埋めること……吉野 正治……66
児童会館……相川 浩……67
青少年の家……片倉 健雄……68
美術館・博物館……伊藤 克三……69
消えゆく幼稚園？……日下 あこ……70
大阪市体育館……白砂 剛二……72
音楽ホール随想……北村 隆夫……73
ショールーム見聞……竹内 さく……74
尼崎の結婚式場……田代 正尚……75
音楽喫茶……岸本 幸臣……76
二十五分の一（愛隣会館）……水島 恒子……77
公共職業訓練所……松井 昭光……78
近代建築調査委員会報告 41　京都府庁庁舎（本館）……近藤 豊……79
技術の頁　8・構造部門：▽形トラスの数例について……大野勝三郎……81
会員の頁……84
職人シリーズ　第5回・石工（鳴坂忠雄氏）……泉沢 哲史……87
会報　（3月分）……88
会告　理事会：昭和38年度常設・特別委員会委員……会告


表紙デザイン：表紙デザイン小委員会・SMデザイングループ


売価　1部180円・送料共
昭和38年5月20日印刷　昭和38年5月25日発行
編集人　松井 昭光
発行所　社団法人日本建築協会　大阪市東区北浜3丁目37
電話大阪㊇9648・9649・9640番　振替口座大阪39975番
発行人　沖田 誠一
印刷所　株式会社研文社　大阪市北区堂山町66　電話㊇2091〜3番
印刷者　網野 栄

# 建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

## 美素工業所（株）
## 美素建物管理（株）

本　社　大阪市東区瓦町　三和ビル
電話（231）5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話（261）4070・4079・617

エレベータ　エスカレータ　エレペット

## 三菱電機株式会社

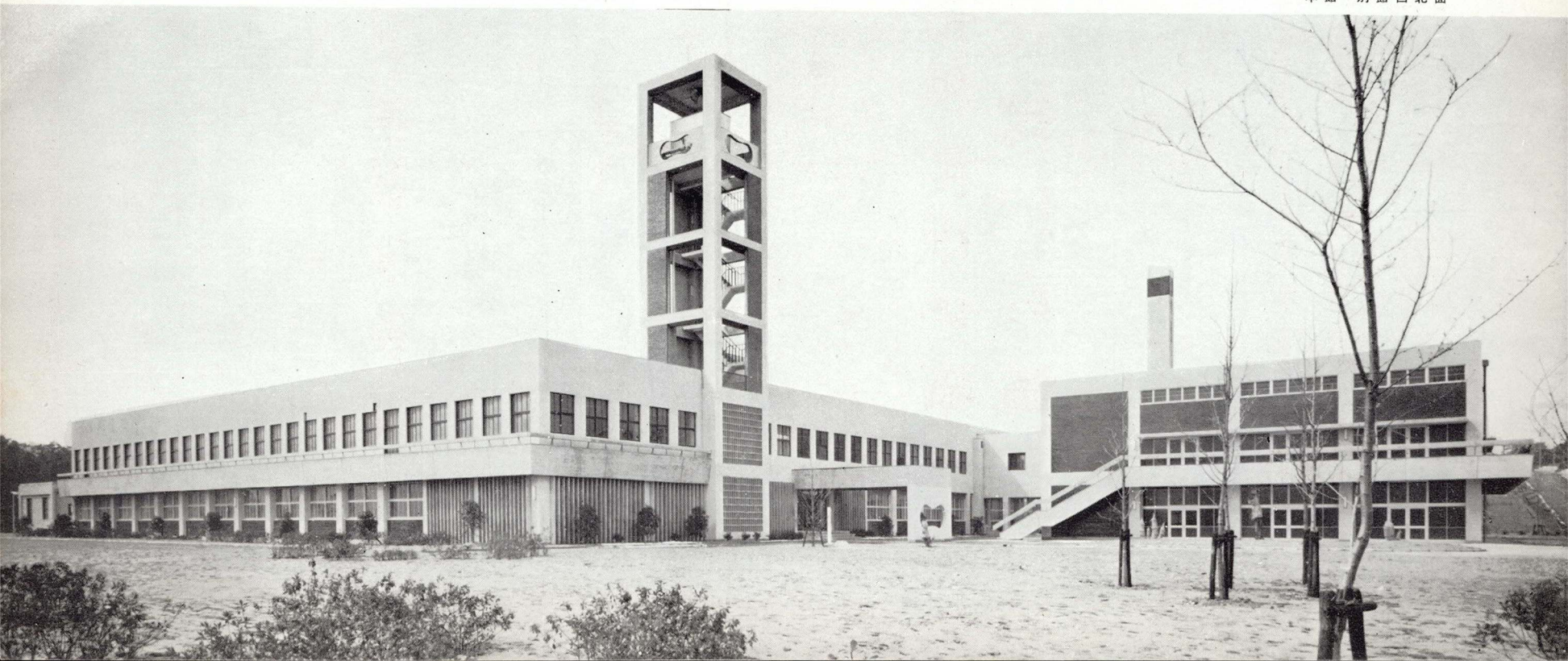
大阪営業所

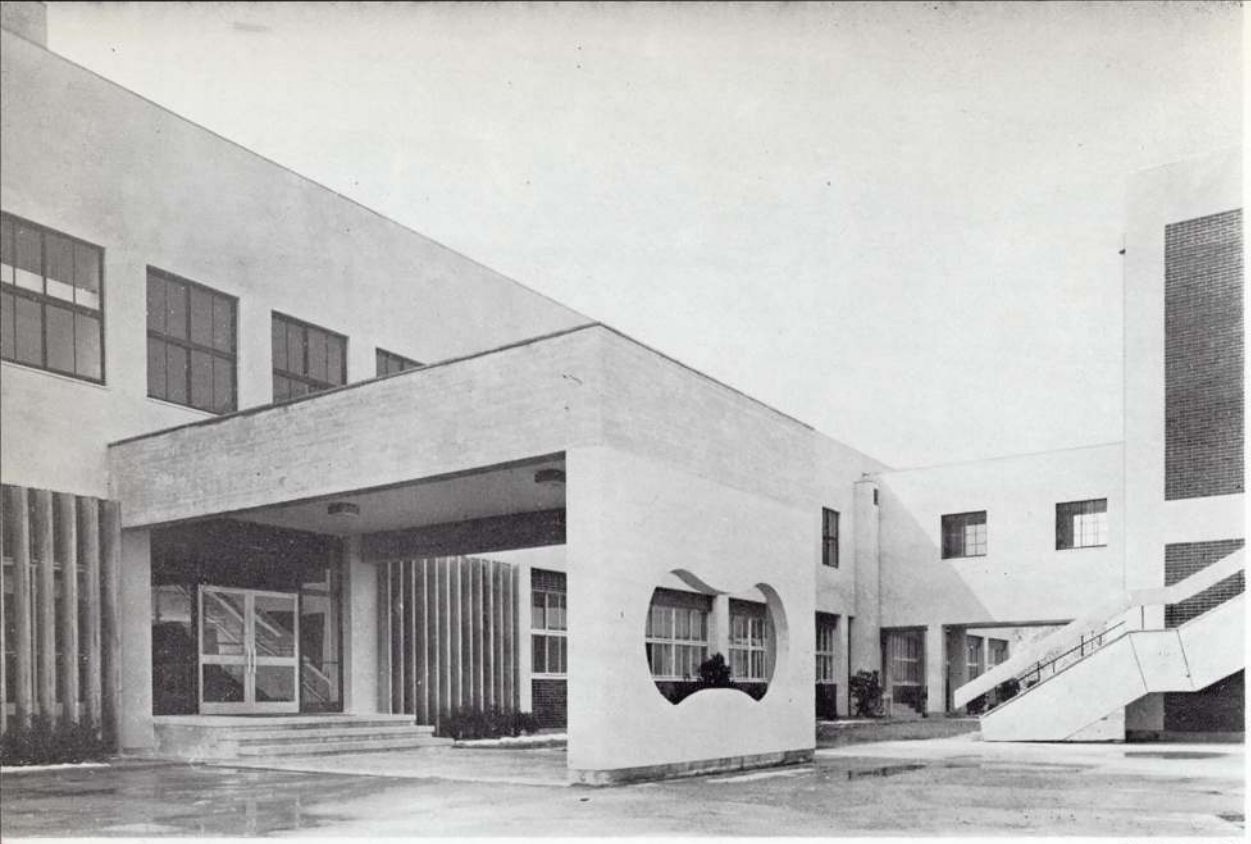
大阪市北区堂島北町八ノ一
電話　312局　1231　大代表

# 大阪府
# 農林技術センター

設計指導監理　大阪府建築部営繕課
設計・監理　KK東畑建築事務所
施工　建築　鉄道建設興業KK
　　電気　江東電気工業KK
　　衛生・暖房　三建設備工業KK

本館・別館西北面





玄関車寄

# 大阪府
# 農林技術センター

設計指導監理　大阪府建築部営繕課
設計・監理　KK東畑建築事務所
施工　建築　鉄道建設興業KK
　　電気　江東電気工業KK
　　衛生・暖房　三建設備工業KK

所在地　大阪府羽曳野市尺度442
名称および面積　第一期工事のみ

| 建物名称 | 建築面積 | 延床面積 |
|---|---|---|
| | m² | m² |
| A本館，別館，実験室，寄宿舎等 | 4,205 | 7,004 |
| B果樹，耕種関係 | 1,863 | 1,863 |
| C追加関係 | 145 | 145 |
| 計 | 6,213 | 9,012 |

工期
第一期工事　昭和37年6月～昭和38年2月
構造および仕上
A．RC造　1階及び2階建，寄宿舎3階建，一部塔屋，RC造，H28m
　外装　エマルリシン，タイル張
　内装　床VT，壁モルタルEP，天井PB，EP
B．S造スレートAS工法，壁CB積
　外装　CB化粧積，大平板VP
　内装　床モルタル，壁CB化粧及びプラスター，天井PB，EPおよび化粧裏

## ■ 設計者としてのことば

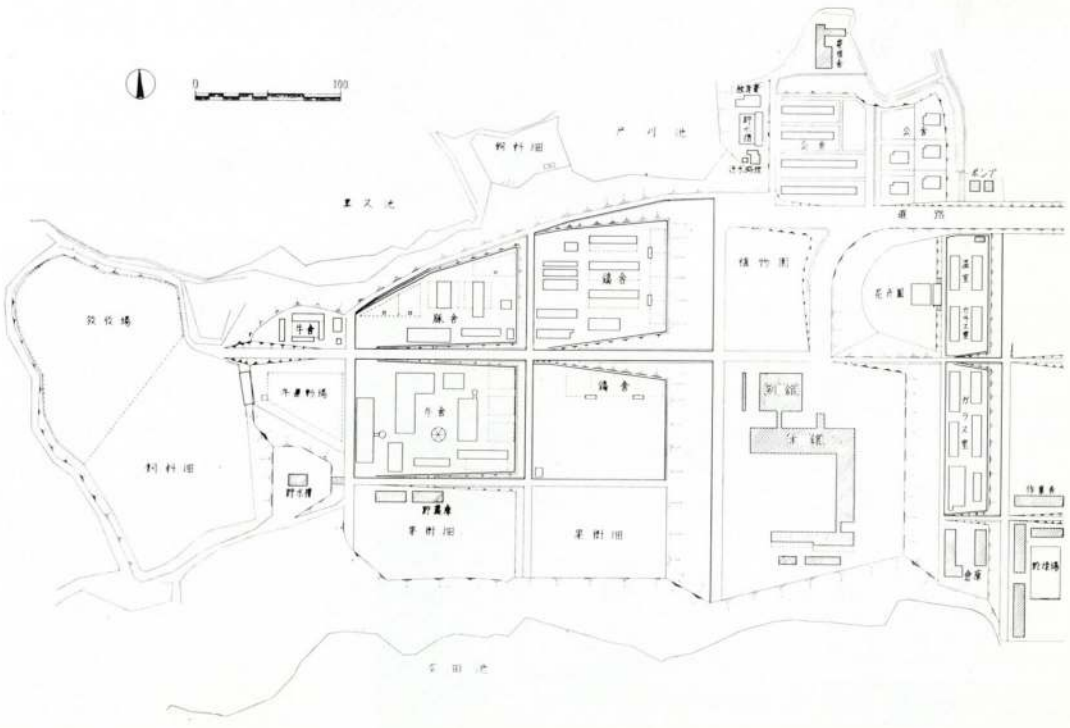
大和川から南へ河内平野の南端に近い羽曳野市の低い丘の東斜面の約30万m²の土地を切盛して造成された敷地に，大阪府全域の農林畜産関係の施設を集結して将来の技術指導および研究のために計画されたのが，この技術センターである。

はじめ敷地を見たとき，あまりにも広漠としてより所のないものになってはと考えて，幸い府の諒解を得て，高さ28mの高架水増兼展望所をかねての塔屋を建てることにして計画に入った。本館は一般研究所に準ずるもの，それ以外の建物は小なりといえども，いずれも専門知識を要するものばかりで，各地の試験所研究施設を調査見学して設計した。

敷地は砂利混りの山地を切盛されたもので，1部は6mも盛土されて建物基礎が硬軟両土質に当るところがあり，格別の考慮を払った。そのため工事費にもはねかえり設計上相当苦労をした。設備は特殊研究設備および棟別により暖房を設備した。広大敷地内を統一するために全体として色調で統一計画した。やがて第二期工事が完成して全能力を発揮して，大阪府はもとより東南アジアより研究生を受入れることもあるとか。高度な技術，研究のセンターとして愛され，すばらしい成果を挙げられることを祈る。　（38.4.9　前川記）



本館別館南東面

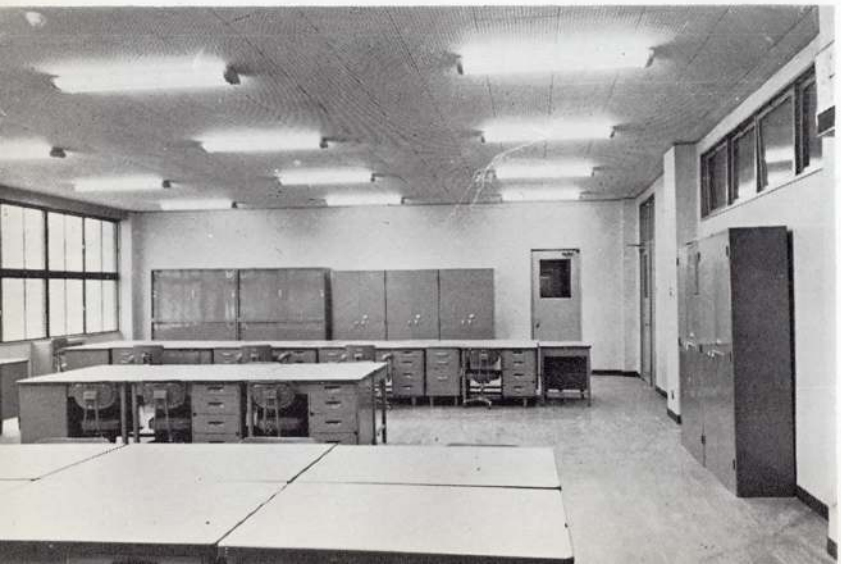

0
100
飼料畑
牛舎
豚舎
鶏舎
牛舎
豚舎
鶏舎
車庫
車庫
飼料畑
飼料畑
飼料畑



# 大阪府
# 農林技術センター

| | |
|---|---|
| 設計指導監理 | 大阪府建築部営繕課 |
| 設計・監理 | ＫＫ東畑建築事務所 |
| 施工　建築 | 鉄道建設興業ＫＫ |
| 電気 | 江東電気工業ＫＫ |
| 衛生・暖房 | 三建設備工業ＫＫ |





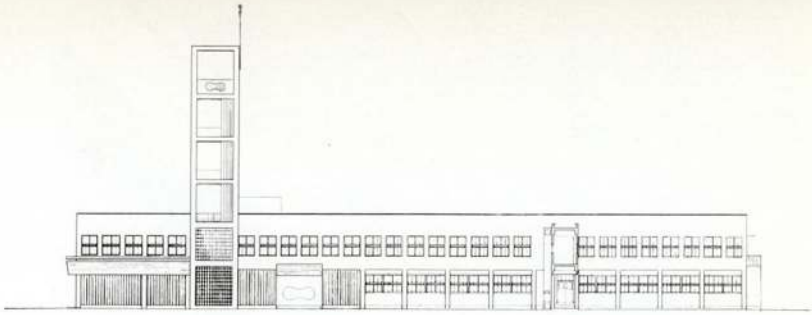
上：玄関内部
中：大会議室
下：一般事務室

■ 施工者としてのことば

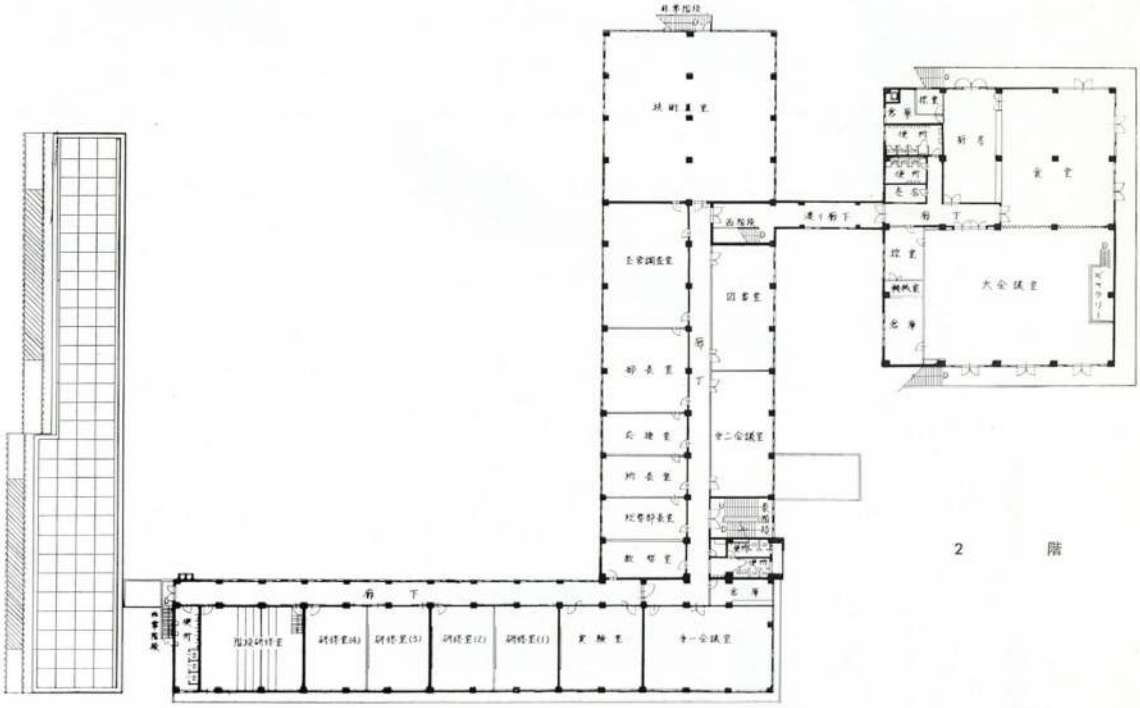
着工当初梅雨に会い，建設地への狭い田舎道は，電話線の埋設工事や水道管の敷設で再三堀り起されて，材料の搬入に支障をきたし，敷地は山を削り池や谷を埋めて造成した砂交り粘土質で，上部敷地用台地から流れる雨水は斜面の土砂を削り，敷地内に流れ込むなど，梅雨明けまで本格的な着工にいたらず，ために工期内に竣工せしめることに苦慮しましたが，関係各位のご協力により，無事竣工せしむることができ，深く感謝しております。

（鉄道建設興業株式会社）

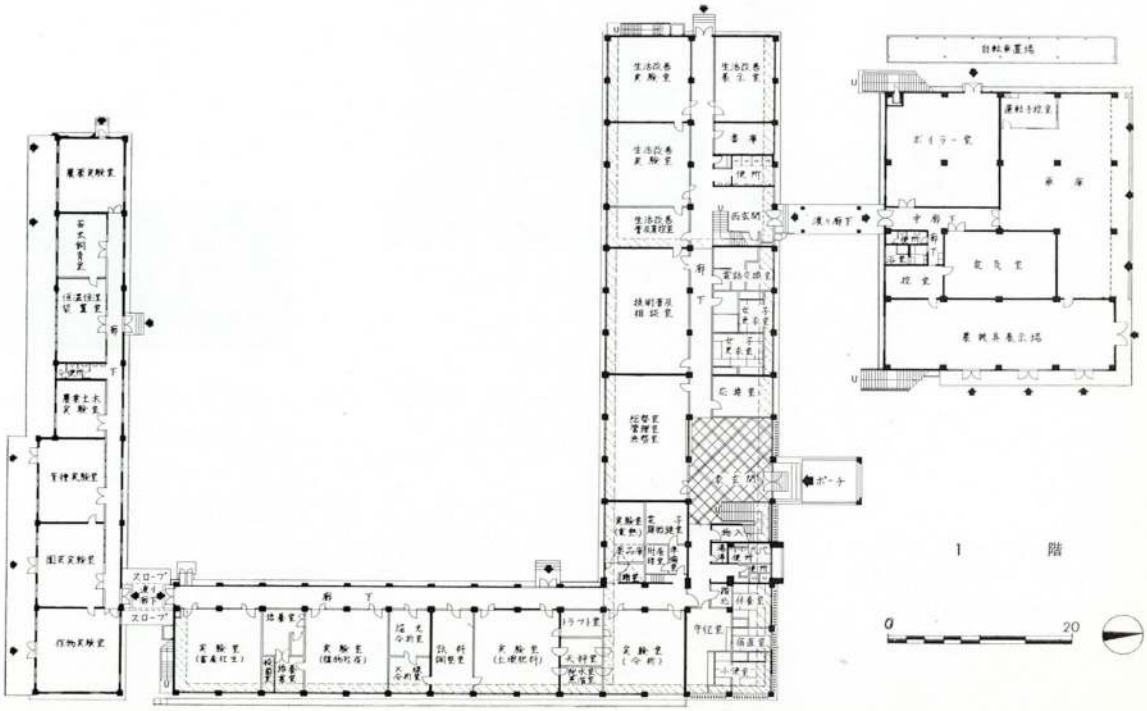
# 大阪府
# 農林技術センター



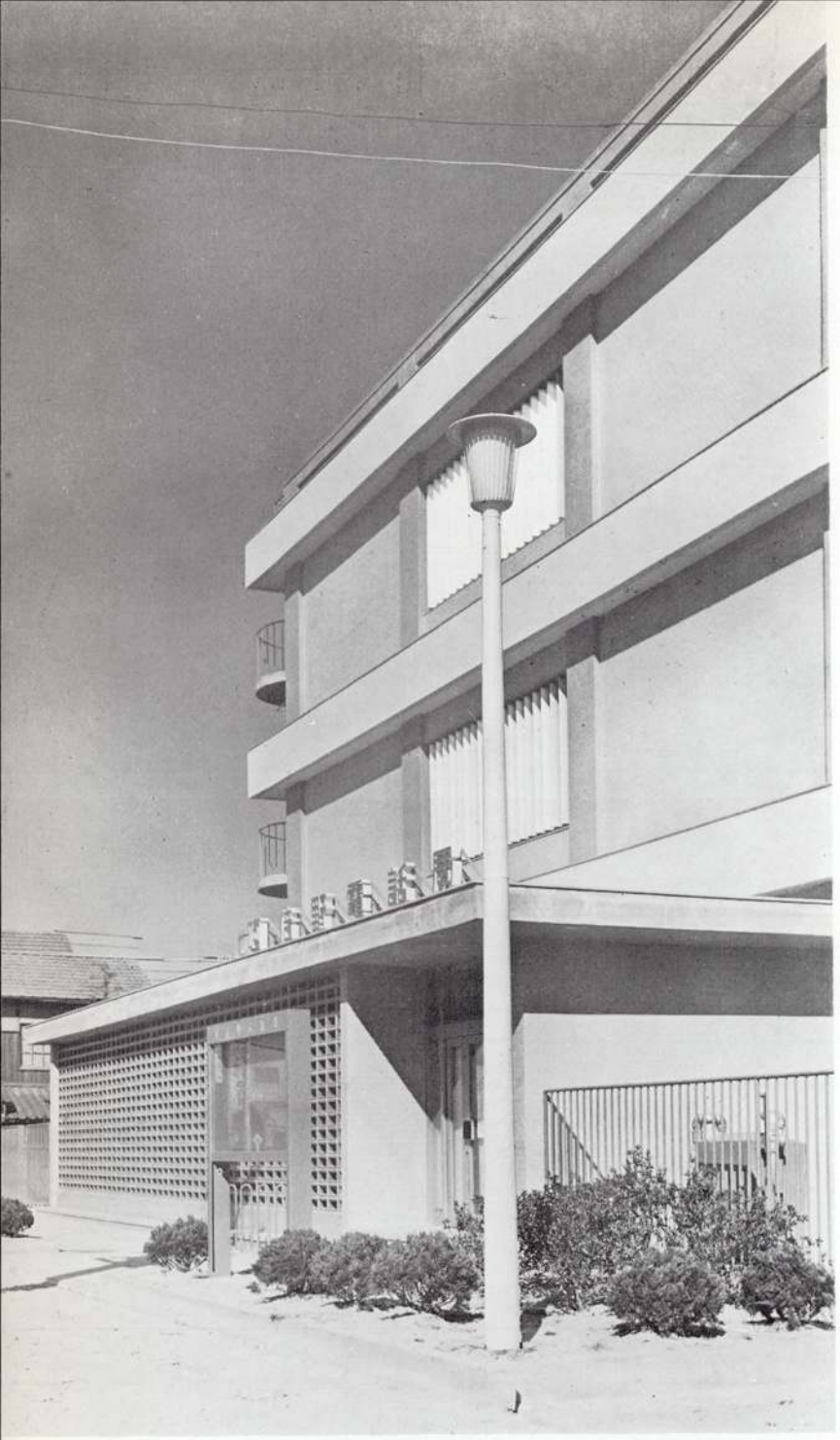
北面図



2階

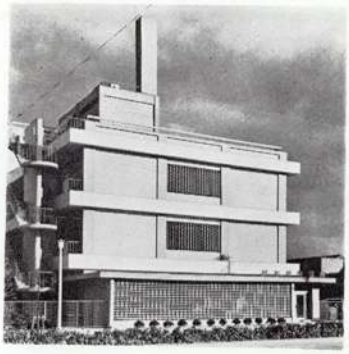


1階



## 阿倍野電話局

設計監理　日本電信電話公社建築局
施　工　株式会社浅沼組

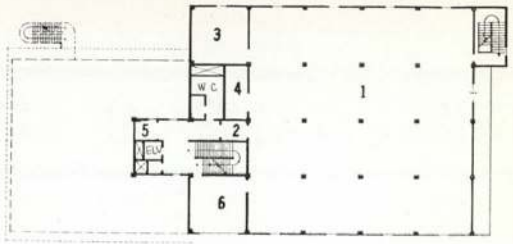


| | | |
|---|---|---|
| 所在地 | 大阪市阿倍野区昭和町中3－5 | |
| 敷地面積 | | 3,343.923m² |
| 構造規模 | 本館：RC造地下1階地上4階 | |
| | 附属棟：S 造 | 2 階 建 |
| 建築面積 | 本 館 地階 | 1,173.28m² |
| | 1階 | 1,217.20m² |
| | 2階 | 1,119.95m² |
| | 3階 | 1,119.95m² |
| | 4階 | 803.75m² |
| | 屋階 | 71.66m² |
| | 計 | 5,505.79m² |
| | 附属棟 1階 | 360m² |
| | 2階 | 360m² |
| | 計 | 720m² |
| 収容施設 | H 型 自 動 交 換 機 | |
| | 当 初 | 41,000端子 |
| | 最 終 | 60,000端子 |
| 工 期 | 着工 昭和36年 6月 3日 | |
| | 竣工 昭和38年 2月 末日 | |



**4 階**

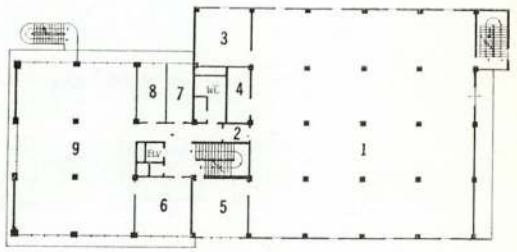
1. 自動機械室
2. 前室
3. 調整室
4. 調和機室
5. 倉庫
6. 機材庫




4 階

**3 階**

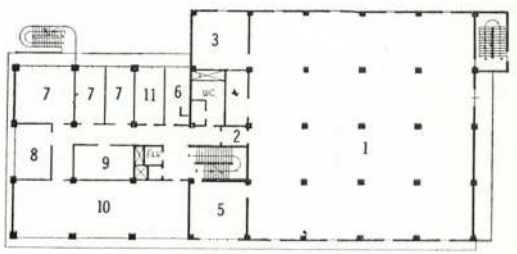
1. 自動機械室
2. 前室
3. 調整室
4. 調話機室
5. 機械更衣休憩室
6. 局長会議室
7. 保健室
8. 需品庫
9. 共通事務室




3 階

**2 階**

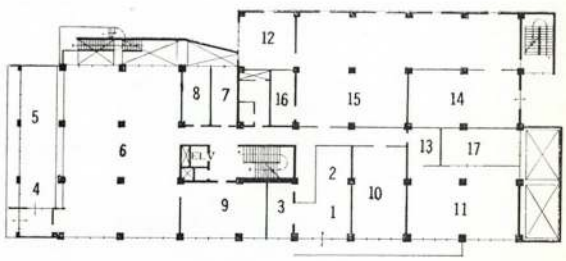
1. 自動機械室
2. 前室
3. 調整室
4. 調話室
5. 機械宿直室
6. 小使室
7. 予備室
8. 会議室
9. 倉庫
10. 営業事務所
11. 女子更衣休憩室




2 階

**1 階**

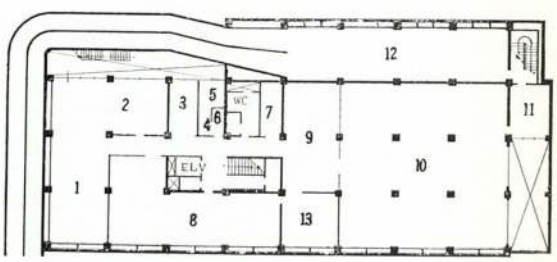
1. 玄関
2. 下足室
3. 監視員室
4. 風除
5. 公衆室
6. 窓口事務室
7. 理容室
8. 原書庫
9. 営業更衣休憩室
10. PBX要員室
11. 線路要員室
12. 試験更衣休憩宿直室
13. 合羽置場
14. 線材庫
15. 試験室
16. 調話機室
17. 更衣休憩室




1 階 平 面 図

**地 1 階**

1. 食堂
2. 厨房
3. 売店
4. 脱衣室
5. 浴室
6. ボイラー室
7. ポンプ室
8. 暖房空調機械ポンプ室
9. 制御室
10. 電池電力予備エンジン室
11. 電力更衣休憩宿直室
12. 局内マンホール
13. 換気機械室




地 下 平 面 図

# 南海電鉄沿線に建つ新住宅設計コンクール入選作

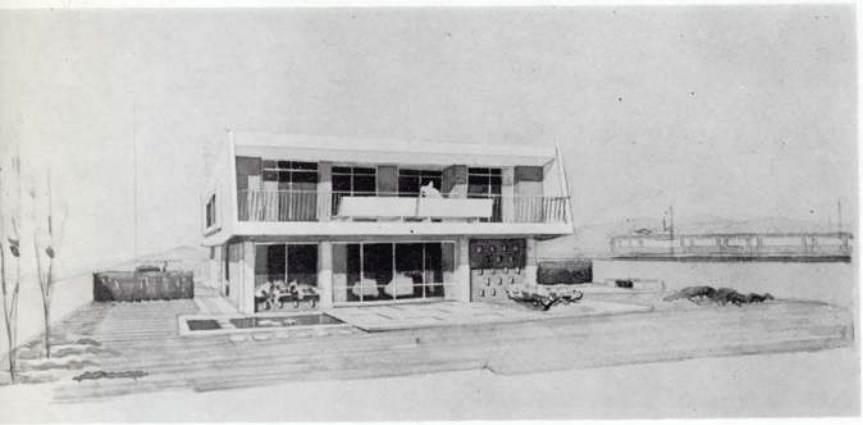
入選8点・佳作10点　審査報告：前号会告参照

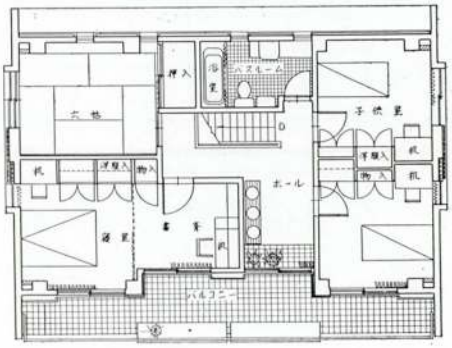
入選

敷地 A

細田昭三

名古屋市





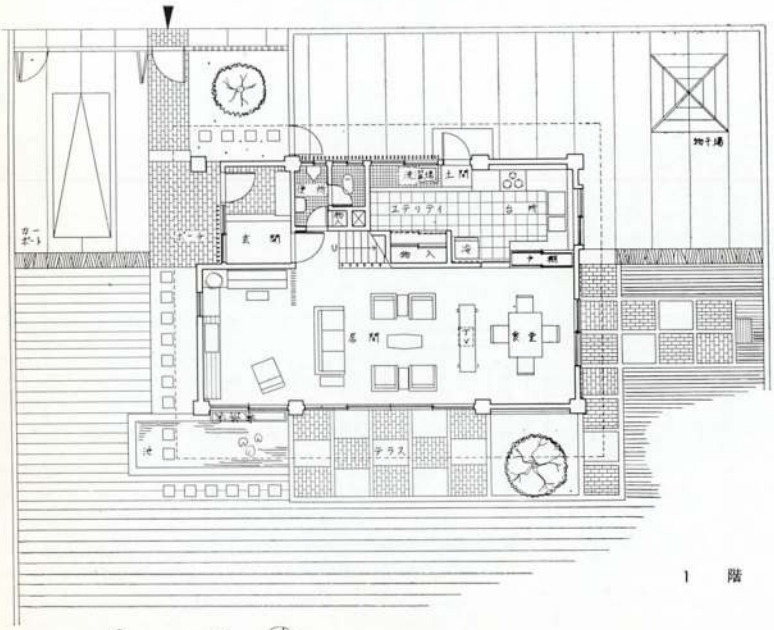
2　階

床面積

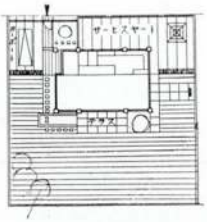
1　階　63.075m²

2　階　73.160m²

計　136.235m²



1　階

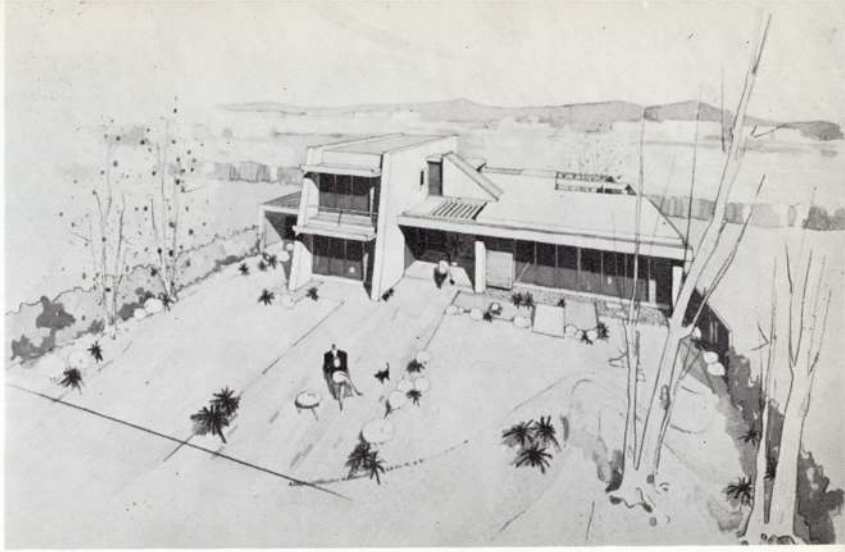


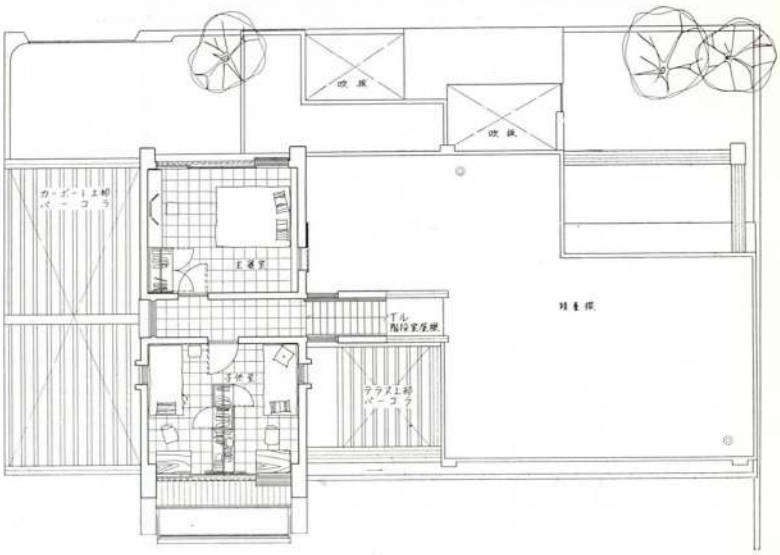
主催　南海電鉄ＫＫ
後援　日本建築協会住宅委員会

入選

敷地 A

柳ケ瀬教介
大阪市



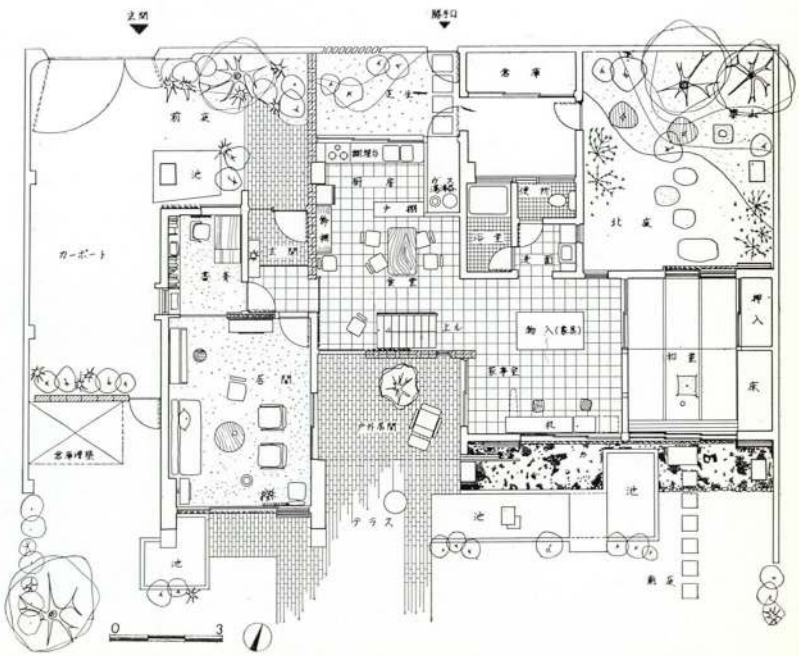



2 階



床面積

| | |
|---|---|
| 1 階 | 103.10m² |
| 2 階 | 39.30m² |
| 計 | 142.40m² |



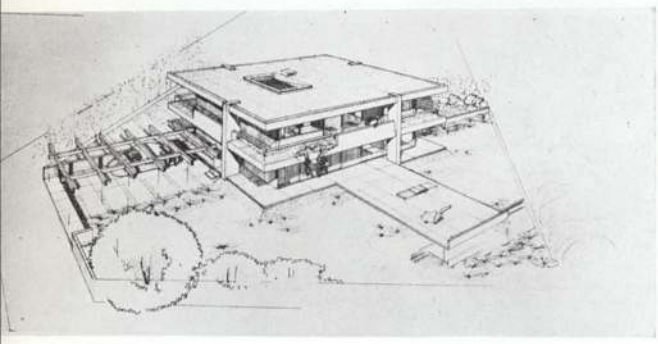

1 階

入選

敷地 B

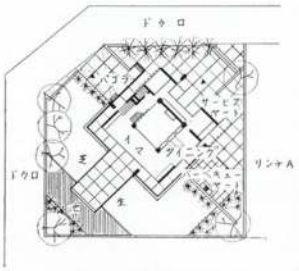
佐野幸夫

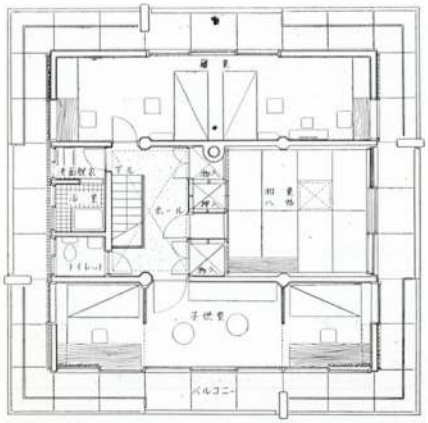
東京都



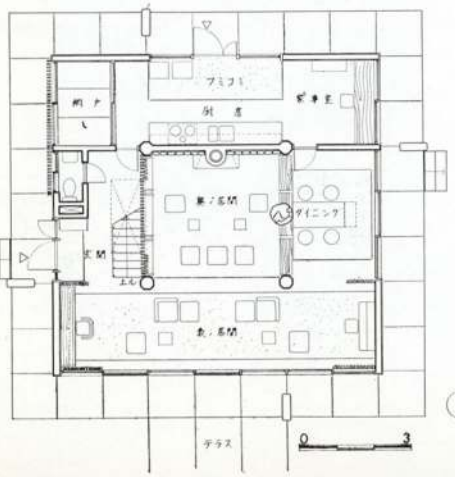
床面積

計　141.12m²



2 階



1 階

入選

敷地 B

福島　勲

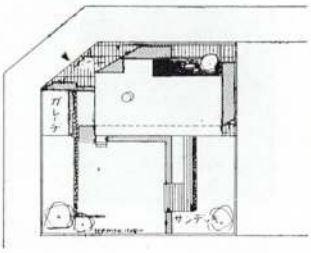
東京都

床面積

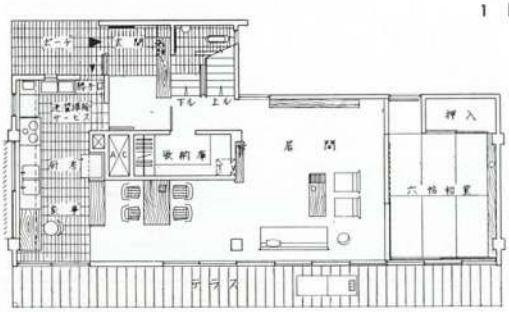
1 階　66.75m²

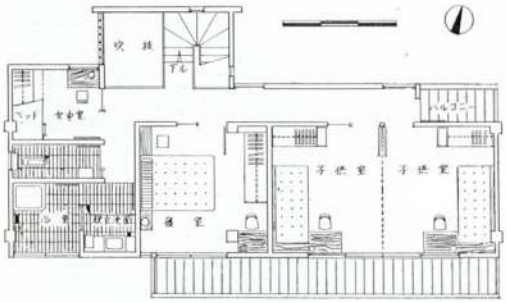
2 階　66.75m²

計　133.50m²

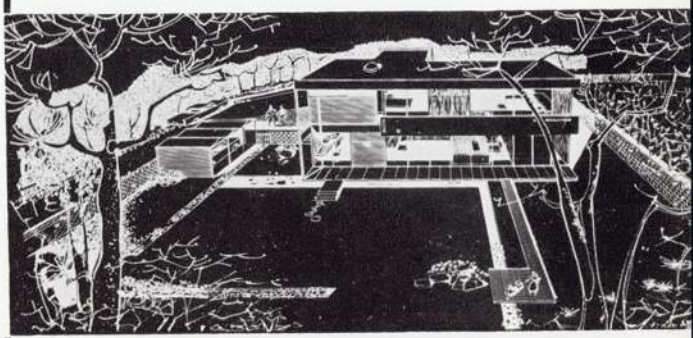


1 階





2 階

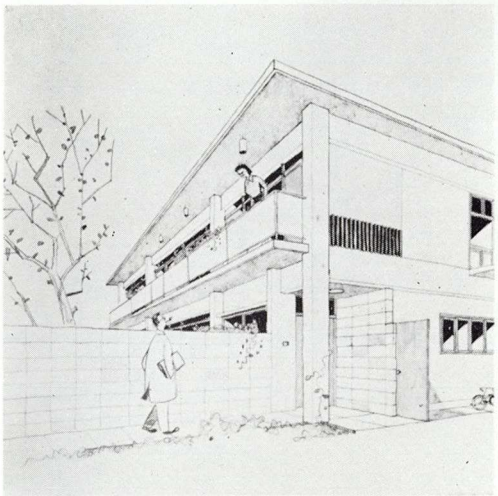


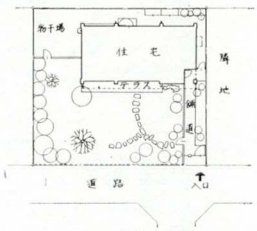
入選

## 敷地 C

## 藤本武男

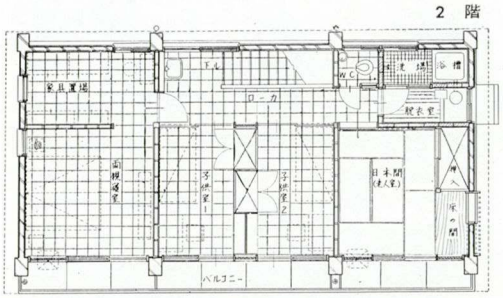
東京都

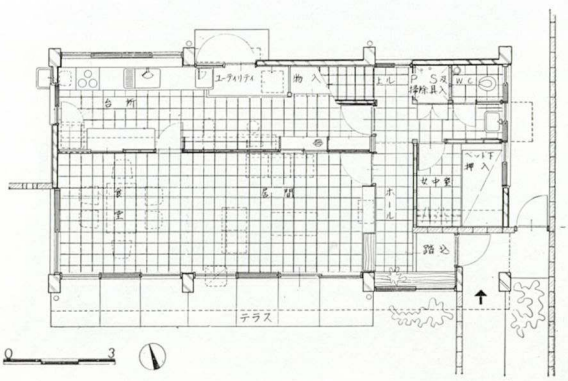





1 階　65.68m²
2 階　66.40m²
計　132.08m²

2 階




0 3

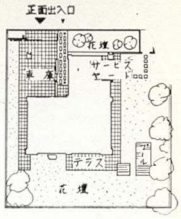
1 階

入選

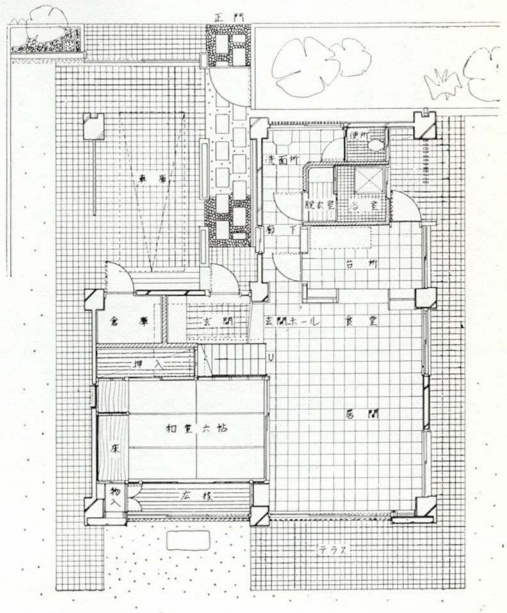
## 敷地 E

## 十亀博昭

大阪市

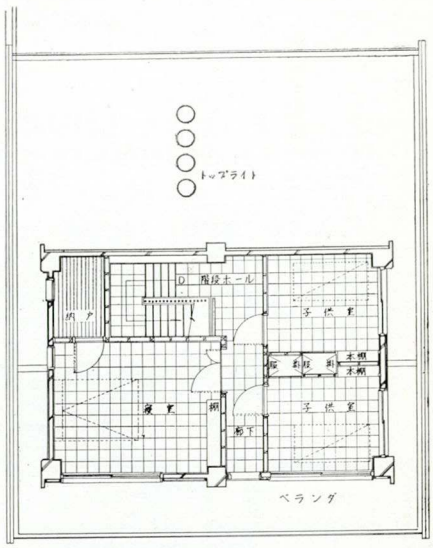



1 階

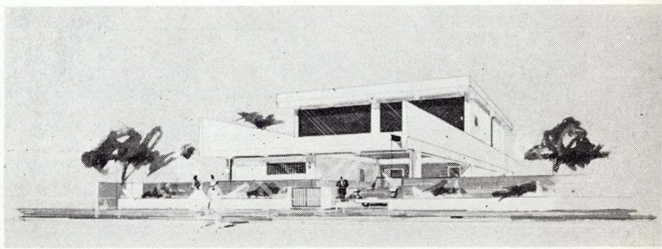



1階
90.200m²
2階
51.832m²
計
142.032m²

0 3




2 階



入選

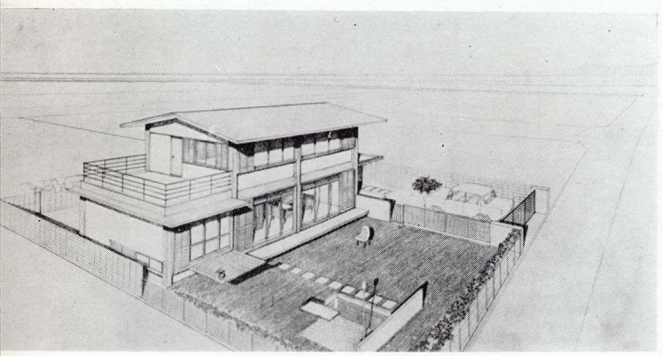
## 敷地 F

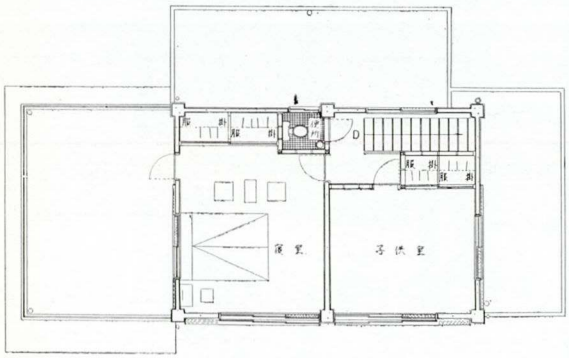
### 酒井孝悦

大阪市

床面積

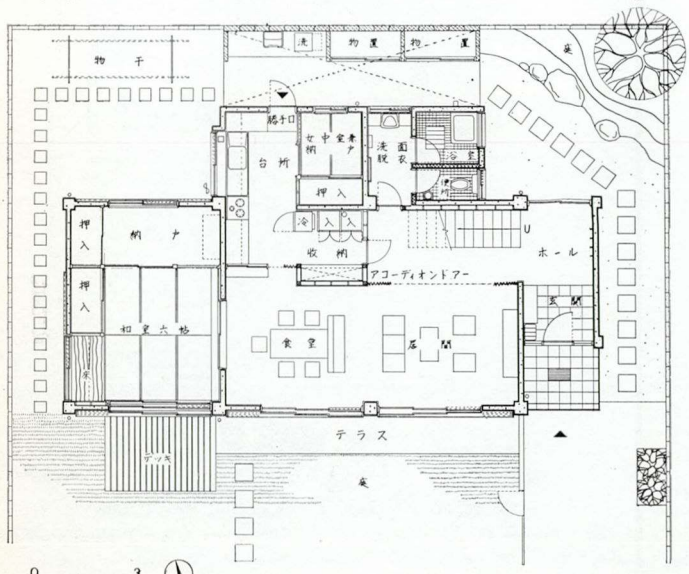
| | |
|---|---|
| 1階 | 90.58m² |
| 2階 | 44.00m² |
| 計 | 134.58m² |






2 階

1 階



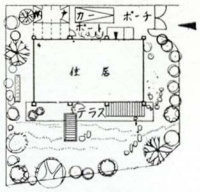

0 3

入選

## 敷地 G

### 小野為一

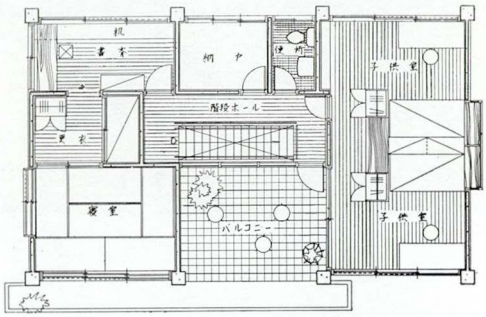
大阪市



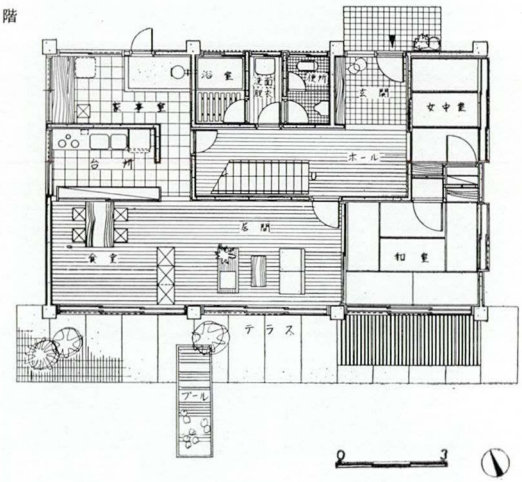

床面積

| | |
|---|---|
| 1階 | 77.41m² |
| 2階 | 63.35m² |
| 計 | 140.76m² |

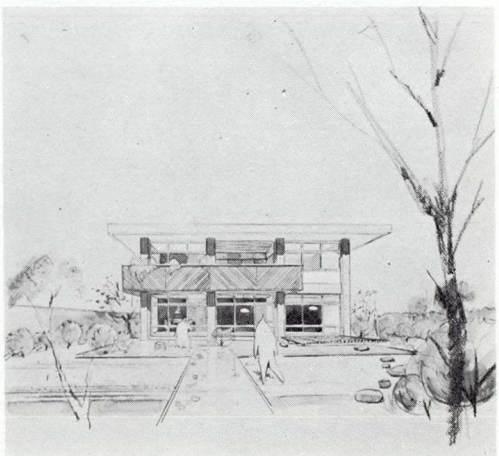
2 階




1 階




0 3

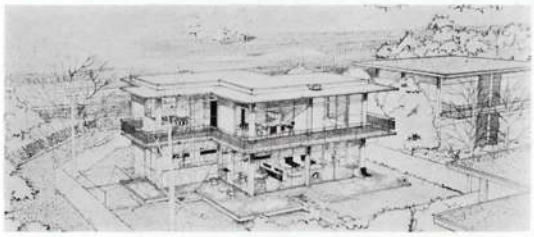




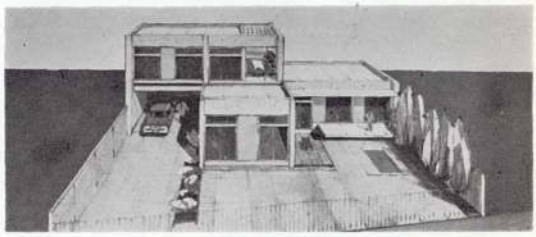
A 敷地　山敷敏雄　堺市　佳作



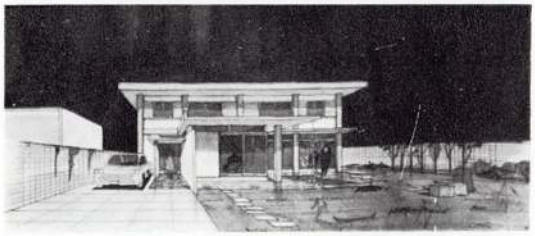
佳作　城所宏　川崎市　敷地 E



B 敷地　畑中康　千葉県　佳作



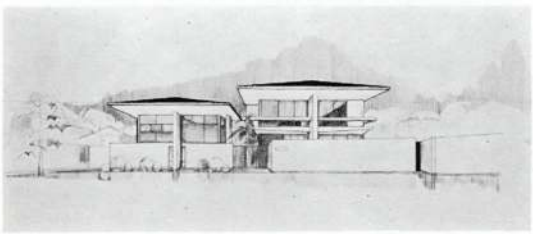
佳作　仲井忠雄・清水欣哉　神戸市　敷地 F



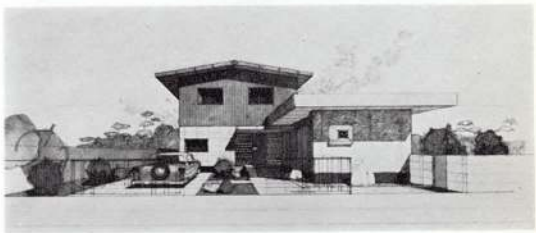
C 敷地　永島馨　東京都　佳作



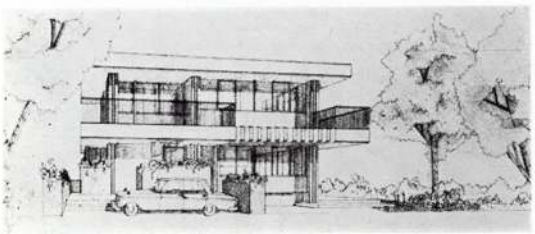
佳作　海野早男　横浜市　敷地 G



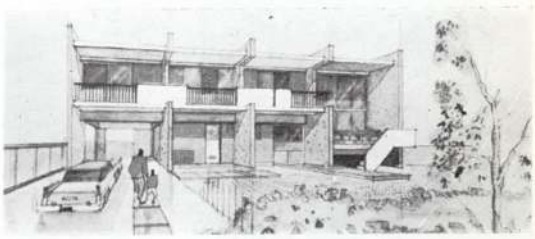
D 敷地　清田美佐子　東京都　佳作



佳作　斉藤日出樹・小倉一彦　川崎市　敷地 H

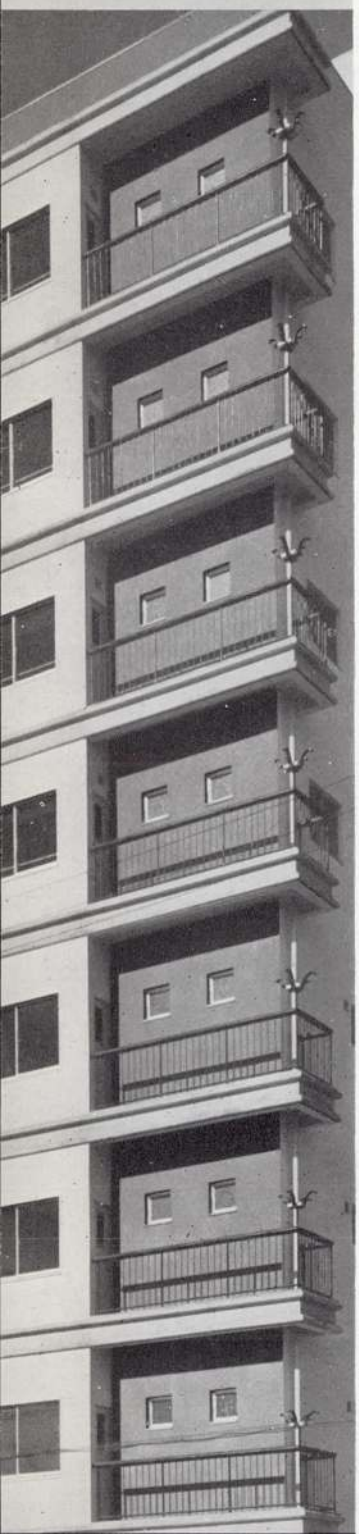


D 敷地　林賢次郎　東京都　佳作



佳作　内田実　東京都　敷地 H

# 建築の眼



担当：松村慶三
水谷顕介
三輪泰司
和田周蔵

本号と次号は左記の執筆者が担当します

## ■ 人つくり家つくり

神武以来，私どもの同胞がすぐにカッとなり，すぐにグサリとやるのは，モンスーン地帯に位置する日本列島の地理的な風土環境に由来する悲しき習性だと私は思っている。すべて根源はふかいといわねばならぬ。少なくとも社会教育を考えるときにはその極限された状態である家庭教育を考えねばならず，家庭教育を考えるときは，先ずその容器について思う。人つくりにはせめて家つくりから始めるのが本当だと思うが，さてどういう家をつくればいいかは大へんむずかしい。食寝分離だの三寝室だのはもう社会評論家にでもおまかせして，私どもはもう少し先の方を見ようではありませんか。

広さや，物理的効果だけでない，もっと綜合的で本質的な性能について，もうそろそろではない，早く真剣に考えないと手遅れになってしまう。今日も数多くの住居が無造作にわれわれの祖国の貴重な土を埋めてゆく。 (KM)

## ■ 街のなかの建築をつくる

環境に対応した建築をつくるということは，建築設計の第一歩だといわれてきた。ところが，この課題に答えようとしたと思われないものが，最近の街の建築の大部分。環境はどんどん変っているのに，建築を環境につなげる段階でのプランニングは，全く昔どおり。内のプランニングは，機能をよく検討した空間をつくりあげていたとしても，外からの機能はほったらかしでスタイルだけが近代的？というわけである。日本の現実の街を再開発するにしろ，開発するにしろ，今までのお手本にしてきた中世以来のストリートアーキテクチュアの手法・近代的ＣＩＡＭの緑の中の高層建築の理論・田園都市のユートピアの環境をつくる理想などを再検討した新しい外からのプランニングセオリーが、今必要のようである。

建築家の仕事は内のプランニングでもう精一ぱい，外からのことは考えられないというのだから，この分野が，アーバンデザイナーの生きた職能の第一歩となるかもしれない。 (EM)

## ■ 事故のかげにあるもの

近ごろ大都会では工事現場からモノが降って来て事件をひきおこして，しばしば新聞紙上を賑わしている。足場用の鉄パイプ，鉄筋，はてはネコ車までが降ってくるしまつだ。建設工事の件数が著しくふえてきたから，事故の件数も増して来たともいえるが，保安養生設備にも原因があろう。大きな現場では保安施設もずい分よくなっているが，問題は大きな事故がないので目立たないが大現場よりも数の上でははるかに多い中小の工事現場の保安設備だ。道路に資材がはみ出したり，仮囲いもあやしげだったり，こまかな迷惑ならずっと多い。市街地の中小工事では工事費の中で占める仮設費が割高になる筈だ。ところが実際にはむしろ低めにされている。工事規模が小さければ事故も小さく従って人的被害も小さい。故に無視してよろしい。こうなっているのだろうか。人間も消耗品あつかいにする精神というと大げさかもしれないが，どこかで根本的にひずんでいるみたいな気がする。 (YM)

## ■ 古い建物にも環境整備を

最近の建物は，建物にほとんど正比例して周囲の環境整備——庭，塀，門等——が行なわれているが，ここ数年前までの建物には，それが大半却下されていた。特に鉄筋アパート群に，それがひどかった。現在，それらのアパートの前に行くとうらさみしい，灰色の世界といった感じだ。建築自身が第一お色気がまったくないのだから，殺伐として来ない方が，おかしいようなものだが，それがまた，すぐに味気のない道路に面していたり，歩道など自然にアパートの人の足で造られたような広場にぽつねんと建てられて，今も依然伝統を固守して，昔の私生児のように，住人すら，かえりみようとしないのは，公営建物の宿命か。建物の再化粧も必要だが，せめて敷地内の化粧代を経上して，これらのアパート群の環境整備をして欲しいものだ。都市の美観もさることながら，あれでは人間形式に何か大事なものが欠けて来るようで恐ろしい。 (SW)

# 特別広告載掲業者目次

（順不同）

昭和38年5月号


◀最近竣工した新建築関係

KK大林組……Ⅰ

KK竹中工務店……Ⅱ

KK岡　組……Ⅲ

KK東和組……Ⅳ

KK阪口組……Ⅴ

KK浜田組……Ⅵ

KKあめりか屋……Ⅶ

◀大阪府農林技術センター関係

鉄道建設興業KK……作品頁

安宅産業KK……Ⅷ

江東電気工業KK……Ⅷ

内外工業KK……Ⅷ

亀　井　KK……Ⅷ

有田タイルKK……Ⅸ

三建設備工業KK……Ⅸ

KK奥村組……Ⅹ

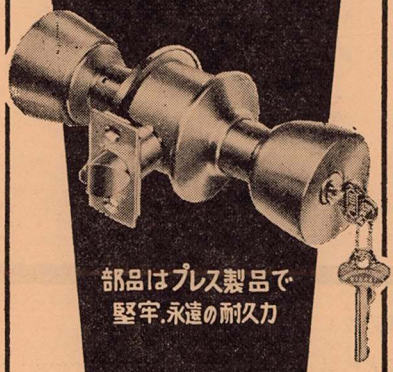
◀阿倍野電話局

KK浅沼組……作品頁

玄関
事務所
間仕切に.

GOAL

近代建築には
ゴール
ユニロック



部品はプレス製品で
堅牢.永遠の耐久力

新製品
ゴールのホープ
ユニ-P
簡単な取付
手頃な価格

扉錠の専門メーカー
株式會社 谷山製作所

本社・工場　大阪市東淀川区三津屋北町4-44
電話（302）代1771～5
東京営業所　東京都港区芝汐留13－5
電話（581）7345・（431）3742
名古屋営業所　名古屋市中区大池町3－6
電話（24）代9281・9744



# 三菱電機ビルディング

| | |
|---|---|
| 設　計 | 三菱地所株式会社 |
| 所在地 | 東京都千代田区丸の内2丁目12番地 |
| 敷地面積 | 4，550．7 m² |
| 建築面積 | 3，307．6 m² |
| 延面積 | 44，307．6 m² |
| 構造規模 | 鉄骨鉄筋コンクリート造地下4階，地上9階，塔屋3階，軒高31.0m，塔屋高43.0m |
| 竣工日 | 昭和38年1月16日 |

## 施　工　株式会社　大　林　組

最近竣工した新建築



所 在 地　京都市左京区吉田本町京都大学本部構内
建築面積　531.563m²（160.798坪）
延 面 積　2,037.786m²（631.556坪）
構造規模　RC 4F 1部B1
竣 工 日　昭和38年 4 月10日

# 京 大 関 電 記 念 館

## 設計・施工　株式会社 竹 中 工 務 店



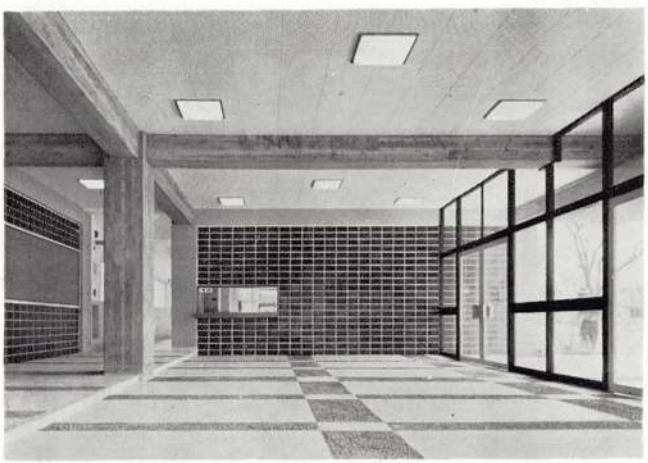
## 池田市池田市立小学校

設　計　株式会社石本建築事務所

## 施　工　株式会社　岡　　組

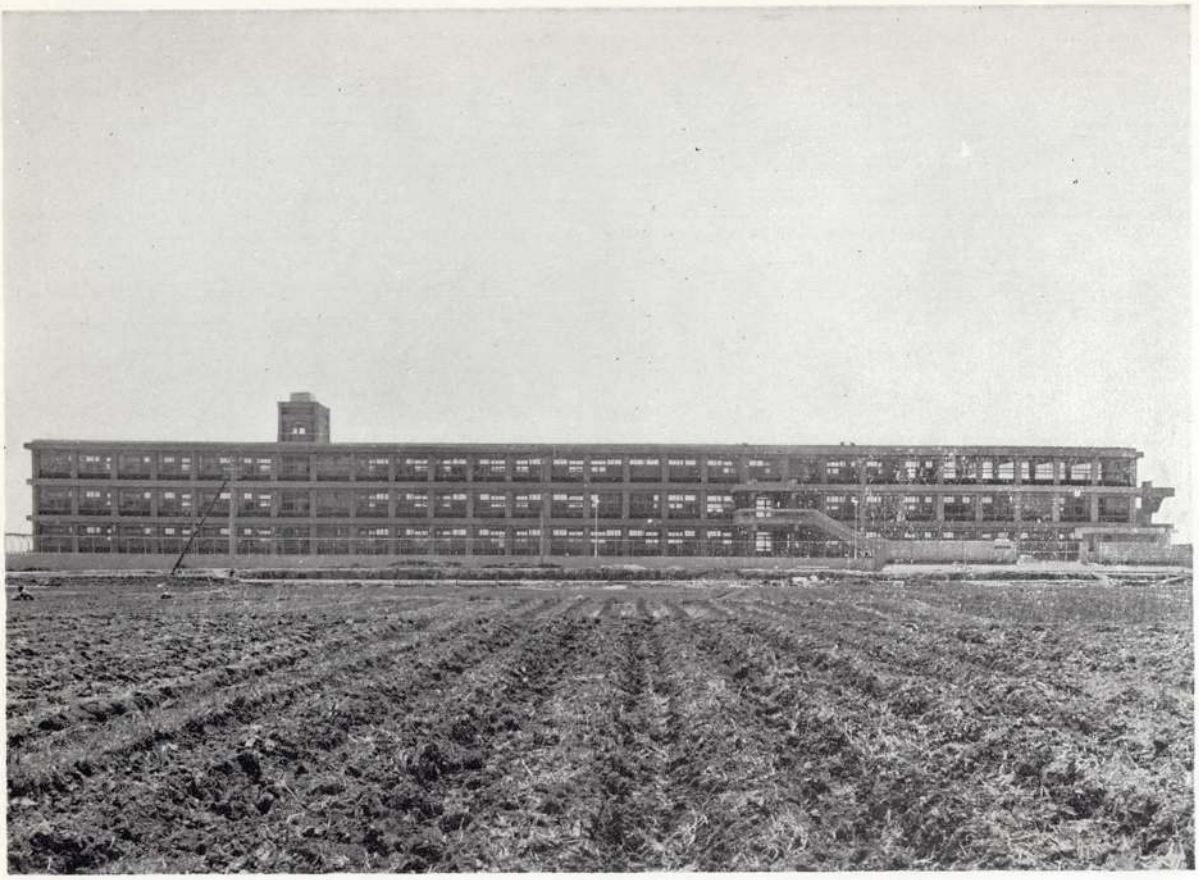
大阪市北区堂山町89

玄関内部



| | |
|---|---|
| 所在地 | 池田市大和町432ノ1 |
| 建築面積 | 860.291m² |
| 延面積 | 4,976.045m² |
| 構造規模 | 鉄筋コンクリート3階建，1部P.H.2階 |
| 竣工日 | 昭和38年3月31日 |

最近竣工した新建築（学校の部）



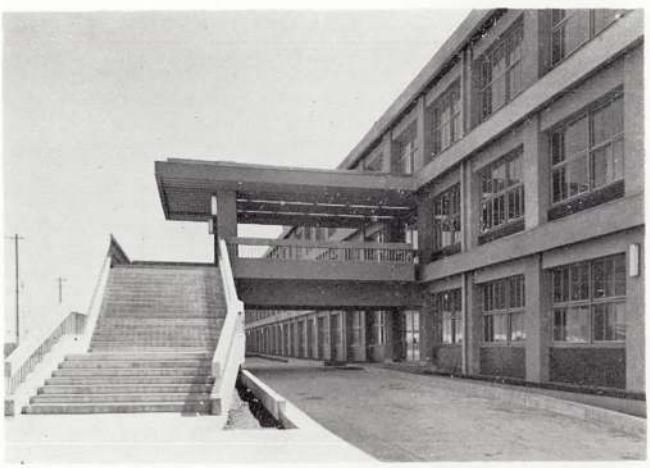
## 大阪府立茨木工業高等学校

設　計　久米建築事務所

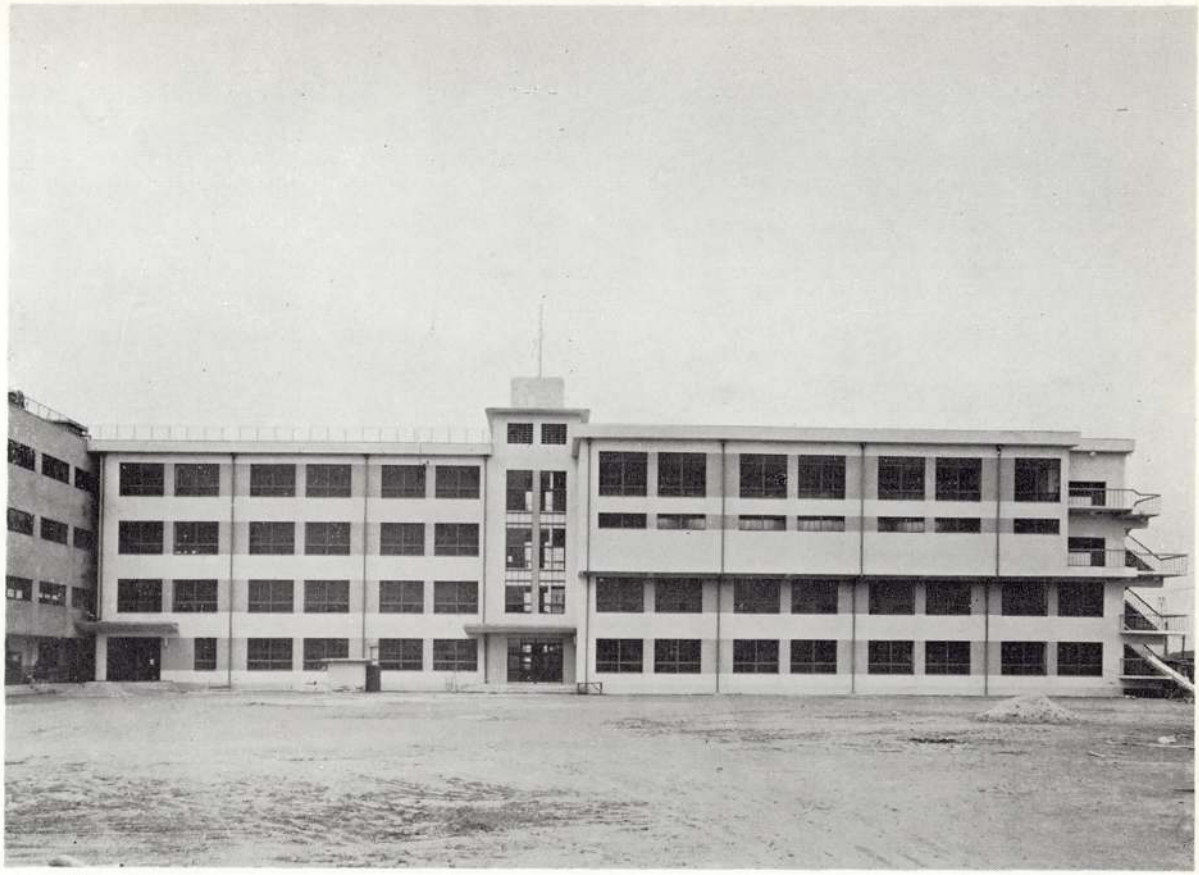
## 施　工　株式会社　東　和　組

大阪市北区梅ヶ町175

| | |
|---|---|
| 所在地 | 茨木市大字倍賀20番地 |
| 敷地面積 | 36,920.83m² |
| 建築面積 | 1,420.85m² |
| 延面積 | 4,159.22m² |
| 構造規模 | 鉄筋コンクリート3階建および平家建 |
| 竣工日 | 昭和38年2月22日 |



最近竣工した新建築（学校の部）



全　景

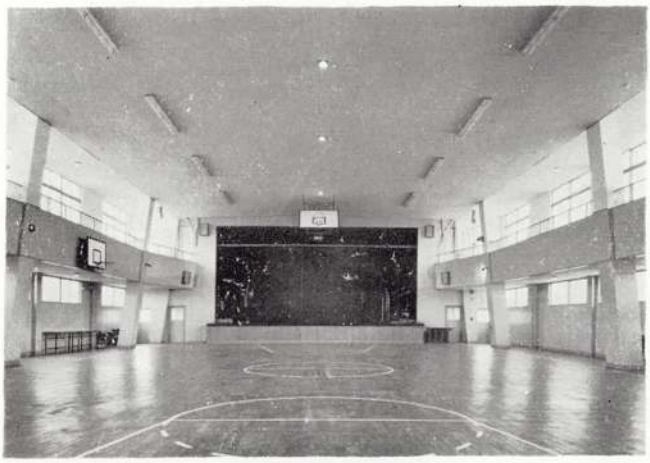
## 朝陽丘学園女子高等学校

設　計　大内建築デザインルーム

## 施　工　株式会社　阪　口　組

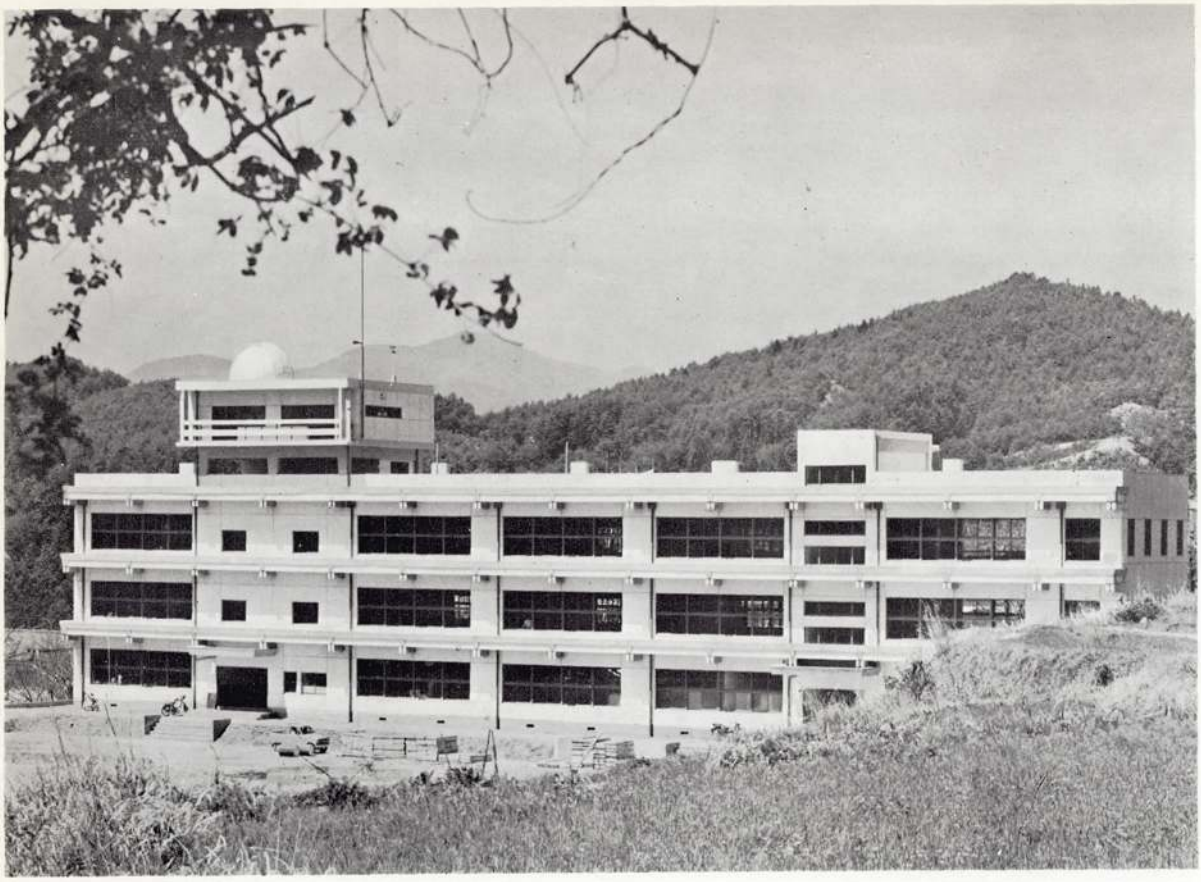
布施市横沼２－１０

体　育　館



| | |
|---|---|
| 所在地 | 布施市森河内西通１－17 |
| 敷地面積 | 14,50)㎡ |
| 建築面積 | 1,071㎡ |
| 延面積 | 4,073.㎡ |
| 構造規模 | 鉄骨鉄筋４階建 |
| 竣工日 | 昭和38年３月31日 |

最近竣工した新建築（学校の部）



# 能勢町立東中学校

設　計　株式会社 翼 建 築 設 計 事 務 所

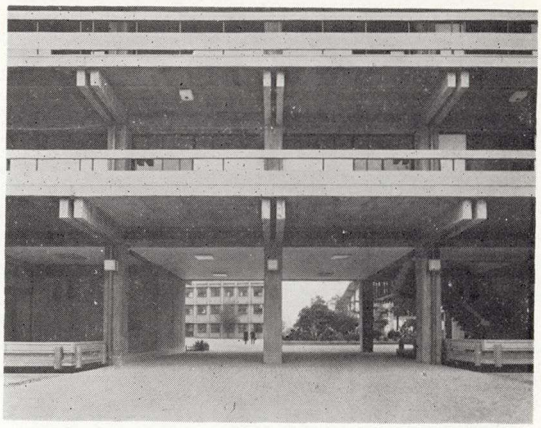
## 施　工　株式会社　浜　田　組

伊丹市溝口75

所在地　大阪府豊能郡能勢町地黄211
敷地面積　107.387m²
建築面積　638.36 m²
延面積　1,986.60 m²
構造規模　鉄筋コンクリート造3階建，ペントハウス2階建
竣工日　昭和37年11月27日



最近竣工した新建築（学校の部）

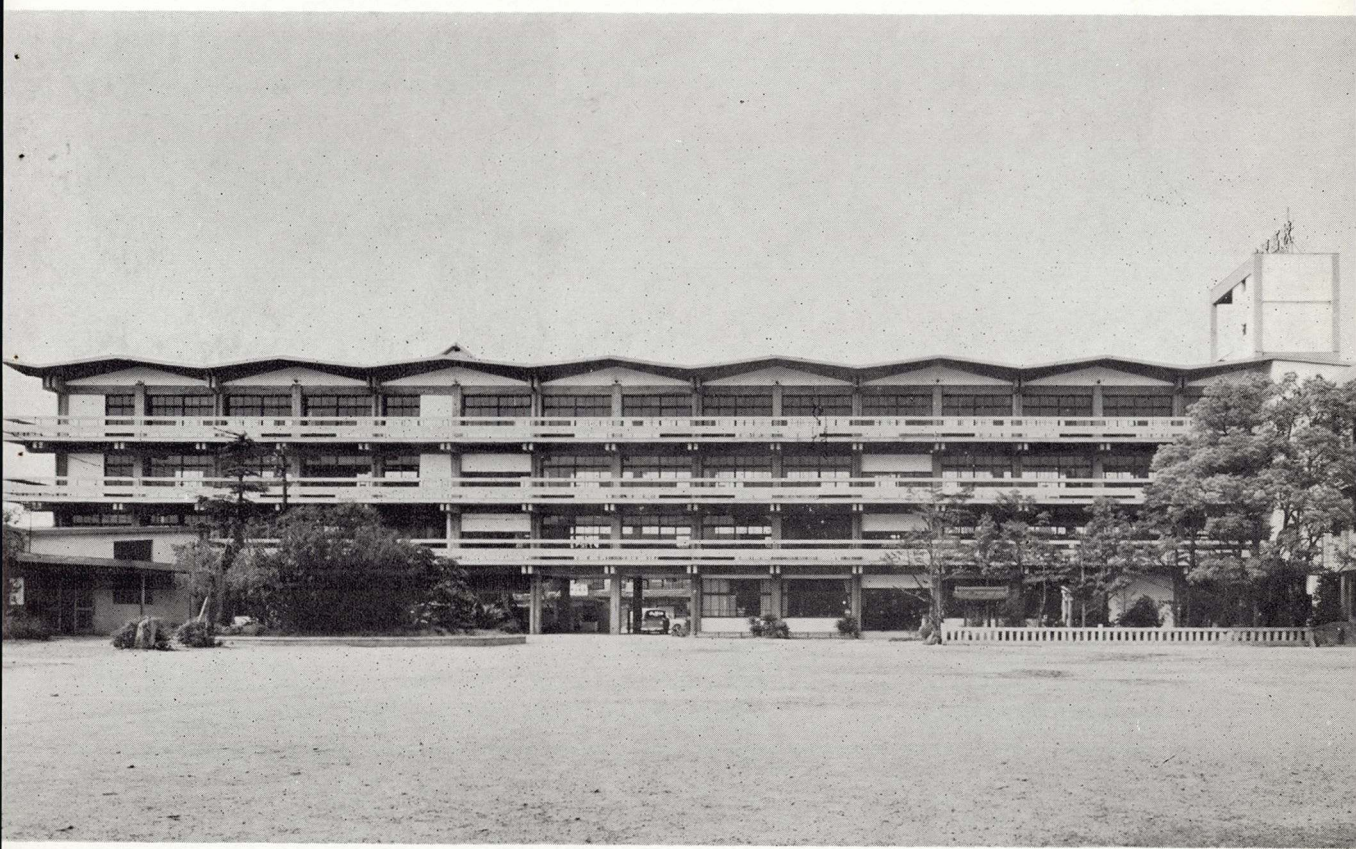


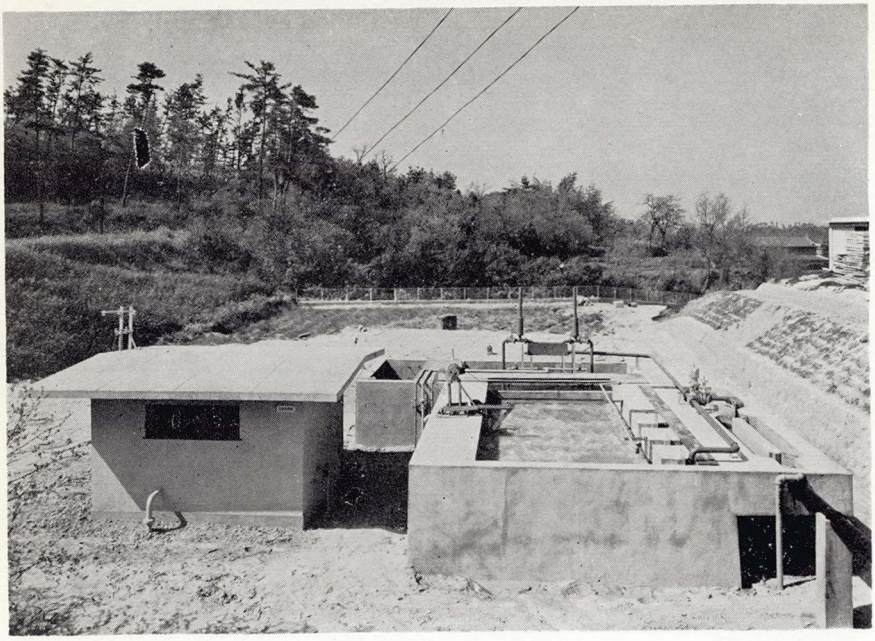
所在地　大阪市住吉区山之内町129
敷地面積　21,309m²
建築面積　1,044.53m²
延面積　4,243.66m²
構造規模　鉄筋コンクリート造4階建
　　屋根　H・Pシェル
竣工日　昭和38年4月5日

## 浪速高等学校本館

設計　KK大阪建築事務所

施工　株式会社あめりか屋





シカゴポンプ方式
レーテッドエアレーション下水ならびに廃液処理施設

安宅産業株式会社

## 大阪府農林技術センター

電灯設備施工

江東電気工業株式会社



防水工事

内外工業株式会社

床タイル貼

亀井株式会社



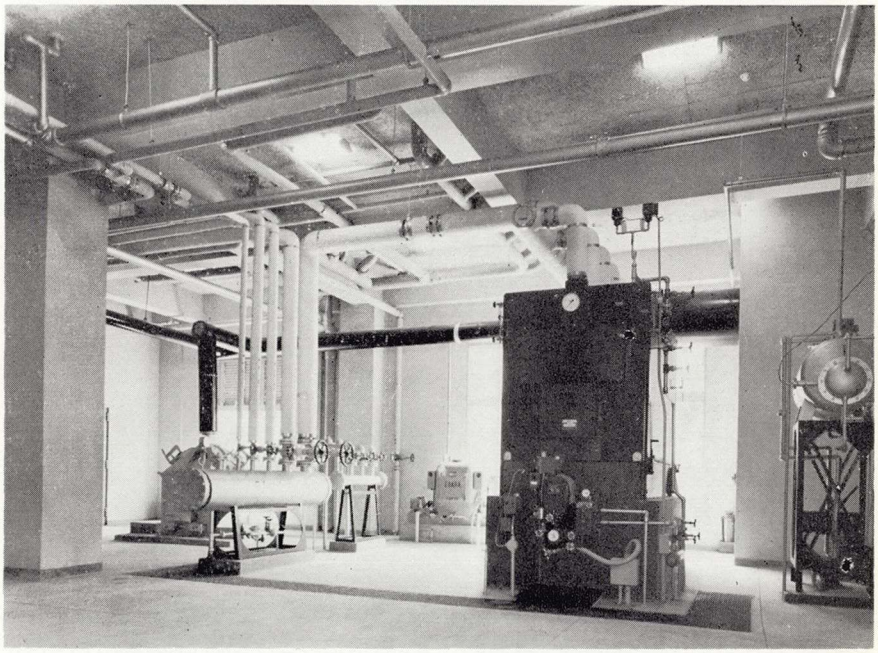
外壁チョコレート色　2丁掛（227×60）

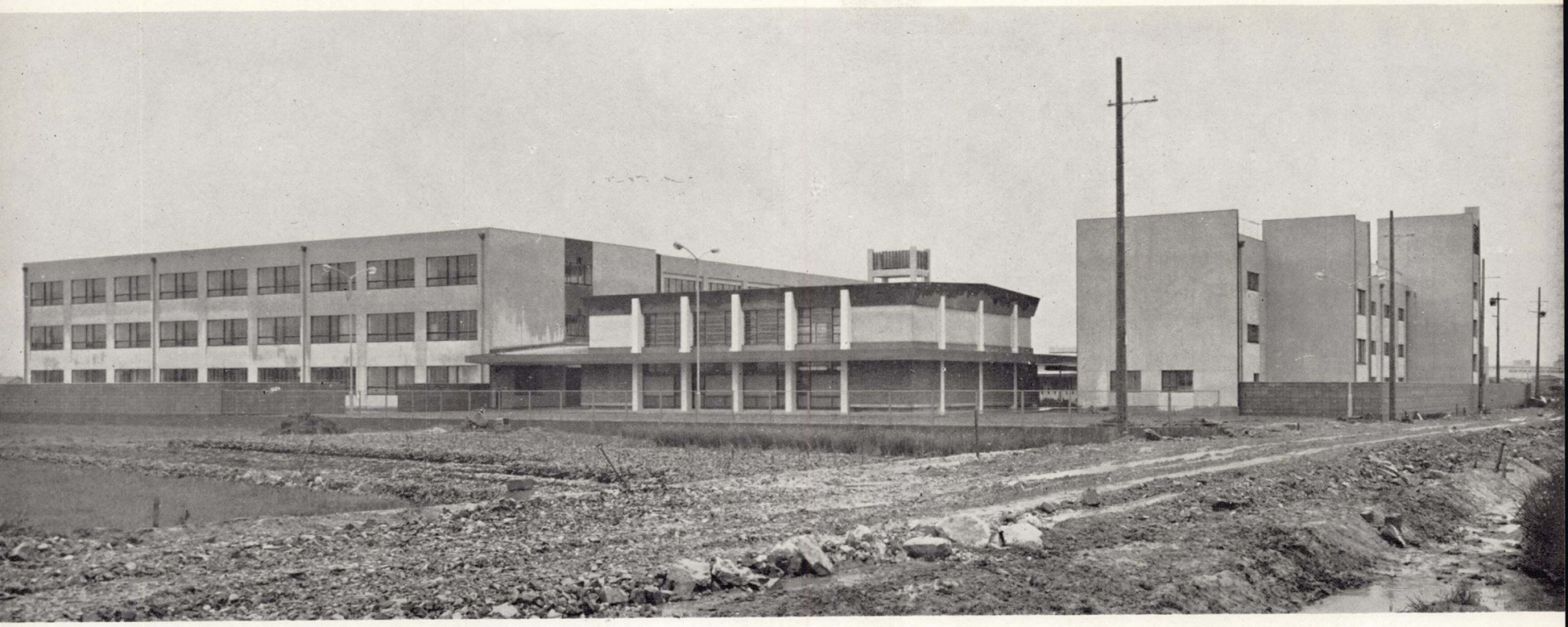
有　田　タ　イ　ル　株　式　会　社

## 大阪府農林技術センター

暖房・換気・給排水・衛生・ガス・消火設備工事

三　建　設　備　工　業　株　式　会　社





# 大阪市立盲学校

設計　大阪市建築局営繕部学校設計課

施工　株式会社 奥村組

| | |
|---|---|
| 所在地 | 東淀川区豊里町 |
| 敷地面積 | 12,000m² |
| 建築面積 | 3,800m² |
| 延面積 | 8,950m² |
| 構造規模 | 鉄筋コンクリート<br>3階建、一部鉄骨造 |
| 竣工日 | 昭和38年3月25日 |



# 社会教育の場と建築

特集

## 1

# 社会教育施設とは

わが国の社会教育施設の現状

**中島俊教**

社会教育施設設計の諸問題

**河野通祐**

# わが国の社会教育施設の現状

文部省社会教育局専門調査官

中　島　俊　教

## 1. まえがき

学校を除く人間形成に役立つ施設，つまり社会教育の場となるような施設をすべて社会教育施設と名づけるならば，関係施設は非常に広い範囲にわたり，クラブ，会館，公会堂，研究所，塾，隣保館から劇場，映画館にいたるまで，あらゆるものが含まれることになろう。

しかし，ここではもっ狭義で純粋な意味の社会教育施設，すなわち，本来社会教育の場となり，社会教育活動を促進することを主たる目的として，すべての人びとに等しく開放される公共的な施設に限って考えてみることとし，中でも，この種の施設として一般に認められている公民館，図書館，博物館，青年の家，児童文化センター，体育館についてのみ述べることにとどめる。

## 2. 公民館の性格と現状

公民館は，戦後　国民が近代的教養を身につける場として，文部省の構想により，昭和21年7月5日の文部次官通牒をもって発足した施設である。最初は，町村に設けられることになっていて，生産振興，自治振興の原動力となるもので，大人の学校であり，町村の図書館であり，博物館でもある町村の総合的な教育施設であるとされた。豊富な施設内容のもので，当時，占領軍も適切な構想であるとして大いに支持したが，戦後の経済事情は政府の努力にもかかわらず，そうした構想の施設の実現をきわめて困難なものとした。その後，新制中学の建設などで一そう情勢が悪化したため，建築を促進することができず，やむを得ず借用の施設で公民館の活動を盛んにすることが奨められたりしたので施設が軽視され，社会教育施設としての本来の性格が曖昧となって，その発展が著しく阻害されることになった。しかし，その結果は公民館の活動が壁にうち当るという事態を招き，かえって施設の重要性が次第に明らかに認識されることになった。こうした情勢の中で，政府も施設，設備の充実に施策の重点を置くことに踏切り，昭和34年12月には「公民館の設置ならびに運営に関する基準」を告示して施設本位の考え方を明確にし，施設の整備に対する国庫補助も大幅に増額されることになったので，市町村も挙げて施設の充実に大いに関心と努力を注ぐようになり，ようやく社会教育施設としての本来の面目が発揮される機運が生れてきたわけである。

しかし，このような経過をたどってきたために，公民館の性格や事業に対する誤った認識はかなり根強いものとなり，今日もなおその発展を少なからず妨げているのが実情であるから，今後，公民館の設計に当る人は，公民館に対する正しい認識の上に立って機能の充実した施設内容を工夫し，一般の誤解や偏見の是正につとめて，進展する社会の要求によく答えることのできるような建築の完成につとめてほしいものである。

では，公民館とはどのようなものとして理解されるべきものであろうか。それは，しばしばそう考えられているように決して集会所でもなければ結婚式場でもない。

第一に，公民館は各種各様の社会教育活動の可能になる場でなければならない。各種講座，研究協議，実習，（家事，工作，機械類取扱，美術，音楽など）展示，発表，リクリェーション，図書の利用，読書相談，相談事業など雑多な事業が行なわれる条件の整ったものでなければならない。

第二に，公民館は人びとに各種の教育活動へ参加する機会を提供するために，上記のような事業を主催すると同時に，個々の人びとや，グループなどが自主的に教育活動を行なうことができるように，その場を提供するものでなければならない。

第三に，それは広く，あらゆる内容にわたって人びとの教育活動を促進する役割を果すものであるから，一般的で総合的な施設であるが，そのために各方面にわたる専門的な要求には応じられないという欠陥を生じるわけであるから，他の専門的各種機関，たとえば，図書館，博物館，視聴覚ライブラリー，保健所，試験所，生活改善センター，児童文化センターなどとの連携を強化し，それから常に資料や助言が得られるような体制をとるものでなければならない。したがって施設としても図書を一時保管し，または活用する場を持ち，資料を一時保管し，これを展示する場を持つだけでそれ自身，図書館で

あり，博物館であるものではない。

第四に，公民館は住民の日常の利用に供するものであるから，広大な市町村の中心地にのみ設けられるべきものではなく，小・中学通学区域や旧村区域ごとに設けられるべきものであり，地区の総合教育文化センターたるべきものでなければならない。それはぼう大な規模の施設であるというよりは，小規模であっても各種の活動の可能となる機能を持つものである必要がある。

第五に，公民館はすべての層の人びとを対象とするのはもちろん，集団の活動だけでなく，個々の人びとの学習や相談にも応じていくものであり，個人の学習，研究，実習にも便宜を提供し，時に助言できる体制を整えねばならない。

第六に，公民館は上記のように地区の教育・文化センターであるが，このような公民館がいくつもある場合，その間の事業上の連絡を図り，共同事業（例えば，巡回展覧会の実施や図書の選択，整理など）を行なう場合の中心となり，また，市町村全域を対象とする事業を実施する公民館を設ける場合がある。一般に中央公民館と呼ばれているものがこれであり，その施設・設備などの内容は他の公民館より充実し，他の公民館の不足を補うことのできるものであることが必要である。

したがって，公民館の設計はこうした公民館の機能を正しく把握した上で行なわれなければならないのであるが，現状は必らずしもそうではなく，機能のきわめて貧困な施設が多いために，逆に公民館の多面的なるべき活動が制約されているありさまである。大集会のみの機能しか持たない講堂公民館や，大・小集会の機能しか持たない集会所公民館などは，悪例の最たるものである。

現在，全国に公民館の本館と称せられているものは約8,000 ほどあり，そのうち，独立の施設を持つものはその半数で，平均面積約 400 平方メートルであるが，施設内容の充実しているものとなると約1,000館余に過ぎず，ある程度まで整っていると認められるものを入れても1,500 館余で，他は公民館本来の機能を発揮するためには，改装，改築，増築を必要とするものと見ることができる。また，4,000 館ほどはまだ施設も有せず，この他に公民館を設置しない市町村も 400 程度あるので，なお相当数の公民館の建築が必要とされているわけである。国では，昭和26年から公民館の建築の補助を行なっているが，本格的な助成に乗り出したのは昭和35年度からで1館当り約100万円，36館の助成を行なって起債も150万ほどつくことになったことが，建築機運を大いに盛上げたわけである。続いて36年度は82館，起債平均200万円，37年度は107館，起債平均300万円，と助成が行なわれ，38年度は 128 館助成の予算が決るなど，公民館建築は急速度に進められてはいるが，なお建築希望の市町村が多数で要請に答えることができず，助成公民館数の増加と1館当りの補助額の増額が強く要望されているありさまである。そこで，府県の中でも，福岡，愛媛，大阪，愛知，静岡，神奈川，千葉，埼玉，山形，秋田，岩手，北海道のように年々数百万円の補助金を支出して，県単独で建築助成を行ない，国の選にもれたものの助成を行なっているものもあるので，全国の公民館建築はかなり進んでいると見られており，施設内容もしだいに充実し，構造も鉄筋コンクリート造が著増してきている。ただ，昭和34年12月に告示された基準（公民館の設置ならびに運営に関する基準）に最低 330 平方米という面積が示されているのと，補助金の得られる建物の規模が 400 平方メートル前後からであり，どんなに規模が大きくなっても同額であることから，最近は小規模な公民館を建築するものも比較的多いようであるが，実際には最低 500 平方メートル（昭和 37 年度建築補助公民館の 平均面積は 600 平方メートル）はなければすぐ使用上不便を感ずることになるので，施設内容をできるだけ機能的なものとする工夫とともに，規模についても許される限り，その増大を図るなり，増築計画を考慮するなりしておく必要があるようである。機能の点でも，展示，実習などの要素，レジャーセンターとしての要素など，これからの公民館に欠くことのできないものであるから，そうした要素を加えることにも格別の配慮が加えられる必要があるようである。

## 3. 図書館の現状と問題

昭和38年 2 月現在の 全国の 公共図書館の 数は，本館598，分館113で，本館の内訳は，都道府県立が52館，市立が371館，町村立が175館であるが，職員数，年間増加蔵書数，その他一定水準以上と見られるものは，わずか64館に過ぎない。

昭和25年図書館法が制定されて以来，蔵書を整備して利用を待つという消極的な図書館から，人びとに積極的に奉仕をする図書館がしだいに育ってきたことは周知の通りであるが，今日では府県立と大部分の市立図書館は読書相談を行ない，貸出文庫を実施し，時には移動図書館によってサービスにつとめるようになった。しかし，経費，職員，蔵書などの不足によって，じゅうぶんな奉仕のできない場合が多いのが実情で，ことに町村の図書館ともなると，職員も図書もわずかで，新らしい図書館としての機能を発揮できない場合がほとんどであるといってよい。したがって，図書館を人びとの生活と直結するようなものとするためには，画期的な助成措置なり振興方策が必要であるが，新しい図書館に対する一般の認識も低く，まだ積極的な方途も講じられていない状態である。ただ，いままでその必要が大きいにもかかわらず育たなかった町村図書館に対して，国では昭和37年度から試験的にただ一館ではあるが，農村図書館の設置を助

表1　全国公民館数　　37.11.1

| 館種＼設置者 | 市（区） | 町村 | 計 |
|---|---|---|---|
| 中央館 | 419 | 2,060 | 2,479 |
| 地区館 | 2,750 | 2,911 | 5.661 |
| 計 | 3,169 | 4,971 | 8,140 |

この他に分館　約 10,000
類似施設（部落，町内公民館）15,000

表2　全国公立図書館数　　38.3

| 館種＼設置者 | 県立 | 市立 | 町村立 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 本館 | 52 | 371 | 175 | 598 |
| 分館 | 71 | 37 | 5 | 113 |
| 計 | 123 | 408 | 180 | 711 |

表3　全国博物館数

| 館種＼設置者 | 国立 | 公立 | 私立 | 大学立 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 総合 | 0 | 40 | 17 | 2 | 59 |
| 科学 | 3 | 31 | 24 | 5 | 63 |
| 美術 | 6 | 24 | 81 | 2 | 113 |
| 歴史 | 3 | 37 | 74 | 13 | 127 |
| 動物 | 0 | 32 | 11 | 0 | 43 |
| 植物 | 1 | 14 | 14 | 11 | 40 |
| 水族 | 0 | 28 | 22 | 9 | 59 |
| 計 | 13 | 206 | 243 | 42 | 504 |

登録 96　　相当施設 179　　その他 229　　計 504

成することになった。これは農村モデル図書館と呼ばれるもので，建築費二分の一296万円，移動図書館車一台購入費二分の一60万円，図書2,000冊の二分の一70万円を助成するのであるが，38年度も既にこの二館分の予算が決り，近く設置町村が定まることになっている。ただ本格的な図書館として運営するには最低6～7名の職員と年間300万円以上の経費を必要とするため，一町村の経営では困難が伴う関係から，市町村の組合立にするか，県の分館を兼ねるような方法で運営の充実を期することが必要だと考えられ，活動面でもただ付近の人びとの閲覧だけに力を注ぐのでなく，機動力をもって各公民館その他の機関など広範囲にサービスをすべきものとされている。

なお，県立図書館や市立図書館の建築については，施設内容の整ったものが多くなり，希望も少なからず出ているが，国の助成は僅かに177万円で施設の規模からいっても，建設希望数からいってもとうてい要望にそえない状態で，37年度などはこれを3館に配分して助成するというような措置を講じたが，その増額が関係方面からは強く要望されている。

このほか，最近の一つの傾向として，視聴覚資料を図書館に置く館が増加し，特に府県立にこの事例が多いが市町村立の場合でも，貴重な視聴覚資料で放置すれば散逸するようなものを保管する必要があるほか，公民館その他に対する資料センターとしての役割を果すためにはレコード，スライド，録音テープなどの視聴覚教材の保管も必要であろうから，施設面にもそういう点の考慮が必要となるであろう。

## 4. 博物館の現状

博物館というものは，いずれも実物，模型，標本等のそれぞれ専門的資料を保有してこれを整理し保管し展示して，一般に公開するものであって，その資料の種類により，さまざまな名称のものがあると同時に，設立の事情からいっても，学術研究の資料の蒐集保管が主目的である場合があり，文化財の保存という面から発足するものもあり，また最初から純粋に社会教育を目的として設立されるものもあるというぐあいで，実に雑多なかたちのものがあるわけであるが，一応，これを総合博物館，科学博物館，美術博物館，歴史博物館，動物園，植物園，水族館に分けてみると，その現状は表3のようで，その数は504あることになる。しかし，資料の質や量，学芸員の設置の有無，教育的配慮のもとに行なわれる展示の有無，調査研究実施の可能性の有無，建物の有無などの点で都道府県教育委員会に正式に登録を認められ，各種の免税措置などの特典の得られる，いわゆる正式の博物館の数は大小合わせて全国にまだ96館しかなく，このほかに内容は登録博物館に匹敵するが，所管関係（公立博物館は教育委員会が管理しなければならないが，市町村立が直接管理する場合は，登録博物館にはならない）などから登録博物館とならないもので，文部大臣が審査の上博物館相当施設として指定し，登録博物館に準ずる扱いをしているもの179館を加えても275館に過ぎず，実物教育の重要性からして博物館の増設の必要が痛感されるわけである。

しかし，博物館には資料の展示と保管にじゅうぶんな考慮の払われた建物の建築に加え，資料の整備という困難な問題が伴うので，その増設は容易ではないが，最近は公・市立ともに博物館建設の機運が高まり，建築計画が随所に立てられているので，毎年建築補助1館160万

円（ほかに設備費150万円）という少なきに過ぎる。国の補助額の大幅な増額によって建設を促進するようとの関係方面からの要請が高まっている。

表4　昭和37年度社会教育施設整備費補助金交付状況
（設備に対する補助金は一部を除いて省略）

1．公　民　館（37年度予算額　124,278千円）

（1）施設費補助

| 申請館数 | 補助対象館数 | 補助総額 |
|---|---|---|
| 151館 | 107館 | 104,300千円 |

（2）起　　債

| 申請館数 | 申請総額 | 許可館数 | 許可総額 |
|---|---|---|---|
| 107のうち92館 | 311,569千円 | 86館 | 155,800千円 |

2．図　書　館（37年度予算額　13,824千円）

（1）一般図書館施設費補助

| 申請館数 | 補助対象館 | 補助総額 |
|---|---|---|
| 5館 | 茨城県日立市立図書館 | 710千円 |
| | 新潟県高田市立図書館 | 1,000 |
| | 和歌山県田辺市立図書館 | 1,000 |
| | 3　館 | 2,710 |

（2）農村モデル図書館施設・設備費補助

| 種別 | 申請館数 | 補助対象館数 | 補助総額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 施設 | 8館 | 1館 | 2,960千円 | 茨城県出島村 |
| 設備 | 図書購入費 | | 350 | |
| | 自動車文庫 | | 600 | |
| | 計 | | 3,910 | |

3．博　物　館（37年度予算額　3,108千円）

施設費補助

| 申請館数 | 補助対象館数 | 補助総額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1館 | 1館 | 1,500千円 | 和歌山県立美術館 |

4．青年の家（37年度予算額　53,805千円）

施設費補助

| 申請館数 | 補助対象館数 | 補助総額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 15館 | 12館 | 53,805千円 | |

5．児童文化センター（37年度予算額　840千円）

| 申請館数 | 補助対象館数 | 補助総額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 5館 | 3館 | 840千円 | |

## 5．青年の家，児童文化センター

青年の家は，勤労青年が団体宿泊を通して各種の教育活動を行なうために利用するもので，昭和30年度から発足した新しい社会教育施設である。「青年の家」と呼ばれるようになったのは33年度からであるが，その年度からは毎年5,000万円から6,000万円の補助を行ない，毎年十数館宛の建築が助成され，現在その数は93となっている。設置者は都道府県，市または町村の組合立であることを原則とし，施設の型としては職業技術研修を主とするもの，野外活動を主とするもの，研究会・講習会を専ら行なうもの，またはこれらを総合的に行なうものなどがあるが，設置される地域の環境や地域の必要に応じてそのいずれかが選ばれてよいことになっている。

青年の家の建設に対する国の助成は，1館当り400万円から500万円程度であるが，最近は建築費が2,000万円程度の鉄筋コンクリート造りのものが多くなっている。

## 6．児童文化センター

これも昭和34年度から国が建築の補助をして設置を勧めているもので，遊びの中に，こどもの科学精神を啓発し，文化活動を促進して，幼い芽を育てることを目的とするもので，ただ遊び楽しむ場を与えるというのでなく，教育的環境を与えることを目指すものである。展示場，工作室，図書室，集会室，リクリェーション・ホールなどを備したもので，周辺地域の児童文化活動の拠点ともなるものである。国では各都道府県の中心的な都市に設置を進めているが，年々3館宛助成し，既に12館が完成している。補助額は1館当り設備補助も含め280万円程度である。

## 7．体　育　館

社会体育館は現在，その数およそ130館であるが，国では昭和34年度から助成をはじめ，34年に5館2,300万円，35年に10館4,200万円，36年17館7,514万円，37年16館7,072万円と助成を続けて現在に及んでいるが，ほかに助成なしで建てられているものもあり，また，公民館の講堂を体育館としているものも少なからずあり，社会体育の振興に伴い漸次施設も充実の一途をたどるものと考えられている。

# 社会教育施設設計の諸問題

社会教育施設研究所

河野　通祐

## 序

社会教育施設を建築家が意識して設計の対象に取上げるようになったのは極く最近のことであろう。それは学校施設の建設に一応の目度がついたこと「人造り」という言葉に対応して政策的に社会教育に注意を向け始めたこと，政治家が人気獲得のためにこの種の施設を民衆に与えることの効果が意識され始めたこと，などの理由によって施設建築の建設を促進させていることによると思われるが，いずれにしても建築家が民衆の側に立って社会教育を認識した結果からではなく他律的な要求からによるものである。つまり注文主からの設計や計画の依頼が多くなったからやむなく対象となり始めたという段階にすぎない。したがって，現在建てられつつあるこの種の施設，特に公民館，青年の家，児童文化会館，等々にあってはそれが民衆の施設であるにもかかわらず，民衆を教育によってある方向に方向づけるための施設として，つまり上から下え「与えるもの」としての思想が強く民衆の要求に基く施設としての空間や造形が創られていない。建築家は主として官公庁から与えられた要求にしたがって，要求された部屋を平面的につなぎ合わせているに過ぎないのが現状である。民衆の施設であるということは建築家もまた民衆の一人として民衆とともに考え，民衆とともに相互教育活動の方向を探究し，民衆の心情とともに空間を創り，環境を創る責任を持っているにもかかわらず，現状ではむしろ権力に隷属して民衆の上に君臨する形でこの種の施設設計に当っているところに多くの問題を含んでいる。いろいろな面で社会教育が問題になっている今日，建築家の側における本質究明こそ重要な課題であり，社会教育活動の背後にある社会教育に対する思想の認識を出発点としてその解明の足がかりとすべきであろう。何故ならば，今日社会教育および社会教育施設には二つの流れがあり，その一つは歴史的な日本の特異性を継承してゆこうとするものと，他の一つにはその歴史的な流れを否定することによって新しいものを築こうとするものとがあるからである。

## 社会的教育の概念とわが国における歴史的特異性

教育作業がもっとも自然な形で行なわれていたのは社会生活の実践者である親が，その実践の場で随意にその子を教育するという素朴なものであったが，社会の発展は次第に家庭からそれを分離して社会にゆだねるようになり，組織化されて学校という形態をとるようになった。しかし今日の学校と呼ばれるもの以前においては，それはほとんど一部の特権階級に属するものの私的な関心の対象であったが，生産力の急速な発展を基とした文化の変動に対して，それに対応するための国民国家の成立および国家主義の高揚とが近代市民社会の担い手である資本家の子弟にたいして学校による教育の組識化に関心を持つようになり，それが一般民衆子弟にたいしてまでおよび，今日の学校が生れたのであるが，教育の組識化はそれで終ったのではなく，学校の中に入れない社会の成員に対する教育も次第に組織化され，その一部は学校教育の枠内で次第に制度化されていった。

「社会教育」と呼ばれるものは近代文化の成立発展の基盤の上に，学校教育に対するものという概念として生れ，主として一般民衆の成人，青年を対象とする教育として観念づ

けられて来たものである。ところで，わが国の民衆教育が組織的に行なわれるようになったのは明治以後であって，明治の新政権は中央集権的な基礎を確立させるために天皇を中心とする家父長制家族国家の倫理を築き上げ，それを学校教育に導入して民衆教育の基本的イデオロギーとし継承されてゆく。一方，わが国の資本主義化への道が官僚，地主，資本家の媾合のうえに進められたということが，欧米の資本家がその市民的要求を実現させるためにその援助者としての民衆を獲得しようとする民衆教育活動の展開であったことに比べて著しい対象をなしていたことが，わが国の教育思想，そして教育活動の上に特殊な性格を築いて来た。

学校制度の確立をみた時においても，学校教育以外の民衆教育の必要を人々に意識させ「通俗教育」という名によって社会教育という概念の発生をみたが，それが上流人士の中からその重要性が論ぜられたものの，資本主義の成立にともなう一般民衆の貧困化と悪徳の発生に対処するための「上から」の慈恵的な社会政策の実施と民衆啓蒙をうったえる「論」の段階を出るものではなかった。このようにして，わが国の社会教育は「下から」の民衆運動として起らず，また民衆自身がそれの担い手と意識して発展せず，つねに官僚をその主な担い手として進行して来たのである。

したがって，社会教育というのは包括的には正規の学校教育以外の一般民衆に対して行なわれる組織的な教育の総称として概念することが出来るが，このような抽象的な理解のうちには歴史は過程によって性格づけられて来た各官庁が行なう民衆教育であり，ことに各官庁の行なう教育の中心的，総合的な役割を占める文教行政としての民衆教育であるとする具体的な理解がひそんでいる。このように，わが国の社会教育が民衆の側から民衆の要求に基いて組織立てて行なうものとして発展せずに，以上のような政策的，思想的な背景を持って進展して来たことは社会教育施設という概念にも，また特殊な概念を持つようになって来た。

## 社会教育施設に対する概念

敗戦までは社会教育の施設という言葉は二つの意味に使われていた。一般的に博物館などを教育的な観覧施設であるという場合，この「施設」の概念は建物を含めてこれを運営する機関全体を意味していたが，公式的には「所」という表現が用いられ，この種のものを「施設」とはいわれなかった。さらに昭和8年に公布された図書館令においては，その第1条に「図書館ハ図書記録ノ類ヲ蒐集保存シテ公衆ノ閲覧ニ供シ其ノ教養及学術研究ニ資スルヲ以テ目的トス。図書館ハ社会教育ニ関シ附帯施設ヲ為スコトヲ得」と記されており，ここでいわれている附帯施設というのは決して建築物その他の営造物を意味しているのではなく「為スコト」のできるもの，つまり現在考えられている「事業」の意味であって，図書館が主催する公開講座などを意味していた。

このような用法は政府が国民の社会教化に強い関心を示し始めた明治の末年から使われていたのであるが，すなわち，明治44年に出された「学校教育ノ余暇ヲ以テ通俗教育上適当ノ事業施設ニ尽力方」と題する男子高等師範学校宛の普通学務局通牒には「通俗教育ノ施設方法等ニ関シテハ過般来本省通俗教育調査委員会ニ於テ調査中ニ有之候得共大体ハ国民道徳ヲ涵養シ健全ナル思想常識ヲ養成スルニ在リ，而シテ其ノ普及ニ就キテハ道府県ニ於テハ地方ノ教育会ヲ活動セシムルハ勿論，各学校ニ於テモ夫々適当ノ施設ヲ為シ……学校教育ノ余暇ヲ以テ通俗教育上適当ノ事業御施設相成度……」と書かれてあり，この例でみても施設は明らかに営造物の意味を全く持っていない。通牒の標題の「事業施設」ということばの意味は「事業を施設する」ということであって「施し設け」あるいは「施しとして設け」るものと解釈されるのである。昭和に入ってから，文部省が出している「成人教育実施概要」などの報告書によってみても「成人教育施設」「公民教育施設」「家庭教育施設」「労務者教育施設」「融和教育施設」などに分類されていて，ここでも施設が講座や講習会を意味していた。このような営造物軽視，または無視の思想は日本の敗戦前の社会教育の性格をはっきり特色づけていたが，それは物的な施設よりも精神的振作であ

り，国民をして語らせるよりも上意の説示に急であったことを示していた。

しかし，現在政府や公共団体が行なう社会教育上の施策では，施設の充実ということが第一の要件といわれ，この施設は前に述べた講座や講習会を意味するものではなく，あくまでも建築物その他の営造物を指しているのである。しかし，このような戦前からの概念は今なお至るところに存在し，それが今日の社会教育施設の建築として闡明にされ得ない原因ともなっている。またこのような戦前の思想を背景とした催し物は，昭和2年の統計によると全国47道府県で文部省の指示に従って実施した講座・講演会の会場は全体数の58％が学校を場として行なわれ，しかもその中での81％が小学校であった。小学校についで寺院での開催が多く全体の9％をしめていた。このことも，またわが国が社会教育活動を特異なものにしていたことを証明している。

寺院は本来衆生にたいする説教の場であり，学校は本来未成熟者にたいする教授，訓話，講義の場である。このような場における活動は本来的にこの種の形態のものと同一視させる傾向をとらせた。座席の位置をみても，多数の聴衆と一人の話者とを対座させるという形式をくずすことが出来なかった。（現在の公民館建築に集会室としての講堂が重視され，はなはだしい場合には講堂即公民館というのさえあるのと対象してみるとよい。）この形式が根本的に民衆相互の横の結びつけを妨げ，相互の語り合いによる問題交換や批判の発芽をおさえつけていたことは当然であろう。訓話的，上意下達的な社会教育はこのような形式の中で民衆にも支配者にも徹底的に浸透していったのである。そうしてこのような習慣がわが国社会教育活動の上にも，また施設計画の中にも民衆の中からのものとしての性格を築くことが出来ず，今日においても社会教育といえば説話をすることであるという考え方であったり，また一方，民衆の側でも社会教育の催しに参加するということは何かためになる話を「承り」よい映画を「見せていただく」ことという考え方をするものの多いことを示し，民主々義社会における社会教育としての基盤が出来ない原因にもなっている。

## 民主的社会における社会教育施設

社会教育は民衆の側から民衆相互の問題として起って来たものを民衆の自主的な相互教育または話し合いによって解明してゆく作業であるといわれていながらも，その実体は前段階的なものであり，建築それ自体を見ても「上から下え与えるもの」を造って民衆を集めて教育するといった学校様式のものが多く，また環境を創るべき建築が「営造物軽視または無視」の思想を背景としてイージーな機能主義に終って人間としての民衆を忘却したものになっていたりしている。

もともと民主社会での社会教育活動というのは，民衆自身のために民衆自身の自主的な相互教育，相互学習活動であり，社会教育施設はこのような民衆の横のつながりを発展させるとともに，さらに進んで組織的な教育活動にまで進展させ，環境と建築を通して創ることであり，これが建築家の責任でもある。そのためには民衆が抱いている生活上の諸問題を整理統合して環境造成のために何が要求されているかを発掘し，その要求に基いた空間を造形的に創る技術的な方法を打ち立てることがこの種の建築を計画・設計する建築家としての目下の急務であろう。この方法の確立こそが真に民衆の側に立った建築を創るものとなり得るであろう。

現在，社会教育施設といわれているものは，博物館，図書館，公民館，青年の家，児童文化会館，それに特殊なものとしての青年館等があげられているが，すでに見て来たように社会教育の概念，対象，活動という点から今日の実状を対象してみると，それぞれの施設に多くの問題があることが発見されよう。そしてさらに類似施設が多くの場合混同された概念によってイージーに建築されていることも認識され得よう。社会教育施設が如何なる思想を背景として如何なる目的で社会施設としての意義を持ち，建築家として如何に対決するかはまだまだこれからの問題である。建築としての技術以前の問題解明こそ建築家として計画し設計するものの出発点となすべきであろう。

参考　社会教育の概念　碓井　正久
社会教育の施設　三井　為友




## 2

# 公民館と図書館

公民館計画の諸問題
西川　馨

これからの公共図書館計画
栗原嘉一郎

# 公民館計画の諸問題

社会教育施設研究所

西　川　　馨

公民館の発展経緯，その社会的な役割については他の章にゆずることにして，ここでは実際計画上の問題点について述べてみたい。

すべての建築を計画するさいには，その建築に要求される機能を把握することが必要であるが，公民館建築の特徴は，その要求される機能内容が，各地域の実状によって実に千差万別であることである。このことは公民館の活動自体の地域差からくるものであるが，それは公民館が各地域社会にその基礎を置いているものである限り必然の結果であろうと思われる。すなわち，都市部の公民館と農村部のそれとは明らかに違った平面となってくる。

次に公民館建築の特徴ともいうべきものは，各室の使われ方の多用性である。後に掲げるように，各タイプごとに機能内容を大別してはみても，その各々のタイプの中において，その企画の種類は大変な数になる。すなわち，同一企画が催される年間最大回数はせいぜい40回足らずであり，大部分の企画は年数回であって10回台に及ぶものは稀れである。そのような頻度の少ない企画で一年を通じて各室を満たすには，勢い一室で行なわれる企画の種類は多数に上らざるを得ない。ここに各室の多用性が求められてくる訳である。

さらに第三の特徴ともいうべきものは，公民館建築におけるデザインの土着性であろう。この点についてはいささか私見に及ぶが，今後注目に価すると思われる。

上記三点を中心に以下詳述を加えてみる。

分業化が進んだ今日では一般に一つの建物内に収容される生活は一つの目的から成り，建物の要求される機能もその目的に沿って集約されるのがつねである。すなわち，学校における「教育」，ホテルにおける「宿泊」というように。しかるに公民館における「社会教育」がそれに相当するとはいうものの「社会教育」自体，その手段としていろいろな活動を包含しているばかりではなく（例えば，健全娯楽までも社会教育の中に含めるなど）実際には各地域の中で効果的な社会教育活動を行なうためには，その周辺の活動をも併わせ行なわねばならない場合もあって，結果的に公民館建築に要求される機能は二つ以上の機能の複合の形を取って現われてくる。例えば，共同意識の涵養の目的や，生活上の必要をとらえての共同作業の習慣を身につけるという目的からは，蚊とハエの駆除運動や，季節的な託児所の開設などが生れてくるが，それら本来の公民館活動からもとるとも思えるような総合的活動が活発な所ほど，本来の教育活動も成功しているという実例からみても，それら活動は今後も決して無視できるものではない。

以上のような考察とこれまでの研究の結果から，われわれは千差万別な公民館活動を次のように分類し，実際に現われる形はそれらの組合せで，かつ各々力点の置き方が違うものであると見る。

A. Communication ＜ Guidance / Community Organizer
　意見の交流から組織活動へ
B. Community Facility
　厚生，産業上の活動
C. Cultural Center
　資料センター
D. School
　狭義の教育活動
E. City Hall
　自主的な企画，集会のための場の提供

これらのすべてを兼ね備えている例はほとんどなく，また，都市化の進んでいる地域ほど各要素ごとに分業化し，単純化してくる傾向にある。

「公民館は住民の文化的要求に応じてそれが満たされるような具体的活動を組織するところであって，必ずしも文化センター的に資料を持つ必要はない」（矢野町公民館主事・安原氏談）といわれるように，公民館の本来の活動は住民の交際の中から自主的に芽ばえた要求がよき相談相手（主事）を得て具体化されることであって，資料室であったり，借ホールであったりすることではない。Aはその意味ですべての公民館の中核となる活動である。後にも述べることであるが，ここにおける指導者（主事）の役割は非常に重要で，優秀な主事のいない公民館は借ホール化して，もはや公民館ではないとさえいえる。またそのように見てくる時，従来軽視されがちで

あった談話スペースは，公民館への親しみを増す場所としてばかりではなく，すべての活動の源である人々の要求の現れ出る場所として非常に重要なものとなって来る。

B は一見唐突に見えるが，実際にはこれら活動を通じて，公民館への関心と認識を深めて行っているのが実状であり，主事の献身的な啓蒙的努力とともにこの分野の活動は現状では相当重要な位置を占めている。例えば，公民館結婚，有線放送による電話中継，集団検診，季節的共同炊事，産業指導，映画会等々，数限りなくある。

C は大都市になるとほとんど別施設となるか，併設の形で独立した施設となる例が多く，一部映写機などを備える程度になるが，地方ほどそのような専門施設にとぼしく，不完全ながら独自に備えなければならなくなる。例えば，郷土資料室，博物館，フィルムライブラリー，レコードライブラリー，楽器，図書，工作機械，等である。

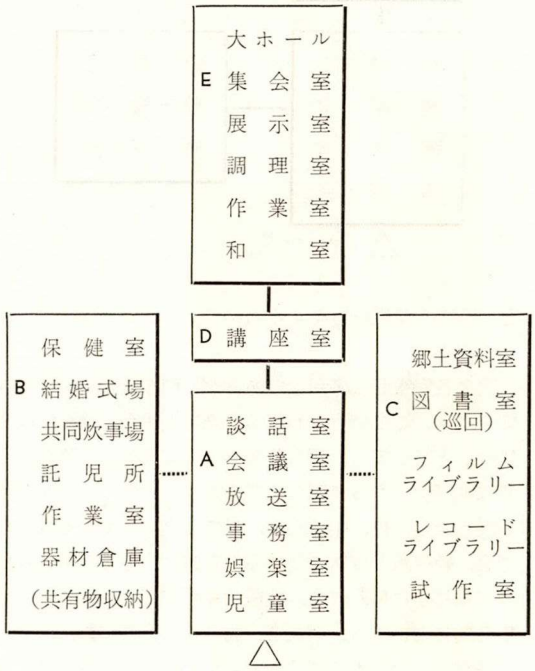
D は A で組織化された具体的企画の一つであるが，他のものは図書館の主事の手に移されたり，あるいは学校の体操の先生を紹介したりする中で直接公民館が主体となり，公民館の出費で行なわれるものである。本来はこれも指導，案内のみにとどまって，住民自身が自主的に開設することも考えられるのであるが，現在は公民館が文部省の管割内にあることにも原因して，そのほとんどが公民館主体の企画として館内で行なわれているのが実状である。一部ではこれが公民館の本来の活動であるかのごとく錯覚している例もあるほどである。

E は多種多様の企画のための場の提供で，研究会，役員会，音楽会，敬老会，各種大会，展示会等である。窮極的には自主的な企画が活発に行なわれて公民館は単なる案内の仕事と，このような場の提供のみで済むような状態が理想の形なのであろうが，現在はまだまだ内容のある企画が自主的に行なわれる段階には来ていない。現在都市部では，各種集会，研究会等の場所の需要が非常に大きいが，それは都市部の方が自主的活動の訓練ができているということではなく，むしろ絶対人口が多いため，それら自主的企画の絶対数も多いと見るのが当っている。ちなみに，公民館 1 館の対象人口を見ると，都市部では農村部のそれの 100 倍に及ぶことがある。

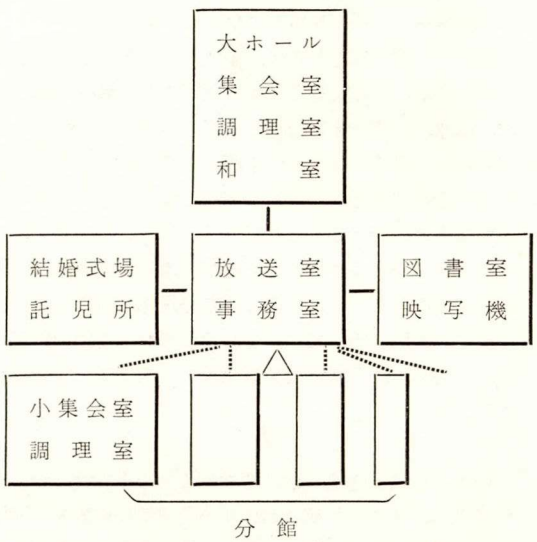
以上の分類はあくまでも現状を把えたものであり理想的な形を示したものではない。すなわち，本来は A および E のみで十分目的が達せられればもっとも望ましいのであるが，現状としては各地域の実状に応じて B～D の要素が多かれ少なかれ含まれて来る。したがって，今後計画される公民館については現在どのような段階にあり B～D のうちのどのような活動が含まれて来るかを見定める必要がある。

また，一口に公民館といっても，本館，分館(部落館)あるいは分館を持たない本館だけのものがあり，その各々について各機能の分担が違っている。すなわち，本館，分館に分れている場合は，いきおい C および D を本館が，B および E を分館が受け持つことになる。

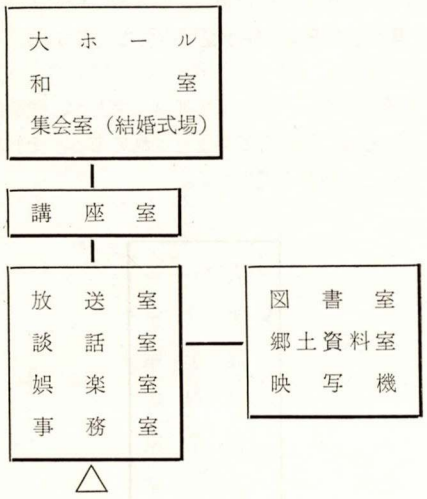
以上活動内容のみについて述べて来たが，建築的なスペースもそれに対応して必要とされて来る。それを系統図で表わしたのが下図である。




しかし，実際に現れるのはそのうちの部分の組合せであって，例えば，農村部においては



中都市においては




というような現れ方をする。

次に各室空間の多用性であるが，例を大ホールに取ってみると，ここで行なわれる企画は大集会，講演会は当然のこととしても，舞台装置の必要な演劇会，暗転の必要な映写会，さらに明るくて床が平らであることを要する展示会，卓球，柔道から，果ては坐ってお茶を呑む敬老会，給排水とガスを要する料理講習会まで，実に多種多用な用途に使われる。比較的単純であろうと思われる集会室においても，討論会，映写会，結婚式場，デザイン研究会（水や木を使う）ぐらいには使われるものと覚悟しなければならない。その対策としては当然のことながら，計画当初において考えられるすべての用途について配慮を尽すこと。それがなされないと，集会室の正面背景に結婚式の神棚が置かれていたり，汚れたバケツの水で食器を洗う料理講集会になったりする。

また，一解決策としては，多用室というものを設けることである。重作業を主とする土間の多用室を設け，工作，卓球，料理，産業指導，映写，展示，その他土間の床で行ない得る一切のものを収容するという考えで，主たる用途を定めない。上足の部屋についても一室そのような多用室を設けることもできる。

ディテールに及べば，持ち運び式の流し調理台，戸棚式の式場祭段などは，そのような公民館の多用性の産物であり，計画に当っては，それらの優れた実例を研究するとともに，さらに新しい解決策を工夫して行く必要がある。

最後に公民館建築におけるデザインの土着性についてであるが，特に農村部において公共建築物が数多い中で最も住民の生活に密着し，住民の手で建設し，発展させて行けるものは公民館である。もっとも密着しているというのは正確でないとしても，密着できるものは公民館であることに間違いはない。事実，自からの労力を提供して部落公民館を建設した例もある。そのような自治意識に支えられ，また相談を受けた設計者も十分に人々の生活感情を把え，気候風土に適した設計を行なった暁には，その土から生え出たような土着のデザインが産れるであろうことを期待する。

いまも残る各地の農家やモミ倉のような優れた土着のデザインが産れる可能性はないものであろうかと……。

もちろん，勾配屋根に真壁造りというような懐古趣味のことをいっているのではない。同様なことは比較的人々の身近にある農協の建築についてもいえることであるが，むしろその方が現在は着実な歩を進めているのかも知れない。

いずれにせよ，社会教育の学校教育と違う点が，自から欲して学習する点にあるように，公民館はあくまでも住民のものである。その上，その活動内容が先に見たように千差万別であってみれば，その計画に当っては，先ずその地域の生活の中にできる限り入り込んで，その実状を理解することから始めなければならない。

このことは極めて重要なことであり，たとえ，その人々が誤ったイメージを持っていたのであったにしろ，でき上ったものが彼等のイメージしていたものと大きく違っていた時の異和感，それが時にはその後の自治意識の発展を阻害する作用をもしかねないことを忘れてはならない。

住宅におけるように，計画するものと，使う人々の間で度重なる話合いが必要と思われる。

すなわち，主観的にも人々の納得の上に立って計画されることが必要であり，その意味では，一時昭和27年ごろ施設重視期と称する一時期があって「公民館は他に気がねなしに使える専門施設を持たねばならない。そのような住民の自由に使える施設を獲得することそれ自体が公民館活動の過半をしめる」という考えが支配的であった。その後，そのような考えは施設偏重として退けられ，活動内容を重視するようになっては来たものの，先に述べたように「場の提供」が公民館の大きな役割であることには間違いなく，学校における学校施設よりも，公会堂における施設に近い関係で，施設それ自体の重要性は非常に大きい。さきに述べた住民の主観的な自治意識との関連といい，客観的な施設自体の重要性といい，今後公民館を手がけられる方々により慎重な配慮をお願いし，公民館建築の着実な発展を期待したい。

# 公共図書館の計画をめぐって

大阪市立大学講師
栗原嘉一郎

## 1. 公共図書館は社会教育施設か

公共図書館は公民館などとならんで社会教育機関として規定され今日に及んでいる（社会教育法，図書館法）。しかし当の図書館界の中でこうした規定づけに対する反発はかなり前からあり，昨年秋の図書館大会でも公共図書館の行政的帰属に関連してこの問題は大きな論題となったようである。公共図書館が社会教育機関として規定され，教育委員会に所属しているのでは知事市町村長の部局とのつながりが間接的になる上に，教育委員会自身が学校教育中心に傾きがちなため，図書館の発展は約束されないというのである。こうした考えは実のところ毎年くり返される予算獲得の失敗という切実な現実の中から出てきたものでもあり，たしかに戦後もう十数年を経たというのに図書館活動の発展が思わしく進まないことの実際上の理由をついているものでもある。

こうした現実的な立場を離れても，たしかに図書館を社会教育機関とする規定には問題があるようであり，これからの図書館機能の本質はむしろ，情報センター，コミュニケーション・センター，情報調査サービス，文献サービス，パブリックサービス……といった「インフォメーションの伝達」にこそあると考えた方がよさそうである。「インフォメーションの伝達」は「社会教育」という概念と真向から対立するものではないとしても，これまで図書館が教育や文化に傾斜しがちで，調査・研究・情報提供サービスに十分の機能を発揮せず，時代の先端をゆく産業の進展などに対して技術の情報を提供することなどさっぱりできなかったということは，やはり図書館を社会教育機関とする考え方にその根本原因を求めねばならないようである。最近一部の公共図書館における商工資料室・産業資料室など各種資料室の開設にみられるように，地域社会が図書館に求めるものは，単に住民の教養増進といったいわゆる社会教育的な領域に止まらず，もっと積極的な情報伝達の技術にあるということはどうもたしかなことのようである。

といっても，図書館活動の社会教育的領域が全面的に否定されてしまうものではもとよりなく，ために文化機関というやや曖昧な規定づけもあるわけで，講堂などと併設して○○文化会館，××総合文化センターなどと名づけた図書館も出てきている状態である。図書館の性格をめぐる論議は当の図書館界の中でもまだまだ続きそうである。*1

それはともかくとして，情報伝達を重視すれば，資料の範囲や形態はパンフレットや研究報告までを含んで，いよいよ多岐にわたることは避けられず，それらの整理技術，伝達技術，レファレンス技術に重みがかかることとなり，それが図書館の施設計画の面にも基本的な構成の面ではねかえってくることは間違いないところと思われる。



岡山県総合文化センター。オーディトリアムや展示室を含んでいるが，主体は県立図書館である。

## 2. 読書と図書館

図書館というもののとらえ方はそんなところにしておいて，もう少し具体的に読書と図書館との関係について考えてみたい。インフォメーションや情報を獲得するという行為はただちに読書を意味するわけでは決してないけれども，資料に直接接するという広い意味でここでは読書を一応の代表に考えて論を進めたい。テレビの進出

が読書の時間を減らしている事実も一方で報告されてはいるが，他方，出版部数も年々増加し，いまや年間10億冊に近い値を示している。現代社会の複雑化にともなって情報の絶対量がどんどん増加するので，読書がテレビにくわれるというような見方自身さして意味がないということであろう。

ところで図書館は人々の読書行為の中で現実にどのような位置を占めているであろうか。人々は書籍や資料に接する場合，どの程度図書館サービスを利用しているであろうか。

公共図書館の地域計画に関連して私の研究室で尼崎市に住む1,000人近い成人を対象として読書調査をした結果によれば，住民が読書のとき本を得る方法は表1のごとくであった。この値を正確に理解していただくためには，調査地域の状況や同市における図書館活動の状態など調査の条件を述べねばならないが，それは別の形で詳しく報告させていただくとして，ここではきわめて大ざっぱな傾向を知っていただければと思う。

本の場合も雑誌の場合も「自分で買う」が断然多く，次いで家にあるものを読んだり人から借りたりして，貸本屋以下施設を利用する割合は非常に低いのである。中でも公共図書館の利用は最低に位置し，図書館の末端サービスである自動車による巡回文庫をいれても本の場合で3％，雑誌の場合で2％を出ないという有様である。

表1　主な読書の方法（尼崎調査：1960秋）

| | 本 *1 | 雑誌 *2 |
|---|---|---|
| 自分で買つて読む | 41.0 | 45.1 |
| 家にあるのを読む | 23.5 | 21.9 |
| 人から借りる | 15.7 | 17.8 |
| 貸本屋から借りる | 6.3 | 8.7 |
| 公共図書館にいく | 0.9 | 0.4 |
| 巡回文庫のを読む | 1.9 | 1.5 |
| 学校図書館のを読む | 4.6 | 1.6 |
| 職場の図書室のを読む | 6.1 | 2.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

*1　教科書を含まない　　*2　週刊誌を含まない

一部の書物は別として，多くの本は一度読めばそれきりというのに，どうしてこうも，一人々々が皆自分で買い，施設からは借りないのだろうか。本の所有欲，独占欲，へやの飾り……等いろいろと理由はあろう。けれども，一番根本的な理由はといえば，何といっても欲しいと思う本が手近かに借りられる状態におかれていないことであろう。しかもそれが慢性化した結果，本は買うものという観念ができてしまったことも見逃せない。

しかし，公共図書館よりもよほどよい分布をもっている貸本屋（全国で2万軒余）は施設利用の中で高位を占めているし，学校図書館，職場図書館も利用対象がオープンでないにもかかわらず，分布の確実さから公共図書館よりはよほど人々の間に食い入っている（表1）。したがって，もしも公共図書館が飛躍的に充実し，欲しい資料を欲しい時に入手できる状態が現出するならば，人々はきっとそのサービスを歓迎するだろう。そしてどこの家に行っても，かってのベストセラーが棚ざらしになっているなどという馬鹿々々しい不経済な状態はなくなるにちがいない。

これは実のところ空想でも何でもなく，現に欧米諸国が獲得しているレベルでさえある。公共図書館のサービス網が飽和点に達しているアメリカやデンマーク，そして最近のイギリスなどでは，本や雑誌の販売先は主として図書館であり，個人で本を買う人は少なくなってきているという。ともあれ，住民の皆が図書館利用の慣習をもち，手近かなところで図書館サービスの恩恵がうけられる状態というものは相当の資産ではなかろうか。

わが国でもこれから図書館サービスの発展を願うとするならば，施設を少しでも多く建設する問題と同時に，本は自分で買うのが当り前では決してないことを住民が感じるところ当りも，一つの出発点にならなければならないように思われる。

## 3．公共図書館の数と分布の問題

図書館利用が少ないのは図書館サービスが貧しいためだと述べたが，ここで施設の現況について少しくふれよう。

表2は，わが国の公共図書館の概況を示したものである。35年10月1日現在で，わが国は46都道府県，555市，2,955町村であるから，公共図書館は平均すれば都道府県および市にやっと1館あるかないかという感じで設置されていることになる。

表2　わが国の公共図書館数と利用人数*2：昭36年度

| | | 都道府県立 | 市区立 | 町村立 | 私立 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 図書館数 | 本館 | 54 | 391 | 194 | 38 | 677 |
| | 分館 | 34 | 25 | 0 | 0 | 59 |
| | 計 | 88 | 416 | 194 | 38 | 736 |
| 利用人数（1館1日当り） | 入館者 | 286 | 156 | 52 | 51 | 129 |
| | 館外貸出者 | 41 | 48 | 37 | 19 | 38 |

ところで図書館サービスというものは本来，本館・分館・配本所・自動車文庫という一連の有機的なサービス体系で地域社会をおおうことによって始めて有効なものとなる。その場合，地域社会に対する閲覧・貸出の直接サービスは分館が主としておこない，本館は管下のサービス全体の統轄や分館までを含めた資料の整理事務，高度のレファレンスを担当すべきものである。（ブックモ

ビール・貸出文庫などは分館設置の及ばないところを埋めるサービス方式と考えてよい。）したがって，分館は地域住民から利用し易いことを主眼にして，地域ごとに一つの本館のもとに数多く分散的に設けられるべき性質の施設である。地域の本館はそれがいくつか集ってより広域な範囲においてまた一つの中央館をもち……というふうにして末端から中央へつながってゆく。したがってこの場合，図書館の性格を示す意味では，本館，分館といういい方よりむしろ，直接周辺の住民に奉仕する図書館——地域図書館 community library—と，それらを統轄する図書館——中央図書館 central library— といういい方の方がよいかもしれない。

こうした図書館機能のあり方については，いまここに詳しく論ずる余地はないが，表2を見ればわかるようにわが国には分館がさっぱりないのである。府県立—市立—町村立に縦の関係があるかといえば，それもまずほとんどないといってよい。（行政単位の異った機関の間の相互関係がよくないのは何も図書館に限ったことではないが。）この場合，町村立ともなれば1町村の人口は知れているから別に分館をもつ必要はないとしても，広い範囲にわたっている府県立や市立図書館の場合に分館があまりないということは一体どういうことを意味するであろうか。

分館がないということは，実は本館が本館としての機能を持ち得ないということでもある。それはたとえブックモビールをサービス圏域下に走らせていようとも，圏域下の唯一の閲覧スペースとしての機能も重く負わされる結果として，実際は周辺の住民に閲覧の便を供する community library としての性格が強くなってしまうからである。この意味において，わが国の現況というものは実際の話としては，県や市という広域の中に少数の community library があったりなかったりしている状態に近く，central library らしい本館はあまりないといってもさしつかえないであろう。つまり〔本館——多くの分館——分館周辺の住民〕という形の図書館サービスは存在せず〔本館——本館周辺の住民〕という形のサービスしかないというに近いのである。この場合，一つの図書館に対する来館者の範囲，いいかえれば直接的なサービス圏域はどのくらいかといえば，図書館の規模にもよるが，大ざっぱにいって徒歩圏域ないしは自転車圏域を出ないことがいろいろの調査からあきらかである。これではたまたま図書館の近くの住民はともかくとして，一般的にはサービスがおよばないこととなり，表1の読書手段のところに図書館がちっとも登場しないのも当然というわけである。

では図書館サービスの発達している欧米の場合はどうか。アメリカは人口がわが国の4.4倍だが，公共図書館数は1958年現在7,871，人口当りの図書館数にするとわが国の46倍に当る。デンマークは人口はわが国の20分の1だが公共図書館は同年現在で1,365，人口当りにするとわが国の36倍である*3。別の報告*4によれば，デンマークの図書貸出登録人員は人口の24％で，家庭の約50％に図書館の本が入っており，イギリスでは貸出登録は人口の35～40％で家庭の約80％に図書館の本が入っている。わが国の貸出登録人数は人口の1％にも満たないから，ここでもおよそ数十倍の開きがみられる。また数ははっきりしないが，最近のソビエトの図書館網の発達もすばらしいものときく。

都市の公共施設の遅れは各方面から指摘されるところであるが，公共図書館ほど欧米に比べて格差の激しい施設もまた珍らしいのではなかろうか。この数値の開きがどこから出るかといえば，それは主に分館の設置状況からきているといえる。表3はアメリカ，イギリスのいくつかの代表的な都市における分館数を示したものであるが，これをたとえば表2の市立図書館数と比べていただければよいと思う。

表3　アメリカ，イギリス主要都市の分館数*5

| | | 分館数 | 人口 |
|---|---|---|---|
| アメリカ | ニューヨーク | 170 | 789万人 |
| | シカゴ | 62 | 362 |
| | フィラデルフィア | 41 | 207 |
| | ロスアンゼルス | 51 | 197 |
| | デトロイト | 29 | 185 |
| イギリス | グラスゴー | 27 | 109 |
| | バーミンガム | 30 | 104 |
| | リバプール | 26 | 856 |
| | マンチエスター | 31 | 766 |
| | シエフイールド | 11 | 518 |

こんなわけで，わが国の公共図書館の最大の課題は何といっても図書館数を飛躍的にふやすことであり，それらが有機的なサービス体系をとりつつ地域社会をおおうことである。ただその場合，分館の適正配置の仕方も問題となる。小規模の分館をむやみやたらに設けるのがよいわけではない。それは奉仕活動の上からも効果的でなく，財政上からも困難である。アメリカの図書館協会の基準では，都市分館の奉仕人口は最低2.5万人，蔵書は最低1.5～2万冊としている*6。つまり人口がこれを下回ると施設なり蔵書が不経済に遊んでしまうし，蔵書がこれを下回れば分館としての魅力度が落ちてしまうということであろう。それにもう一つ，さきにも述べたように，分館の誘致圏は徒歩圏程度だという要素がある。考え方としてはむしろこちらの方を基本とし，徒歩圏～自転車圏に1館という感じで分館を設置してゆき，その範囲の人口が先の値（2.5万人）以上になるときには，そ

れに見合うだけの規模をもったものとするのがよいであろう。中〜大都市の場合，人口密度からいって徒歩圏下でほとんどの場合分館は成立するであろう。都市周辺部や農山村にいって人口密度がおち，徒歩圏下ではとても分館設置に必要な人口に達しない場合——巡回文庫や自動車文庫は主としてこのときのサービス方式として理解しておけばよいのではなかろうか。

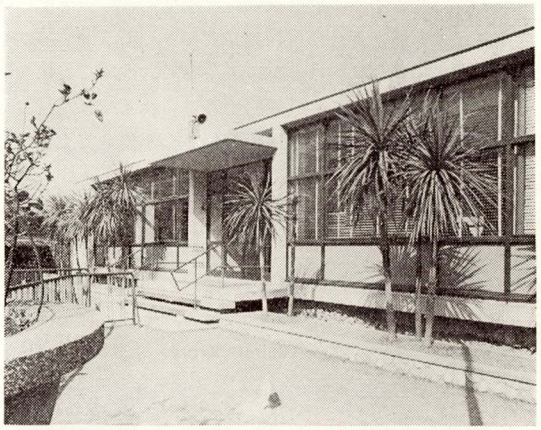
## 4. 地域図書館（community library）について

分館に代表されるいわゆる community library は，すでにくりかえし述べたように，周囲の一般地域住民を直接のサービス対象とする。したがって第1に利用し易い立地とし，できる限り平屋として入り易いアプローチとすることが大切であろう。ただ都心などは土地が高価で用地が得にくいが，こういう場合はオフィスビルのへや借り形式をどしどし考えるべきではなかろうか。

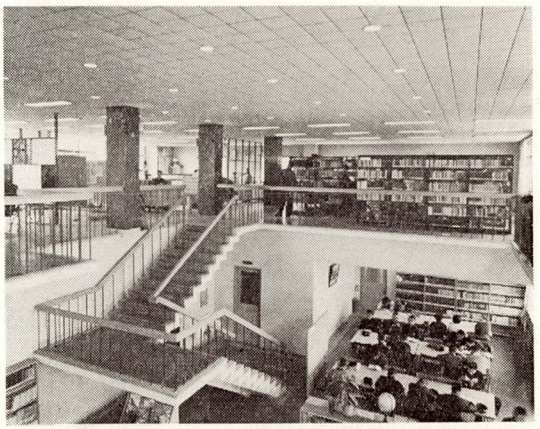
第2に特別の調査研究の需要にこたえられることよりも，むしろ一般住民の日常生活の糧となることが主目的であることを考えねばならない。そのために蔵書は一般住民をひきつける力をもった up to date で活き活きとした，しかもポピュラーなものとする必要があるが，その出納管理方式も親しみ易さを第1として，なるべく全部を開架式にしたいものである。小規模分館の場合，明らかにこれは可能である。一般に図書館の蔵書はどんどんふえてゆくものだが，分館にあっては蔵書内容を常に活き活きした状態に保つために，利用されない本や傷んだ本は本館との連けいにおいてたえず新しいものと替えてゆくことが必要である。そこで全体の蔵書数は，むしろはっきりとおさえてしまってよいであろう。つまり図書館設計に当っていつも問題となる蔵書の膨脹にともなう増築余地の問題は，ある程度以上はむしろ考えないでよいのではないかと思う——サービス体系の確立を前提条件とするならば——。

第3に閲覧・貸出の問題だが，わが国の図書館はこれまでずっと館内閲覧第一主義をとってきた。図書館の本は図書館の中で読むのが原則であり，家へ持ち帰ることは許されない場合が多かった。許しても補助的ないしは部分的にであった。表2の利用人数の項をみても，館外帯出の割合は全体の3分の1にも達していない。しかし実はここに非常に大きな問題があるように思われる。

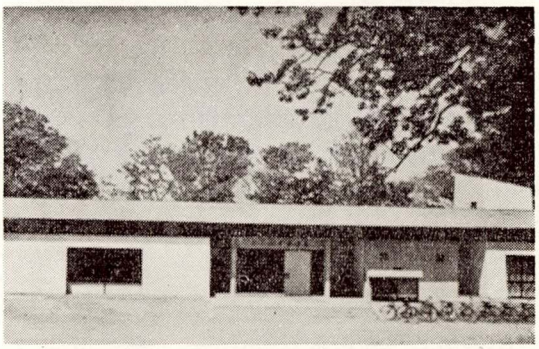
わが国の図書館は学生（主として高校生）の勉強の場に過ぎないとよくいわれる。実際館内利用者の調査をすると，いつでもどこの図書館でも学生が60〜80％くらいを占め，しかもそのうちの半数から7割くらいは単に勉強の場としての座席を求めて来館しているのである。図書館の本などはまったく借りずに，鞄から参考書をとり出して長時間受験勉強などをして帰ってゆくのである。その結果，試験期には図書館は学生達で超満員となり，閲覧室には一種熱っぽい空気がみなぎって，ちょっと一般人や主婦などには立寄り難い状態となる。こうした状態が本来の公共図書館機能からはずれたものであることは図書館関係者の等しく認めるところであり，何とか一般社会人を吸収しようと学生とは別に専用閲覧室をつく



神戸市立図書館　長田分館。住宅地の中に建つ500m²余の平易な建物。この程度の分館がたくさんほしい。



同上内部。傾斜地に建っているので一部が2階建になっている。下階は児童室。



八戸市立図書館。八戸の中央館として計画されているが，平屋でもあり一般的にはむしろ地域図書館の好例といえよう。

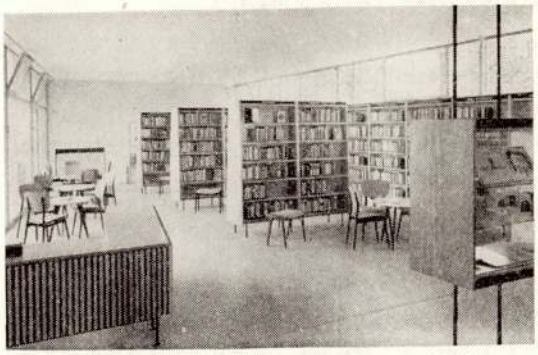
ったりしているが，なかなか思うように一般人は来てくれない。

しかし，考えてみるに，一般人の寄りつかないのは決して学生に圧迫されているためとばかりはいえないようだ。例えば，育児や家事に追われる主婦達が図書館にやってきて，そこで一午後を過してゆくというような状態を期待すること自身に根本的な無理があるのではないだろうか。主婦にそんなひまはない。勤め人や労働者はどうか。同じことである。図書館の開いている時間は勤務時間と重なっているし，たとえ夜間まで開館したとしても勤務をおえた身体を図書館での閲覧に向かわせるのはどうも無理ではないか。図書館は日曜休館のところも多いが，開館してみたところで同様のことがいえる。とすればこのまま館内閲覧主義をとっている限り，切迫した受験勉強をかかえた学生達だけが絶好の勉強場として通ってくる結果になるのはどうも避けられないことではなかろうか。

公共図書館を一般社会人や主婦達の教養・レクリエーションの場にすることを，もしも真剣に考えるのであれば，思いきって館内閲覧主義をやめてしまったらどうか。欧米の分館のように館外帯出を基本的サービスとする形態に切替えてしまったらどうであろう。すると施設の形態はこれまでのわが国の図書館の姿とは大分変ったものになる。ゆったり図書を選択できる開架書架群・それらを管理し貸出手続きをするカウンター・若干のレファレンスコーナー・雑誌コーナー・ラウンジ・簡単な事務室——などから構成される新しい施設（閲覧室はつけるならほんの補助的でよい）である。立地さえよければ主婦は買物のついでに，勤め人は帰りがけにここに立寄っては本を借り出し，家で好きに読むだろう。学生ももちろん利用して一向差支えないが，いまのような場所目的の利用はなくなってしまう。

学生の勉強の場を奪ってしまってよいのかといえば，これは別に考えるべき問題だということになる。これは本当は住宅問題とつながるのだが，住宅問題の解決がそう容易ではないとするなら，学校なりあるいは第三の施設の問題として考える。最大限にゆずってやはり当分は図書館で考えるというのなら，はっきりといま述べた貸出図書館に加えてたまたま勉強館が同居しているという形をとる。別棟でもいいし，あるいは貸出図書館の階上にのせてもいいが，ともかく母体ははっきりと貸出図書館としての体裁をととのえるべきであり，慢然と図書館を勉強場として開放するような形のプランニングはやめるべきではないかと思うのである。

貸出図書館にして立地をよくしたとき一般社会人や主婦は本当にこれを利用するか，という不安もあるかもしれない。しかし，貸出方式であり住宅地の中へ入りこんでいる多くの配本所や貸出文庫，自動車文庫が1ヵ所当



貸出サービスを主体とした欧米の地域図書館。閲覧席は補助的におかれている程度。

りわずかの蔵書構成にもかかわらず，たしかに主婦や一般有職者層をつかまえている事実，次節で紹介する一つの事例，全国で2万軒以上もの貸本屋が成立っている事実などから，運営さえ適当であればまずまずこれは大丈夫と思われるのである。既成の住宅地にこうした新しい図書館を進出させてゆくことがもしも困難であるならば，せめてニュータウンや団地の建設に当って，集会所などと併設の形でもよいから貸出を主体とする図書館分館ないしは分室を設置してゆくことはできないものであろうか。

なお，こうした形の貸出図書館といえども単なる無料貸本屋とはちがい，始めにも述べたごとく情報調査サービス機関の末端でもあるのだから，レファレンス・コーナーも忘れてはならない重要なものである。住民のレファレンスの要求はもちろん増大の方向であり，分館の場合でも基本的なレファレンス・ブック（辞書・事典・年鑑・地図類）はそなえねばなるまい。ただし高度の要求に対しては，本館のレファレンス部門への照会による解決を考えればよいことはもちろんである。

## 5. 1つの試み

神戸の三宮駅前に建つ神戸新聞会館。事務所のほかに食堂・店舗・映画館にボーリング場まで含んだ9階建のビル。その最上階の1室に神戸市立図書館の三宮分室がある。35年12月の開設だからすでに2年余を経ている。

まずこの場所の良さ。阪神・阪急電鉄，国鉄のターミナルでもあり，ビジネスセンター，娯楽センターでもある。地価は神戸中で一番高い。そんな1等地への進出。独立館にこだわっていれば決して実現できないことが，ビルのへや借りによって見事に実現している。分館ではなく分室ではあるけれど。

何年か前，京都府立図書館が京都市の目抜き通りの丸善ビル地下1階に，やはりへや借りで分館をもったことがあり，一般社会人の利用が学生を上回って注目をひいた。しかしそれもいまはないので，こうした例は恐らく

現在ここだけではないかと思われる。

ところで，三宮分室をとりあげたのは立地の故だけではない。それが前節で述べた貸出図書館としての意図をもって計画され，ある程度実現している点を注目したいからである。すなわち，計画としては閲覧机は特に設けず，書架と若干の椅子だけを用意することによって，場所柄一般勤労者を対象とした貸出専門館として発足することが意図されたのである。しかしこの新しい意図は行政当局に容れられるところとならず，実際には閲覧机・椅子が20席分余り入れられ，館内閲覧も併用の形になってしまっている。けれども，この分室が館外貸出サービスを主体に考えて運営していることには変りがない。蔵書もその意図に沿って教養・レクリエーション・家庭関係のものばかり揃えておよそ6,000冊，それも冊数にして月に数%の新陳代謝をおこなっているから蔵書は常に新しい。

貸出しの実績はといえば大いにあがり，この小さな分室に対して大体のところ1日120〜130人を数えている（他に団体貸出が15団体，月に6,000冊）。この値は25万冊をもつ本館のそれを上回っているという。本を貸出すには所定の手続きによる登録を必要とし，しかもそれは年度毎に更新しなければならないのだが，この登録人数は37年度において2,600余人を記録している。開室以来を累積すれば6,000人を越すという。登録者の内訳は，学生が20%程度いるが，残り80%は一般社会人でしかもその多くはサラリーマンでにBGである。

こうして貸出図書館として成果はたしかに挙っているのだが，問題はやはり書架の間の20席余りの閲覧席である。学習書は一切置いてないにもかかわらず，高校生達がただ席を求めてやってくる。1日100人くらいになるという。BGたちが本の背文字を追いながらゆっくりと書架を検索し，時々立ち読みをしたり自由席に腰かけて半分読みかけたりしながら，やがてどれかを選んで貸出手続きをすませては帰ってゆくその谷間で，生徒達の勉強は黙々と続く。まったく異質なものの同居としかいいようがない……。おかげで一見したところでは何の変哲もない小図書室に見えてしまう。少くとも新しい貸出図書館としての雰囲気は感じられない。これがもしも固定した閲覧机・椅子をとり払い，もう若干の書架と安楽椅子で置き替えられたなら，本を借りにくる人達ばかりのどんなにか新鮮な施設になっただろうにと，まことに惜しく思われたのである。

しかし，閲覧席を設けた点はすでにふれたように図書館当局の意図ではなく，上部機関からの半強制的な要請であったらしい。貸出図書館という新しい構想を理解せず，相変らず座席数や見かけの入館者数だけで活動の実績をとらえようとするお役所センスが，この折角の芽を中途半端なものにとどめてしまったのである。



神戸新聞会館。最上階の一角に神戸市立図書館の分室がある。



同上内部。図書はBGたちに貸出されてゆくが，中の閲覧席は生徒の勉強場になつている。

## 6. 中央館（central library）について

中央館ないし本館の計画となると施設の規模も大きくなり，これだけできわめて多くの問題をもってくる。本稿ではそれらを論じる余地はないので，地域図書館ないし分館との関連という意味で，計画の基本となる中央館の特徴的な性格をいくつか列記するに止めたい。

まず，レファレンスを主体とする図書館だということ。分館とは異り内容は専門・学術的なものまでを含んでいる。レファレンスの形態も直接の来館の他に電話・文書による依頼や分館を通しての照会なども多いだろう。これらに十分応じ得る体制のものとすることは本館として一番重要なことである。わが国でようやく1，2の試みがみられ始めた主題別部門制——資料を主題部門別にわけ，部門ごとに資料と一体に閲覧室を構成する。各部門にはそれぞれ専門の館員がついてレファレンスに当る。——はレファレンスの便にも沿うものであり，プランニングとしてこれからぜひ伸ばしてゆきたい考え方であると思う。最近とられ始めた各種資料室はレファレンスの一分野の独立として考えてもよいであろう。ともあれレファレンスの場としての館内閲覧は本館の場合，基本的に重要な意味をもつものである。

次に館外貸出サービスであるが，これはもしも分館がたくさんできた暁にはそれらに任せればよいであろう。

しかし分館が少ない間は，中央館は同時に近傍に対する地域図書館としての性格も負わされるので，やはり併用して考えたい。ただしこの場合には，はっきりと中央館が地域図書館を内蔵しているという形のプランニングにすべきであろう。

学生の利用に対する考え方は基本的には地域図書館の場合と同様でよかろう。ただ，レファレンス・ライブラリーの形をとると当然ある程度の閲覧スペースがとられることになるので，他に学習室を十分確保しておかないと，結果的にレファレンスのためのスペースが学生達に占拠されて機能がマヒするおそれが多分にある。この点は十分注意して計画する必要があろう。



大阪市立中央図書館。1階の主題別部門制の閲覧室。レファレンス・ライブラリーとしての体裁をととのえつつある。



同上3階の学習室。1階の主題別部門制の試みを成功させるためにも，高校生用のこのマンモス学習室は必要であつた。高校生は一般とは別の入口から最上階のこのへやに導かれる。

奉仕活動として，分館や分館相互の本の相互貸借をはかり，また分館サービスのおよばぬ地域に対してブックモビールを運営してゆくことなども本館業務として大切であり，それらに対するスペースを館外との連絡のよいように確保することも重要である。

本館機能としてもう一つ重要なものに，図書・資料の受入れ・整理機能があるが，これは分館の分まですべておこなうと考えて十分なスペースを見込みたい。

本館の場合，蔵書は年々ふえてゆくので，書庫に対する考え方も計画上一つのポイントとなる。主題別部門制をとっても開架式にできるのは精々数万冊どまりであるから，それ以上の規模の場合は閉架式書庫を考えることになるが，この場合，書庫と閲覧・事務空間のとり合わせについてはモデュラー・プランニングまで含めていろいろの方法がある。建築の計画技術としてはこれが最大の問題であるとさえいえるのであるが，これについては別に論じた*7のでここではふれない。ただこの点に関連して，機能の成長とともに空間の成長を考えてゆくプロセス・プランニングという形で，新しく一つの提案がなされている*8ことをつけ加えておきたい。

## 7. おわりに

以上公共図書館の計画にかかわる基本的な問題点について述べてきたが，問題を尽したわけでは決してない。地域ごとに保存図書館（デポジット・ライブラリー）を設立する問題，視聴覚資料についての問題，児童室の問題等々，まだまだ問題はある。この稿においては，これから地域社会を図書館サービス網でおおっていこうとする場合，それらの施設群の計画に対して基本的にどんな考え方で臨むべきかということに焦点を合わせてみたつもりである。（1963年3月）

(注)

*1 公共図書館の性格に関しては「図書館雑誌 1963. 1：日本図書館協会」の椎名六郎氏他による数篇の論文を参考にした。

*2 「日本の図書館 1961：日本図書館協会」より

*3 アメリカ・デンマークの図書館数は「ユネスコ公共図書館統計：JAL Information Service, 1961. 4」による。

*4 ヨーロッパの図書館事情，有山 崧：図書館雑誌 1963.3，日本図書館協会

*5 「分館論，西村精一：京都府立図書館」より作成

*6 同上文献による

*7 建築計画ノート〔下〕：彰国社
建築学ポケットブック 第7編第9章 図書館：オーム社

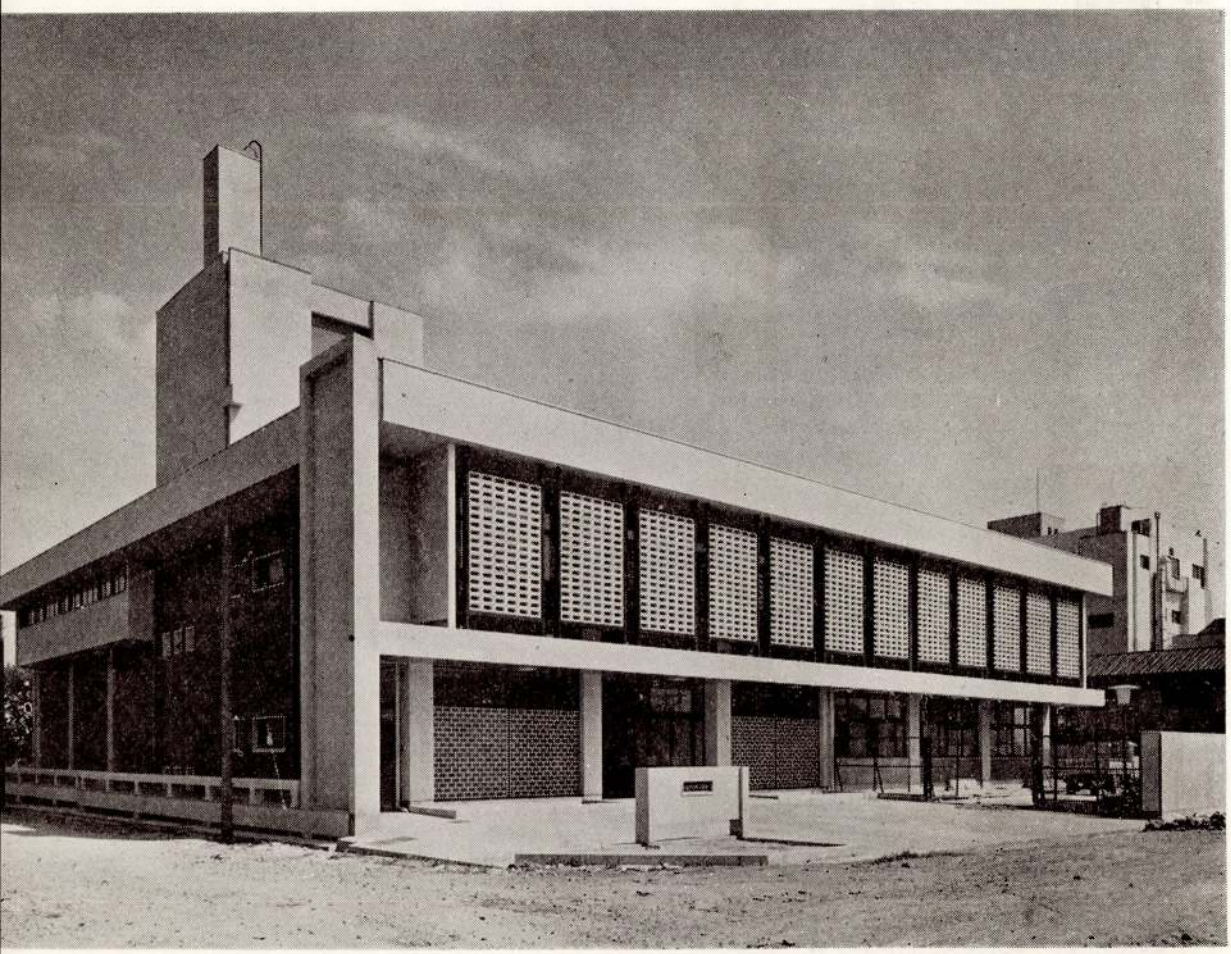
*8 プロセス・プランニング論，磯崎 新：建築文化 1963. 3

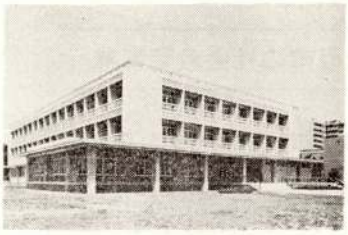
3

# 社会教育施設の現状分析と問題点

1. 大都市の場合——大阪市
2. ニュータウンの場合——高蔵寺

大阪市婦人会館

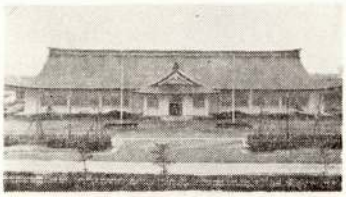




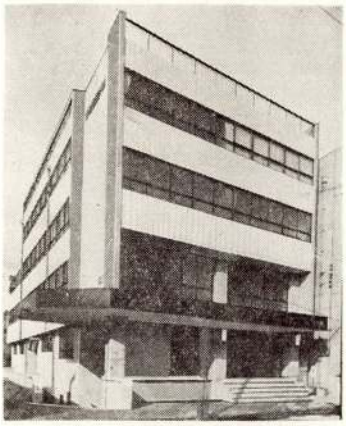
大阪市立中央図書館



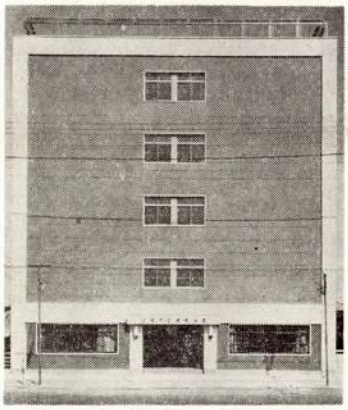
大阪市中央体育館



大阪市立修道館



大阪市立勤労青少年ホーム



大阪市立愛隣会館

# 大阪市の社会教育施設

## ＝その現状と問題点＝


O. U. R. 研 究 会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 執筆 | 担当 | 白砂剛二 | (大阪市建築局) |
| | 協力 | 平塚哲朗 | (同上) |
| | 同 | 岩本尚三 | (大阪市計画局) |
| 資料収集 | 担当 | 原桂一郎 | (大阪市建築局) |
| | 協力 | 足立幸一 | (同上) |
| | 同 | 永井純士郎 | (同上) |
| | 同 | 吉田滋 | (大阪市計画局) |
| | 同 | 佐藤泰 | (大阪市公園部) |

わたしたちのグループに与えられた課題は，とくに大都市としての大阪市の場合について，社会教育施設の現状がどうなっているかを紹介し，いくつかの問題を明らかにすること，そして，できればその将来のあり方についても考察するということであった。

そこで，かぎられた時間をさいて資料をあつめ，簡単な調査をおこない，いくどか討議をかさねてきたのであるが，このレポートをまとめるに先だって，つぎの諸点についてまず了承を得ておきたい。

1. わたしたちは，社会教育そのものの内容についてまで，ふかく議論することはさけるべきだし，できることでもない。ただ，施設と社会教育のあいだにある問題を建築技術者としての立場からとりあつかう。
2. わたしたちがとりあげる施設は，大阪市の行政に関係があるものにかぎる。したがって，ほかの官公庁でおこなわれている事業や，民間で独自に経営している服飾，生花，料理などの各種学校，あるいは企業や労組の教育活動などについては対象とすることができない。
3. 法制上，社会教育の施設と認められないものでも現実の運営や機能をわたしたちが判断してみてとりあげたものもある。
4. 個々の建物についての計画やプランニングの問題はそれぞれの用途による別の特集にゆだねる。

——　——　——　——

社会教育法は昭和24年6月に制定された。

このとき以来，わが国で社会教育ということばが，特別の意味をもつようになった。つまり政治の正当な裏づけを要求するものとして，社会教育が学校教育と対等の位置に肩をならべるのである。

社会教育とはなにか。社会教育法には「学校教育法に基き，学校の教育活動を除き，主として青少年および成人に対して行なわれる組織的な教育活動（体育およびレクリェーションの活動を含む）をいう」とある。これは「国および地方公共団体の任務」としての社会教育の定義である。もちろん法の制定まえから社会教育はすでに存在しており，現在でも社会教育の定義について多くの議論があるようだが，教育の目的そのものはかわらないであろう。すなわち，教育基本法で教育の目的について「人格の完成をめざし平和的な国家および社会の形成者として真理と正義を愛し，個人の価値をたつとび，勤労と責任を重んじ，自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行なわれなければならない」とうたっている。

本稿では，上記のように法で定義された社会教育が，大阪市でどのように受けとめられているか，とくに活動の場としての建築施設に焦点をあわせて考察したい。

## 〔I〕大阪市の社会教育事業

### 1　市社会教育の歴史（大阪市史から）

#### 1)　市民教育と市民館

大正初期の米騒動のあとをうけて大正10年6月，北市民館が設けられた。これは「細民地区の中心となり近隣居住者との人格的接触によつてその精神的ならびに経済的な指導援助と家庭生活の向上とに努め，節度ある市民性を啓発することを目的」とする隣保事業の総合的な施設であつたが，各方面からの好評をうけて，一区一市民館の建設をめざした。

北（大10），天王寺（大15），大正・浪速（昭3），玉出・東（昭4）此花（昭5），大正分館（昭12），今里（昭15），旭・港・東成（昭16）港分館・西淀川（昭17）。

市民館では身上，法律，職業相談などの個別指導を通じて社会教育指導をするとともに，隣保協同をめざし，また積極的に講習会や講演会を開いて教化指導した。

#### 2)　市教化委員制度

大13の国民精神復興に関する詔書によつて市立小学校の通学区域内に青年団，協和連合会，婦人会，宗教団体，衛生組合などの教化団体の連絡統一をはかり，社会教育を助成するために結成された。この組織を通じて市長の意図が市民の末端まで達せられることとなつた。

#### 3)　社会教育の施設

・**市民博物館**　市の歴史と現勢の紹介や通俗科学知識の開発を目的として天王寺の第5回博覧会場跡に設けられたが，昭6大阪城内に歴史館が分離して大部分の資料が移されたあとは，主として講座や講演会場に利用された。

・**図書館**　中之島の府立図書館が明治36年4月に設立されたあと，大7市会で学校教育の欠陥をおぎなうため図書館設置の建議があり，大10に西野田・阿波座・御蔵跡・清水谷，大13に今宮・城東の計6館が設けられたが，現在廃止している。さらに，中央図書館建設が計画されたが，この実現は戦後まで持ちこされた。

・**美術館**　大正年間から設立の気運はあつたが，昭11にやつと開館して現在にいたつている。（茶臼山）

・**聖徳館**　昭10設立した明治天皇記念館が昭15に改名されたもので，国民精神陶冶の中心道場をめざしたという。（造幣局泉布観前）

・**電気科学館**　昭12に電気を通じての産業教育機関として設立されたがまた市民の科学知識向上のため大いに活用された。

・**市立運動場**　第6回極東オリンピック会場のために，大12に設けられた。（こわされて現在，国際見本市会場の一部）

#### 4)　民間の社会教育施設

大阪朝日，毎日両新聞社を中心とした社会事業団体の施設，日本放送協会の放送会館，軍人援護会の大手前軍人会館，武藤記念会の国民会館，各デパートの催し場などがあつた。

#### 5)　社会教育のうつりかわり

市民生活の向上と環境の改善から始められた社会教育の芽は，わが国の国家主義的な政治の傾向につれて，昭和初期には潜在軍事力としての青少年教育に重点がおかれるようになる。さらに満州事変から支那事変と戦局がすすみ，国家総動員法が発動されるにいたって，全国家的な規模をもつようになり，全市民を対象とした国家教育がなされ，大政翼賛会運動にまですすんでゆく。すべ

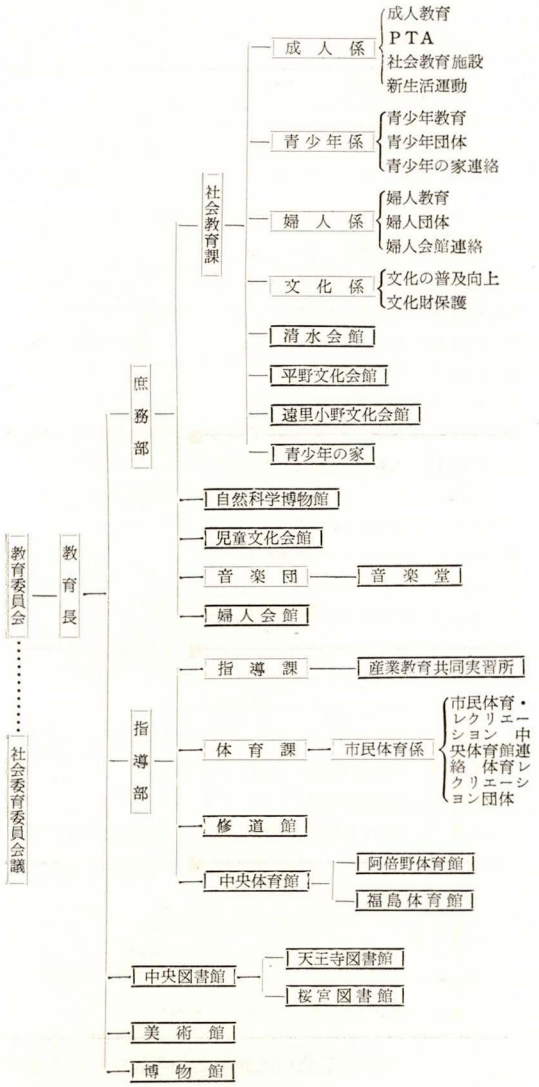
ての施設は この 目的のために 統合された といえるだろう。

## 2　市社会教育の行政機構

社会教育の内容がきわめて複雑で，かつ広範囲なため関係する行政機構も多岐にわたっている。

第１表に示したように，大阪市では教育委員会の社会教育課と体育課市民体育係が直接事業を主管しているのであるが，このほかにたとえば，公明選挙推進運動なら行政的な区政課というように，個々の内容と関係ある部局がいくつか考えられるが，これらは省略する。

第１表　大阪市社会教育機構および施設図




注　○○は施設をしめす。

本表は 事務局機構図のなかに 施設図をはめこんで便宜的に作成したものである。

つぎに他の部局に属する社会教育の施設を類似するものも含めて列記する。

民生局 —— 児童館（西淀川・城東・生野），市民館（11カ所），市民相談所，愛隣会館，公会堂（中央・桜宮），社会福祉会館，労働会館，勤労青少年ホーム，藤沢会館，電気科学館，早川福祉会館。

行政局 —— 区役所付設体育会館，同講堂。

公園部 —— 動物園，植物館，公園内競技場。

これらのなかには，社会教育施設とみるには ムリなものもあるが，判断は大阪市例規によった。

たとえば，早川福祉会館は 明らかに社会福祉施設であるが，会館の条例によれば「市民の生活と教養を高め …… を目的とし（第１条）事業のうち （１）青少年のレクリエーションおよびグループ活動の指導促進に関すること （２）失明者および青少年のための図書，その他必要な資料の収集，保管および借用に関すること （３）市民生活の相談指導……（第２条）となつている。

## 3　社会教育の活動

大阪市の社会教育は，社会教育委員会議の指導と助言を得ながら，法にしたがってすすめられている。

ここでは教育委員会の社会教育課と体育課市民体育係による昭和36年度の実施事業のあらましを簡単に紹介する。

１）成人教育（成人係）

・社会教育委員会議 —— 現在学校長代表５，社会教育団体代表５，学識経験者17の 計27名からなつており， 教育委員会の諮問に対する答申のほか，意見具申をする

・区社会教育指導員 —— 各区に１名おいている

・ＰＴＡ —— 各区研究集会（年１回），成人教育講座と母親学級への助成，ＰＴＡ実態調査

・成人学校 —— 年間２時間×２回×５週間×２期

・ラジオ成人学校

・同和教育事業 —— 職業育成，成人講座

・新生活運動 —— 11の市民団体が大阪市新生活運動連絡会議を構成して各種の研修会や座談会をもよおしている

２）青少年教育（青少年係）

・青年学級 —— 各区青年学級（11学級）日曜青年学級（４）ターミナル青年学級（２） 職域青年学級（４） 企業内青年学級（５）委託青年学級（２）

・はたちのつどい —— 例会月２回

・青少年団体の育成 —— 16種，約10万人

・青少年野外教育 —— 教育キャンプ場の開設，キャンプ指導者養成，青少年キャンプ大会

・青少年のための行事 —— 成人の日，記念行事，こども大会

・青少年の国内国際交流

３）婦人教育（婦人係）

・婦人学級 —— 各区婦人学級（44），中央婦人学級（１），コーラス学級（１）文部省委託婦人学級（６）婦人学級研究大会

・婦人団体の育成 —— 大阪市婦人団体協議会，大阪市婦人有権者連盟，茶の間ペンクラブの育成

・婦人会館の建設（昭和37年10月竣工，開館）

４）文化振興（文化係）

・文化財保護——人形浄瑠璃因協会補助，文化財顕彰と建碑，難波宮跡顕彰会補助，住吉大社本殿（国宝）防災修理，四天王寺六時堂修理（重

要文化財）

・市民文化祭 —— 文化の日のつどい，文化祭（36.9.21～11.30）芸術賞，短詩文芸つどい，新劇合同公演

・演劇映画振興 —— 市民劇場，民俗芸能大会，市民映画コンクール，日曜映画教室，優秀映画特別試写会

・国際理解事業 —— ユネスコ，国連関係

・大阪フィルハーモニー補助

・文化事業育成

5）市民体育

・市長杯 —— 各区対抗（8種目）と市民選手権（7種目）

・市民体育祭 —— 各区民体育祭，中央体育祭

・5大市体育祭

・レクリエーション行事 —— フォークダンス，民踊練習会，民踊講習会，市民ハイキング，登山，市民スキー講習会，レクリエーション講習会，早朝レクリエーションのつどい

・青少年のスポーツ活動助成

・大阪市体育厚生協会の指導育成

## 4　市の教育予算

昭和30年度から37年度までの大阪市教育予算と，その

第2表　大阪市教育予算のうつりかわり

| 年度 | 第1部予算 | | 第2部予算 | |
|---|---|---|---|---|
| | 教育全体 | うち社会教育関係 | 教育全体 | うち社会教育関係 |
| | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) |
| 昭30 | 1,626,066 | * 25,102 | 677,000 | 児童文化会館 4,000 |
| 31 | 1,782,865 | * 26.620 | 1.473.343 | |
| 32 | 1.887.680 | * 38.276 | 1.911.878 | |
| 33 | 2.088.425 | * 60.897 | 2.249.259 | |
| 34 | 2.246.314 | * 75.089 | 2.955.819 | 図書館 100,000<br>博物館 25,000 |
| 35 | 2,652,640 | * 83.871 | 2.929.268 | 図書館 197,128<br>博物館 42,500<br>婦人会館 20.000 |
| 36 | 3.210.094 | 108.721 | 3.541.323 | 図書館 120,407<br>博物館 45,500<br>婦人会館 70,000<br>六甲野外教育センター 16,058 |
| 37 | 3,742,658 | 129,574 | 4,344,322 | 博物館 99,000<br>婦人会館 47,500<br>六甲野外教育センター 28,362 |

（注）1．第1部予算は経常的，消費的な性格のもの
第2部予算は臨時的，投資的な性格のもの
2．* 印は決算額（切捨）

## 北市民館

大阪北・天六。「つた」で覆われた建物といえば，北大阪の市民には北市民館のことだとピンとくる。

大正7年（1918）の米騒動の際の米廉売剰余金をもとに工費54万円ほどで大正10年5月に竣工した。当時〝天六〟は〝釜ケ崎〟に対応するスラムで，公立の隣保事業施設としてはわが国最初のものであった。大正14年「新京阪線」が開通し，翌15年には市電梅田——善源寺町（現都島区）線が開通。地価高騰とともにスラム的傾向は薄れていった。

現在，天六は市内有数のターミナルとして繁栄し，北市民館は設立当初の意義は失いつつあるけれども，40年にわたる歩みはそのままわが国の隣保事業と社会教育事業の移り変りを象徴しているかのようだ。

■創設期

大10.6　開館，市立市民館と称した
〃11.5　ライオン歯磨本舗の篤志等により，児童歯科診療開始
〃13.12　市営天六質舗開設
〃24.3　各方面の同情金により本庄町に露天託児所を開設

■整備発展期

昭3.4　北市民館後援会創設
〃4.2　市民館カード制定
〃4.9　北市民館グループを作り12クラブが発会。先進会（隣保事業を研究実践），トインビークラブ（熟練労働者の集い）音楽団など。

■戦時対策期

昭10.8　洋裁講習を開始
〃11.6　北市民館婦人会発会
〃12.10　出征軍人遺家族のため授産講習開始
〃13.10　銃后生業斡旋所開設
〃14.1　編物講習開始
〃14.2　手芸講習開始

■戦後文化ブーム

昭20.12　大阪女性文化の会発足
〃21.2　北大阪母の会発会
〃21.3　謄写印刷講習会開講
〃21.9　アイヴイコーラス発会
〃22.4　北大阪子供文化の会発会
〃22.9　北市民館青年文化の会発会

■戦後安定期

昭27.7　子供夏期クラブ開催
〃27.10　北市民館老人クラブ「鶴声会」発会
〃27,11　生花講習開始
〃28.4　和裁講習開始
〃28,10　茶道講習開始
〃29.3　謡曲，仕舞講習開始

■レジャー・ブーム

昭33,8　第1回納涼演芸会開催
〃3Ɛ.8　第1回管北地区青少年卓球大会開催
〃33.9　第1回老人クラブお楽しみ演芸会開催
〃33.11　第1回北市民館文化祭開催
〃33,11　第1回新聞配達少年慰安大会開催

「大阪市立北市民館創立40年誌抄」から要約

このような年譜をたどりながら，現在の北市民館は貸会場，講習会センター結婚センターに変ぼうした。

うちの社会教育関係予算を第2表にしめす。

## 〔Ⅱ〕大阪市の社会教育施設

### 1　地域と結びついた施設

大阪市社会教育委員会議が毎年，大阪市ならびに大阪市教育委員会に対して意見具申をしているなかで

・昭27 —— 現在社会教育上大きな役割を果しているものに学校がある。学校はあらゆを施設を社会に開放して，いわば文化センターとしての任務を遂行しているのであるが，これをもつて足れりとせず，少なくとも各区に1カ所あて社会教育会館，もしくは公民館的な施設が必要である。

・昭29 —— 市民会館（または社会教育会館）を建設すること。児童会館の巾をひろげて社会教育団体がすべて利用できる会館を設置する。

・昭36 —— 地域社会教育振興のためには社会教育の場が不可欠である。当局においても逐年この種施設が各地域に設けられることが緊要であるすなわち，リーデイングルーム，小体育館，小図書館等が考えられるがこれらはすべて体育館・図書館等，単一の使命をもつだけでなく，地域の小集会，小学習の場として集会室，会議室等を付設して総合的な小会館として運営されるものであることが必要である。

このように地域と密接した社会教育の場の必要性についてしばしば強調している。現在ある施設として

1）**文化会館**（清水会館，平野・遠里小野文化会館）

おもに会議室，集会室を各種講習会や研修会の場として地域市民に提供し，また社会教育団体の連絡や活動の助成につとめている。

2）**市民館**（北，福島，城東，東成，西成，浪速，此花，平野，生野，生江の各市民館および城東会館）

民生局が主管しているので，社会教化事業の中心となっている。しかし，市民館は戦後，社会教育のチャンピオンとして，新しい構想のもとに登場した公民館的な性格をもつ施設として注目すべきだろう。すなわち，公民館は「一定区域内の住民のために実際生活に即する教育，学術および文化に関する各種の事業を行ない，もって住民の教養の向上，健康の増進，情操の純化をはかり生活文化の振興，社会福祉の増進に寄与することを目的

---

当初の隣保事業施設から社会教育施設としての要素をも併せもってきたのである。

地域住民が北市民館に要求するものは受講料の安い講習会であり，安価な結婚式，披露だからだという。しかし，事業なり企画なりが〝市立〟北市民館でなく「後援会」による企業として採算されがちな点は，いろいろな意味で問題であろう。地方自治体として市民館を地域に設置しながら，社会教育を行なうだけの人員や予算の裏付けが弱く，いわゆる「後援会職員（現在9人ほど）」を存在させている。

建物の維持保全も悪い。第二室戸台風で損傷した屋根がまだ本格的修理されていない。卓球台が雨ざらしのままだ。ところで一応美しくなっている室もある。結婚式場，写真室，結髪室，それから配膳室である。きくところによると，結婚式関係の特約業者グループで構成している「協力会」が，昨年100万円をかけて改装したのだという。これも公民館的施設の運営に対する軽視がもたらした一断面なのだろうか。歴史的功績を高く評価されている北市民館だけに，何かむなしいものを感じるのであった。

### 清水会館

旭区新森小路にある清水会館はユニークな存在だ。延1,200m²ほどの建物，約1,400冊ほどの図書，それにガスコンロなど調理設備。たったこれだけの設備だが地域住民とよく密着している。

「リーディングルーム」が活動の中心。小・中・高校生の自習室として重宝がられているが，ここの利用者が核になって「クラブ」が生れた。「クラブ」は自主的運営を委せられ，演劇クラブ等文化系クラブと卓球クラブ等体育系クラブがあり，旭区内の全域から青少年が集ってくる。学生・社会人半々で自主的な社会教育を行なっている。これらクラブのリーダー級が，昭和37年春「G,B,G（一粒の麦の会）」をつくった。G,B,G 会員は現在25名。館内各種事業の調整のほか（館長を含めて3人の市職員をカバーしているともいえる）〝外〟への働きかけも行なっている。

これらクラブとは別に，館が企画・実施しているものに「教室」がある。英会話，茶華道，洋裁など7教室あり，各教室ごとの独立採算制。材料費などを除けば会費は月額200円くらい。交通の便にもよるが，城東，旭，都島区から参加者があり，〝公立〟の社会教育施設が不足していることを物語っている。

この建物は，もとは小学校校舎。近くに新校舎ができたので廃校されることになったが「地域施設として残してほしい」との地元の声で，1棟を残して清水会館となった。年間会館利用者数は延102,011人（昭和35年度）これだけの人数を3人の市職員が毎日（日曜日も）12時間勤務でさばいている。年次有給休暇もとれず，特別作業手当が月額1,000円。施設はつくっても運営についての配慮にとぼしい公民館行政の実態を見せつけているようだ。

とする」と規定しているが，市民館は社会福祉事業のほかに，さらに積極的に教育活動をしている点で，公民館的な性格をあわせてもっているといえよう。

市民館では，民生事業のほかに青少年グループ活動の実施，各種講習会，講演会の開催，教養厚生経済保健の指導，そのほか地域住民の生活の向上をはかっている。

## 2　民間団体と関係がふかい施設

### 1)　民間団体について

都市社会の多様さ複雑さから，特定の市民層と関係がふかい施設を設けることがおこなわれているが，こうした方法が，社会教育をすすめるうえに有効なことがある。しかし，この場合は，ひろく全体の市民層をおおえるように，じゅうぶん配慮しなければならない。

社会教育委員のうち，民間団体代表として（大阪市）PTA 協議会，婦人団体協議会，青年団体協議会，体育厚生協会からそれぞれの長がえらばれている。これらが民間団体のうちのおもなものであるが，第3表にその概要とわたしたちが調査した下部の単位支部についてまとめておく。

・その他地域青年会の希望

地区単位に集会室，会議室，講堂，料理・生花施設，娯楽施設のある青年のための総合施設（会館）がほしい。とくに働く青年の活動は夜になるから夜間使用できる施設がほしい。

### 2)　婦人会館

a　目　的

大阪市における婦人教育および婦人団体活動のセンターとしてつぎの機能を備え，併せてPTA，青少年団体等，各種社会教育団体の利用にも供しうる施設とする。

1. 婦人の教養向上のための講習，集会，展示等。2. 婦人の生活技術の向上，生活改善のための研究と普及の事業。3. 婦人の団体活動，クラブ活動の場。4. 法律，家庭生活，保健，教育各種相談の場。5. 婦人の社交，交流の場。6. レクリエーションと憩いの場。7. 各種社会教育的行事の場。

b　誕生まで

昭34.11　大阪市婦人団体協議会が資金の一部として募金をはじめる。

昭35. 1　市社会教育委員会議から教育委員会に対して，婦人会館を建設するよう意見具申があつた。

昭35.11　会館建設の基本構想を社会教育委員会議へ提出。

昭35.12　婦人教育の代表的指導者10名から大都市婦人会館としてあるべき基本的な構想をきく。

昭36. 2　社会教育委員会議から「全国に範となるべき総合的な婦人会館を実現するよう」意見具申があつた。

昭36. 3　市建築局で設計・見積りがはじめられる。

昭36. 6　設計の最終案ができあがる。（実施設計　東畑建築事務所）

昭36.10　主体工事に着手。

昭37.10　全工事完了，開館式挙行。

c　施設概要

・所在地　天王寺区上汐町6丁目73

・延床面積　1,845.9m²，構造　RC1B2F

・工事費　約82,260,000（市費）備品家具など約1,300,000（婦人団体の寄付）

・付属設備　グランドピアノ，竪形ピアノ，映写設備，各種ライト，レコードプレヤー，テープレコーダー，拡声装置，マイク，テレビ。

・職員数　館長以下16人

第3表　大阪市のおもな民間団体とその活動（昭37）

| | | 会員数 | 事業予算 | おもな活動 | 使用する施設 |
|---|---|---|---|---|---|
| 青年会 | 市青年団体協議会 | 約25.000（333団体） | 4,000/区×18=72,000（昭38）<br>市教委から事業委託料 30万円/年 | 指導者講習会，トレーナー講習会，成人式，青年団交歓会，青年文化会議，キャンプ大会，野球大会，室内スポーツ大会，モデルパーティ | 小学校，労働会館，福島体育館，中央公会堂，婦人会館，YMCA |
| | H区青年会 | 青年文化クラブ 800<br>地域青年会 約2,000（13団体） | 会費 30円/月・人<br>市教委より事業委託料 5万円/年 | 組織強化活動，指導者講習会，青年学級，スポーツ大会，各種文化研究会，野外レクリエーション，レコードコンサート，フオークダンス | 区役所会議室，講堂，小・中学校<br>市民館，役員自宅 |
| 婦人会 | 市婦人団体協議会 | 約170,000(238団体) | 1,200円/単位会 計 29万円<br>町を明るくする運動市教委補助 200万円 | 単位会長研修会，幹部研修会，町を明るく美しくする運動，花いっぱい運動，子どもとテレビの問題調査，新生活運動指導者研修会 | 婦人会館，社会福祉会館，児童文化会館，中央公会堂 |
| | F区婦人会 | 11,760（10単位） | 会費10円/月・人 計117,600円<br>婦人学級事業委託料 6万円<br>町を明るくする運動補助 1万円 | 新生活運動，町を明るくする運動，防犯運動，婦人学級開催，敬老会主催，料理講習会，民謡同好会，交通安全運動，テレビ調査 | 区役所会議室，市民館，小学校，体育館，保健所 |
| PTA | 市PTA協議会 | 約584,000(413団体) | 年間 1,550,000円<br>市補助 300,000円 | 校外生活指導活動，子供を交通事故から守る運動，高校生急増対策 | 学校，中央公会堂ほか |
| | S小学校PTA | 約1.700 | 1口50円/月<br>計 本予算 約200万<br>施設費 100万<br>母親学級事業委託料 6,000円 | 黄色いママさん活動，防犯運動，地域浄化運動(不良化防止)，母親学級 | 小学校 |

（注）なお市体育厚生協会については，本表では割愛した。

d 利　用

資格は市内に在住，在勤の18才以上の女性。

昭37.10～12月の利用状況はつぎのとおり（開館日数63日）

| 室名 | | 坪数 | 収容人数 | 利用回数 | 延利用人数 |
|---|---|---|---|---|---|
| ホール | | 90 | 450人 | 25 | 2,924人 |
| 大会議室 | | 22 | 50 | 21 | 795 |
| 小〃 | | 16 | 30 | 20 | 313 |
| 生活指導室 | | 11 | 60 | 12 | 543 |
| 大講習室 | | 28 | | 8 | 390 |
| 小〃 | | 22 | 40 | 26 | 895 |
| 和室 | 雪 | 30 | | 12 | 130 |
| | 月 | | | 14 | 326 |
| | 花 | | | 11 | 206 |
| 料理教室 | | 40 | 50 | 22 | 1,174 |
| 計 | | | | 171 | 7,697 |

| 利用目的別 | 会議 | 研修会講習会 | 展示室 | 催し会場 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 41 | 119 | 0 | 11 | 171 |

| 主催者別 | 会館 | 市教委 | 大阪市 | 婦人団体 | 各種グループ | 会社等 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 42 | 19 | 4 | 36 | 35 | 35 | 171 |

### 3) 勤労青少年ホーム

a 目　的

市内の中小企業に働く青少年の福祉を増進し，その健全な育成をはかるため就職後の補導事業，文化教養，各種の相談，軽スポーツ，趣味，娯楽ならびにグループ活動の場として運営する。

1. 就職後の補導と離職者の一時宿泊。2. 社会問題，時事問題等に関する講演会や座談会の開催。3. 実務や教養に関する講習会の開催。4. 健全なグループ活動の育成指導と趣味のサークル助成。5. 日常の問題やリクリエーションの相談指導。6. 映画，音楽，美術などの観賞と読書指導。7. 社会施設等の見学。8. 囲碁，将棋，卓球等の競技会。8. その他

b 誕生まで

昭29に青少年の健全な育成をめざした青少年指導員制度が発足し，民生局と勤労青少年との接触が，相当活発になつてきたので，昭36.1工事着工，同10 工事完成，昭37.1開館した。

c 施設概要

- 所在地　東区安土町1丁目7
- 延床面積　1,394.8m² 構造　RC4F
- 工事費　約41,510,000
- 職員数　館長以下7人
- 主要室　相談室，娯楽室，読書室，談話室，グループ指導室，グループ事務室，会議室，講習室，宿泊室

d 利　用

資格は市内で働く25才以下の勤労青少年で，利用証を発行している。（現在，約3,300発行）37年4月から同12月までの延利用人数は男22,340人，女21,519人である。

一例として，昭37.11月の利用証発行（計）を下表にしめす。

e 説　明

イ　利用者の典型は地方出身，中卒，市内就職，住込。

ロ　ホームと企業主との連絡はするが，利用者の自主性を尊重して企業主の介入はできるかぎりさけている。

ハ　講座は，館側が利用者の声をきいて計画するが，なお，補導色が濃いのはやむをえない。婦人会館が趣味・教養的な利用内容であるのとくらべて，ホームは，ふかく生活指導的な内容になっているのは利用対象の差であろうか。そのため，開放的な利用による発展よりも，内容の充実を志向する内向的な発展を印象づけられた。

ニ　職域所在区からみるかぎり，全市的なホームとして利用されているとみてもさしつかえない。

### 4) 児童文化会館

所在地　北区天神橋筋1丁目

規　模　RC3F　延225坪

児童文化振興のため，児童図書室，遊戯室，工作室などの利用と，視聴覚教育の助成および資材の提供をしている。

この館の特色は，視聴覚センターとしての館外活動にある。たとえば昭35の出張映写は135回（76,930人）にもおよんでいるが，そのほか移動図書館や視聴覚資器材の貸出しなど，利用対象は学校以外にも，PTA，婦人会，青年会など広範囲にわたっている。

## 3 文化的な施設

これまでみてきた施設は，多少とも教育活動の場としての性格をもっているが，そのほかに

イ　資料の保管とその利用を主にするもの（博物館など）

ロ　施設の利用を主にするもの（公会堂，体育施設など）が考えられる。

これらの文化的な施設は，都心の4区（東，西，南，北）と文教区である天王寺区に集中しているのが特徴である。

| 職域 | 北 | 都島 | 福島 | 此花 | 東 | 西 | 港 | 大正 | 天王寺 | 南 | 浪速 | 大淀 | 西淀川 | 東淀川 | 東成 | 生野 | 旭 | 城東 | あべの | 住吉 | 東住吉 | 西成 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 7 | 2 | 1 | 1 | 45 | 8 | 3 | 7 | 13 | 9 | 5 | 1 | 4 | 9 | 8 | 4 | 2 | 8 | 7 | 3 | 7 | 1 | 9 | 164 |
| 女 | 5 | 1 | 1 | 0 | 38 | 6 | 2 | 6 | 9 | 7 | 4 | 1 | 3 | 8 | 7 | 5 | 1 | 9 | 6 | 4 | 5 | 2 | 7 | 137 |
| 計 | 12 | 3 | 2 | 1 | 83 | 14 | 5 | 13 | 2 | 16 | 9 | 2 | 7 | 17 | 15 | 9 | 3 | 17 | 13 | 7 | 12 | 3 | 16 | 301 |

（注）勤労青少年ホームでの利用証発行—昭37．11月分

### 1) 図書館

公衆に無料で奉仕する公共図書館ということが，戦後とくに強調されてきたが，そのねらいは「図書資料を教養，調査，レクリエーションのために提供するほか，不読者層の解消をめざして，館外貸出，巡回文庫，自動車文庫の諸活動や視聴覚ライブラリーの併設および教育広報活動を積極的にすること」である。

大阪市内の公共図書館としては府立，市立中央，同天王寺分館，同桜宮分館の4館がある（ほかに社会科学専門図書館として府立天王寺分館がある）。

ちなみに「東京都の教育」（昭31）によれば「図書館は全区配置が近い将来期待でき，全都的にほぼ図書館網が整いつつある現状だ」とあるが，都立，区立公共図書館は昭和32年現在で40館となっており，これにくらべると大阪はいかにもすくない。その対策かどうか，大阪市では3年前から新築の区庁舎には読書室を設ける方針のようであるが，これを公共図書館網の整備とみるのはムリであろう。

ところで大阪市立図書館設立の趣旨は，府立図書館の参考図書館（reference library）的な性格に対して

イ　公共図書館として一般市民の読書普及に重点をおき

ロ　現在課題となっている閲覧学生の収容対策を考え

ハ　将来の分館網の整備を予想して，その中核施設たる機能を果すこと

を目的としている。

府立と市立中央の両図書館の調査資料を別にしめす（第4表と第5表）

### 2) 博物館など

歴史館として大阪城内の博物館，科学館として自然科学博物館，電気科学館，交通博物館（国鉄所管）そのほか美術館，動物園，植物園とほぼそろっているが，なかには施設として建物修理や設備の改善，または内容の充実をすべきものがいくつかある。とくに自然科学博物館については，社会教育委員会議の意見具申として

・昭和29年―― 施設本来の任務にたえられなくなり，ついには市民と疎遠するばかりとなる施設のうち，自然科学博物館に至つては，もはやいうを要しない。

・昭和36年―― 自然科学博物館のごとき施設は，大阪市のような大都市にして始めて保有しうるような施設であり，またそれだけに全国的に誇るにたる施設でなければならない。本市の自然科学博物館は内容はとみに充実を加えつつあるとはいえ，学校校舎の転用施設であり，建物の本質において万全を期しがたいので，本格的な自然科学博物館の新築が望まれる。

さらに昭和31年，34年，37年にも同様な意見がくり返して具申されている。

これらの施設のほかに，博物館的な特色を生かした広報教育活動を継続的に，また計画的に展開できるような

・第4表の説明

イ）府立　座席総数829　うち一般（大学）用 517，学習専用 312
　　市立　　座席総数 1,150　うち一般用 250，学習専用 800

ロ）府立　小・中学生室がない　市立 100

ハ）開架図書数は市立のほうが多い

ニ）一般と学生の利用比率は，府立24：76，市立14：86

ホ）一般と大学生の利用比率は，府立27：73，市立42：58

ヘ）一般の軽読者，館外利用は府立188に対し市立 544

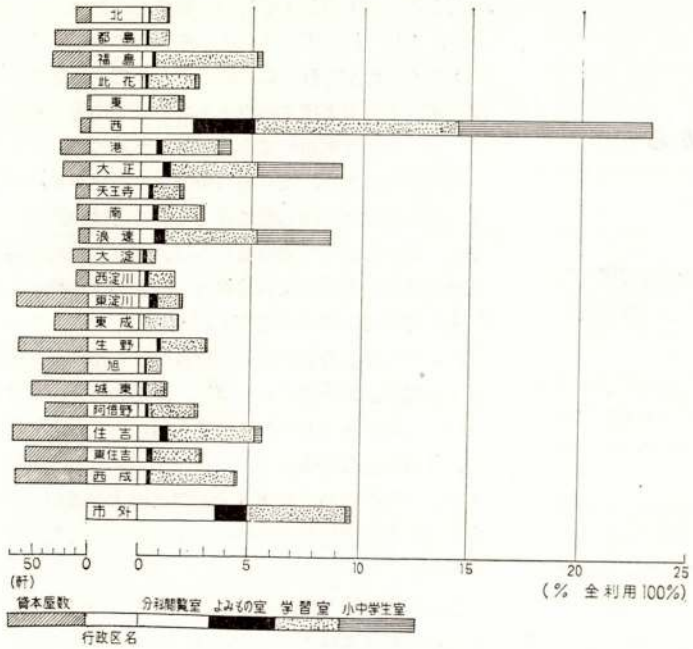
ト）不閲覧者（図書を借りないで席のみを利用するもの）の数がきわめて多い点に注意。市立のばあいはデータがないが，学生室利用者の相当数が該当しよう。

第4表　府立・市立中央図書館施設内容，月間利用状況一覧表（両図書館の調査による）

| | 施設内容（特別閲覧室を除く） | | | 利用状況 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 閲覧関係主要室名 | 座席数 | 開架図書室 | 一般 | 大学生 | 高校生 | 中・小学生 | 小計 | 館外 | 合計 |
| 大阪府立図書館 | 主題別閲覧室（大阪室ほか4室） | 410 | 21,400 | 4,314 | 11,432 | 529* | — | 16,275 | 245 | 16,520 |
| | 相談室，書庫出納事務 | 8 469 | 1,000 | 287 | 514 | 116* | — | 917 | 59 | 976 |
| | 新聞雑誌室(軽読書) | 51 | 3,000 | 2,393 | 1,681 | — | — | 4,074 | 188 | 4,262 |
| | 学習参考室 | 72 312 | 5,000 | 149 | 160 | 3,685* | — | 3,994 | — | 3,994 |
| | 自由室 | 240 | — | — | — | **10,597** | — | **10,597** | — | **10,597** |
| | 商工資料室 | 48 48 | — | 1,777 | 241 | — | — | 2,018 | — | 2,018 |
| | | | | **235** | | | | **235** | | **235** |
| | 合計 | 829 | 30,400 | 8,920 | 14,028 | 4,330 | — | 27,278 | 492 | 27,766 |
| | | | | **235** | | **10,597** | | **10,832** | — | **10,832** |
| 大阪市立図書館 | 分科閲覧室（参考ほか4部門） | 200 250 | 27,300 | 2,215 | 2,965 | — | — | 5,180 | — | 5,180 |
| | よみもの室(軽読書) | 50 | 12,200 | 1,437 | 458 | — | — | 1,895 | 544 | 2,439 |
| | 学習室 学習参考 | 410 800 | 12,300 | — | — | 15,010 | — | 15,010 | — | 15,010 |
| | 学習室 自由閲覧 | 390 | — | | | | | | | |
| | 小・中学生室 | 100 100 | 6,000 | — | — | — | 4,143 | 4,143 | 54 | 4,197 |
| | 合計 | 1,150 | 57,800 | 3,652 | 3,423 | 15,010 | 4,143 | 26,228 | 598 | 26,826 |

1．昭和38年1月の調査
2．利用者層，利用者数は定常状態にあるとみてよい
3．太字は不閲覧者
4．＊印は中学生を含む

1．昭和36年11月～37年9月の月平均
2．開館当初で利用は除々に増加している




第5表　市立中央図書館行政区別利用状況図

この表は「大阪市立図書館〝行政区別図書館利用状況調〟昭37」をもとにして作成した。

これら調査の行政区別の分類は，利用者の現住所によっているため，図書館利用者の本当の起点を示していないが，傾向は摑みうるといえよう。

図書館利用者総数の内訳（%）は，西23.3，大正9.6，浪速8.7，住吉5.7，福島 5.5……と，ほぼ大阪市の西南地区で占めている。

また各室ごとの閲覧者数の内訳（%）は，分科閲覧室（西15.2，大正6.6，住吉6.0，北5.3）よみもの室（西**34.2**，浪速5.7，住吉5.0）学習室（西16.6，福島8.2，大正7.3，浪速7.5，住吉7.0，西成6.2）小・中学生室（西**45.2**，大正21.7 浪速17.2）である。太字に注意。

展示施設をもちたいものである。現在では，新聞社などの民間団体によって百貨店のショールームなどで，これらの活動がおこなわれているようだが，コマーシャル本位でないものもあってよいであろう。

### 3) 文 化 施 設

ここで文化施設とは「音楽演劇などの上演，各種資料の展示，研究，調査や集会，学習のための会場としての，また図書館，博物館などの数種ないし，すべての機能や設備をそなえた公衆のための施設」を総称する。このうち，地域的な施設については〔Ⅱ〕の1で，特定の市民層と関係が深いものは〔Ⅱ〕の2でとりあげた。ここでは，ホール，公会堂に類するものだけを対象にする。

社会教育委員会議の意見具申として

・昭和32年── 総合社会教育施設についてと題して，つぎのようにのべている。

本市のごとき大都市においては，小規模の社会教育施設を各地域に多数設備することも必要であるが，半面，大都市全体としての文化・体育・リクリエーションの水準を飛躍的に向上せしめるごとき一大センターを建設することが緊要と考えられる。たとえば今日，大阪市内において5～6千人あるいはそれ以上の屋内大集会の必要度は著しく高まっているが，かかる集会の場として利用しうるものは府立体育館のみで（のちに市体育館も建設された）これとても集会の場としては必ずしも整備されたものとはいいがたい。かかる施設は民間に期待し得ず，市当局において始めて建設維持しうる性質のものであるから，社会教育振興のための一大布石としての市当局の配慮に大きく期待するものである。

文化会館（仮称）

大集会場　約7,000人収容，一般の市民集会にあてるが，芸術公演，映画などにも使用できるもの。

中集会場兼展示場　約1,000人収容，国際会議場および大講習会場としても机，いすを配置しうるもの。

小集会室　50～100人収容，婦人青少年クラブ活動，各種講習会場，分科会場

図書室（読書室）約150人収容

試写・試聴室　約100人収容

ホールならびにサロン　約100人

社会教育団体連絡センター，諸団体の連絡事務所，事務室，食堂，喫茶室，その他

東京都では東京文化会館が建設されたほか，公会堂はここ数年間に10区以上建設された。大阪市の場合，民間で設置経営しているホール施設がひろく利用されているが，公立のものはきわめて貧弱である。区役所の講堂などは規模や設備の点でも，また主として役所の事業に使われやすいという運営実態からみても，公共的なホールと呼べるものではないだろう。

### 4) 体 育 施 設

府立，市中央，あべの，福島の各体育館のほか，扇町プールや建設中の長居競技場があり，特殊なものとして観競技場（サッカー），修道館がある。

昭28に社会教育委員会議は，市立体育館の建設について「商工業に従事する多数市民のために，昼夜間を通じて使用できる室内体育館が必要である。少なくとも東西南北の4カ所に体育館を建設すべきである」と意見具申した。そののち，市中央体育館が設立されたが，競技団体の利

用要望の 4分の1しか応じきれない実状では，一般市民の利用という理想からはほどとおいようだ。

## 〔Ⅲ〕施設と社会教育の問題 ——建築家のたちばから——

### 1 問題はどこに

昭和29年に市社会教育委員会議は「社会教育関係文化施設に関する総合的計画について」つぎのような意見を具申している。すなわち

およそ大都市における社会教育関係文化施設のあり方については，小都市におけるものと大きな相違があるのであつて，ことに広地域と数百万の人口を有する大阪市のごときにおいては，各種各様の施設が有効適切なる総計画のもとに設けられるべきである。

しかるに，大阪市の社会教育振興上もつとも重要な役割を有する図書館ならびに公民館的な施設，文化会館の現状は申しわけばかりで，たんに散発的に運営されたという感が深く，その立地条件，規模，数量を考えるとき，全市的なサービスが徹底するとは，とうていいえない程度のものである。

大阪市のごとき大都市としては，すべからくその都市計画において，これら文化施設に対する総合的な企画を立案されるよう希望する。

8年前の意見としては，これはきわめて先見性にとんだものといえるだろう。そして残念ながらわたしたちは今回，大阪市の現状をふりかえってみて，当時の批判がそのまま現在にも通用することを知った。市立中央図書館をはじめ2，3の施設がそれ以後に建てられたが，施設不足の事態が改善されたとはいえないし，また「文化施設」に対する総合的な企画が立案されたとも，いまだに聞かない。

わたしたちの調査を側面から熱心に援助してくださった社会教育課の四宮侃氏も，地域に根をおろした活動をするためには大施設だけでなく，末端の活動のトリデとなるような地域的な施設の必要性を説いておられたが，市内ではすでに敷地の取得がきわめてむつかしいところから，その設置実現には悲観的で，ただ残された方法としては学校施設の一般開放によって，その有効な利用をはかるほかにないというご意見であった。

### 2 なぜ地域的な施設が建設されないか

都会は地方とちがって地域の連帯意識がうすいのではないか，というみかたがある。これは土地の取得難とともに，地域に施設が建てられない一応の原因にちがいないが，それ以外にも問題はなかったか。

最近ひとつきの新聞をみても，現在計画中のまたは計画を終えた市民会館（彦根，川越，加古川，高槻，佐野，室蘭），市民センター（美濃加茂），文化センター（福山，熱海，茨城県），文化会館（大竹，千葉県），公民館（釜石，長府，江東区）など10数件もあるが，そのほとんどが工事費1億円から数億円におよぶものばかりで，それぞれの市で文化中心を形成することになるのであろう。だがこれらの計画とあわせて，活動を地域のすみずみまでおよぼす拠点としての施設をどう整備してゆくか，その計画がたてられているだろうか。

大阪市のばあい，民生局の所管する教化事業はかならずしも完成した行政形態に達しているとはいえないにしても，そのながい歴史のなかから，末端の地域に根をおろさざるをえない事業の性格というものを体験として汲みとってきているようである。

いっぽう社会教育のほうは行政の歴史が浅く，民間の自主的な活動の経験にもとぼしい。そのうえ，教育効果というものが速効的でなく，また目にみえない性質なので，より応急な施策を要する民生事業のほうを優先しやすい。みた目にハデな市民会館などの大施設がまず建設されるのも，やはりこのへんの事情をしめしているようである。

さらに大阪市では，戦争による学校施設の破かいがひどく，これまではとくにその充実に重点がおかれてきた。さきにみたように，教育予算のうち社会教育関係のしめる割合が最近やや高まっているが（第2表）これからの方向としては，飛躍的な教育予算の増額もふくめて，社会教育のいっそうの進展がのぞまれる。

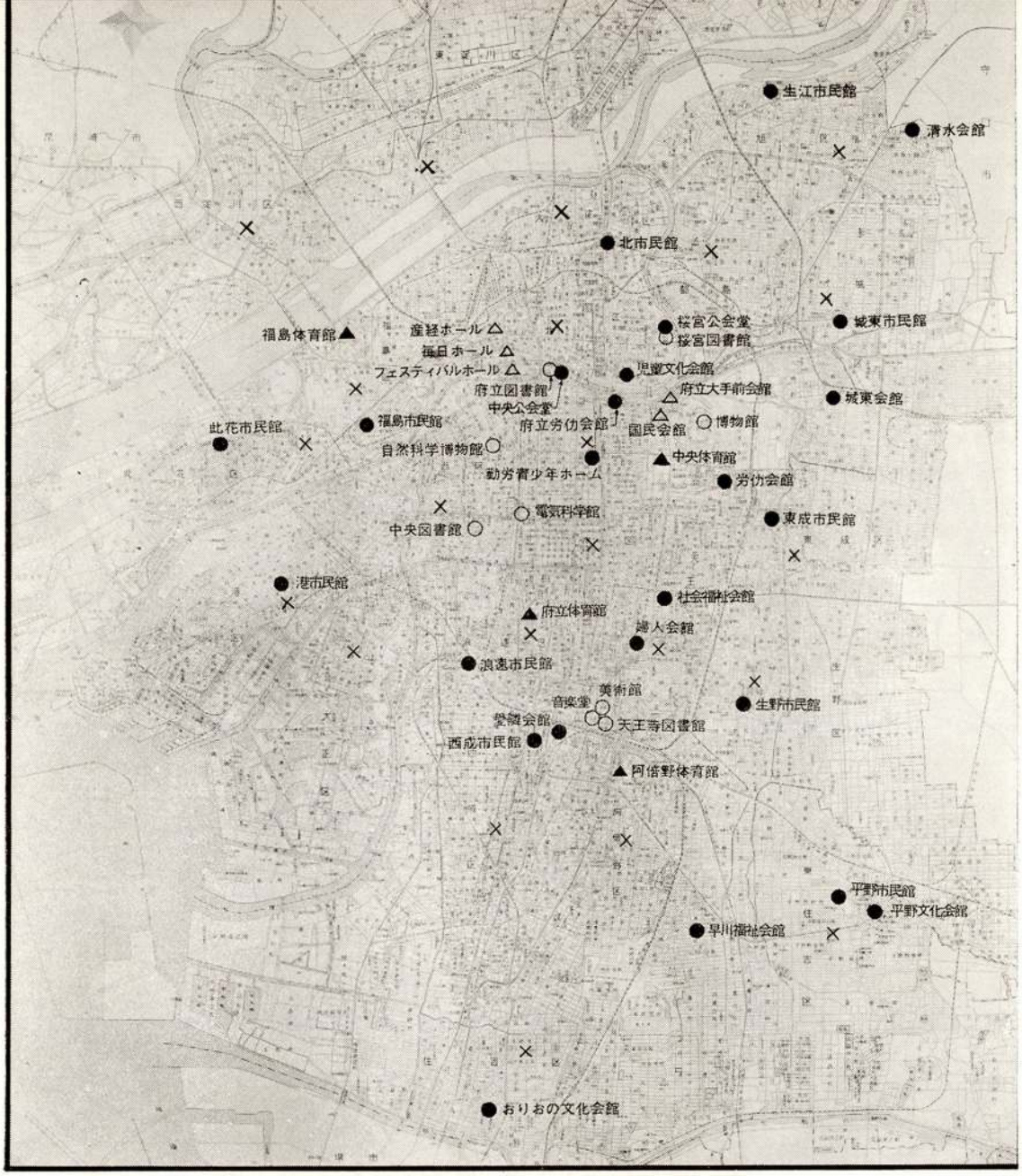
### 3 おわりに

文頭でことわっておいたように，わたしたちはこれまでとりあげてきたような「公共施設」だけが社会教育の場だとは考えていない。

たとえば婦人会館でみてきたように，美容講習がおこなわれる場としてなら，民間の美容学校やチャームスクールのほうがよほど系統的で充実しているだろう。また貸会場の施設なら，民間の建物にじゅうぶん期待してもよい。現実には，映画館や喫茶店でも一種の社会教育がおこなわれているという極論さえなりたつだろう。

ここで，わたしたちが意識的にさけてきた命題——社会教育そのものについて，もういちど徹底的につっこんだ議論が必要になってくるのではなかろうか。

不統一だといわれる社会教育の「機構再編成」の問題も，ひろい視野にたって都市再開発とかみ合わされた「施設整備のマスタープラン」も，そのプログラムも，うえの議論を通ったあとではじめて正規の議題として登場することになるであろう。そして，わたしたち建築家がこの段階ですすんで参加することは，国民に対するかかせない義務のひとつだともいえるであろう。




大阪市内のおもな社会教育関係施設

凡　例

○ 図書館・博物館など
▲ 体育館
△ ホール
● 市民館・文化会館など
× 区役所

(注) 本図にプロットした施設は必ずしも社会教育施設といえないものも含んでいるが，現状から判断して類似的なものもつけ加えた。

---


(参考図書および資料)

- 社会教育計画講座日本の社会教育1
- 改正社会教育法解説 ……和田・宮地著
- 新しい社会教育の手引 ……平沢・近藤編
- 昭和大阪市史 ……大阪市行政局
- 社会教育事業概要（昭36） ……大阪市教育委員会
- 民生事業概要（昭37） ……大阪市民生局
- 社会教育関係予算書（昭37） ……大阪市教育委員会
- 社会教育に関する答申および意見具申事項（昭27～34） ……大阪市社会教育委員会議
- 市政70周年記念大阪市図書館建設計画要綱（昭34.11）
- 大阪市立中央図書館要覧
- 大阪府立図書館要覧
- 創立40年誌抄 ……大阪市北市民館
- 大阪市青年団体事業計画（昭37）
- 大阪市婦人団体協議会事業計画（昭37）
- 大阪市校園 PTA 結成15周年記念誌

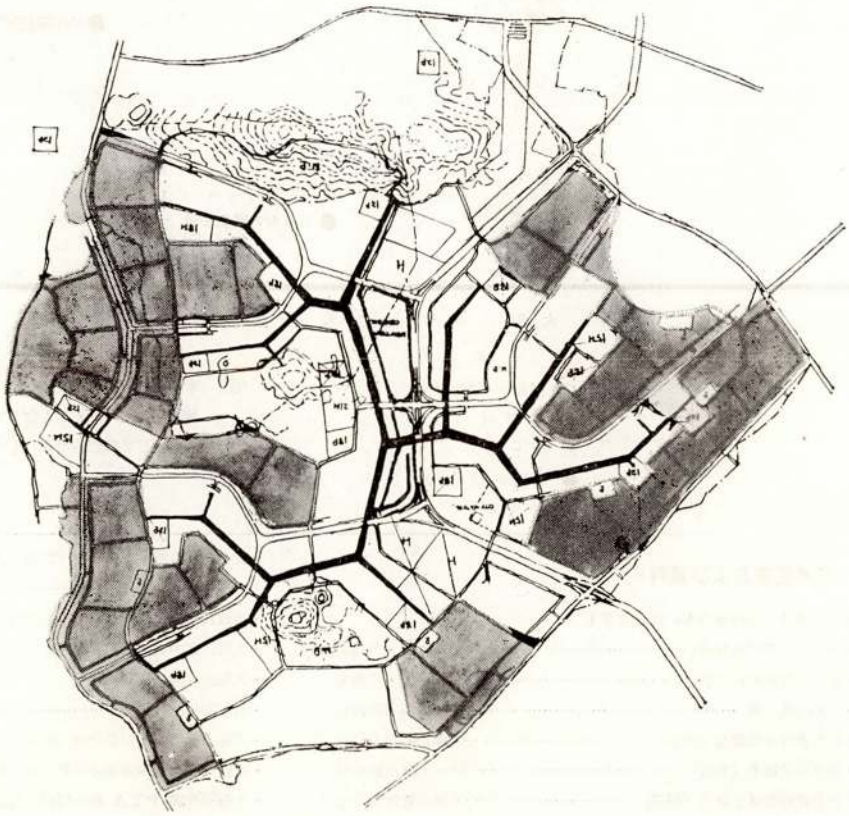
# 高蔵寺ニュータウンと社会教育施設

日本住宅公団高蔵寺開発事務所　土　肥　博　至

社会教育施設の現状分析と将来の方向――ニュータウンの場合――というテーマをいただいたのであるが，実は何を書いてよいかわからずに困惑している。第一に「社会教育施設」としてどんな施設を考えたらよいのか，第二に高蔵寺ニュータウンはまだ1戸の住宅さえも建設されていない文字通り計画中のニュータウンであること，第三に社会教育のためには社会教育施設を計画しなければならない，とする考え方を私どもがとっていないためであろうか。そこでこのやや奇妙な感じをいだかれるであろう第三番目の理由の説明をすることで，ご依頼の趣旨とは大分異るではあろうけれども，この稿をまとめさせていただきたいと思う。

話を進める都合上，最初にニュータウンのアウトラインを説明することから始めたい。

図-1　ランドユースマップ



## ニュータウンの基本構想

図-1 は現段階におけるマスタープランの一部である。これをご覧になって，従来のニュータウン――イギリスの戦後のいくつかのニュータウン（ハーローやクローリー等）や大阪千里ニュータウン――とは何かかわった感じを持たれるのではないかと思う。それは強度な求心性と一体感とでもいえようか。つまり，面積860 Ha，人口90,000人のニュータウンとしては，常識的に考えうるよりもずっと中心部（センター）のウエイトが高くまた連続的なのである。このことの当否は別として，これが高蔵寺ニュータウンの基本的な構想である。私どもはこの構想に立つニュータウンの性格を互いに深く関連し合った次の4つの言葉で説明する。

「**ワンセンター・システム**」文字通りには中心はひとつしかない構成ということになるが，それはそのたったひとつのセンターが非常に強力なものである，ということをも意味する。従来，ニュータウンの住宅地を構成する方法として段階構成がとられてきた。これはコミュニティーの概念からスタートし，コミュニティーのまとまりをそのまま住宅地の計画単位に結びつけたことによるものであろう。そしてこれらのコミュニティーのまとまりは，各種施設とくに学校とショッピングの配置と深くからみあうものと考えられた。たとえば，ハーローにおける最小単位の Housing Group（150戸程度）から Neighbourhood Unit（1,000戸程度），Community Cluster（4,000～5,000戸）といった段階構成がそれである。大阪府の千里ニュータウンでは，分区（1,000～1,500戸），住区（2～3分区），地区（3～5住区）といった段階構成をとっており，それぞれの分区には1つの小学校低学年校，住区には小学校高学年校，各2住区に中学校という学校の段階構成，また分区センター，近隣センター，地区センターというショッピングを中心とした各種施設のセンターの段階構成をとっているのである。しかし，高蔵寺ニュータウンではこの段階構成の考え方を否定して，これまで各種（各段階の）センターに分散されていたエネルギーをひとつのセンターに集中して強力なものにしようと意図したわけである。もちろん，ワン・センターといっても，センター以外にはひとつも商店がないということではないが，いわゆるセンター，その周辺の一群の住宅の核となるような意味のセンターは作らないということである。ここには次にのべるふたつの考え方からの検討があった。

「**オープン・コミュニティー**」コミュニティーという考え方は欧米はもとより，わが国においても都市計画のはじめからあった。ただその実態がよく解明されず，説く人によってさまざまなものに解されたのである。しかし，いづれの場合もそれは人間のある種のまとまりとして考えられた。そしてそれが都市計画，ことにニュータウンの中の住宅地計画の場合には，直接的に住宅を群にして配置するということに結びついている。したがって，この場合のコミュニティーという表現はどうしてもまとまりを強調するあまり，ある

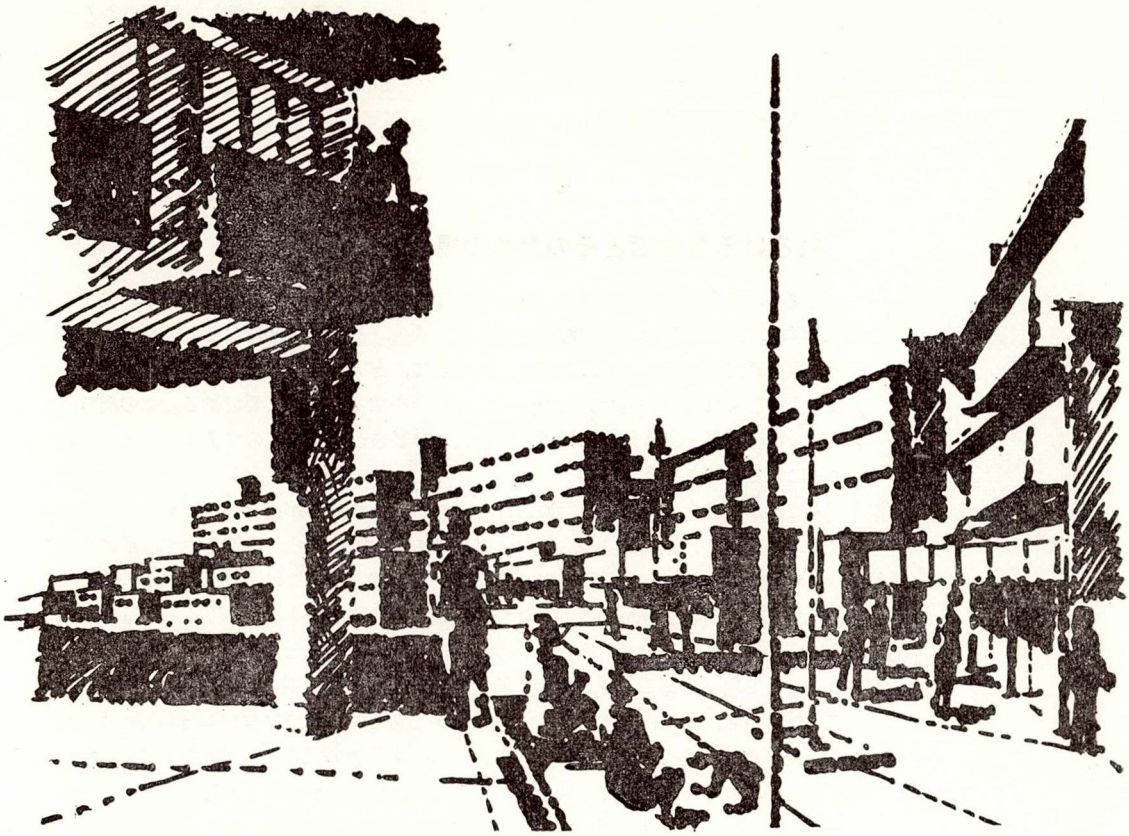
生活がそこで完結するという意味のクローズド・コミュニティーとして扱われてきた傾向が強い。それはある時はコミュニティー構成員の年令別に，ある時は生活行為の種類別に，いろいろな段階構成をとる結果になっているのである。高蔵寺ニュータウンでは，こうした従来のクローズド・コミュニティーに対して，オープン・コミュニティを提案している。現代においては，人々の生活のパターン，生活のひろがり，といったものは非常なスピードで変りつつある。労働時間の短縮と余暇時間の増大，消費様式の変化，交通輸送手段の多様化とスピードアップといった条件はこの傾向をさらに助長すると思われる。十年後に完成し，それからさらに数十年にわたって生き続ける都市を計画しようとしている私どもには，いまの段階で何らかの閉鎖的なコミュニティーを考えるわけにゆかないのである。とくに高蔵寺の場合には，時代の先端をゆき生活のパターンを自らが変えつつある公団階層が大部分を占めるのであるからなおさらである。もちろん，私どもはコミュニティーのまとまり自体を否定してはいない。ただコミュニティーが歴史の流れにのって，それぞれのびのびと発展できるように，障壁を設けたくないわけである。

**「アーバニティ：都市的雰囲気」** ニュータウンが旧都市からの人口分散の方策として考え出された所から，とかく田園的な雰囲気を貴重なものとする傾向があった。緑の中の住宅，可能ならば低密度の土地つきの住宅といった要請である。これは旧都市の欠点であった混乱，騒音，空気の汚染，自動車の危険といった現象に対する反撥からきたものであり，その限りでは正当であろう。しかし，やはり都市の真髄はその人口の集中から来る利便の増大，生活の中の豊かさではなかろうか。そして現在の大都市の上記のような欠点が，その無計画な膨脹に由来するものであって，計画的に開発するニュータウンではかならずしも不可避的なものでないならば，むしろ適当な高密度は都市の魅力を増す上で必要なのではないかと私どもは考える。高密度ではじめて可能になる人々の危険のない賑わい建築物の変化ある複雑さ，いろいろな生活施設の豊富な存在，といったことが都市の最も大切な財産ではないだろうか。高蔵寺ニュータウンでは，私どもは都市性：アーバーニティーを持たせることを一つの基本的な思想とした。

**「自家用車時代」** 最近自家用車の保有率は急速に高まっている。これは上述の生活のパターンを大きく変える一因であると同時に，フィジカルな計画に多いに影響を与える。高蔵寺では昭和55年を目標年度として，2世帯に1台の自家用車保有率を想定した。この数字の上に各幹線道路の巾員，線型，バスサービスのルート，パーキングの量・配置，駅前広場の配置等が決定された。このような自家用車の大巾な増加は，車に便利な都市を計画することを余儀なくすると同時に，もっと大切なことは，車の対立物である人間の動きに便利な都市を真剣に考える必要を生む。このような車の増加によって，ラットパーン以来住宅地計画の原則であった車と人の分離という課題が完全に守られなければならないことになる。私どもは高蔵寺ニュータウンを自家用車時代の都市として計画することを考えた。これは決して車だけに便利なということではない。車に便利にしようと思えば，まづ人間を道路から遠ざけねばならないし，そうすることは人間にとってもより安全で快適な動きを約束するのである。私どもは，道路をその交通量によっていくつかの規格に分け，それぞれの規格に応じて沿道利用制限，交叉点間隔の制限，交叉点の構造等を決め，これらとまったく別の人間のみの道を提案した。

ニュータウン骨組（模型）





ペデストリアン・デツキ

## ペデストリアン・デッキ

以上の4つの互いに関連しあった考え方から形に結びつくものとして提案されたのが「ペデストリアン・デッキ」である。

ペデストリアン・デッキの中には，私どもが高蔵寺ニュータウンで実現したいと考えている基本的な思想のほとんどすべてが集中的に含まれている。ペデストリアン・デッキは人の歩く道であり，車は完全に入れず道路との交叉は必要最少限にとどめ，すべて立体交叉である。ペデストリアン・デッキはセンターから各方面の住宅地の中へ直線的にのびており，住宅とセンターを結ぶニュータウンの骨骼である。デッキは人の歩くところであると同時に，人の集まるところ，人の遊ぶところ，人の生活の場である。デッキは構築物（施設）であって，デッキを形成し，または接して建つ建築と一体的に計画され，複雑で変化のある空間をつくり出して入々の賑わいを増す。デッキは住宅地に配置されるほとんどすべての施設，学校，商店，集会所，小公園，遊び場，診療所，バス停留所等をその中またはすぐ接した周辺に持っており，これらを利用する人々はデッキの上を動けば至極安全で便利である。さらにデッサはリニヤーであるために，それにぶらさがるコミュニティーをクローズなものにせず，つねにデッキの方向に対してはオープンであり，また，将来の変化，生活の向上に伴なう施設の量の増加などに対しても容易に対処できる。そしてセンターそのものも，より複雑で立体的なペデストリアン・デッキによって作られるから，ここでの変化と賑わいの魅力は人々をより多く集め，さらに発展するエネルギーを得ることができる。

このように，私どもは「ペデストリアン・デッキ」を通じて，新しい都市のイメージを実現しようとはかっているわけである。さて，デッキはいま述べたように単なる動線ではなくて，それ自体生活の場である。そして私たちが次に探らねばならないのは生活行為とその場（施設）の関係であった。

## いろいろな生活とそのための場

住宅地の開発計画の中で施設計画は相当なウエイトをもって検討される。施設計画とは，学校，商店，公園，病院などをどの位（量），どこに，どんな形で設置したらよいかという計画である。しかし，実際にはその前に，どんな生活があるのか，どういう人がどのくらいどんな行為をしたいと思っているのかを知ることが必要である。この稿ではさしづめ，社会教育という行為に対する住む人々の要求がどんなものであるか，というのが真先きに来るのであろう。

ところが，社会教育という行為は，そう聞いてだれでもがそうかといえるほど明確ではない。たとえば，食べる，寝る，遊ぶ，運動をする，勉強する，病気を治す，子供を産むといった行為に比べて何とも曖昧である。そして現実には，このように曖昧な言葉でしか説明できない行為の割合が大きくなりつつあることに気がつく。リクリェーションなどという生活行為もその一つであろう。このことは，時の進行とともに生活の巾が拡がってゆくことによる現象である。そこでよく考えてみると，はじめ割合い単純で理解し易いと考えていた行為も，その内容についてみれば必ずしもそう単純ではないことがわかる。たとえば「食べる」という行為にしても，肉体を維持するためにのみ食べるのでないことは当然であるが，食べること自体が楽しみであったり，食べながら人と話をすることが目的であったり，さらには人々が集ったから食べたり，さまざまである。同じ一つの行為が，その人がその時に置かれた状態，その人の気持といったものによって違った要求を持つゆえんである。

ところで私たちは，フィジカルな計画を作る立場にあるために，生活行為をそのための場＝施設，として表現しなければならない。そこで，次の問題が起こる。

従来，私たちは施設を建物名そのものでズバリと，学校，図書館，百貨店，病院などと呼んでいた。そしてこの場合，それぞれの建物はそれぞれひとつの行為に使われるもの（上から，勉強する，本を読む，品物を買う，病気をなおす）と考えていた。ところが実際にはそれほど単純ではなく，ひとつの生活もいくつかの建物で行なわれ，ひとつの建物もいくつかの生活のために使われることがわかってきて，最近では行為の名前の下に施設という字をつけて，建物群に対応させるようになってきた。

教育施設——小・中・高・大学校，幼稚園，保育所
医療・保健施設——病院，診療所，保健所
社会教育施設——図書館，公民館，公会堂，集会所
社会福祉施設——託児所，老人ホーム，リハビリテーション施設，特殊学校

上はその一例である。しかし，この分け方にも生活をどう捉えるかによっていろいろな方法があり，現在互いに少しづつちがう分け方がされている。それでは，このようにグループにして生活行為と結びつけることによって，行為と施設の関係はスッキリするかというと必ずしもそうではない。たとえば，小学校は当然教育のための場であることが主ではあるが，地域の人々の集会の場でもあり，大学病院は教育の場であると同時に医療の場であり，図書館は勉強の場であり，リクレェーションの場であり文化活動の根拠地である。百貨店などはおそろしく多目的の場であり，こう考えてくるとひとつの建物は多くの生活の場であり，ひとつの生活行為はいろいろな建物その他の場で行なわれることがわかる。しかも現在，建物管理の立場から，こうした多目的利用が非常に行ないにくくなっている，という状況の中でさえ，こうした傾向が強まってきているのである。

## 施設計画の考え方と都市のトータルイメージ

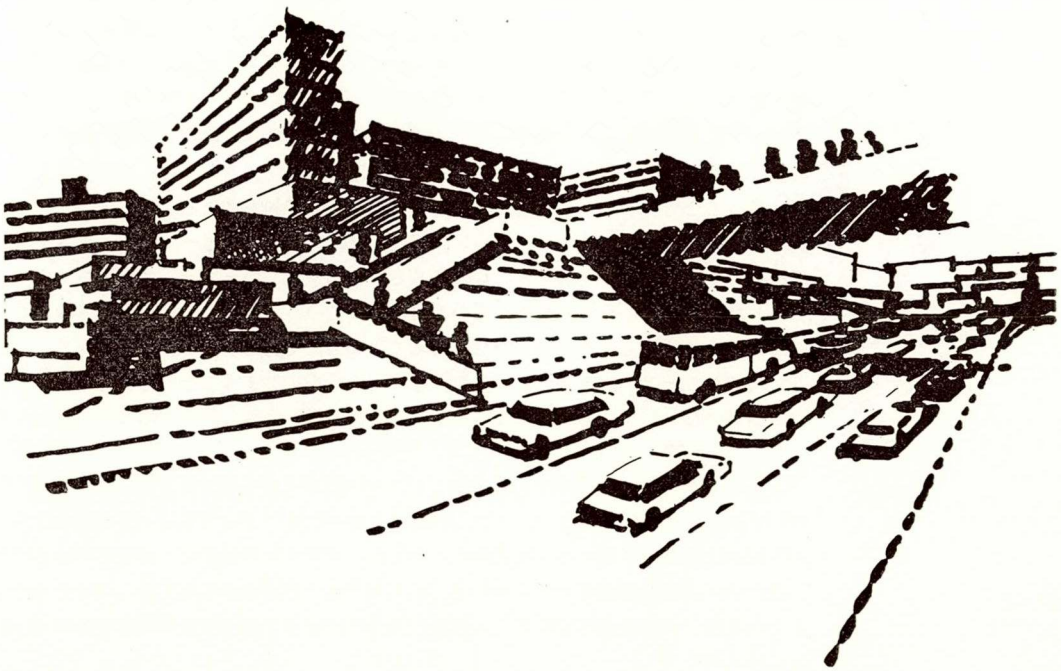
私どもは，高蔵寺ニュータウンの施設計画を行なうにあたって，以上の考え方を基本において，いろいろな施設があまりクローズされた利用にならぬよう，できるだけ有機的な立体的な利用ができるように意図している。どの施設も単一目的の施設としてでなく，またひとつの行為をするにもできるだけ変化のある場の中から選択が可能なようにするべきだと思っている。たとえば，学校はその周辺の人に対してオープンに運営され，運動場は皆が使えるように，そして子供たちは学校の中だけでなく，付近の公園やペデストリアン・デッキの中で勉強ができるようにといった類である。

したがって各々の施設は，単一の目的にしか利用できないような形では困ることになる。しかし，これは施設の種類によって相当事情が異なる。たとえば，学校や病院は何といっても教育や医療という生活が行なわれる部分が圧倒的であり，多目的にということのためにその本来の目的に不便を来たすことがあっては本末転倒である。進んだ教育や高度な医療のための専門の場が要求されるのは当然である。それでも，教育の内容，医療の内容自体が変化することによって，他の施設の利用の必要性が生じてくることは考えられる。したがって，こういった施設については，その生活自体の変化してゆく方向を見通した計画が必要である。そして，時の流れが計画段階における見通しを超えた時には，直ちにそのところらしい生活の要求に対する場を提供できる状態が必要である。これは，すでに個々の施設が負うべき責任ではなく，都市が解決しなければならない問題であろう。

充実した個々の施設を，それぞれお互に関連させながら計画するとともに，都市全体としてもそこで行なわれるような人々の多様な生活が，それぞれ最良の状態で充たされるように，しかも長い間の生活の大きな変化に耐え，さらにその変化の中で発展してゆくことのできる計画をすることが私たちの役割であろう。計画がより進んだ生活への変化を促す力は持っていても，変化を押えつけることができない以上，当然のことである。

最初にのべた言葉「ワンセンター・システム」とか「オープン・コミュニティ」とかいった表現は，私どものこうした考え方をフィジカルな形にうつすための言葉である。いろ

ニュータウンセンター



いろな生活のための場を閉鎖的に考えてはいけない，また施設を設けることだけで充分ではない，ニュータウン全体がペデストリアン・デッキを中心として，人々の生活の大きな部分の変化ある場を提供し，また提供しつづけなければならないと考えるものである。ペデストリアン・デッキはその中に施設も含んで，こうした大きな役割を果す中心である。人々は，リクリェーション，遊び，集会，休息などといった行為を個々の施設におけるよりも，むしろペデストリアン・デッキとその周辺で行なうであろうし，教育，保育などの一部もここで行なわれるであろう。またペデストリアン・デッキを通じて，買物には娯楽的な要素が加味され，通勤や通学にもリクリェーションの要素が加わる。さらに私どもは危険のない快適な空間で過ごす時間は，保健や厚生の役割を果すであろうと考える。

ペデストリアン・デッキは，またクローズド・コミュニティーの段階構成によるセンターとは異なって，線状にのびたオープンなものであるから，生活のエネルギーの高まりとともにその厚みと長さを増すことによって，より変化ある場を提供しながら依然としてオープンであり続けることができる。

以上が私どもの，ニュータウンに住む人々の生活とその場についての考え方である。都市のトータル・イメージを重要視するゆえんでもある。

## 社会教育施設について

最後に申しわけのようになるが，高蔵寺ニュータウンの社会教育施設について触れておこう。

普通社会教育施設と呼ばれている（または呼ばれ得る）もののほとんどすべてがここには計画されている。図書館，公民館，音楽ホール，屋内スポーツ・センターなどはセンターに配置される。また，センターからのびるペデストリアン・デッキの技の中には集会所が作られる。これらの施設の具体的な形や規模といったものはまだ決めていない。それぞれの種類と事情によって，公的機関（春日井市・愛知県または公団）が民間によって建てられることになるであろうが，それも決めるべき段階にいたっていない。具体的な詳細な計画は，今後それぞれのエキスパートの協力を得て，10万都市としてニュータウン全体の水準にバランスのとれたものがなされなければならない。とくに集会所については，これが現在住宅公団が持っている唯一の地域活動施設でもあり，すでにかなり詳しい利用分析もなされているので，新しい生活のパターンにあったものとして進んだ計画をしなければならない。

しかし私どもは現在，マスタープランの計画の段階にある。現在計画するのはその大略の位置と面積，その利用動線の計画といった程度のものであるし，それで充分であろうと考える。ここであげたような施設は社会教育の場として利用されることも確かであるが，利用者の立場からはリクリェーション，娯楽，文化，集会，スポーツといったさまざまな活動の場として多様に利用できるものであることが望ましいと思う。またすでに述べたように，社会教育という活動もこれらの施設においてのみではなく，都市のあらゆる場所で極端にいえば「ニュータウン」でなされることが必要であろう。こういう意味でいまの段階で大切なことは，都市として豊富な社会教育の場を提供すること，しかも単なる社会教育活動ではなく，ニュータウンにおける生活全体の場を快適に計画することではないだろうか。

ここまで書いてきて白状するのは申しわけない限りであるが，私どもは社会教育活動の何たるかを正確には知らない。ただ，芝居の主役を演ずるのはニュータウンの住民であり，舞台監督の役を果すのは社会教育活動に従事する人々であることは確かである。私どもはわずかに舞台装置のスケッチを描くことができるだけである。主役にゆっくり眠ってもらい，旨いものを食べてもらい，開演の当日にはできるだけ多数の観客を集めることが大切であろう。



# 4

## 社会教育の場と施設・随想・ルポ

「大阪府市民のための会場建設を進める会」の結成大会が，去る4月10日，大阪中の島公会堂でもたれた。これは，大阪には，府，市民の使える本当の意味での公共ホールがないこと，こんな文化都市はどこにあるのか，もうだまってはおれない，ということで，大阪労音，労演，労映などの12団体が発起団体となって，つくられたものである。現在，参加団体は40～60団体になるという。このような公共ホールなり，文化ホールを要求する「地域の声と組織」は，それが社会教育の場と施設をつくりだす基本的な要素とさえなっている。地方自治体が，地域開発の美名にかくれて，独占体のための社会資本の充実にばかり目をうばわれているとするならば，誰が一体こういう社会福祉施設なり，社会教育施設をつくりだしていくのか。地域住民のための施設を要求する声はいくら声を大きくしても大きすぎることはない現状にある。

公民館をはじめ，図書館，博物館，美術館，体育館，青年の家，視聴覚ライブラリー，児童館，幼稚園等々の諸施設は，文部省のいうところの立派な社会教育の場である。ところがそういう関係官公庁によらない社会教育的施設も，現在の社会機構のなかで存在している。そういった意味で，商業主義的な要素もある会館，音楽ホール，音楽喫茶，結婚式場，ショールーム等々もとりあげたものである。また，労働政策的においをもつ訓練所，愛隣会館をもとりだした。

これらを，随想またはルポという形で自由にかいてもらったものであるが，その意図するところは，これらの施設をよりよく，地域住民のために利用できるような空間につくりあげていくための「地域の声と組織」を知ることができればと思うからである。と同時に，建築技術者としても，これらの技術以前の問題点をよく摑み，それぞれの社会教育施設の基本的性格の再検討と技術的問題の追求を深めることが必要であると思うからにほかならない。　（松井　昭光）



岸和田公民館
昭和36年11月
設計：日建設計工務

# 公民館の諸問題

大阪大学講師　荒木兵一郎

公民館は地域住民の社会教育の実践の場であって，

1）「住民」の民主的要望と自主的参加

2）漸新で魅力ある行事と熱心な「運営」

3）前者に適応する「施設・設備」

からなりたっており，そのそれぞれが密接に結び合う時にのみ理想的な公民館活動ができるものだと思われる。

しかし，現況の公民館をみるとき，とくにその施設の貧弱さが痛感される。すなわち，公民館誕生後すでに17年にもなり，全国市町村の87％に設置され，地区分館も含めれば約2万館の多きにのぼる数はあるけれども，いまだに独自の建物を持たず学校や市町村役場に併置されていたり，あるいは他の建物から転用されたものがほとんどであって，公民館として設計・新築されたものは約20％，さらに多人数を収容する施設であるのにかかわらず，耐火構造はわずか1％に過ぎないといった状態なのである。たんにこのことからだけでも，せっかくこうまいな理想を持って生まれた公民館も，次第に魅力を失ない住民からそっぽを向かれるのもいたし方ないものと思われる。

この原因は根本的には，わが国の社会教育に対する認識不足と，それに由来する地方公共団体等の赤字財政のシワ寄せを喰ったことによるのであろうが，また一方，公民館側においてもその創世期では，公民館は市町村の社会教育を行なうよりどころに過ぎず，「施設」よりも〝町づくり〟〝人づくり〟の「実践活動」に重点を置く考え方が支配的であったことにもよるのではなかろうか。この考え方は地域規模が小さく，住民の要求や関心が未分化であったり，また文化的・教育的水準が低いところでは現在もなお成りたつであろうが，都市や最近の市町村のように，行政規模が次第に大きくなり，機能分化が発達し，他の機関や団体等も社会教育の内容をもって活動を展開する可能性のあるところでは行き詰ってしまう。

そこで台頭して来たのがいわゆる「施設主義」と呼ばれるものであって，充実した「施設」を広く住民や社会教育団体等に利用させ，自主的な自己教育・相互教育をはかろうとするものである。しかし，ここで注意しなくてはならないのは大衆の自主性というのが往々にして低俗であって，どこの公民館に行っても書道・華道・茶道・簿記，リクリェーションといった実利的・趣味的な講座やサークル活動ばかりに人気があって，高度な教育的学習活動が影を薄めてしまう結果となっている。公民館はいわば放送におけるNHK的立場であって，真に公民館でなくては絶対にできない教育活動を行なうための施設・設備（視聴覚教具，産業教具，生活改善用具など）を充分にほどこす必要があるのではなかろうかと思われる。

しかし，それには多大の経費が必要であり，現況では無理だというならば，最近は自動車交通が発達し，公民館への誘致範囲も増大したのだから，各個の公民館はそれぞれの地方性と特殊性を伸長しながら，近隣の公民館と有機的に連繋することによって，いわゆるプラツーンタイプとして計画できるのではないだろうか。

また，ここで問題となった他施設とのつながりは，たんに公民館同志ばかりではなく，図書館，博物館，体育施設，幼少児の遊戯施設，緑地，ユースホステル等とも適宜に結びつき，できればそれらが総合的に計画されたコミュニティー・センターの中心施設としての公民館でありたい。

さらに現況の公民館はもう一つ住民との結びつきが密接ではない。それは一つには建物へのアプローチが閉鎖的だからではないだろうか。加古川公民館では玄関と直結してロビー兼喫茶室があり，テレビなども置いてあって自由な雰囲気で市民が憩っていた。これなども一つの解決策だろうと思われるが，やはり根本的には公民館が本当に住民のものであるという意識がわれわれに不足しているからではないだろうか。スェーデン等では講習会などはあまり行なわれず，近所の主婦たちが随意に集まり公民館の施設・設備を利用して，ある者は絵を画き，ある者は編物などしながら，いろいろな問題について話し合っているそうで，わが国ではこんな情景はちっとも見られない。すなわち，彼等には「自分たちが公民館を作ったのであり，自分たちのものであり，それを使う権利がある」と主張するほど公民館と住民が結びついているのではなかろうか。



清家　清 ― 小原豊雲：小原会館
（神戸新聞社提供）
室内回り階段から空にのびた
オブジエ（避雷針）



ホールの壁と照明器具

# グロテスク

## ―会館ブームに見る変形意欲―

神戸大　鳥田家弘

――近ごろは会館ブームだ。効用の直接の目的よりももう少し広い視野を持つゆとりが全般に出てきたのだろう。貧乏な教育界でさえ，教育工場だった校舎のほかに学生会館が話題になっている。国民としても建築家としても，このブームは頼もしい。

しかしこの会館ブームは，新興商工業団体や新市民団体が盛んにクラブを建てた1世紀前の西欧事情に大変よく似ている。建物の規模があまり大きくないのもよく似ている。（ちがうところは，欧米のこの種のクラブがいま都市再開発のためにどしどし取り壊わされているのにこちらの会館は再開発の一部を担っているような大きい顔をしていることだ。再開発の次元がまるでちがう。）

――ところで，この会館ブームのなかから創造意欲や人間的エネルギーの名を借りて，一種のグロテスクが顔を出しかけているようだ。一言このことを警告したい。

小規模な会館や記念建築では，建築家は空間思惟を純粋にやれる。新しい創造の試みができる。しかし新しい空間構造の理法が確かになるまでは，創造意欲は大体において変形意欲の形になるものだ。それが過ぎるとグロテスクになる。

――グロテスクとは，語源からいえばルネッサンス期の grotto（地下洞窟）趣味。古ローマの地に埋没した施設から発見した変形鳥獣の壁画（鳥の尻尾が唐草から生えるなど）に魅力を感じ，異常な人工変形を作るものである。地獄図・審判図・使徒誘惑図などに，光に対立する影の世界として，このグロテスクが創造した生物や洞窟や構築物はたくさんある。これらもまた，人間のエネルギーに満ちた創造的作品には違いない。

――日本の変形鳥獣は，ヨーロッパのあの凄さまじいグロテスクにならず，飄々としたものか可愛いいものになった。しかしいま，こういう洗練を日本の弱さと断じ，もっとたくましいエネルギーが求められている。丹下がコンクリートの木への変形を試み，清家が京都の空間を復活した当時とは違って「日本の空間」はもう陳腐な亜流と見られ，彼等も次の変生を試みている。

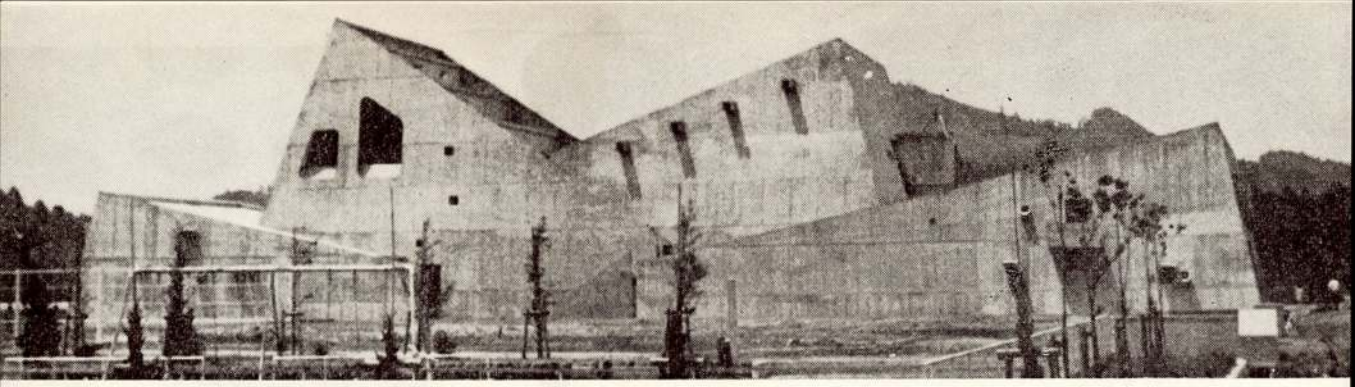
そこで建築のモチーフは，たとえば荒々しい重い壁，のしかかる曲面，それらに囲まれた密度の高い空間などとなった。以前私は，西欧の古い空間を成立させた「もの」の力をつかめと書いたが（当時だれも関心を示さなかった），いまそうなっている。そうなってみると，今度はグロテスクへの初めての行き過ぎを警告しなければならぬ。新しいものは常に何か異常に見えるが，しかしそれとグロテスクとの間にあるポイントを押えなければ造形は駄目になってしまう。

――東京の文化会館は，京都のよりも異常だが，造形のこのポイントを失なってはいない。丹下の草月会館ははじめコンクリートの神社だったのを，一転してあの形になった。結局，蒼風とのかね合いはうまく行った。

それに較べて，清家と豊雲の出会いはまずかった。清家の石窟空間の思惟は，造形的には豊雲のあくどい趣味に押されてイタリア山塞のグロテスクになった。清家のあの粗石の壁の強さに，だれかがさらに何かを加えようとすれば，グロテスク以外になかったかも知れぬ。空中から遠望すれば清家の例の清純な枠組みが見えてくるのが，何か勿体ない。

この会館は性質上，小原教の岩窟祠だが，それにしてもポイントを踏み越えている。大石寺などにもその感がある。そのエネルギーは大したものとしても，それは浪費に類し，やはり健康ではない。亜流がこの傾向を真似だしたら，エネルギーどころか何とも処置なしだ。東京都市像にも時に地獄の都市計画がある。それでは都民は将来とも浮ばれまい。むかしの未来派の描いた都市像のほうがよい。

――かって，ユーゲント・スティールや表現派のなかにも時々グロテスクがあった。変生のためのエネルギーを消費しなければ，次の新しい本物は生れないかも知れぬ。しかし，グロテスクは決してその道ではない。



日南市文化センター

# ALL と NOTHING の谷間を埋めること

鹿児島大　吉野正治

地方の公民館で気がつくことは，町不相応に立派なものがあるかと思えば，学校の体育館にムシロを敷して代用するというものがあるという all or nothing という対照である。ここに紹介する日南市の場合はもちろん all 組であるが，しかしこの組に入るようになったのはつい最近のことで，それまでは何もなかったといってもよい。日南市というのは「油津町」と「おび町」が合併してできた宮崎県南の人口4万人の都市である。二つの町はバスで15分くらい離れている。そして公民館はこの二つの町の真中ほどにある田畠の中に建設されている。やや油津よりかも知れない。将来，日南市が大日南市となれば，ちょうど具合いがよいというわけである。将来の都市の核になるという構想である。しかしいまは，NHK のルポにもあったように田園公民館，正式には文化センターである。設計者は丹下健三氏であるから，一躍，nothing から大 all 組に入ったわけである。ここでおことわりしておくが，決して建築批評を行なおうとしているのではない。nothing から大 all 組に入った場合に生じた，公民館をめぐって起きたいくつかの社会現象の見聞を参考までに提供しようとするに過ぎない。

×　　×　　×

現象を理解していただくためにはやはり最少限度の資料を提出せねばなるまい。建築延面積 2,938 m², 総工費約1億3千万円，日南市の年間予算約7億円，センターの中庭の使用料は無料，他は市が使用しても すべて有料。

**さて現象の第1は**，非常に悲しいことであるが，この公民館を田畠の中に建設することを企画し，市財政の約2割を投じて，文化の谷間から，文化生む日南へと志ざした市長が，次の選挙で落選したことである。市民の1人は私に「あの建物が命取りでした」とささやいてくれたが，本当かどうか解らない。一方，その対立候補であった現市長は，その竣工の挨拶で「心から市民とともに完成を祝う」といっていた。そして文化センターは観光コースの一つとしてパンフレットに刷り込まれた。

**現象その2：**「町民，いや市民の評判はどうですか？なかなか変った建物ですけれど……」私はたずねた。「はい，他所の人々が見学に来ましてねえ，その市議だとか，建築士会とかですねえ……」

**現象その3：**「使用した人々の反響はどうでしたか？喜んでいたでしょう」私はたずねた。「はい，ある日，カメラ大会が開かれましてね。モデルがどこに立ってもきれいに見え，変化のあるアングルが次から次に発見できて，皆んなよかった，よかったといってました」

**現象その4：**「この中庭はよく使用されますか？」私はたずねた。「はい，ここが無料なものですから，ここでよく会合が開かれます。ただほど安いものはない，その上涼しくて申し分ないと喜んでいました」

**現象その5：**「管理者も大変でしょぅね？」私はたずねた。「はい，高い天井から下っている照明灯（グローヴ）がたびたび割れましてね。村の若い者が〝新生一つ〟賭けて腕を競うものですから。間もなく防石網をかぶせる予定です」

**現象その6：**「陶制の赤や黒の腰掛や灰皿の評判はどうですか？」私はたずねた。「はい，夕涼みに道路にもって出ると赤で安全ですし，尻もひんやりして好評です。しかし管理人はコボしていますがね。朝集めに歩くのが大変だと」

all と nothing の谷間を埋めるにはなかなか時間と根気が必要なように思って私はタメイキを吐いた。

（附記　写真平面図は，市建築課長春田氏より提供されたものです。文章は私が会話形式にしたもので，特定の人との対話ではありません。）



茨木市立児童会館

# 児　童　会　館

京工大　相川　浩

昨年末，茨木市立児童会館が竣工した。造園は今年度工事に繰越されて未完成であるが，基本設計に参加した者として，次に雑感を申し上げようと思う。

最初に，児童会館の具体的機能が問題になった。対象は小・中学生とされたが，小学生も4年以上になればとかく受験勉強に追われがちであろう。また，低学年生にとっては，児童会館が一都市に1ヵ所では家庭からの距離が遠すぎよう。悪くするとだれも寄りつかない心配もあった。これに対して，会館を必要とする積極的意図としては，主に情操教育の補充があげられた。その結果，建築的には音楽室，彫刻・絵画室，図書室，舞台付小講堂および宿泊訓練用の和室，台所，浴室が要求された。和室部分は母親教育用？の集会をも兼ねることになった。これ以外に事務室と管理者兼指導者用の住居部が加えられた。

実際の運営上の成果については，竣工後，日が浅いためまだ不分明であるが，児童会館といいながら，実際には児童教育に関する大人たちの集会場に当てられる心配もあろう。このほか，児童に対する指導が必要であり，しかも学校のような固苦しい感じを児童に抱かせないとなると，住み込みの管理兼指導者に優れた人を得ることが運営上根本的な要件であろう。この点では給与その他の処遇条件が当然付随する。設計の面でいえば，管理者の居住部が，6帖，3帖，台所だけの西向きの部屋になったのは心残りな点である。

規模決定では，上記のように，はたして何人の児童を吸収し得るか不明であった。また，児童会館の建築例が少なく，結局予算内できわめて漠然とした要素によって設計することになった。また，細部寸法は小学校高学年生を基準にした延面積約450m$^2$，一部ピロティの総2階建である。

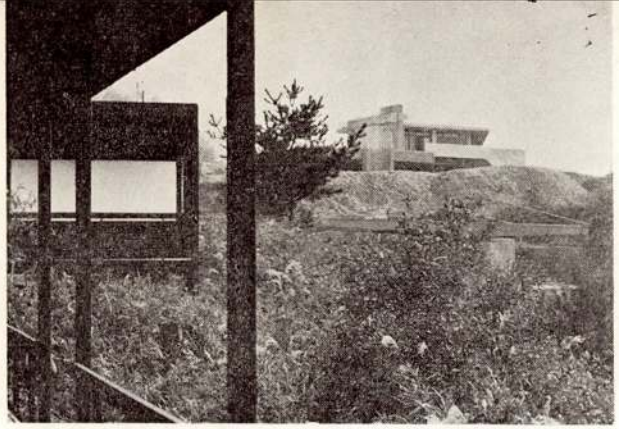
設計をまとめるに当って，理事者側から「子供の夢を育てるような建物」という注文が出された。予想したことであったが，このような考え方の中には大人の回顧趣味的な幼稚ぶった感傷が潜みかねない。子供の健全な夢を育てようとするのはもちろん努力すべき目的であろうが，この点，大人の側からのひとりよがりな稚気は子供にとって迷惑であろうと思う。したがって，設計に際しては子供の生活にまず便利であり，立派な建築を作るように心掛けた。しかし，実はその上に子供にとって楽しく快く，面白い建築でなければならないであろう。これはいうことができても作るのは大変むつかしいことであった。結果はお見かけの通りでお恥しい次第である。

写真は正面を主要道路から見たところである。敷地は道路からほぼ半階分低くなっており，建物全体の形がL字形で正面は南向き，L字形の短辺に当る。2階は向って右から音楽室，開架式図書広間，主入口，事務室が並び，この奥に講堂をつける。講堂から避難用の橋を道路まで渡し，末端は垂直の梯子にして道路に連ねた。中間に主な避難階段をつけ，それを中庭側と道路側に分けている。写真右端にその一部が見られるが，子供の遊び場を兼ねたつもりである。

主入口は屋内階段の踊り場に開き，その下は絵画室の倉庫と流しにし，左端は絵画室に当てた。奥の講堂の下に当る部分に，和室2室，台所，浴室，便所，管理者住居が続く。

この会館は茨木市上中条の部落共有財産を処分した資金で，最初部落の施設として計画され，のちに市に移管完成された。そのため部落代表の方々のまことに熱心な推進，協力が得られた。たとえば，同地にお住いの仲真弘氏は，会館内外に浮彫りと庭の点景を製作されて建築に潤いを添えて下さった。ここに記して感謝の意を表したい。

このような地域居住者の協力は，今後も運営上に好影響を及ぼし，優れた先例を作ると期待される。すなわち，児童会館がまだ公共施設として定着していないだけに，父兄の関心と協力の度合いはこの施設を活用するか否かの要因の一つであると考えるからである。



吹田市青少年の家：千里ニュータウンの北端にあるキャンプ場として設けられた施設。市内の学校生徒，諸青少年団体を対象にしている。
手前・宿泊棟，右下・野外食堂
右上・本館（一部未完成）

# 青少年の家

K構造研究所　片倉健雄

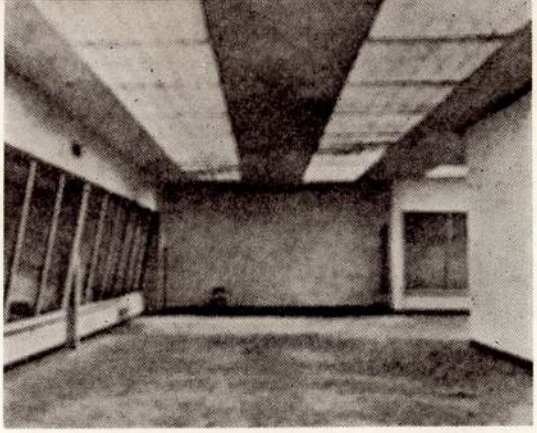
◇ 若いサラリーマンの生活は，時間はあっても金がなくて，疲れていてそれでエネルギーをもて余して人間関係が案外狭く，何かしらいつも満足感のないような……。そして都会ほど，また近代化の進んだ職場ほど孤独であり，巨大な機構やマスコミの下で個人は色褪せる。職場での仕事はより集中を求められて精神的な疲労が高かまり，これに応じて消費的気晴しが必要になる。しかもそれは自我のたかまってゆく〝自分でわかっているようでかわらない〟どうにもならぬ年代であり，境界人の孤独と呼ばれて大人の生活への入口で激しく渦巻いている時期である。社会へ出た若い人達の職場の外での生活経験ははなはだ不安定で，一面的・断片的なしかも受動的なものが多い。このような状態の個人個人をしっかりと小集団に所属させることの必要と，その意義が強調されてきているのは当然といえよう。しかし，これが直ちに〝サークルを作らせよう〟〝その場を与えよう〟というふうに結論されるといささか飛躍がある。そこでまず個人の生活がのびのびと展開され，そしてそれが自然に拡がって繋がりができてゆくような場が生まれなければならない。

◇ 義務教育を了えて仕事につき教育機関に在籍していない者は15～17才で約40%弱，さらにこれが高校卒業後の年令の18才以上ではほとんど90%近い者が教育機関を離れて青年期を過ごしているという。文部省のいう「青年の家」はこのような人々を中心とした青少年を対象にする社会教育の場として，昭和30年度から各都道府県への設置を助成してきたものである。しかし，その性格づけは抽象的かつあいまいで，たとえば〝身心の発達を目指す……，規律・公衆道徳，友愛・協同の精神，職業技術・教育研修，野外旅行の拠点，……スポーツ・リクリエーション，図書・視聴覚〟といった言葉が羅列されている。いままでに都道府県あるいは市が建築したのはこのようなもので，平均400～500m²程度の宿泊施設に会議室，講堂，図書室等を加えたものが多い。またこの目的の一部に合致する宿泊施設に運輸省が観光施設として助成しているユースホステルがあるので「青年の家」そのものはますますあいまいな印象を受ける。現在この名で呼ばれているものはこうして戦後社会教育の施設としておかれたが，まだ十分育っていない施設だといえよう。

◇ しかし，最初にみたような若い人達の生活が，社会の激しい変化とともに，都会だけでなく形を変えて農漁村にも，また学校生活の中にさえも存在している。それを見つめることから出発してもう一度整理して把握する必要がありそうに思われる。

まず山の家，海の家のようなリゾート施設や宿泊施設を中心にしたもの，大規模な集会施設をもつもの等がわかりやすい。これらはすでに形をなしている集団か，さもなければ不特定多数の個人または小グループを一時的に対象とする，いわゆる〝センター〟的なものである。

これに対して，比較的限られた地域の青少年の日常生活を継続的に受け入る場を「青少年の家」と呼びたい。ここではまず個人が認められて，そのふれ合いから小さい集団が芽生え，新陳代謝しつつ育ってゆくような，生活に定着した活動を予想する。喫茶店で友達と過ごす時いつも話をきいてくれ，時にはたしなめられるめし屋の親父，独りで本を伏せて静かに考えこめる雰囲気。そんなようなものと一緒にいつでも自由に加われるサークルか何かやっていて，異性とのスムーズな交際の可能性もチョッピリある……。ちょうど，ガーデンパーティが個人の自由さと適度の連帯感をもちながら，すぐれたホステスによって雰囲気を高めすべての人に満足感を与えるような，そこから始まる。したがって，図書室，娯楽室，講座室等々を区切って並べた建物ではなくて，ワン・ルーム的な豊かなひろがりをもったようなものが生まれそうである。何かを求めているのだが，なかなか近づこうとしない青年たちを前にして建築も身構えてはいけない。おずおずとのぞく者，横目で通りすぎようとする者，案外そんな人たちの方が求めているのだという事を意識したい。規模は小さくてもその地域々々に応じた形で根を張ってゆく教育の看板をかけない教育施設として把えてみた。



鎌倉美術館

# 美術館と博物館

大阪市大　伊藤克三

美術館・博物館等，展示を目的とする建物は，何よりもまづ展示物の鑑賞に最適な照明環境をもったものであることが必要である。物品の保存，保安等計画上問題はいくらでもあろうが，果すべき最大の機能はよく鑑賞できることでなければならない。美術館のよしあしは，したがって照明のよしあしで大きく左右されるべきものであると思う。

近頃，国立西洋美術館の採光照明に関して酷しい批判が出て新たな話題を提供した。美術館の採光は，古くから各種の工夫・考案がなされてきたが，そのねらいは直射日光の防除，反射眩輝，反射映像の防止の点であった。反射眩輝とは光沢のある面が光線の方向によって光って見え難いことであり，反射映像とはガラス面等に観賞者の像が映って障害になることである。今世紀初頭以来，1920年代にかけて多くの解決法が研究され，わが国でもその後かなり取上げられた時期があった。その頃の一応の結論としては頂側光方式であるように受取られる。しかし，その後は螢光灯の出現など電灯照明の発達により美術館照明の重点がこの方面に移ったため，採光の問題はそのまま取り残された形になっていた。この機会に今一度一歩進んだ観点から美術館照明を取り上げて検討を加えることが必要な時期にきているのではなかろうか。

われわれは各種の採光方式に関して一通りの常識といったものをもっている。しかし，この常識は上述のように30年も前に経験的に形造られたものの継承であって，その後の照明学の進んだ技術をほとんど含まないものであることに注意しなければならない。光源の改良，ルーバーの応用等の技術の進歩，視るということの生理的・心理的な面での進歩等を取り入れた新しい美術館の採光照明方法を従来の方式の上に組立てなければならない。

美術館照明では昼光照明か人工照明かがまづ問題になる。これには多くの要素が関連して一概にはいえないが，自然光が再認識されて電灯のみに頼ろうとしてきた傾向が反省されつつある現状から見て，昼光と電灯光とを併用した照明に今後進むのが最も実際的な行き方であろう。両者の併用により昼光の変動を防ぎ常に安定した一定の照明環境を維持し，必要に応じては電灯のみでも所要の条件を満たす設備をもつとともに，昼光を最大限に利用する工夫が望ましい。

美術館照明でもっともむつかしい点は，やはり反射眩輝と反射映像の防止の2点である。前者に対しては油絵のようなもっとも視条件の悪いものでは，従来考えられてきた以上に光線と画面との角を小さくとる方が好ましいという結果が得られ，後者については，展示面の照度が観者の位置の照度の8～10倍であれば安全であるということができる。これには画面照度をいままでよりさらに高め，観者を相対的に低い照度の位置におかねばならない。これらの観点から2，3の新しい美術館について見てみよう。

国立美術館についてはすでに論じられているが，とくに電灯の位置が悪く，断面図を見ればまともに正反射光が観者の方にくるようになっていて，はなはだしい画面のひかりが想像される。別の灯器が天井を照らし，その反射光でこれを矯正する考えのようであるが，むしろ天井からの反射光のみによる照明がこの場合適当していると考えられる。ただしこの場合，ガラス入りの展示場には鮮明な映像の生じることは防ぐことができない。

鎌倉美術館の採光照明はよく考えられている。昼光・電灯光を同一の位置から取るようになっていて，昼光の変動を電灯で補いながら常に一定の照明環境が保たれるよう配慮されている。ルーバーで光線を壁面に向け観者の壁面に向った面の照度を下げていること，ガラス面を傾斜させていることは反射映像の防止に役立っている。天井の低い室に昼光を取り入れる方法としてすぐれた解決法であるが，少し気のつくことを述べて設計上のご参考にしたい。

ケースのガラス面をより天井近くまで上げ，光源をガラス面近くまで広げる方が壁面照度が高くなり照度不足が救われる。十分な照度を得るにはケース内に補助電灯照明を設けるのが望ましい。中の照度が室内に比し高くなればガラス面の傾斜の必要もなくなるのではないか。それにはルーバーの室内に向く下側の面を反射面にしないで暗くすることが非常に有効である。これは映像の防止と同時に光源の輝度を低下させて眩輝の防止にも役立つ利点があり，このために壁面への光が著しく損われることもないので取り上げられてよい工夫であると思う。



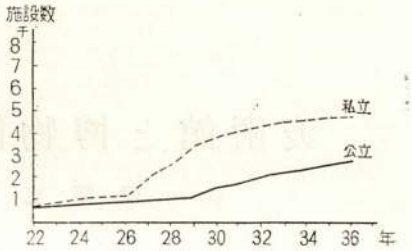



図1　追いつ追われつ増加する幼稚園と保育所の通園児

# 消えゆく幼稚園？

芦原義信建築設計研究所　日下あこ

## はじめに

幼児のことを広く考え，より長く幼稚園の意味を生かそうとする人たちのために，あえてこんな表題を掲げた。

だいたい建築家が施設の性格を説明し，その将来を予測するなどということはおこがましい限りであろう。しかし，建築家は計画に反映しやすい言葉で施設の性格をつかみたいし，また建築の寿命が10年も100年も生きるものとすると，現在の性格だけでなく，この現在の性格がどんな流れの中に身をゆだねたものであるかを，時には経営者よりも知る必要がある。といってもこれはあくまで施設の運営者としての学でなく，設計々画の一資料としての把え方で……，こう考えて幼稚園経営には門外漢の私が，こんな勝手な随想を書いて見た。

## 幼稚園の発生とブーム

日本の幼稚園の起源は明治時代にさかのぼる。その目的は幼児の学令前の教育であった。義務教育以前に知識をつめこむのでなく，集団生活・情操教育を身につけようという意味で設立された。戦前はそれほど一般的でなく教育熱心な階層に限られていたが，戦後次第に普及し一般化するようになった。とくに都市において私立幼稚園の増加が目ざましくなってきたのは昭和25年から30年までのいわゆる〝終戦の落し子〟の波が幼稚園をおそった時である。その頃は幼稚園の設置基準も非常にゆるい旧基準で，民間の素人が退職金で始めたり，公会堂，寺，私邸の改築で容易に開園することができた。基準に満たない園があっても，これを取り締まる方法は児童虐待法による他なかった。

実際に街に溢れた幼児に，ある程度の秩序と遊び場を提供したこれら園は，なんといっても公益的であったため，やがて改築するという名目で基準違反も大目に見られたものも多い。

## 保育所との闘争と変容

保育所は厚生省の管轄で，家庭で保育が行なわれない条件を持った子供のために家庭に代る保育をしようと始めた園である。これは0才から学令前の幼児を対象とし，時には小学校の低学年も含めている。いまこれを4，5才の子供の側から見るとともに健康な一般家庭の幼児でありながら一方は保育所に，一方は幼稚園に通い，やがて小学校に進むと同じ机をならべることとなる。そこで保育所，幼稚園ともに，幼児に対して教育その他では同じ扱いが行なわれることとなる。もし両施設が一対になって全国にくまなく普及し，需要にこたえるだけあれば，これ等の性格の分担は問題ないが，現実には経営として成立するか否かの大きな問題があって需要にこたえていない。いま公立の幼稚園や保育所の場合は各園の独立採算でなく，補助も加わるので比較的純粋な性格が保てる。しかし，これらの2倍以上の需要がある実状が起るや経営上成立する形で両施設の性格を複雑におびた私立の保育所や幼稚園の続出を招くことになる。すなわち低密度人口地帯では両施設の性格が一体となったものが生まれ，高密度地帯では競争の激しさのあまり両施設とも経営のしやすい性格に変容しがちである。その結果，ともに本来のものから遠ざかり極めて近似した施設が生まれてくることとなった。

このような幼児ブームが過ぎ去った後，両施設はいまではほとんど同一市場となった4，5才児を求めて激しい争奪戦をくりひろげることとなった。

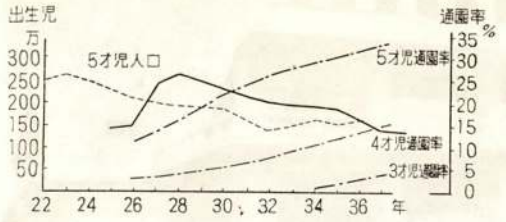



図2　減少する幼児人口と増加する通園率

…… 出生児
—— 5年後の人口（死亡なしとする）
—・— 通園率

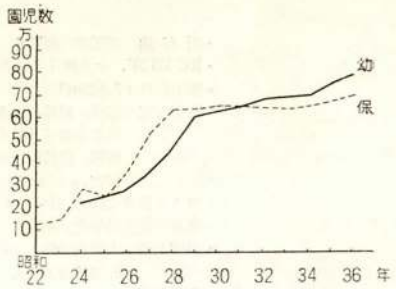



図3　幼児ブーム時に急増した私立とその後着実に伸びる公立

### 減っていく幼児数

出産数は，最高の昭和24年（260万人）と現在の幼稚園児の出産時の昭和32年（150万人）とでは，わずか8年の間に4/7にまで極減しており，この後，出産数は横ばいで増加の見込みはない。こうなると今後は店をたたむ園の続出は疑う余地もない。

そこで対策として幼児人口の減少に伴って通園率の増加と対象年令の拡張が現われて来た（注-1）。昭和30年代に入ると2年保育の必要が叫ばれ（4才児から通園すること）35年を過ぎると〝3才児では遅すぎる〟という言葉が生まれ，3年保育がクローズ・アップされてきた。そこでまた保育所の対象児との不思議なせり合いがつきまとってきた。

### 小学校に呑まれる幼児

幼稚園の義務教育化は古くから叫ばれ，英国では5才児は義務教育に入っている。日本でも実質的に県ぐるみこれを行なったところも7，8年前から2，3県あるが，これが最近可能な条件をそろえてきた。すなわち，公立幼稚園がその8割まで小学校に付属し，この公立の数がブーム後も着実に伸びてきたこと，幼稚園それ自からが研究を重ねた幼児教育の必要性が通念化したこと，一方，小学校を襲った〝終戦の落し子〟の波が過ぎた後の空校舎が幼児の収容を可能にしたなどである。

こうして幼稚園の主メンバーである5才児が小学校に呑まれる恐れが濃厚となってきた。

### 幼稚園よどこえ行く

敗戦の後に明日を築く子らを培う園として不思議なほど華やかに普及した数々の幼稚園はやがて縮少し，消えていくのではなかろうか……。すなわち，幼児人口の定常的な減少，5才児の義務化，設置基準の向上と厳守化，主婦の就労の増加に伴う保育所の普及（注-2），こうした諸々の条件はいずれも消えていく幼稚園を予言するように見える。

それでは，一体どこへ行くのであろうか……。たしかに幼児教育の必要は依然として残り，しかもこの意味の深さ，幼稚園ならではの教育は一般に非常に浸透してきている。そこで次にくるものはこの基盤の要求を純粋に反映したものであるはずだ。すなわち，これは学童といってもまだ幼児の段階の小学校1，2年生を上級生から切りはなして吸収し，家庭環境と教育の場の混然とした保育所の幼児も吸収して成立する幼児教育の場にふさわしい幼児学校のようなものではなかろうか……。この時，幼稚園は数年来の保育所や小学校との争いの幕を閉じ，義務化された小学校の低学年校として独立し，真に幼児教育にふさわしい環境を確立するのではなかろうか。この時，措置児（注-3）はここで勉強したのち保育所に帰り，午睡をし，おやつをもらい夕方家庭に帰宅する。こうして保育所もまた真に家庭に代る保育の場を展開し得るのではなかろうか。

注-1　年令別の通園率は，一般に5才児が極度に高く，4才，3才でこの5才児通園率の3分の1，10分の1ぐらいである。通園率は都心と僻村では非常に差があり，都市団地で5才児100%，山間避地で10%のところもある。

注-2　昭和23年ころは全国で幼稚園は2,000，保育所は2,000ぐらい。現在は幼稚園は7,000，保育所は10,000に達している。

注-3　両親が働く，病気になるなどで家庭は昼間子供のめんどうを見る人手がない状態になつた　0才から7，8才までの子供を要措置児と呼び，この内保護者の委託を受けて保育所に通園する児を措置児と呼ぶ。



・所 在 地　東区法円坂町6
・RC 1B 3F，ヤネ鉄骨アーチ架構（P.D式）
・延床面積：7,828m²
・おもな室：応接，館長，事務，医務，第1～第3会議（計80人）食堂（100人）厨房，器具庫，浴室，シヤワー，更衣，レントゲン，放送，ステージ
・高さ：最高 21m，競技場天井 16.2m
・照明：競技場中央で900lx．周辺で450lx．
・収容人数：1階 3,465人（補助イス），2，3階 2,662人
・利用種目：バスケット3面（バレー，庭球，バドミントン，卓球，7人制ハンドボールほか）

# 大阪市中央体育館をたずねて

大阪市　白 砂 剛 二

（1）

おりから第16回医学総会場として，おいそがしいなかを上嶋館長と中林係長にいろいろうかがった。

まず，大阪場所で有名な府立体育館にくらべて，あまり一般に知られていないようだが，と話しを切り出すと，いや，そこがいちばんの自まんだとのこと。

この規模の体育館でアマ・スポーツの利用率が95%以上というのは，全国でも例がないそうである。そういえば，大阪でおこなわれるプロレスやボクシング，サーカスなどのショーは，すべて府立体育館が使われているようだ。こんど医学総会会場として使われたのは，まさに例外的なケースだそうで，大阪市内にこれだけの大人数を収容する施設がほかにないからだという。中央公会堂やフェスティバルホールにしても，せいぜい3,000人どまりである。（医学総会では1万人近くが集まった）

だからよその体育館では，本来の体育活動に利用されるより，かえって各種の催しに使われるほうが多く，その率は70～80%にもおよぶらしい。府立もおそらくそんなところだろうという。

体育館で事業収入が重視される場合，たとえば，府立のように独立採算で運営するためには，どうしてもアマ・スポーツだけにたよっていてはやってゆけない。ここ市中央体育館の使用料金をみると，全面全日使用でアマ・スポーツが8,000円であるのにたいして，その他のスポーツ関係が90,000円，その他（一般）が110,000円という具合いに，10倍以上のひらきがある。

そこで年間収支をみれば，使用料と器具賃貸料で600万円の収入があるが，人件費2,000万円をべつにしても130万円あまりの赤字だそうである。

体育利用専門か各種利用併用かという施設の基本的性格のちがいが，建物の計画・設計にさいして，きわめて重要なことなのだが，現状ではこのへんの検討がややあいまいなのではないかという館長のご意見は，われわれ建築家としても，ミミが痛いところだろう。

（2）
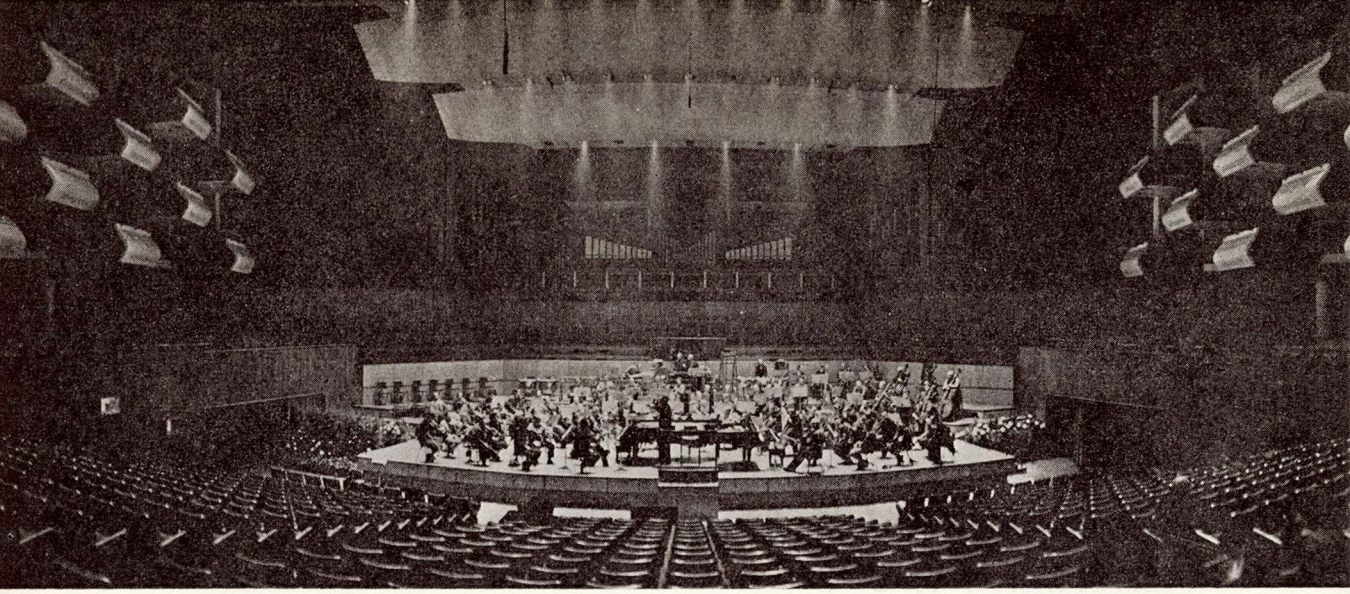
つぎに，スポーツ団体の利用要望の4分の1しか応じきれない現状からみれば，ここと同程度の規模の体育館が市内にあと3館以上あってもよい計算になるそうだ。そして，このほかに練習本位の中体育館（バスケット2面）または小体育館（同1面）が，各区に1館づつでもほしいという。さらに館長は，温水プールや柔剣道場その他を一堂にあつめた立体的な総合体育館のユメを熱心に説明されたあと，建物が高くなりすぎるかなと心配顔をなさった。

（3）

「体育館の生命は床であり，また音響・採光・通風である」という館長のご託宣だが，計画原論的にみても，おおせごもっともである。この体育館について，しいて苦情はないかと問えば，音響効果のために天井面にグラスファイバーを貼ってあるが，まっくろくホコリを吸収してこまるそうだ。それから館が南北に長く，東西の窓面からの光線とコートの長辺が一致しているため，まぶしくて真夏でも暗幕を閉めてくれという要望がママあるが，ここらのところは，敷地の有効利用と将来予定の地下鉄駅からの動線とも関係して，計画当初から議論をよんだところらしい。よその体育館などで，床面すれすれに通風窓をとっているところがあるが，低い位置からの光線には十分気をつけてほしいと念をおされる。

最後に中林係長が，管理責任者の立場から，競技場に接続した位置に広すぎるぐらいぜいたくに器具庫をとっておくことが必要と強調された。

この体育館は館長のご意見をまつまでもなく，体育館としては一流中の一流である。都心ながら閑静な敷地に配されて安定した風格をそなえるこの体育館は，めぐまれた立地条件とあいまって，今後も大阪スポーツ競技の伸長に寄与してゆくことだろう。



ロイヤル・フエステイバル・ホール（ロンドン）

# 音楽ホール随想

竹中工務店　北村隆夫

ローヤル・フェスティバル・ホールでロンドン交響楽団を聴いたのは60年の9月終りだった。高緯度のこの街では，そろそろ秋冷を覚える音楽シーズンで，その夜の曲目は「エグモント序曲」，協奏曲「皇帝」，それに「英雄交響楽」だった。

私の想像では，うんと高い料金，豪壮な大ホール，豪華なロビーに満ちたタキシードとイブニング，もちろんあれだけ騒がれた建築のこととて，その面での期待も持っていた。

まず，料金150円也，タキシードは1人も見当らない。イブニングも見えぬ。会社帰りのサラリーマン，B.G.で満員。いずれもレインコートに例のこうもり傘だけは大事に客席の下に突込んでいる。テームズ河に面した大食堂では食事をしている大衆も少ない。バーは開いていても数人が飲んでいるだけだった。

しかし今夜の聴衆がいかなる層であろうと，満席の聴衆へ貫録堂々と熱演しているのは正装したロンドン交響楽団定期演奏なのである。ベートーベンの交響曲が重厚な巾の中に完結せられた時，もう隣の顔がアングロサクソンであろうと，これが有名なローヤル・ホールだろうが，いわんや音響的問題がどうだろうと，そんなことはどうでもよくなっていた。熱ぽい感激のまま特別押し合った印象もなく，二千名以上の聴衆とともに知らぬ間に外へ出た。いつの間にかロンドンは雨，こうもり傘の御一同が帰って行った後に傘を持たないエトランゼただ1人，来ぬタクシーを待った。

私は音楽会とか音楽ホールとかいえば，われわれは一寸事大主義的でなかろうかと思う。また日本は近代建築における音楽ホールの所有では世界有数の国だろう。ただ中央都市集中の傾向が強すぎるが。またわが国では，音楽ホールのデラックス化・大型化がいよいよ進み，音楽ホールが音響の化物になり，各周波数帯域を受け持った裸体が聴衆にむき出すデザインで音響ホール正統派となりかねない傾向である。オーディトリウムは一弦の音も発しない前に聴衆を音圧分布と残響特性の鑑賞に押し込む威圧的なものになってしまうかも知れない。学生時代にガスビル会館や旧朝日会館で楽しんだ室内楽の夕べあたりに音楽ホールとしてのいま一つの本質があったのではなかろうか。音響理論の重要性に立脚しながらも，建築家は総合するバランスの上に考えねばならないと思う。

建築写真が取り上げたローヤル・フェスティバルよりもこの一葉の絵葉書の方がムードをよく伝えていると思う。側壁から突出したバルコニーも建築写真で見たごとき強烈にして異様な印象ではなく，むしろ大部分を木羽目で覆った仕上りが品格のあるオーディトリウムの落着きを作っていた。音楽ホールはデザインにあまり謀らせない方がよいと思う。



# *SHOW ROOM* 見聞

神戸山手女子短大　竹内さく

Show Room のことを何でもよいから書きなさいといわれたとき，いつでも見ているもののことであるから，ついうかつに「ハイ」といってしまった。ところが，いざ書こうとする段になって，何も書くことを持っていないのを知って驚き慌てた。これも日頃ボヤボヤしている祟りであると省て，その方面の知人があったのを幸い，援けを求めて片っ端しから見て歩くことにした。犬も歩けば棒に当る式である。といっても，数ヵ所行くうち，くたびれて止めてしまったけれど。

さて，こうして歩くうち一番大きく当った棒は，堂島大橋の袂にある大阪国際貿易センターである。場所は堂島川に面してはいるが，大分西寄りであるから人通りが少なく殺風景なところであるけれど，建物は5階建本館と2階付別館とからなり，正面にOSAKA INTERNATIONAL TRADE CENTER と掲げて堂々たるものである。内に入ると大間，小間に仕切られ，150会社以上からの，鉄，セメント，車輌，歯車といった恐ろしいものから，服地，真珠，ビール，クレヨンなど身近かなものにいたるまで種々様々，実に無数の製品が展示されている。ここはまったく Show のデパートである。その名に示すごとく目的がはっきりしているが，学生，婦人，だれでも見学するならば，とてもよい社会科の勉強になると思った。全館見せることが専門で，ホンの一部にお土産程度のものの売店があるけれど，それはつけ足しに過ぎない。

スケールはぐっと小さくなるが，日本建材協会展示場も Show のデパートである。京町橋にあって，建築に関係したものに限られている Show 専門である。

関西電力も Show Room を持っている。本店はじめ，大阪市内だけでも4ヵ所あり，サービス・ルームとかサービス・センターとかいうところの一部をそれに当てていて，計700m²の広さがあるということである。もっとも Show といっても，この会社の製品は電力で電力自身は展示することができないから，発電の模様や安全な電気の使い方をいろいろの方法で示して啓蒙これつとめている。もちろん Show Room で電気は売られない。

ところがガス会社になると，ガス器具が沢山ならべられていて，チャーミングなガス器具を通してのガスの宣伝である。本店ガスビルの他，市内6ヵ所の営業所にそれぞれ Show Room があるが，いづれも同様である。

Show Room で近頃ひどく目立つものに電器メーカーがある。新朝日ビルのナショナル，毎日会館の日立，新阪急ビルの東芝等々，新製品をつぎつぎに趣向も替えてならべたて宣伝にこれ勤めている。さかんというか，激しいというか，光は輝く，音は響く，圧倒されそうである。これ等のところは商品をしみじみ見せるというよりも，新名所と化してきているような感じを受けた。以上あげたうち，東芝だけが「東芝販売店」と看板をかけて商品を売っている。

自動車の Show Room もある。南区塩町豊田ビル内のを見た。寡聞にして他を知らないが，これから新品・中古品ともに Show の場が増えることだろう。

ガスビルや東芝のように販売を兼ねたものをも取りあげるならば，大低の販売店，ことにデパートの売り場は Show Room 化している。実際私たちが買物をする場合，デパートの売場でよく見てからにする場合が多いのではないだろうか。

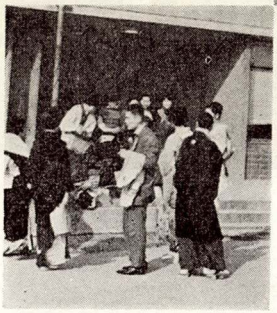
御堂筋の日本板硝子は建物の周囲が全部板硝子で，建物自体が Show をやっている。鉄道沿線にきれいな工場を建てて大きく社名を記したり，建物の形で内容を示したり，変った形の建物で人目を引いたりしているのも，やはり Show ではないだろうか。そんなことといっていると，ショー・ウインドー，テレビ，あらゆる広告，みな Show である。

Show Room から話が少し外れてきた。しかし，どこまでが Show Room なのか，Show Room と販売場の限界はどこにあるのか，いまだに私ははっきりしていない。

# 尼崎の結婚式場

労福研　田代正尚





尼崎，いうまでもなく全国有数の工業都市であり，煤煙と汚水と地盤沈下，労働者の貧しさをそのままあらわした乱雑な市街地である。

昭和29年，市民の納税団体に対する還元の金約 8,000万円で建設されたのがこの文化会館である。労働者が圧倒的に多い都市であるために労働組合の意見が大きく反映され，**尼崎で労働者の全国組織の集会が可能なホール**ということになっているが，性格としては他都市の公会堂と何ら変るところはない。

設計は迂余曲折の末，労働者の立場にたつ民主的建築家，技術者の組織的協力というわけで，新日本建築家集団大阪支部（現新建築家集団NAC）が当った。1,400席の大ホールは講演，映画，演劇，集会，その他何でもござれのマルティユース，つまり，何でもござれは適当に不便なところは目をつぶるということでもある。別館の2階建の細長い棟の階上を結婚式場が占め，階下に管理部門，パーラー，小会議室等の諸室がある。建設当初は結婚式場として階上の4分の1ほどのスペースしかなく，着付けや控え写真などは適当に階段ホール，会議室，展示室，和室を臨時に使用することで出発した。蓋をあけてみると，**結婚式場は押すな押すなの大繁昌**。ついに昭和36年大増改築し，棟を東へさらに倍ほどに延長，階上は式場の他に大・中・小の披露宴室，控室，美容室，写真室等を完備し，一応結婚式場の機能は果せるようになった。昨年1年間の利用数は2,838組，最盛期の10月は462組，1日平均15組強という驚異的数字になる。

式場入口の立札には，○○家，△△家御式場でなく，新郎・新婦の氏名が記されいくらか改良されている。仏滅にも敢行する組もあるそうだが，結婚式のスタイルは一貫して神道式である。もっとも，会議室を使って無宗教スタイルもあるが，それらは結婚式場利用者の数には上げられない。モードは旧態然，ごってり厚化粧，花嫁衣裳の若い女性が仲人に手をとられ，親族一同をしたがえて首うなだれて式場を出入りするさまは厳粛というより何ともうら悲しいムードさえある。もっと晴れがましい明るさをもったものにならないものだろうか？

階下のパーラーのドアーを押して腰をおろそうと思ったら，テーブルが数脚ひっつけられ，小さな籠に果物や着色したケーキを盛りつけた引菓子がズラリならべてある。パーラーの委託業者が披露宴の配膳室に代用しているのだ。

公営式場だけあって万事安上りである。挙式は最低5,000円ぐらいで，披露宴20人として1万円ぐらいでもやれる。尼崎文化会館は労働組合大会場としてではなく結婚式場として一躍有名になり，市外からの利用者が半数を上まわる勢いである。類は類を呼ぶというのか，文化会館の目と鼻の先に純然たる民営式場が2つもある。いずれも鉄筋3階建，商業主義に割れきった装飾にあふれている。文化会館のオコボレ組で結構繁昌しているらしい。少々お高くはつくが，こちらの方はそれ相当のムード・サービスで財布の痛さを軽減する趣向になっている。

皇太子や有名スターの結婚式が，バカバカしい費用で演出され，うっとり見とれている国民にその貧しさを忘れさせる麻薬的作用を果している。結婚式にまつわる非合理・虚飾を公営式場が幾分かは正そうとしている側面を否定することはできないが，全体としてはやはり旧い因習の根強さに圧倒されているようだ。

ちかごろ自治体の経営主義，採算主義がいかにも近代的な合理主義のように歓待され，住民の福祉との矛盾を都合よくごまかしてしまう傾向が強いが，公営の結婚式場の大繁昌にうかれて，暗い市民生活の中の安直なネオンサイン的存在におわってもらいたくないものだ。

ゴミゴミした市街地にそこだけはひろびろとした敷地にゆったり位置した建物ではあるが，まわりをほとんどベタに舗装してしまい，一隅に立っている寄贈されたアブストラクトの碑のスケールといい，平和よりも戦禍を想起させるような，そのきたならしい形象といい，文化会館はその名のとおりの施設環境ではない。



# 音楽喫茶

大阪市大家政　岸本幸臣

「黒きひとみいずこ，わが故郷いづこ……」

一歩中に足を踏み入れると，若者たちの力強い魅惑的な歌声が私のからだをつつんでしまった。ちょうど日曜日の午後とあって，この「うたごえ喫茶」は超満員です。高校生から若いサラリーマンにいたるまで，たくさんの若者たちが6人掛けの椅子にひしめきあいながら，ある者は肩を組みあって，また，あるものは頬を寄せあって歌集を片手に真剣な目なざしで，けれどもいかにも楽しげな表情で明かるい声で歌っています。以前どこかで私はこのような光景を見たことがあるように思う。そう！私たちすべての日本人を街頭にかり出さずにはおかなかったあの〝安保の斗い〟の中で私はたしかにこのような光景に接したように思います。

当時，私たちは連日のように街頭にくり出しては未知の人たちと力強く隊伍を組んで，いろいろな歌をうたって街を行進したものですが，あの時，あの場で一緒に歌った人たちの顔，それといまここに見る若者たちの顔の表情とはよく似ているように思えます。もちろんあの当時，歌をうたおうとした感情と，このうたごえ喫茶でうたおうとする感情とでは，それを支えている条件がまるでちがいます。しかしその両者に共通して私が感じたものは，本当にうたおうという気持になって，おうぜいの若者たちが歌っているということでした。それは形式的なものでも他から強制されたものでもない。本当に素直なうたごえの響きのようでした。

初めから話が脇道の方へそれてしまって申し分けないのですが，私に与えられたテーマは音楽喫茶ということでした。一口で音楽喫茶といっても，近かごろではジャズ喫茶からクラシックを聞かせてくれる喫茶店，そしてうたごえ喫茶まで多種多様に存在しているようです。そんな中で，私はいくらかでも社会教育の場として役立っていそうなものはなにかと頭をひねってみた結果，「うたごえ喫茶」に落ちついてしまった次第です。ではもう一度話をさきほどのうたごえ喫茶にもどしましょう。中央ステージでは，お客さんの中から飛び出した，のどに自信のある若者が，得意の歌で皆をリードしています。そして彼を中心にここでは未知の若者同志が一緒になって本当に楽しそうにうたっているのです。それに何よりも私が気に入ったのは，ここで**うたわれる曲が，すべて明かるい，健康的なものだったことです。概してそれは健全な雰囲気の中でおこなわれていたといえるでしょう。**私が「うたごえ喫茶」の中に社会教育の場としてある種の価値を認めえたのは，このような側面の中にです。その1つは，うたごえ喫茶が合唱における技術的な面の追求――斉唱や輪唱から合唱へ――ということよりも，**うたうことによって広く仲間をつくってゆこう**とする点と，もう1つ，現在マス・メディアを通じてエロ・グロ・ナンセンスな流行歌が私たちのまわりに洪水のごとく流されている中にあって，**未組織の若者たちが，健康で明かるい歌を守ろう**としている側面は，それが意識されているといないとにかかわらず，高く評価すべきだと思います。

うたごえ喫茶は，現在マス・メディアをにぎっている資本の側から流されるニヒルでアナーキーな流行歌と歌唱形式に対する青年層の反抗を商業資本がたくみにとらえた産物だろうと私は思います。したがって，それなりに積極的な側面と消極的な側面をもっているようです。すなわち，私たちの先人たちが残してくれた数多くすぐれた名曲や，世界の国々で愛され，したしまれてきた詩情豊かな民謡をみんなでうたって，そこから仲間をつくってゆこうとする側面はますます広めてゆくべきでしょう。ただそれがいまのように喫茶店を経営する個々の商業資本の手ににぎられているかぎり，あまり期待はできないようです。若者たちが，うたごえ喫茶でみせてくれた，うたうことえの関心や意欲は，学校における音楽教育や職場における「うたごえ運動」の中で，正しく汲み上げられのばしてゆかねばならない点ではないでしょうか。私がこんなことを考えている間も若者たちは，あいかわらず元気に歌いつづけています。それがあまりにも楽しそうなので，音痴な私も何んだかうれしくなってしまいました。しばらくここで歌ってから帰ることにしましょう。みなさんもどうぞ！

りんごの花ほころび　川面にかすみたち
君なき里にも春はしのびよりぬ　君なき里にも春はしのびよりぬ



愛隣会館のベビーセンターの風景

# 二十五分の一

京大西山研　水島恒子

**ごみごみごみごみ……。**　　おや　このあたりにはめずらしい建物。
あずき色とグレーの5階建て。　生活全般，あらゆる相談ひきうけ所。　**釜ケ崎愛隣会館**

あいりん銀行，児童相談，生活保護，防犯コーナー，小口生活資金貸付，保健所分室，戸籍住民登録相談，婦人相談，ベビーセンター，生活指導室，娯楽室，社会学研究室，浴室，理髪室，あいりん学園等々。

「この建物のドアーをおして下されば更生できますよ」といってるみたいだ。

釜ケ崎とよばれている地域の推定人口は5万人だそうだ。もっともよく利用されているあいりん銀行でさえ，2千人強だそうだから，ウワサがウワサをよんでこの建物にくるようになった人たちは，釜ケ崎人口の〝二十五分の一〟というわけです。

この建物でにぎやかなところが二つある。一つはベビーセンター，もう一つはあいりん学園である。

① **ベビーセンター**の方は，釜ケ崎に住む働くお母さんのために幼児をあずかるのだが，なんと20人だけ。南向きの暖かい部屋でにぎやかにおやつを食べている幼児たちをみていると，こんなに設備のととのったところで，たった20人だけがあずかられていて，他のとても沢山の子供たちはだめだというのは，かえってむごいような気がした。ここにはいれなかった赤チャンたちは，あずかり屋にあずけられるそうだが，いずこも同じ保育所難だ。

② もう一つの**あいりん学園**の方は，今宮中学校と萩之茶屋小学校の分校ですが，4月からは，あいりん中学校とあいりん小学校という特殊学校に昇格します。先生方の努力のおかげで，はじめは先生を棒でなぐったりしていた子供達をいまではきれいにおそうじする子供たちにかわりました。ここの子供たちをみていると，愛隣会館は社会福祉のもっとも陽の当る場所の一つであることを感じさせられました。

③ 一方，あらゆる相談引受所の中心たる**相談室**はひっそりしていて，警察官や社会福祉司も手もちぶさた。かんじんの大人の方は，なかなかやってこないようすだった。ここにやってくる人たちは，自から現在の生活を抜け出そうとしている人で，この会館をベースキャンプとして地域に働きかける活動は，青少年問題以外にはしていないようだった。この建物のドアーを自から開くことのできる人は，まだ幸せな人だといえそうである。

④ ここで興味をひく**あいりん銀行**とは，1円以上ならいくらでもあずかるわけだが，通帳も一緒にあずかってしまうのにはおどろいた。ドヤで寝ている間にぬすまれるといけないからだそうだが，さすがは釜ケ崎だ。

⑤ **生活指導室**なんていうからどんな部屋だろうかと行ってみると，なんのことはない有名な喜劇俳優S氏寄贈のカラーテレビがでんとすわった大集会室だった。この部屋はドヤ経営者組合などがよく使うくらいで，ほとんど利用されていないらしい。

⑥ **娯楽室**も同じこと。月のうち三分の一使われればよい方だそうで，めんどくさい手続きをしなければならないから定期的に開かれる俳句の会以外は使われていないらしい。

会館側は「浮浪者が入りこんで寝るから，常時あけておくわけにはいかない」そうだが，なんだかいまに正面のドアーにもカギをかけなければならないようになってしまわないかしら。〝朝は9時から夜は8時まで開けているのなら，他の面ももうすこし考えると利用者がぐっとふえるだろうに〟

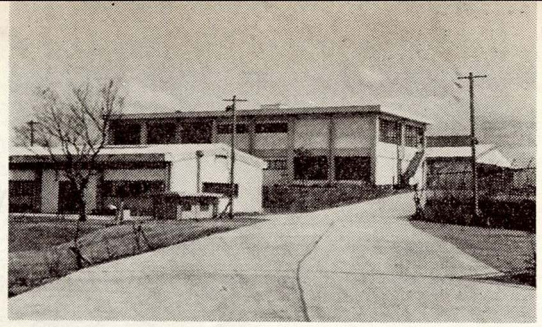
何でもそろっていて，とてもきれいなのに，建物の中にはひとけがない。一歩外に出れば，暖かい日ざしの中を沢山の仕事にあぶれた労働者たちがウロウロ，ボサッとしていた。

二十五分の二十四の人たちはこの建物に入ったことがない。もうすこし少ない人たちは，この建物が何のためのものか知らないし，知ろうともしていない。もっと少ない人たちは，この建物が建っていることさえ知らない。

ごみごみした不良建築街におかれた小さなあずき色の箱は，まだまだあたりをかえてゆくには小さすぎるようだ。

# 公共職業訓練所

建築協会　松井昭光



南大阪公共職業訓練所（大阪府堺市鳳）

## 1.

大阪府堺市にある「南大阪職業訓練所」をたずねてみた。主な施設は，本館と実習棟2棟であるが，訓練生として，昼間200名，夜間120名が訓練をうけている。昼間制は5職種，すなわち，機械工，自動車整備工，仕上工，電子機器組立工，化学分析員の5職種で，定員はそれぞれ40名づつである。訓練期間は1ヵ年。定時制（夜間）は3職種で，定員おのおの40名。訓練期間は6ヵ月。授業料もいらぬ，実習材料代もいらぬという。

ここの訓練生は，ほとんど中学をでたばかりの少年だそうである。それも「南大阪」というので，大阪市，堺市をはじめ，大阪南部の衛星都市，和歌山の中卒者が多いという。いただいたパンフレットには「大阪南港ならびに堺臨海工業地帯の造成にともなう技能労働力の需要増加に対処し，あわせて大阪府南部の農漁村離職者および二，三男対策として建設された」とある。こういううたい文句で，技能労働力の確保が考えられているだけならば，それはまったく企業の側からの需要に応えるための下請訓練所にすぎなくなってしまう。事業内訓練所の方がむしろすぢがとおっているということになる。公共職業訓練所というからには，短期間に技能工としての技能を身につけさすという目的のほかに，人間的成長をはからねばならぬものだろう。事実，ここ南大阪訓練所のある幹部は，この点の精神的訓練を強調していた。もっとも，この精神的訓練の内容自体が問題ではあるが…。

こういった点で，公共職業訓練所もひとつの「社会教育施設」ともいえそうだ。けれども，文部省でいうところの「社会教育施設」のはんちゅうにはまったくはいらない。はいらないのはあたりまえで，この辺にもお役所のナワばり争いというか，横の連けいの無関心というかセクト主義があらわれているのだが，この職業訓練所は労働省の所かつである。いうならば「労働省的社会教育施設」といったところか。

## 2.

この職業訓練所は，昭和33年に「職業訓練法」が施行されてできたものである。従来の職業安定法による公共職業補導所もこの訓練所と改称された。このことは，いままでのたんなる職業指導というだけでなく，もうひとつ積極的に技能労働力を確保しようということをあらわしていよう。昭和33年頃から，コンビナート建設，元請・下請業界の再編成等々にともなう産業界の技能労働力の不足をいかにおぎない，いかに「経済成長政策」を労働力面で破たんなく進められうるのか……という背景のもとに生れたといって過言でない。さきに「労働省的」といったのはこのことだ。

## 3.

大阪府には7つの訓練所がある。「南大阪」「淀川」「守口」「女子総合」の4つは，大阪府経営の一般公共職業訓練所である。このほか「身体障害者訓練所」もあるが，これは国から大阪府が委託をうけているもの。また「家事サービス補導所」は訓練法にはよらないが，家事使用人の養成を目的とした短期補導所である。もっとも大きい「大阪総合職業訓練所」（布施市）は労働省の外かく団体たる雇庸促進事業団が経営するもので，大阪府から訓練生を送って訓練委託をしてもらっているところである。パンフレットには「東洋一」の施設を誇るとある。（4階RC造本館，実習場5棟，寄宿舎あり）

以上の7つの年間訓練生の総人員は，昭和38年度では2,675名に達するという。これはずい分定員をオーバーしているわけだが，最近は失対打ち切りによる失対婦人適格者に対する訓練重点が「家事サービス補導所」で行なわれているからであろうか。

## 4.

「守口職業訓練所」は建設関係の技能工訓練所で，大工科，木工科，タイル科，ブロック建築科の5職種をもつ，いわばわれわれと関係深い訓練所である。訓練所ができた時分は，大阪建設業協会や大阪府がいくら音頭をとっても「笛吹けど人おどらず」で，なかなか人が集まらなかったという。このことは，訓練所に対する社会的評価が低かったことを物語っている。しかし，最近は技能検定試験があって，それにどの職種の訓練生修了者もほとんど100％合格したりすると，おのずから就職先のウケもよいし，何となく訓練生修了者歓迎といったムードが生れつつあるという。事実，中学の教師が進学生を除いた卒業生の進路を，いままでは就職もできないものを訓練所へ送りこむという順で考えていたが，最近はまず訓練所へという風に考え方が変ってきたという。また商工会議所の人たちが大型バスで視察にきたりする現状などから推してみて，訓練所に対する社会的評価がようやく高まってきたらしい。

紙数の都合でシリ切れになったのは残念。

# 京都府庁庁舎（本館）

## 1. 庁舎本館等の建築まで

明治元年（1868）2月19日に京都裁判所が置かれたが同年閏4月24日にこれを改めて京都府とし，その後4年3月8日二条城を管轄，同年6月26日二条城内に府庁を移し，同10月22日に京都府および淀・亀岡・園部・綾部・山家の五県を廃して新らしく京都府が設けられた。更に9年8月21日豊岡県を廃して京都府に合併し，山城・丹後・丹波五郡を管轄することとなり，18年6月5日府庁舎を維新前京都守護職本邸のあった旧地に移した。この移転当時はそこにあった京都中学校（明治6新築）の校舎を転用し，講堂を正庁に，教室を各部課の事務室に充用したという。しかし中学校校舎の転用では府会議場もなく誠に不便不自由なものであったらしく，早晩府庁舎新築の必要に迫られていた。したがって建築調査委員も設けられて調査されていたが知事の更迭などのために実現が遅れていた。庁舎新築計画が具体的になるのは漸く明治32年（1899）に当時の知事，内海忠勝が案を府会に提出したのに始まるが，これも災害復旧などにより見送りとなり，結局翌33年の府会で庁舎建築案が成立したのであった。その後の次第を箇条書にすれば次のようである。

明治34. 4. 1　内務第二課に建築係を置き，建築係（後出）を任命
〃　5. 1　敷地内の障害となる樹木を移植
〃　8.12　敷地内の溜池浚渫，地均らし
〃　9. 2　錐鋲法により地盤・土質試験
〃　11. 9　本館起工
〃　12. 7　同コンクリート打始め
明治35. 7.25　地鎮祭施行
明治37.12.25　竣工（『京都府誌』では 12. 20.竣工）

建築係長　青木磐雄，同副長　石田二男雄
建築設計調査並びに工事監督　久留正道
工事設計者　松室重光，一井九平
工場現場監督　一井九平，成田乙吉
庶務係　遠藤知足，中川文吉，矢野孝応



**第1図　庁舎正面**　昭和37.12.30.撮
庁舎の横にある府警察署の屋上から見たもの。壁面塗装のほかよく旧影を残していると見られる。



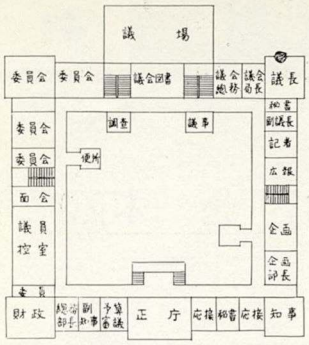
**第2図　庁舎の旧影**
『京都大観』明治42.12.複写
竣工数年後の姿。電車と人力車が見られる。この電車は日本最初のものとして有名であるが，「チンチン電車」というのは大きい誤りで，京都人はそんな事をいわない。市電ができるまで私鉄（私電）の京都電灯会社が経営していたもので，市電に買収されてからもそのまま走っていた。それで京都人はこの古い狭軌電車を旧会社名を略して「京電」といい，市営のを「市電」といっていた。すなわち「チンチン電車」という名はなく，「京電」である。序でに記しておく。

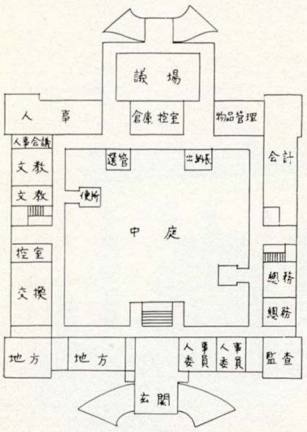
## 2. 庁舎（本館）の建築について

庁舎は上記のように明治34年より37年にわたる継続事業として建築されたもので，37年度中には本館と付属両便所等が竣工している。だいたいの数字をあげると

本館建坪　839坪1合7勺7才
同付属両便所　17坪7合2勺1才
軒高（地盤より）　37.4尺
正面腰折屋根避雷針先まで　79.0尺

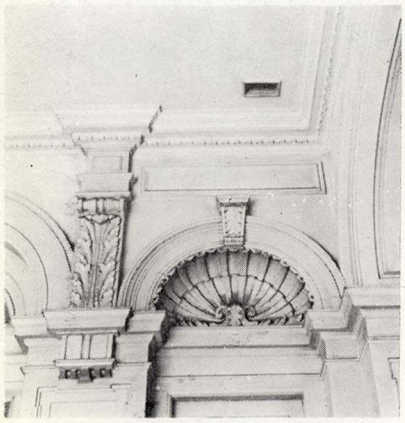
で，石材煉瓦混造，二階建（一部地下室），室数1階33，2階30で最も重要な正庁は二階正面にあり43坪1勺，議事堂65坪，知事室18坪9合2勺である。基礎は10尺掘下げ，厚さ15尺以上の砂利層に達した上にコン



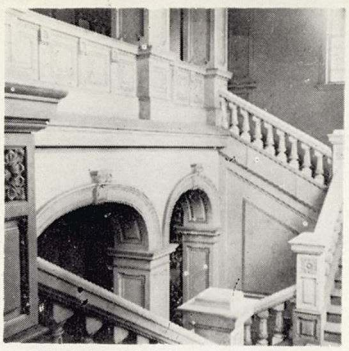




上：2階，下：1階

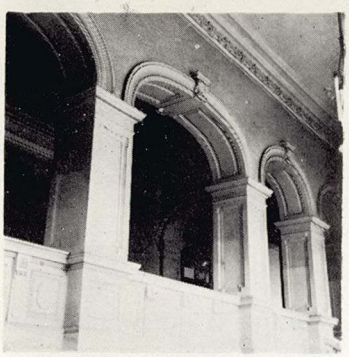
**第3図　庁舎間取り図**（府庁の案内図による）
府庁にいい図や資料が残されているのであるらしいが一寸探してもらったところでは見つからないので，とりあえずこれを出した。建築雑誌219号にでている平面もこれと同じようなごく簡単なスケッチである。この図は簡略のため「地方」は「地方課」，「記者」は「記者室」の略とした。その他同断である。



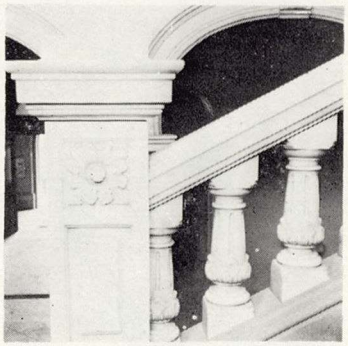
**第4図　庁舎正面玄関横**　昭和37.12.6.撮
明治もこの頃になると初期的な段階をすっかり克服して意匠・材料の取扱も本格的になっているのが見られる。



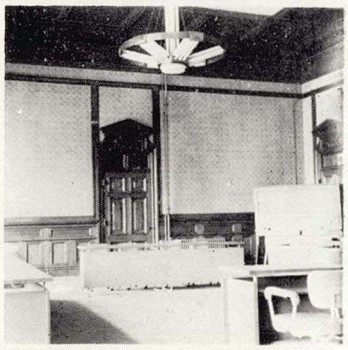
**第5図　庁舎正面主階段**　昭37.12.6.撮



**第6図　庁舎正面主階段室上部**
昭和37.12.6.撮
前図の上部で多くのアーチを連続している。



**第7図　主階段手摺詳細**　昭和37.12.6.撮
親柱以下白大理石で，グランドステアケースに如何に力をいれたかが知られるであろう。



**第8図　二階正庁**　昭和38.4.12.撮
家具・照明器具などは最近のもの。折上天井も新らしく塗替えられているが，中心には美しい唐草装飾がある。腰廻り，戸口廻りなどは尾州桧の上質材である。

クリートを打ち煉瓦積の上石台をおいたという。

材料のうち，木材は尾州桧の最上材を見えかがりに使用，石材は花崗岩（三州与島・予州大島・備中北木島産業）を用い，屋根は天然スレート葺きである。

建築様式は写真のごとく後期ルネッサンスであるが，この建築では防火上とくに注意が払われ，各出入口，窓に防火戸をつけ，床および天井にはI型鋼鉄梁を架けてコンクリートで被っているなど，注目すべき点が多い。外観上正面などは塗装が変っているくらいで，創建当初との変化が少なく，よく旧影を残している。庭園は当時多くの名園を造った小川治兵衛（植治）の設計で，玄関前は洋風，その他は和洋折衷を基調としたというが，やはり和風趣味のものである。最後に建築費であるが，予算合計366,209円262で，本館は各室の暖房・電灯・電鈴・装飾・便所など一切を含んで319,219円212であったが精算の結果1,436円898だけ余ったというのは面白い。坪当りでは372円153であったというから最高級の建築に属するものであろう。

（工博　近藤　豊記）

## 参考資料

建築雑誌 219号（明治38.3）巻末附図説明
『京都府写真帖』明治41.11　京都府庁
『京都大観』　中村熊吉　明治42.12
『京都府誌』（上）　大正4.10.　京都府
その他

## （附）松室重光氏について

松室重光氏（明治6～昭和12，1873～1932）は性格頗る謹厳，酒・煙草を喫まず，風姿端正で近寄り難いところもあったが部下や家庭の人々には情が厚かった。満洲において多くの作品を残し，旅順では大谷光端師とも親交があった。京都における作品には府庁舎の他，京都ハリストス正教会がある。意匠方面に特にすぐれ，これに多くの時間を費したという。洋風だけでなく，鳳凰堂の修理の際にも関係されたらしく聞いたことがある。（明治30年東大卒，京都府技師，京都府嘱託として古社寺修理に関係），本協会とは関係深く大正7年に入会，爾来20年各種の委員会・委員を依嘱され，常務・監事・副会長などをも勤められた。（同氏については近藤伊三郎氏からも報告を得たことをお礼申し上げる。なお略歴は「建築と社会」20—∞，昭和12.3.参照）



# 伊奈の
# 衛生陶器


**伊奈製陶株式會社**

本社・工場　愛知県常滑市鬨面新田　電 常滑 700(代)
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2－8　電 (551)6371(代)
大阪事務所　大阪市西区新町南通1－23　電 (541)5484(代)


カタログ送呈

# 三菱石膏ボード

三菱石膏オールボード
三菱石膏ラスボード
三菱石膏吸音ボード




デラックスボード
ニュースノートーン
カラードボード
エスロンボード
柾目ボード

発売元●三菱商事株式会社
東京都千代田区丸ノ内2－20TEL211：代表0211

製造元●日東石膏株式会社●サンエス石膏株式会社
日本耐火ボード株式会社●日東石膏ボード株式会社

世界に誇る驚異的建材！
ガスにも熱にもビクともしない！
40年の厂史と最新技術の産物

特許----耐酸.耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板
オリエンタル カラーメタル

美しいアルミ箔ひふく鉄板
オリエンタル アルシート

型錄送呈
責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社工場 尼崎市大物北口 電話 大阪(481)4947～9
大阪支店 尼崎市北新町4-41(古川ビル) 電話大阪(401) 9745～6
東京支店並工場 埼玉県蕨市大字塚越1620 電話 蕨 3252～4
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三条・徳島・徳山

COPPER-BOSUITAI
TRADE MARK
OAM

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

# カッパー防水帯

コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

## 奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3　ＴＥＬ㊫2703～4・2370・4064・0264
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　ＴＥＬ ㊽ ３６６０

●御申越次第カタログ進呈

NEW★STAR

創業大正八年

ドアーチェック



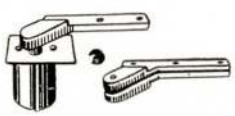
ラバトリーヒンヂ



ピボットヒンヂ



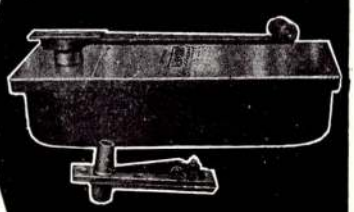
ピボットヒンヂ



ドアーチエック




フロアーヒンヂ



## 日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　大阪市生野区巽矢柄町222　電話 大阪（716）2231（代）
東京支店　東京都千代田区神田錦町1丁目23　電話 東京（291）1920・4920
福岡出張所　福岡市粕津町1番地　電話 福岡（74）2372・3312
名古屋出張所　名古屋市東区高岳町1丁目11番地　電話 名古屋（94）4627～8

マルエス

# 永久防水材
# ハイダック

特　絶対に裂けない
　　永久に腐らない
長　冷工法で施工出来る

接着剤
ハイダックセメント
No. 1 ジョイント用
ハイダイン　No. 2 貼付用

# メルタン
# ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける技術的困難は殆んど解決されたと云つても過言ではありません

特許
# ビニエス
# タイル

お部屋のポイントは
床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

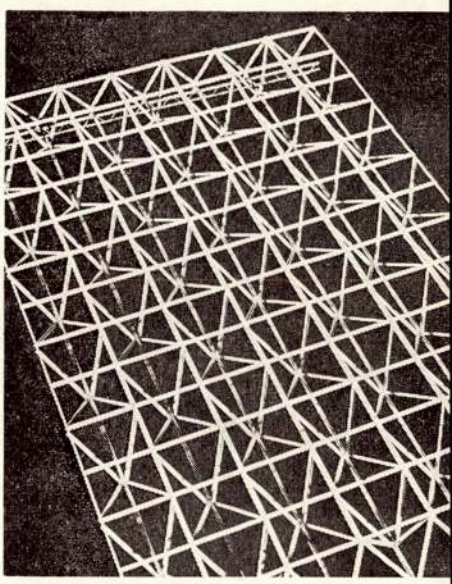
## 日新工業株式会社

本　　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪支店　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(531)5281～3
出張所　名古屋 TEL名古屋(54)9996・広島 TEL中(2)1019
　　九州 TEL福岡(5)0768・札幌 TEL (5)6885

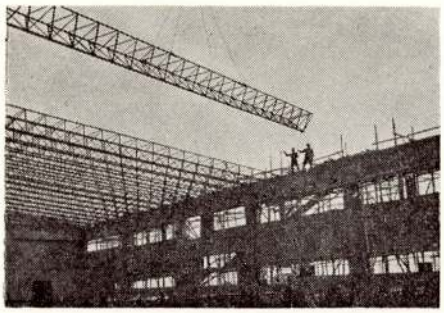
# ▽形トラスの数例について

鹿島建設KK大阪設計部技師長
大　野　勝　三　郎

最近，建築構造は次第に大スパン，軽量化の方向にむかい，他方あたえられる工費・工期はともに必ずしも充分でない場合が多く，構造技術者に課される使命もますます増大している。これらの要望に応じて鉄骨構造も従来のトラス，梁形式の他に平面版，折版，シェル，アーチ，サスペンションなど名種の新構造が開発され，その一部は実現されつつある。それらの一例として，筆者らが数年前より計画・実施してきた▽形カジマトラスと一連の系列構造を数例あげて概要を説明し，読者諸兄のご批判を得たいと思う。

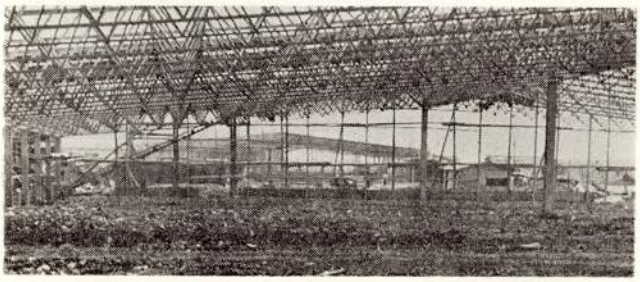


この構造を要約すると，右写真に示すような▽形断面のユニットトラスを連続させ版状にしたものである。材料としては，普通形鋼，軽量形鋼，パイプなどが使用可能であるが，等辺山形鋼による場合がもっとも多い。上弦材は左右に分けられ，その間を母屋を兼ねる繋材が連結する。下弦材は単材の場合と二材を組み合す場合がある。ラチス端部は中規模のものまでは1本のリベットまたはボールト締めの上熔接される。トラスの成は張間の1/20～1/25，その巾は成の2倍内外である。なおこの連続版は応力的には one way 方式のものが大部分である。トラス間の上弦連結材を変更し，下弦材間にも繋材を追加することによって two way 方式とすることもできる。しかし終りに述べるように，応力解析の難易，工作誤差による変形量，現場建方の工数などを総合的に考慮すると，計画上とくに two way 方式を採らねばならぬ場合をのぞいては，可能な限り one way 方式で進むのが現実的かつ合理的であると考えている。以下，本トラスによる各種構造の実例をあげよう。



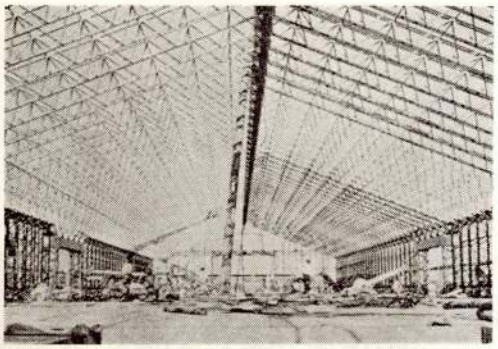
スパン　梁間方向　20.0m×2
　　桁行方向　15.0m×6
軒　高　6.7m　　勾配　1/10
外　壁　鉄筋コンクリート・モルタル塗り
屋　根　木毛セメント板下地瓦棒葺
ユニットトラス　成　0.90m
　　巾　1.50m

外周りの鉄筋コンクリート架構にユニットトラスを架けた例で，もっとも単純な形式である。とくに問題となる点はなく，実施例も多い。建方は写真のようにユニット一組を吊り上げて簡易かつ迅速に行なわれる。



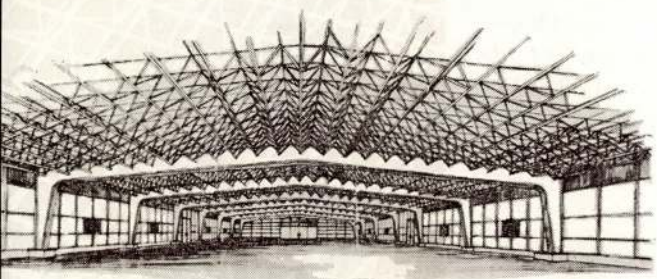
スパン　梁間方向　16.4m×2
　　桁行方向　15.0m×3
軒　高　3.4m　　勾配　1/10
外　壁　波形スレート，波形ポリエステル板
屋　根　木毛セメント板下地瓦棒葺
ユニットトラス　成　0.73m　巾　1.50m

梁間中央に桁行架構を設け，フルウエッブ大梁と外側柱との間にユニットトラスを架けたもので，外端接点が剛接となるよう取合詳細を考慮した。部品の規格化により工場量産と現場建方にもっとも有利な形式の一つである。



スパン　梁間方向　16.0m
　　桁行方向　45.0m
軒　高　4.7m
勾　配　3.5/10
外壁・屋根　波形スレート
ユニットトラス　成　0.5m
　　巾　1.0m

とくに柱・梁を設けず，屋根・壁を▽形トラスのみの組合せにより山形架構を連続構成した例である。弦材・ラチスとも全架構について同一材を同一形状で使用した結果，製作が規格化され工場製作および建方工期を非常に短縮することができた。



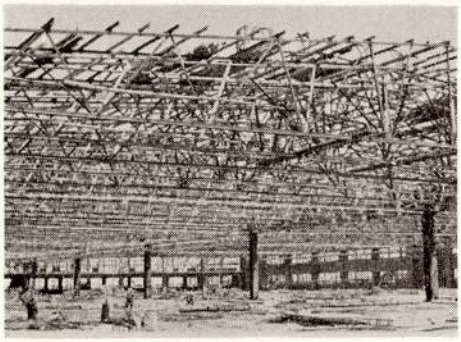
スパン　梁間方向　30.0m
　　桁行方向　12.0m×20
軒　高　7.15m　勾配　1/10
屋　根　木毛セメント板下地瓦棒葺
ユニットトラス　成　0.69m
　　巾　0.98m

ユニットトラスを桁行方向に使用したもので，2絞山形架構に連続梁として架け渡される結果，主柱の桁行スパンを大きくとることが可能である。山形架構の梁は各トラスの端部で拘束されるため，フランジ，ウエブとも座屈に対して有利である。建方はまず山形架構を起し，つぎに左右からトラスを並行してのせてゆく。



スパン　梁間方向　35.0m
　　桁行方向　52.5m
円半径　75.0m
軒　高　6.4m
屋　根　木毛セメント板下地瓦棒葺
天　井　プラスターボード
ユニットトラス　成　1,50m
　　巾　2,50m

▽形トラスで円形アーチを構成した例である。天井貼作業と併用して仮設足場を設けて，その上で継手を絞鋲した。上弦材は他の例と違って屋根下地材取付けを考慮して水平にしてある。外周は鉄筋コンクリート控柱形式でトラス端部は軒梁位置にピン接合されている。

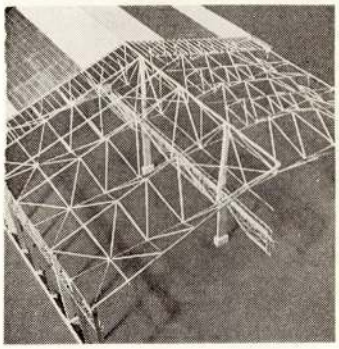


スパン　梁間方向　41.0m×2
　　桁行方向　22.5m×5
軒　高　7.6m　勾配　1/10
外　壁　鉄筋コンクリート・モルタル塗り
ユニットトラス（棟位置にて）
　　成　3.35m
　　巾　3.75m

この場合はかなりのスパンとモニター，吊荷などの関係で，トラスは相当大規模となるため，平行弦をやめて山形とした例である。鉄骨製作をなるべく容易にするため，ユニットの▽形断面はすべて相似形にしてある。そのためトラス平面も三角形となり，母屋は普通構造と同様に弦材の上にのせてある。外周部分は鉄骨鉄筋コンクリートである。

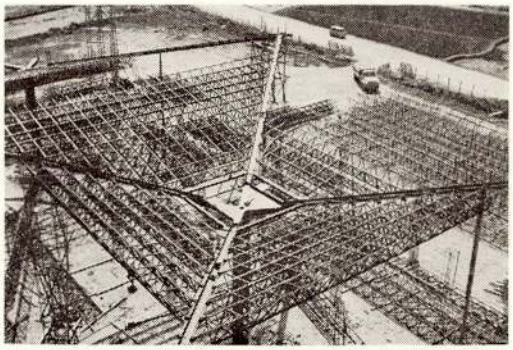
上下弦材とラチス材からなるトラス側曲面で，四隅の変位を拘束したH・P シェルを形成し，その数組を連続させたものである。単位シェル面は剛性が高く建方工程で養生を要しない。素材はパイプまたは軽量形鋼による閉鎖断面により，座屈荷重を高め，支点距離を大きくして複雑な接点部分を少なくしている。

スパン　梁間方向　20.0m×2
　　桁行方向　16.0m×10
軒　高　12,0m
屋　根　波形スレート
ユニットトラス　成　7,0m
　　巾　8.0m



基準構造単位は正方形の平面投影をもち，その外画線と対角線によって区分された4枚の傾斜した二等辺三角形板からなる立体構成である。この三角形板は▽形トラスを外縁に平行して配列して作られる。▽形トラスは屋根荷重により曲げ応力の他に引張力が与えられ，その合力は対角線フレームに圧縮力となって柱に伝わる。

スパン　30m×30m×4組
軒　高　(2F.L+) 8.18m
屋　根　木毛セメント板下地瓦棒葺
ユニットトラス　成　0.90m
　　巾　0.87m



**以上，実例をみていただいたわけであるが，本構造について全般的に補足説明を加えることとする。**

**設計**についていえば，応力算定は単純明確に行なわれ高次不静定平面版やシェルなどの応力解析に比べると非常に簡単である。断面算定は普通の鉄骨構造と同様であるが，部材の偏心，局部応力，仕口詳細，施工荷重，仕上材の取付，防錆などについて，より以上の注意が必要である。また，小型形鋼の価格，在庫，定尺などについても前もって市場調査がなされねばならない。

**重量**については，同一空間に対するシェルターとしての鉄骨所要量は，従来の各種トラスに比べて相当少ないのが通例である。それに伴い関連部分の構造も軽減され，全体工費，工期にプラスするところが少くない。

**工場加工**は各ユニットトラスがまったく同一であるため，現寸，型板量とも非常に少く，加工作業も能率化され得る。この種の構造は一般的に部材数が多く，鉄工賃金も年々上昇している折から，軽量化のみを目的に多種類のエレメントを製作することは巨視的にみて結局不利に終る危険がある。工場では作業の初期に一組を試作，仮組立を行ない施工技術者とともに検査を行なえばその後の現場作業にとっても有益である。

**運搬**は，工事場所が遠隔地の場合は，部材のまま搬入し，現場組立する方が輸送費も少いので，それに見合う接点，継手詳細が考えられねばならない。

**建方**にあたって，仮設足場，養生などはほとんど不要であり，各ユニットは単独で吊り上げ可能である。最近はトラッククレーン，クローラークレーンを使うことにより，きわめて迅速な建方が可能となり，搬入，現場組立が追われる場合も少くない。

**むすび**　いままで▽形トラスを中心に述べたわけであるが，本構造にかぎらず，この種の新構造を計画・設計するにあたっては，材料市況の調査，加工，組立，運搬，建方，仕上げなどすべての工程について総合的見地から充分検討し，その結果に基いて細部にわたる実施設計がなされねばならない。重量軽減のみにとらわれて安易な考えで実施すると予期しない困難に陥るおそれがある。そのためにも担当設計者（意匠・設備）はもとより，施工技術者，材料メーカー，鉄骨加工業者などから，適切なアドバイスを受け入れる必要があろう。

# 会員の頁

どしどしご投稿下さい。テーマ自由。掲載の分には粗品呈上。前月号に挿入のハガキを利用下さい。

☆　☆　☆

## ○必然の一発○

プロ野球で監督がピンチヒッターを起用し，長打一発で逆転勝ちをする。この一発は必然を期している。結果的には不成功に終るものもあるが，まづバッターにはもっとも期待できる者を立てる。

最近，建築界で二つの公開コンペが実施されつつあるが，この入選にも偶然はあり得ないと思う。入選にはその必然性がある。入選者の熱意と努力と研鑽には満腔の敬意を表すべきだ。しかし，若い人が自己の腕を磨き力を試すのも意味がある。あるいは夢と技術をこのコンペに託すのも当落を超越してまた楽しいものではないかと思う。ともあれ続々と公開コンペが実施されることは，日本建築界の希望に満ちた曙光である。必然の一発が真に立派な作品であることを望んでいる。

（徳島市　天羽　鴻）

☆　☆　☆

## ○都市再開発への道○

都市の交通難，大気汚染など都市生活環境の悪化がひどくなるばかりなのに，都市への人口集中度がますますはげしくなってくるのは，やはり都市には人間生活に魅力のあるなにかがあるようだ。

この都市も機能がマヒし，ついには滅亡するだろうといわれながらも人為的な障害のないかぎり，生息し続けるにちがいない。都市が人間の生存するかぎり消えることがないとしたら，これをわれわれにとって生活しやすいように造り直して行く工夫がいる。

再開発計画には，これまでたくさんお目にかかってきたが，どれも素敵で立派なものばかりで，ファッション・モード雑誌の豪華なモードのように，実用的でないのが残念である。日本の都市計画も，そろそろ理想像を描く課程を卒業して，実習段階に入る時期であろう。しかし，海外での再開発プランも，実施段階になると困難なことが多いらしく，進渉状況は，はかばかしくないようである。これが日本の場合となると，それはもう先が思いやられる仕末である。

昭和36年に防災建築街区造成法と市街地改造法が，前年には住宅地区改良法が制定され，これらをあわせて日本でも都市再開発法制の足がかりができたとされているが，これらの内容には不備な点が多すぎるし，本質的な再開発とは逆行するようなところもある。たとえば，市街地改造事業では道路整備が主目的であって，建築物整備は第二義的になっており，事業施行の標準的パターンも路線的で帯状改造にとどまっている。これを線的とするならば，本来の再開発はあるまとまりをもった群状もしくは面的なものでなければならない。

現代都市が将来の都市へ脱皮するためには，このような子供のおできの処置ではなく，もっと大がかりな外科手術の必要がある。われわれの心配するのは，現在実施されている局部的な市街地の改造とか，大資本による無計画ともいえる商業建築物が将来の都市発展のガンになりはしないかということである。それには都市計画のマスタープランの練り直しをやって，再開発計画基本プランを早急につくることが必要だ。

資本主義経済のもとでは，この種事業は採算ベースに乗らねばならないので，日本の場合は，民間再開発業者の出現は望み得ないだろうから公共団体施行により国庫補助を増加するなどの措置によって事業の円滑化をはかるべきである。それには，まず都市再開発法等の法制化が望まれるが，それをまつのみでなく建築家各人が都市計画に関心をもって実務にあたるときは，都市再開発への配慮をもって欲しいものだ。また再開発事業は建築家ばかりでなく，都

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安価・速乾・美麗
水谷ペイント

市行政，経済学，社会学等各分野の協力を得て実行されるもので，オペレーション・リサーチの方法がとり入れられるとき，その歩みも軌道にのるだろう。

日本における都市再開発も，その道は多難で遠いが，歩みは始まっているといえよう。

（大阪市市街地改造課　福原　裕治）

☆　☆　☆

### ○いつも失望する職人以前の根性○

建築監督者がいちばん苦労するのは，抜け目のない如何にして手を抜くかという日本人特有の根性にである。もちろん，私も日本人だから自分で自分の根性に苦労していることになるかも知れない。監督者の目をかすめて施工の見えない部分の手を抜くことに虎視眈々としている人たち（それは誰だとはいわない）に出逢う。ごまかしさえすれば事足りるとするから，見た目には良い建築が完工して間もなく雨がもったり，壁がひびわれたりする。先日も防錆のためのペイント塗り替えの仕事を見ていたら，錆落しをしなければならないところなのに，それをせず塗り上げている。仕様書などあってなしの状態だ。お互いにこんなことをしていいのであろうか。職人根性がいろいろいわれ，本誌にも特集されたりしているが，職人になっていない職人が多すぎるのか，根性など見たこともない人たちが多すぎる。立売り住宅が評判が悪いのは，やっつけ仕事だからだという。日本人の根性というものはなかなかなおらないらしい。もっと純真になって「これがおのれの天職だ」という仕事をすることを養成することにも不足している。建築以外でも同じことかも知れぬが，どうも人の目をかすめて手を抜く悪根性はやめてほしい。監督者がいてもいなくてもよい仕事をすべきである。

（滋賀県草津市　久保　和知）

☆　☆　☆

### ○大工・左官の対策一案○

現在，建築界でどこに行っても人の不足，とくに大工・左官の見習工の募集対策に苦心しておられている様子だが，いずれも残りの質の悪いものを集める。それさえも思うように集らないのが現状ではないかと思います。それは，農家でもせめて高等学校だけは出したいというのが一般の傾向になっております。この傾向に満足を与えて，大工・左官をうまく解決する方法は，大工・左官実習を主体とした工業高等学校を創立するか，または現在の建築科を大工および左官実習をさせるならどうか。高等学校の建築科を大工・左官その他の設備科の実習を主体として大工・および左官としても充分に一人前の技術と同時に建築一般を教育することにしたい。これは昔の工業学校に返すことになります。それでよいのではないか。大学に建築の設計・監理ができることにしてもよいではないか。高等学校は技術員，大工，左官，その他のフォーアマンの教育をしたならどうか。大学とあまり変らない高等学校教育に疑問をもつものであります。

（設計事務所長　鈴木忠五郎）

☆　☆　☆

### ○建設労働者の賃金要求の斗い○

建設労働者は今年もまた全国建設総連合の下に，協定賃金200円アップの統一行動を近々開始します。大工・左官の基本職2,000円めざして親方は確実に支払える努力，職人は誠実に働いて取れる努力を労働運動のなかで実現する斗いです。

このことは一人一人の建設労働者の生活をよくする活動が，めぐまれない階層の者を社会的に引上げる出発点になります。また封建性の強い建設産業を民主化する役割を果します。労働者の賃金問題は産業の構造を変革するものであり，したがって私どもは建設労働者の賃金引上げの要求でその運動は建設産業の半封建性と対決するものであります。建設労働者の中に賃金要求が大きな勢力となる速度が建設生産に影響をあたえつつあります。

（名古屋土建委員長　鈴木　正明）

☆　☆　☆

### ○編　集　へ○

大変いい企画と編集にて心よりご発展をお祈りいたします。できれば記事内容と新築建築の紹介が一致しているともっとよいと思います。

また性格のない会誌にならぬように「建築と社会」らしい性格にして下さい。技術的な問題をやはり充分とりあげていただきたいものです。

（三座建築事務所　徳永　正三）

エマルション壁塗料
日本ペイント
ビニレックス
5000級スーパー
外部用・内部用
ビニール壁塗料
ビニレックス5000
大阪・東京・千葉・名古屋
福岡・小倉・広島・神戸・
金沢・新潟・浜松・静岡・
藤沢・群馬・仙台・札幌

合成樹脂塗料

Torginol トルギノール 継目のない床材

# トルギノール
# トルギスキン

合成樹脂
塗床材
壁材内装
・外装用

torgiskin

トルギスキンとは特殊合成樹脂を主体とした高分子粒状塗料であります。
特　徴　通気性があるため，施工下地に案外早く塗装ができ，剝離することがありません。その上乾燥も極めて早く，従つて工期の短縮ができます

トルギノールは合成樹脂の塗装式（コテ仕上）の床材で継目がなく衛生的で，圧力，磨耗に耐えて永もちのする理想的床材で保温防音にも富み踏む感じのよい適度の弾力をもつています。

★ 不変色　色調自在 ★　誌名記入カタログ御請求下さい

製造元　大元工業株式会社

本社工場　大阪市東淀川区三津屋北通1の38 TEL大阪(301)2734～5
営業所　東京 TEL(561)4678　名古屋 TEL(24)4491

特許　許可

# 小俣式防火シャッター全般

設計。製作。施工。

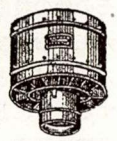
株式会社 小俣製作所大阪支店

大阪市北区若松町30　電話(341)9004.9016.4825
本社及工場　埼玉県与野市　東京事務所及工場　東京都北区

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工

株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町六〇番地
電話北(341)四一三一～四




＝特許＝

氣光式通風器　製造販売

開閉式レヂスター

大阪市西区江戸堀下通2-79
田辺工業株式会社
電話土佐堀(441)7437－9

# 宇部波型スレート

—法定不燃材料—
(平板・軟質板・フレキシブル板)

# 宇部コンクリートブロック

(軽量・パーライト・防水・ブロック)

# 宇部スレート工業K.K.大阪営業所

大阪市南区鰻谷西之町25　川西ビル　大阪 (271) 4700・3434～5・7676～9
本社 宇部　営業所 宇部・名古屋・福岡　出張所 東京・岡山・徳山・小倉・熊本・新居浜　工場 大阪・宇部

# 第5回・石工



岡田石材工業株式会社
鳴坂忠雄(48才)
香川県木田郡庵治村三番地

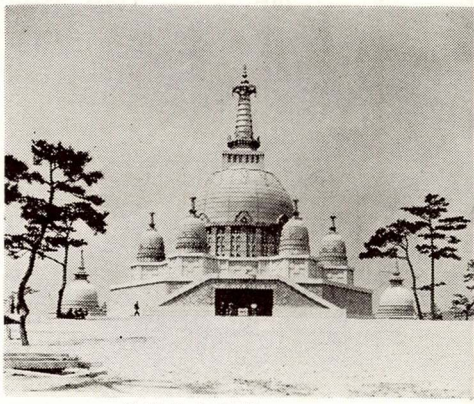
ギリシヤ建築を語る時，あの素晴しい大理石を忘れることはできない。古代に見る建築，それは雄大で優雅な美を実に細かい点にいたるまで，正確にまた科学的に表現しており造形芸術の華である。そこに使われている石は構造用材として力強さが溢れている。しかし，現代の石はその構造的用途をほとんど失ない専ら装飾用材として利用されているがその範囲は建物，モニユメント，墓石，そして市電の軌道の敷石と，われわれの身近かなところで，各方面に広く使われている。

さて，私が鳴坂さんに初めて会ったとき，開口一番聞いたことは愚問とも思えたが「石の中で長い間生活していて石のことをどう思っていますか」ということであった。鳴坂さんは「死んでいる石を生かすことですよ」という。石の面の仕上げは機械力ではどうしても生かすことはできず，やはりノミとツチ，そして人間の力と旧態依然とした方法によらなければならないとのことである。生きた石，それは製作者の魂の宿っている石ということであろうか。

仕事に先立ち石の目を見て原石を割り，そして仕上げにかかる。この石の目を見るということが，素人にはむつかしいことで，石の仕事に入って花崗石なら3年，またどんな石でも見分けられるようになるにはゆうに10年は必要とされている。石の上にも3年ならぬ10年である。

昔は，石の加工も現在のように機械化されておらず，石を割るにも〝矢〟と呼ばれるノミを小さくしたようなものを前もって掘られた小さな穴に，30cm～40cmぐらいの間隔に，つぎつぎと打ち込みながら割っていき，原石を大体の寸法にして現場へ持込み，そこで加工したのである。大きな花崗石の面をたん念に一片一片削り取りながら図面に表わされた形を造り出していく情景は，忍耐と精神と優れた技能との統一の姿であるといえよう。このようにして完成された石を見るとき，何んともいえない感動と陶酔にひたるのだそうである。このとき，石に生きた鳴坂さんのよろこびがそこにあるのである。

17才のとき都会にあこがれ，若い仲間と一緒に徳島の庵治村から大阪に出て建築関係の石工となったのである。しかし，当時一人前の職人になるには親方のところへ弟子入りし年期奉公として4～5年の歳月をいわゆる徒弟として無給で働き，与えられるものは仕事着と三度の食事だけであった。ただ一つの楽しみは，盆・正月の晴着とお小遣いであったという。この4～5年間はだれからも仕事を教えてもらえず，一日に何十本と使うノミを焼くために，兄弟子より朝は早く起き〝ふいご〟の火をおこし，その間に自分でノミの焼方を勉強し，日の出とともに仕事に出かけるという毎日だったという。このような若き日の生活が，鳴坂さんを忍耐強くし，また石に対する愛着心を強めたことと思う。徒弟奉公の年が明けると今度は御礼奉公である。この一年間にみっちりと修養を積み，やっと一人前の職人としてもらえるのである。この職人になっても昔は〝さかづきをもらって若衆〟（簡単にいえばやくざ仲間に入ると）とならなければ，仕事がもらえなかったという。仕事がみつかれば親方のところに挨拶にいく。このような封建的制度が，意欲ある若い人たちの発展を遅らせたのではなかろうか。かくして石はその構造的用途をますます失なっていき，内装材として多く今日に生きてきたのである。わが国のように小規模建築の多い場合は，機械が人手に替るのが遅れたこともやはりやむを得ない。しかしこの部門も徐々に機械化され職人が技能者と呼ばれる今日では，石の山出しもハッパによりその加工にも，



姫路仏舎利塔

おさのこ式切断機，研削式切断機，網目円盤のこ等により生産性も向上してきた。このような喜ばしい現象の反面，機械力に頼るあまり名人と呼ばれるような職人がいなくなり，個性ある作品が見られなくなった現今に一抹の淋しさを感ずるという鳴坂さん。私も同じ思いがするのである。最近の仕事で鳴坂さんが自分自身ノミを持ったのは，姫路名護山墓地の仏舎利塔が最後である。現在は大阪御堂筋に建設中の津村別院の石工事の工程製作監理者として，岡田石材工業で活躍中である。ご健斗を祈るとともに，今後鳴坂さんのよき後継者が生まれることを期待して筆を置く。（泉沢哲史記）

# 会　　報（3月分）

## 定時評議員会

28日　12時半――2時20分　於会館集会室
出席者　評議員　神谷，広瀬正副議長外19名
委任状出席42名　合計　63名
理事　塚本副会長外3理事
議　事（1）議長および副議長互選の件
（2）昭和38年度収支予算承認の件
（3）副会長1名　理事15名選任の件
（4）役員重任承認の件
（5）常務理事重任承認の件

## 評議員懇談会（技術部門）

20日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　大久保評議員外10評議員
評議員会副議長および技術部門選出理事5名の候補者推せんについて協議

## 理　事　会

13日　3時――5時　於会館会議室
出席者　尾崎，塚本正副会長外9理事
議　事（1）定時評議員会開催の件
（2）昭和38年度収支予算審議の件
（3）会館貸室に関する件
（4）府知事表彰候補者推薦の件
（5）創立記念日行事の件
（6）講演会協賛の件
（イ）「建築工事の機械化」講演会
（ロ）第6回「現代建築シンポジウム」
（7）中国支部38年度収支予算承認の件
（8）入退会者承認の件
（9）報告事項

### 主記主計理事会

12日　正午――2時　於会館会議室
出席者　塚本副会長外3理事
昭和38年度収支予算案について審議

## 運営審議会

14日　6時――7時半　於会館会議室
出席者　塚本委員長外7委員
議　事（1）前回議事録再確認と追記の件
（2）住宅委員会に関する検討
（3）会員組織の改組について

## 会館運営委員会

5日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　榊委員長外6委員
議　事（1）地下室貸室返還に伴う一階展示場運営に関する件

## 出版委員会

### 電気設備編集幹事会

2日　1時半――3時　於会館会議室
出席者　羽馬委員長外4幹事
（1）編集幹事会の作業計画について
（2）各章の構成に関する作業計画

12日　2時――5時半　於会館会議室
出席者　羽馬委員長外4幹事
第1章，第2章の構成内容案の検討

28日　1時半――5時　於会館会議室
出席者　羽馬委員長外3幹事
第3章，第4章の構成内容案の検討

## 住宅委員会

6日　5時――8時　於会館会議室
出席者　海上委員長外7委員
議　事（1）府営プレハブ芝生団地の現場座談会企画の件
（2）南海電鉄の住宅競技設計の審査に関する件

## 編集委員会

### 幹　事　会

8日　3時――5時　於会館会議室
出席者　若木，谷口，桃田各幹事
6月「材料特集」号企画について協議

### 委　員　会

15日　4時――6時　於会館会議室
出席者　片山委員外5委員
議　事（1）4月「リクリェーション特集」号経過報告

（2）5月「社会教育の場と建築特集」号経過報告
（3）6月「材料特集」号企画審議
（4）職人シリーズについて
（5）技術の頁について
（6）「建築と社会」に関するアンケートの結果報告
（7）7月号企画について
（8）昭和38年度委員について

## 事業委員会

11日　5時半――6時半　於新町旅館
出席者　岩崎委員長外16委員
議　事（1）創立記念日の行事について
（2）4月，5月の事業企画について
（3）次年度申し送り事項について
（4）次年度委員について

小委員会（創立記念日行事）
8日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　政岡，山本両主査外2委員
「講演と映画」の会ならびに記念祝賀パーティの実施について協議打合せ

## 教育委員会

14日　正午――2時　於会館会議室
出席者　中原委員長外8委員
議　事（1）38年度現場実務講習会の計画について
（2）次年度申し送り事項について
（3）次年度委員について

## 建材委員会

22日　3時――5時　於会館集会室
出席者　委員　岡本委員長外4委員
関係者　高野氏外11氏
ヒポット・ヒンヂに関して検討

## 法規委員会

27日　3時半――5時　於会館会議室
出席者　山本委員長外7委員
議　事（1）基準法改正の見通しに関する説明
（2）委員会の名称改正に関する件
（3）次年度委員長ならびに委員について

## 近代建築調査委員会

19日　3時半――4時　於会館会議室
出席者　政岡，林野両幹事外5委員
議　事（1）4月号発表建物予定変更の件
（2）5月号発表建物の件
（3）神戸下山手カトリック教会発表月変更の件
（4）次年度委員について
（5）定例開催日の件

## 若い会員の集い

「新しい街づくり――地下街の企業と公共性をめぐって」
18日　6時――8時　於会館集会室
ゲスト　大阪地下街株式会社
勝山純二氏，西田忠光氏
梅田地下街について話を聞き懇談。出席者20名

## 講　演　会

「軽量気泡コンクリート」シンポジウム
15日　1時――5時　於大林組講堂
1．講　演
（1）横山建築構造設計事務所長　横山不学氏
（2）大阪大学教授　奥島正一氏
1．材料説明および映画
（1）シポレックス
日本シポレックス工業株式会社
住友金属鉱山株式会社
（2）イ　ト　ン　日本セメント株式会社
（3）シリカリチート　旭化成工業株式会社
出席者　60名
日本建築学会近畿支部材料施工分科会と共催

「エポキン樹脂の新しい建築への応用」説明会
27日　1時――5時　於千代田生命ホール
1．演題と講師
（1）最近の合成樹脂一般論
大阪市立大学教授　井本　稔氏
（2）エポキン樹脂の建築への新しい実施例
シェル石油化学工業品部　須藤　敏雄氏
（3）エポキン樹脂の特殊防水について
三油興業株式会社　中島　五朗氏
（4）エポキン樹脂の床材への応用
三油興業株式会社　大滝　岩夫氏
1．協　賛
シェル石油K.K.化学工業品部　三油興業K.K.

1. 出席者　250名

## 創立記念日の集い

1. 講演と映画の会

30日　1時半――5時　於関電ホール

映画　「古代の奈良」イーストマンカラー・ワイド
近畿日本鉄道株式会社提供

講演　「世界の住宅事情とアメリカの都市再開発」
（第1回国連住宅建設計画委員会より帰って）
回連日本政府代表
日本住宅公団参事　本城　和彦氏

映画　「日本の民家」イーストマンカラー・ワイド
日本損害保険協会提供

出席者　250名

1. 記念ビール・パーティ

31日　5時半――6時半　於関電会館

名誉会員，顧問，支部長，友好団体代表者を招待の上，一般会員の出席を得て自祝宴を開催。

出席者　50名

## 見　学　会

尼崎市庁舎見学会

設計　林野森建築事務所
施工　藤田組大阪支店
2日　1時――5時　参加者　90名
大阪府建築士会と共催

大関の酒蔵見学会

9日　2時――4時　参加者　50名
兵庫支部と共催

相馬邸見学会

設計　彦谷建築設計事務所
施工　藤木工務店
23日　1時半――4時　参加者　35名

## 後援した催

「南海電鉄沿線に建つ新住宅設計コンクール」

1. 主催　南海電鉄株式会社
1. 応募　登録者1,818名中応募518点
1. 審査　22日審査会開催の上，入選8点，佳作10点を決定

## 会館建設借入金抽せん償還

会館建設借入金の償還について，3月28日定時評議員会終了後，会席において抽せんを行ない47万円の償還を決定した。なお，抽せん償還のほか日本建築学会よりの借入金に対し100万円を償還する。

## 編　集　後　記

本号は，はじめ「公共建築特集」にしようじやないかと，委員会でその企画の進め方について論議したのであるが，「公共建築」という意味を「パブリックに開放されている施設」という意味に解するにしても，その範囲は広く，焦点をどこに合わせるかが問題であつた。結局「社会教育施設」にしぼつたわけである。はじめ鈴木成文氏にその施設についての概論をたのんだが辞退されたので，文部省の中島俊教氏にとくにお願いした。河野通祐氏もその方面の設計をタツチされておられるので，無理をお願いした。

「社会教育施設の現状分析と問題点」については，大都市の場合と地方都市の場合，それにニュータウンの三つの場合をとらえた。このうち地方都市の場合は姫路市企画室にお願いしたが，教育委員会を通じて辞退されてこられたのは残念である。

企画にご協力いただいた担当幹事は，堀　照男，大辻真喜夫，白砂剛二，太田伝一郎，住田昌二の各委員。執筆者各位に厚くお礼申し上げます。次号は「材料」特集の予定。


日本建築協会・出版図書案内

■建築物用途別　建築基準法および関係法規早見一覧表
附　録　消防法施行令及び大阪市予防条例早見表
会員　特価300円　定価350円　送料70円

■日本民家集　ふるさとのすまい　本会創立45年記念出版
第16回毎日出版文化賞受賞
会員特価800円　定価960円　送料150円

■鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集
構造計算書B5版500頁　会員特価3,500円
構造設計図B4版200円　定価4,500円　送料200円

杭
株式会社　武智工務所
取締役社長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話(202)3233・3234

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

**耐酸スタンダードメタル**

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

**大島応用化学工業株式会社**

本社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931) 7071—3
支店 新居浜・名古屋・四日市・広島

**田中式** スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2—89

本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1—25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4—122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3—43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設（株）
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区西菊井町2—12・岡田建材KK
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2—93・吉田工務店

TEL 大阪 (401) 6341 (代表)・(401) 6342
TEL 東京 (623) 代表0106—0108・(622) 0799
TEL 東京 (611) 2118～9
TEL 小倉 (52) 2833・2834
TEL 川崎 (2) 7594～5
TEL 札幌 (3) 6762・0515
TEL 盛岡 7642
TEL 名古屋 (53) 0121・2057
TEL 米子 (2) 4683

信用ある技術と伝統の

**アスファルト工事**

専業大店

**株式会社 久保商店**

大阪市北区真砂町5番地 電話大阪 (341) 207～8・4836～7

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

**山田工業株式会社**

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(441)代表2613・代表9431
出張所　東京都北区上十条1丁目10　電話(911)　3941
名古屋市中村区牧野町1の6　電話(54)　0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話(4)1778・4386
広島市中町2番地の4　電話(2)7575・7588

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

**株式会社 三晃商会**

本社　大阪市北区富田町16　代表(341)7031
支店　東京都千代田区小川町2丁目1 桧ビル　(201)7751-3
福岡市養巴町22　(74)1158
出張所　名古屋市中区新栄町2丁目1　(97)1820
福井市宝永上町105　(2)1596
松江市東本町4丁目147　5098
広島市紙屋町8　(2)4537

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

**株式会社 大阪城口研究所**

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸4局　5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

**株式会社 大阪電気商会**
**株式会社 大阪暖房商会**

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電話　大阪㊵大代表8231番
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

**斎久工業株式会社大阪支店**

大阪市北区常安町11番地
電話大阪㊵4145㊽2887番
本店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番

金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井②2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195
岡山出張所　岡山市大供松ノ木三八〇ノ一　電話岡山③7047

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

**株式会社 斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通　大同ビル714号
電話大阪㊵1568・1569・2594
札幌店　札幌市北四条西16丁目1番地　高田屋ビル二階
電話札幌②0010・0956・③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号
電話　中局㉔1766

建築設備・金属製建具
荷役運搬機械・環境衛生施設
化学・鉱山機械

**三機工業大阪支店**

取締役社長　山田熊男
取締役支店長　樋口勝栄

大阪市東区北浜2—22(三井信託ビル)電話大阪(202)代表3071
本店　東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・富山・金沢・静岡・高松
工場　相模・鶴見・六甲・中山・高槻

**須賀工業株式会社**

空気調和衛生設備
設計施工

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話441—5171
支店——東京・名古屋・京都・神戸・福岡

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

**株式会社 西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通4丁目44　電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工

**株式会社 建材社**
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目　(新朝日ビル5階)
電話大阪㉑6041・㉒7046(代)
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区菅原町2丁目
(センタービル)
連絡所　広島市基町一(朝日ビル)

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
**高砂熱学工業株式会社大阪支店**
大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話大阪（312）4521（代表）
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
**東洋キヤリア工業株式会社**
**大阪支店**
大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話大阪㊵局8356（代表）
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360番地

暖冷房・水道衛生工事
設計施工
株式会社 **栄興商会**
取締役社長 中山敏正
本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話（351）2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
仙台出張所 仙台市東四番丁四五 電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工
株式会社 **朝日工業社**
大阪市北区中之島4—39 電㊶6671～5
東京支社 東京都港区芝浜松町2—7 電(431)7341～5
支店 北海道・仙台・名古屋・広島・福岡

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
**第一工業株式会社大阪支店**
大阪市北区富田町30 電話大阪㊵ (代表)0977 / 0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2—10
電話（281）2631—5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 73 32
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3—6
電話⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
**日本管工業株式会社**
代表取締役 市川繁雄
本社 京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
電話㉒（代表）7975・（夜間専用）5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37（天満橋北詰）
電話㊱8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工
**日本熱学工業株式会社**
社長 牛田正郎
本社 大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話大阪㊽8671
大阪事業本部 大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話大阪㊽8671
東京事業本部 東京都新宿区四ツ谷三条町18 日熱ビル
電話㊸4924～7
名古屋支店 名古屋市中区城代町7
電話㉓4690・3520
営業所・出張所 下関・金沢・藤沢・新潟・八幡・京都

暖・冷房、温湿度調整、衛生設備
設計・施工
**大嘉熱工業株式会社**
取締役社長 三木徳次郎
大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話大阪㊽2530・2538～9・2085
（代）5725
東京 東京都千代田区西神田一ノ八
電話 東京㉑8002～3
出張所 富山市衣服町十番地
電話富山②6623

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工
**第一企業株式会社大阪支店**
大阪市北区天満橋筋4—71
電話㊱2808・2809・2800・2134
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話（811）（代表）6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工
**理研鋼機株式会社**
大阪営業所 大阪市北区宗是町1（大ビル）
電 大阪代㊵8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電 東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46（大同ビル）
電 東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

**工藤電気株式会社**

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪㊾2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

**浅海電気株式会社**

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市北区老松町2丁目22
電話 大阪 (362) 8701
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話 (481) 8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事設計施工

**栗原工業株式会社**

取締役社長 栗原信英
大阪市北区永楽町8番地 (日産生命館)
電話 大阪㊾代表 1234～9
支・社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事全般設計施工

**中央電気工業株式会社**

取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪代表㊶8131～7
東京支店 東京都港区芝金杉町二丁目十三番地
営業所 名古屋・神戸・新宮・御坊・松山・草津

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

**森井電業株式会社**

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451)0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(441)9516～8番夜間専用(441)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54) 6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4) 7813番 (5) 3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地電話(4) 2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

**三宝電機株式会社**

取締役社長 嘉納伝三
本社 大阪市北区絹笠町五〇 (堂ビル三階)
電話 (312) 1471 (代)
支店 東京都中央区西八丁堀四丁目十 (後関ビル三階)
電話 (551) 5590～2
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (98) 236～7
〃 小松市符津町才四四ノ三
電話 (栗津) 2 3 7
〃 堺市三宝町七丁目三六九

電気工事
設計・施工

**朝陽電気株式会社**

取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話 大阪局㉙9531 (大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話 大阪局㊵5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㊾3481番

電気工事設計施工

**江東電気株式会社**

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716) 4035 (代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

**中本電気株式会社**

取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 大阪 (931) 代表 7341～5
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 (931) 2193

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役 林 敏夫

本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊿ 3671（代）
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊸ 1478～1478
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長 姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪（202）0325～9番

佛

社寺数寄屋用瓦…大佛瓦
耐風雨緩勾配用瓦…大和瓦
美術建築内外装用タイル…大佛タイル

大佛組

本店 京都市東山区今熊野池田町（6）3555
大阪営業所 大阪市東区内淡路町1～13（941）0975
名古屋営業所 名古屋市瑞穂区堀田通1丁目（88）2703

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）

八千代電設工業株式会社

取締役社長 梶本秀尾

大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊶ 6531（代）～5
支店 名古屋
出張所 東京・岡山・門司

株式会社 矢橋大理石商店

大阪出張所

大阪市東区高麗橋二丁目九 野村ビル五階
電話大阪 ㉑ 4257－8番

エレベータ・コンベヤー・リフト
エスカレータ・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション

設計 製作

日本エレベータ工業株式會社

本社 大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927代表7071交換
東京営業所 東京都台東区長者町2－7（豊富ビル）
電話（831）7949直通（866）5276交換
東淀川工場 大阪市東淀川区小松中通5－6－2
電話（381）0363・4588

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店 大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話大阪 ㊱ 3426～7

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈

井田商事株式会社

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物八号門前
電話 （562）0800，0808～9

特約販売・工事店

東洋キヤリア工業株式会社
東洋ゴム工業株式会社
(株)大阪パッキング製造所
大洋産業株式会社

販売工事

各種保温保冷材料 冷暖房工事
各種冷暖房機器 防熱防音工事
冷凍機・石綿製品 各種配管工事
各種樹脂加工品 設計施工

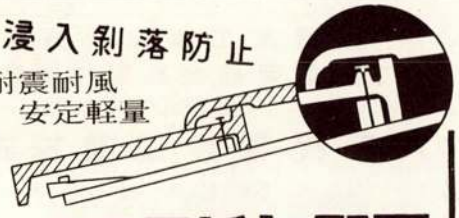
日本冷熱工産株式会社

取締役社長 石川良興

本社及大阪営業所 大阪市西区土佐堀通1の16（石川ビル）
電話大阪（441）2295・4167・4846・1761
九州支社及長崎営業所 長崎市茂里町13番地 電話（4）0092・0308
営業所及出張所 広島・福岡・小倉・大分・徳島・舞鶴・東京

アルミニウム
ステンレス　　カーテンウオール
ブロンズ

T K K
**東京カーテンオール工業株式会社**
（旧社名東京鋼板工業株式会社）
本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話（891）8131～8
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚嘻ビル3階）
電話㊿9154～7
名古屋支店　名古屋市東区久屋町5の9（住商ビル）④2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）㉞8825

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量

**ナニワ緩勾配瓦**
3寸緩勾配最適軽量水止付（空葺）瓦
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目壱一電話(641)壱弐弐

特許　**白蟻**
松平式白蟻殺滅予防所
奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話 奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・アンホール
株式会社
**三幸商會**
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㊱3145

工業用及建築用各種石灰製造販売
セメント
小野田 レミコン 特約販売店
ブロック
セントラル硝子特約販売店
**樫野石灰工業株式会社**
**大阪支店**
大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
（桜橋電停曽根崎新地西入）電話大阪㊱1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

**PAINTING CONTRACTOR**
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL. 大阪 ㊺1756—7・東京 ㊽1335


**素晴らしい花格子!!**
三次立体加工の決定盤
**クトクランマー**
クトク
の新建材
プリント合板
ビニオン
ビニライト
リズムウッド
美装パネル
九建天井板
強力合成接着剤
ブルータイン
**浪速合板株式会社**
大阪市浪速区幸町通3の20　TEL（561）2201代
東京出張所　東京都荒川区日暮里町8の618　TEL 807 0250

## 鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㊊0098・5837・8729・6810・5885

北陸営業所　金沢市三構町7～17　電話 ③ 1086

---

奉仕感謝の店

**タイル 衛生陶器**

㊊ 株式会社 **川岸窯業商店**

大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前

電話大阪・㊊ 8467～9番

---

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売



建築陶器の百貨店

株式会社 **吉田芳雄商店**

大阪市北区南森町交叉点

電話 大阪(341)2403・3904

---

特許植物性　型枠離剝塗料

**サンヒット**

メタルフォーム用特号

関西代理店　株式会社 **金剛商会**

大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前

製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㊊0417・4091

---

Standard




Board & Slate

**フタバ黒板**

大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地電話:大 阪:(741)4692番

---

*Acoustic Tex*

吸音テックス

株式会社 **室谷商店**

本　社　神戸市生田区長狭通四ノ一英和ビル
TEL神戸 ③ 0881～3
支　店　大阪市北区絹笠町五〇　堂ビル5階
TEL大阪(312) 2031～4
出張所　岡山市内田京町158
TEL　岡山 ② 5189

---

諸官庁御指定

吹付及び掻落ソリジットスタイン　製造
床材（合同リグノイド）マグネシート　販売
外壁シリコン防水・ゴーレジン樹脂防水　責任施工

**合同特許建材工業株式会社**

取締役社長　山下謙治

本　社　大阪市東住吉区東之町3－193　電 大阪㊊ 9086・8219
営業所　大阪市東住吉区駒川町3－54　電 大阪㊊ 4370・6760
出張所　広島市比治山本町1180　電 広島 ④4967
東京都新宿区花園通46　電東京(351)5298・5264

---

鉄骨・加工
設計・施工

**新鋼建設工業株式会社**

取締役社長　吉田信武

本　社　大阪市西区立売堀北通 1—76
電話（531）0609・6575・7418
（541）8166・8349
夜間専用（531）2053
工　場　大阪府大東市三箇425


神戸市庁舎　アルミルーバー施工

## 日軽建築賞受賞

“特種プレスフォームアルミルーバー”

納入先　神戸市庁舎

設計　日建設計工務ＫＫ

施工　（株）竹中工務店

●

製作品種　アルミ・サッシ
スチール・サッシ
ルーバー
ド　ア
カーテンウオール
其他特種設計、製作一式

OKK

## 大阪機工株式會社

大　阪　大阪市大淀区豊崎西通1の4　電話大阪(371)664・665
工　場　兵庫県伊丹市北村猪名川製造所　電話伊丹(大代) 5121

TIGER BRAND

■待望の世界の建材

## ニュータイガーボード

燃えない建築資材！

■準不燃本採・準燃本採

■特性
長手の方向を表面の厚紙でヘリ折り被覆した強靱で美麗な新しい耐火ボード

カタログ進呈

■新時代の壁材

## ＹＮプラスター

石膏ラスボードを下地にすれば和洋壁が3－7日で出来る

■60年の歴史・最大の生産

## 吉野の耐火ボード

石膏ラスボード
タイガートーン
アートボード
秋田杉耐火ボード

吉野石膏株式会社大阪支店
大阪市西区土佐堀1の1大同ビル
電話　441　8　9　1　2　4
本社　東京都千代田区丸ノ内2の6
営業所　東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島
工場　東京・福岡・四日市
菱化吉野石膏　秋田・高砂

オートメーションでボンデー並びに完全焼付塗装に依る

錆びない● 三高式

スチールサッシ・ドアー・シャッター

オペレーター・ドアーハンガー

ステン・アルミサッシ・ドアー



TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社工場　尼ヶ崎市神崎五反田280 電話 大阪 (401) 6158・6159

・優美な繊維の京壁材 ⟶ 日本壁

新日本壁 ⟵ ・繊維の床砂材……

・塗りつける織物壁材 ⟶ パピロン壁

錦上壁 ⟵ ・パルプの日本座敷壁材

・近代的な趣味の壁材 ⟶ いすゞかべ

新いすゞかべ ⟵ ・吹付のできる京砂壁材

・繊維の色土 ……⟶ 大和壁

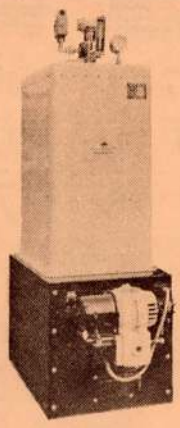
SK

近代的上塗壁材
繊維塗料製品

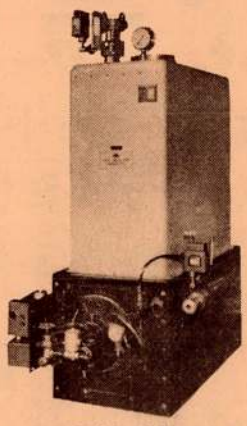
製造発売元　株式会社 新興建材工業所 ■ 全国有名建材店にございます

本　社　大阪市西局区内四ツ橋　電話大阪(541)5756～9
営業所　明石市西王子町1丁目39　電話　明石　5852
営業所　福岡市西唐人町1番地　電話 福岡㊅7373

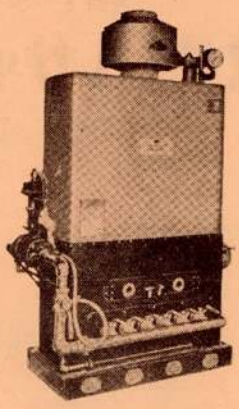
# 笠松式水管瓦斯温水ボイラ



軽油全自動ボイラ



重油全自動ボイラ



瓦斯ボイラ
NO.K200型

**本邦最初**
（84Sモリブデン
ステンレス製）
最高性能・経済的・安全な
（暖房・給湯）

**営業品目**

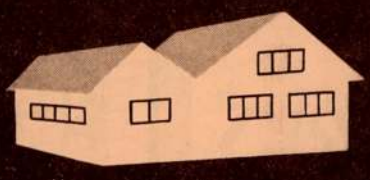
オイルバーナー
瓦斯熱風暖房機
軽油ボイラ（銅水管製）
重油全自動ボイラ
（水管モリブデンステンレス製）
都市ガス
プロパン瓦斯ボイラ
（銅水管製）
（型録贈呈）

## 笠松工業株式会社

取締役社長　笠松正治
本社工場　大阪市生野区大友町1－18　電話(716) 8183

# 住友の アルミサッシ・ドア

押出し型材使用



アルミサッシ使用率
米国 70%
西独 26%
日本 6.5%

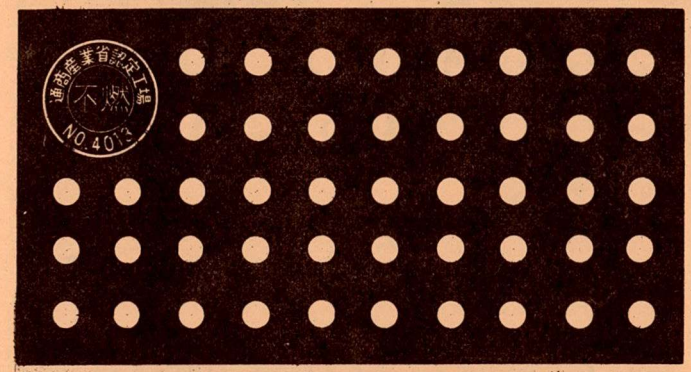
雨の多い日本には……
雨仕舞の良い気密な窓を
錆びない・軽るい・精度が高い



製造　取付

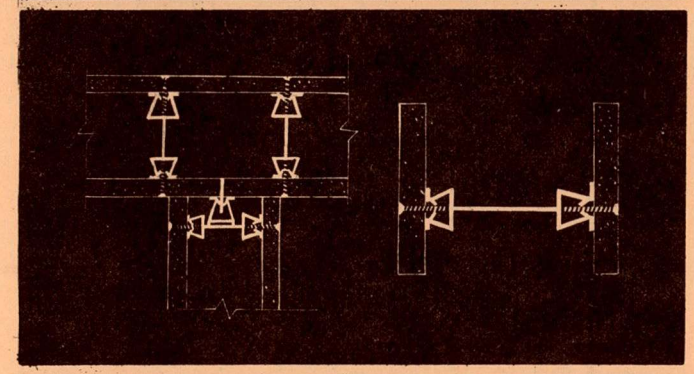
## アルケン工業株式会社

大阪市西区新町通4－39　電話（541）0,865 2905




（法定不燃材・軽量石綿耐火板）

**アスベストラックス**



完全耐火性・軽量・吸音・断熱性・
永久不変性・木材と同様の加工性

**トムレックス**

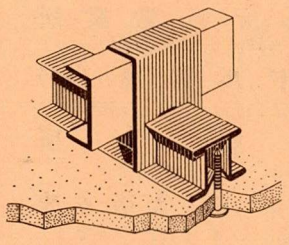
（吹付石綿・責任施工）
吸音・断熱・結露防止
耐火・耐振動・腐食防止

N.A.K.

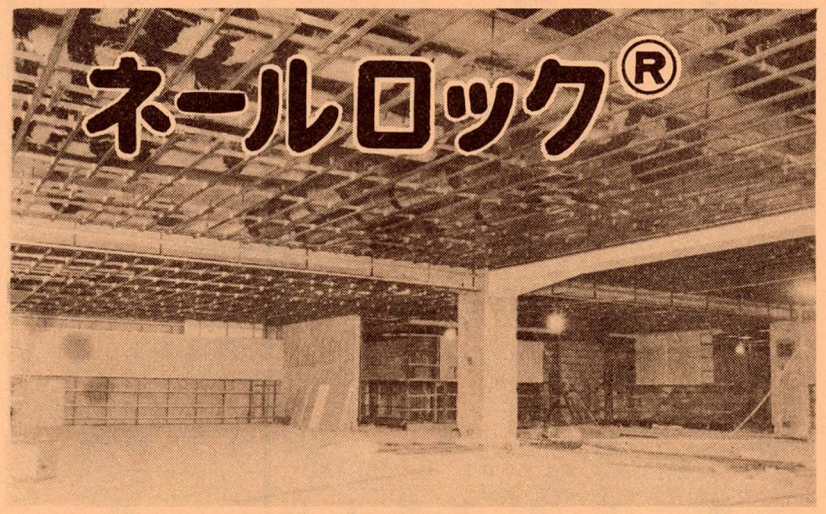
**日本アスベスト株式会社**

本　　社　東京都中央区銀座西6の3　電(572)0321・0331(代)
大阪支店　大阪市南区塩町通4の25　電船場(251)5491～8
名古屋支店　名古屋市中区下前津町117　電　南(32)6591～5
九州支店　福岡市薬院大通り2の81　電福岡(74)1747・2827
札幌出張所　札幌市北四条西2丁目　電　(2)6472(3)0520

**マンテンの　SK式軽量鉄骨天井下地**



燃えない
狂わない
取りつけ易い




MAN TEN

発売元 **住友商事株式会社**
製造元 株式会社 **満点製作所**

大阪市南区日本橋筋3丁目2番地　電話　大阪(641)1156～8

東京出張所　東京都江東区亀戸町2丁目114（新協和ビル内）電話東京(681)8425

# サッシ・ドアの設計・施工は
## 伝統と信用のある下記協会員へ

西日本規格サツシ（株）
大阪市北区神山町26(富国信用ビル)（361）6501

朝日建材工業（株）
高松市木太町洲端2169 高松(3) 3181

旭サッシ工業（株）
大阪市城東区野江西之町1ノ44 (931) 3561

尼鉄建材（株）
尼崎市西向島町270 (401) 6301

（株）石居工業所大阪営業所
大阪市北区老松町3—23(新老松ビル) (361)5965

（株）岩住鉄工所
尼崎市守部字下河原15 (401) 6751

栄進鋼業（株）
大阪市城東区野江西之町2—2 (931) 8261

（株）栄進社大阪営業所
大阪市大正区南恩加島1 (551) 1718

大阪機工（株）
大阪市大淀区豊崎西通1ノ4 (371) 0664

大阪建材工業（株）
堺市松屋町1ノ6 (0722) (3) 5241

（株）大阪鉄工所
大阪市西区本田町1ノ44 (531) 1254

大阪理研工業（株）
豊中市大字洲到止359 (391) 0661

加地シヤツター工業（株）
大阪市生野区中川町3ノ15 (731) 1020

川鉄建材工業（株）
神戸市東灘区魚崎町魚崎 神戸 (85) 4343

（株）関西鋼業製作所
大阪市城東区野江中之町2ノ5 (931) 6045

（株）建鋼社
広島市中広町1002 広島 (3) 7293

三機工業（株）大阪支店
大阪市東区北浜2の22(三井信託ビル) (202)3071

昭和鋼機（株）大阪支店
大阪市西淀川区佃町3—155 (471) 6051

田中工業株式会社大阪出張所
尼ケ崎市南竹谷町2～89 (401) 6341

（株）高橋サツシュ製作所
新居浜市中村字西松木223 新居浜 5111

大建サッシ工業（株）
大阪市城東区野江東1—12 (931) 3351

谷山鋼機（株）
大阪市城東区茨田横堤町230 (931) 7191

中国理研サツシユ（株）
広島市舟入幸町612ノ1 広島 (3) 2081

東京カーテンオール工業（株）大阪支店
大阪市北区絹笠町18（聚嘻ビル）(361) 9154

（株）中本鉄工所
大阪市福島区海老江下2ノ74 (451) 6573

浪速建材工業（株）
大阪市城東区茨田横堤町41 (931) 1171

日本建業（株）
大阪市北区木幡町33（木幡ビル）(361) 4941

日本建鉄（株）大阪営業所
大阪市北区堂島上2ノ36(毎日産業ビル)(361)6758

日本スピンドル製造（株）
大阪市東区備後町3（綿業会館）(202) 7991～3

（株）汎建製作所
大阪市此花区西島町3—15 (461) 2903

不二サツシ工業（株）大阪支店
大阪市西淀川区御幣島中3ノ4 (471) 7651

不動サッシ工業株式会社広島出張所
広島市富士見町239 広島④7212

（株）三高製作所
尼ケ崎市神崎五反田280 (401) 6158

理研鋼機（株）大阪営業所
大阪市北区宗是町1（大阪ビル）(441) 8621

六甲工業（株）
大阪市西成区旭北通2—2 (632) 2921

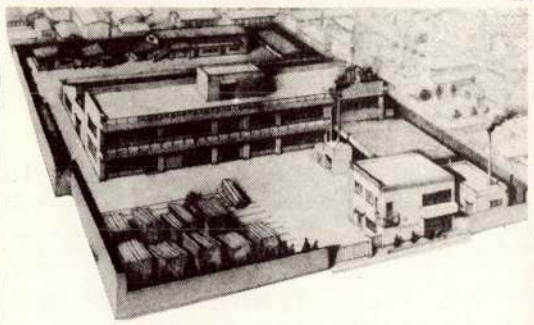
社団法人 **日本サッシ協会 関西支部**

支部長 福田好雄

大阪市北区神山町26（富国信用ビル）（361）6501

# 広告目次 (50音順) 建築と社会 昭和38年 Vol. 44 No. 5


ア アサヒカラコンkk ……17
朝日石綿工業kk …… 表4
アルケン工業kk ……10
浅海電気kk …… 4
kk朝日工業社 …… 3
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk …… 5
岩元工業kk ……14
宇部スレート工業kk ……本文
kk栄興商会 …… 3
オリエンタルメタル製造kk……中挟
大阪機工kk …… 8
大阪建材工業kk ……20
大阪コンベス建材社 ……17
kk大阪城口研究所 …… 2
大阪石綿スレート同業会 …中挟
kk大阪電気暖房商会 …… 2
大阪耐酸工業所 ……16
大島応用化工業kk …… 1
小俣製作所 ……本文
kk奥村重兵衛商店 ……本文・20
奥山化工業kk ……19
織本建築事務所 ……17
カ 笠松工業kk ……10
樫野石灰工業kk …… 6
kk川岸窯業 …… 5
柱商会 ……前付
川口ゴム工業kk ……前付
亀井kk ……18
関西暖房工業kk ……15
関西三星タイル会 …… 表4
関西スレートkk ……本文
工藤電気kk …… 4
kk久保商店 …… 1
クマガイ工業kk ……前付
栗原工業kk …… 4
黒川金物kk ……14
黒川化学工業所 ……18
kk建材社 …… 2
江東電気kk …… 4
合同特許建材工業kk …… 7
kk金剛商会 …… 7
サ 斎久工業kk …… 2
kk斎藤省三商店 …… 2
三栄建材工業kk ……15
三機工業kk …… 2
kk三幸商会 …… 6
kk三晃商会 …… 2
kk三興社 …… 5
三宝電機kk …… 4
敷島金物kk ……前付
新鋼建設工業kk …… 7
kk新興建材工業所 …… 9
昭和鋼機kk ……18
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 7
住友金属工業kk ……前付
タ 田島応用化工kk …… 表2
田中工業kk …… 1
kk田中風呂製作所 ……18
田辺工業kk ……本文
谷山製作所 ……本文
耐酸化学工業kk ……15
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大元工業kk ……本文
大光電機kk ……16
大日本硝子工業kk ……14
大仏組 …… 5
高砂熱学工業kk …… 3
kk武智工務所 ……本文
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東光電気工事kk …… 5
東京カーテンオール工業kk … 6
東洋キヤリア工業kk …… 3
東洋シャッター ……前付
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
ナニワ工機 ……挟込
ナ ナニワ瓦kk …… 6
内外工業kk ……17
内外建材kk ……16
中本電気kk …… 4
浪速合板 …… 6
浪速建材工業kk ……19
日東紡 ……前付
日本アスファルト
防水工業会関西事務所 ……前付
日本アスベスト ……11
日本エレベータ工業kk …… 5
日本管工業kk …… 3
kk日本金具製作所 ……前付
日本鋼管 ……前付
日本サッシ協会関西支部 ……12
kk日本シヤッター製作所 … 表3
日本スピンドル製造kk ……前付
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエック製造kk……中挟
日本熱学工業kk …… 3
日本ペイント ……本文
日本冷熱工産kk …… 5
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合…前付
kk西原衛生工業所 …… 2
ハ kk林塗装店 …… 6
kk平川鉄工所 ……前付
平田タイル ……16
フタバ黒板 …… 7
二葉屋装備工業kk ……14
福屋工業kk …… 5
平和工業kk ……18
マ 満点製作所 ……11
kk三高製作所 …… 9
三菱商事kk ……中挟
三菱レイヨン ……前付
美素工業所 ……本文
水島商店 ……前付
水谷ペイントkk ……本文
kk室谷商店 …… 7
森井電業kk …… 4
ヤ 八千代電設工業kk …… 5
八幡製鉄 ……前付
kkヤマト電気商会 …… 4
矢橋大理石商店 …… 5
山田工業kk …… 2
山本窯業kk ……本文
山本建材社 ……前付
kk油脂化工社 …… 表3
kk吉田芳雄商店 …… 7
吉野石膏kk …… 8
kk寄木商会 ……15
ラ 理研鋼機kk …… 3



FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物船舶等造作工事
家具建具・室内装飾工事 設計施工
内外装飾織物・敷物類一式

（創業大正7年）

## 二葉屋装備工業 株式会社

取締役社長　若　林　繁　吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）
電話・大阪 (371) 3321～3・3630



あらゆるビルに調和する！

D—A543—SE

# エポロック

| デラックス | スタンダード |
|---|---|
| 1. 品種　住宅玄関・事務所用、間仕切用廊下通路用、連接せる間仕切用、倉庫用学校・病院用、出口専用、ビル玄関通路用、浴室・トイレット用、本締用。 | 1. 品種　住宅玄関、事務所用、間仕切用廊下通路用 |
| 2. 材質　ステンレス、鍛金。 | 2. 材質　硬質アルミニューム |
| 3. 形状　広角型・円垂型 | 3. 形状　広角型 |

カタログ進呈・乞御氏名御職業御記入

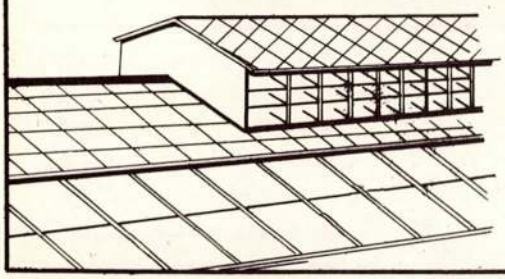
製造元　（旧社名　黒川金物株式会社）

## エポー株式会社

本社・工場　大和高田市大谷381番地　TEL（大和高田）代表5381番
東京営業所　東京都江東区深川清澄町2丁目9番地　TEL（641）7250番
大阪営業所　大阪市南区高津町10番丁19番地　TEL（211）代表7483番
福岡営業所　福岡市甘家町14番地（高木ビル）　TEL（3）0246番

岩元式

## スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈




## 岩元工業株式会社

本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話(981)0616～0618

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）　長サ 965㍉　1818㍉

## ダイニチ・アーモライト　波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波，寸法（長尺物有）

製造販売

## 大日本硝子工業株式会社

大阪支店　大阪市北区玉江町2ノ4（三菱倉庫ビル）電㊃1389・3389
本　社　神奈川県相模原市小山字久保224　電⑦3101～4

KKKプレートフイン　チユーブ
暖冷房用放熱器各種専門製作

# 木村工機株式会社

本　　社　大阪市東区上本町1丁目13番地　電話（761）代表 6921
東京出張所　東京都千代田区和泉町1番地の1（直江ビル）
電話（851）4619・4629
八尾工場　大阪府八尾市久宝寺1981番地の1　電話八尾(0729)②7041～4



555　ナイロンベアリングで扉の開閉が軽快!!

ピボットヒンヂ
フロアーヒンヂ
ネコマ印ダストシュート

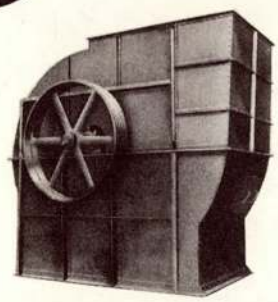
特徴
◆ボンデライジングに依る完全防錆加工品
◆回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

三栄建材工業株式会社
大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（741）4655（716）0188・0189

KANDAN

# 煖冷房温湿度調整

設計　施工



## 各種送排風機

設計　製作

# 関西煖房工業株式会社

本　社　大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電話大阪（672）1281（大代表）～9
堺工場　堺市浜寺石津町中2丁目200番地
電話堺③7301（代表）～3
出張所　名古屋・福岡・徳島

寄木貼床板
フローリング　施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー　造作取付
グラインダー床削

株式会社　寄木商会

営業所　大阪市東区横堀6－49
電話(251)3731・3960
工場　大阪市浪速区勘助町1

DAIKO

NO. 6021
NO. 6021-1

各種照明器具設計製作

# 大光照明器具

大光電機株式会社

本社工場　大阪市東成区大成通り1丁目103番地
電　話　大阪代表(971) 8251～8255
出張所　札幌・東京・名古屋・広島・福岡

# タイル

衛生陶器

エスロンタイル

サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1
電話 (531)1003～5 (541)8731～3

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

## 特許 内外式 電動ベンチレーター

安定したスマートな外観
モーターファンによる高率換気
内外の技術陣が生んだ傑作

内外建材株式会社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）TEL(441)3983・4396
工場　大阪市城東区天王田町1の141　TEL (962)1149

内外式スカイライト
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計　施工

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

# 大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話大阪(371)1333番

減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材

# カラコン ダイヤコン

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノロ汚れ等の鉄点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（坪当り材料代¥ 950）仕上り厚さ約2㎜程度学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室、プール等に最適であります。

（カタログ進呈）

製造発売元

**アサヒカラコン株式会社**

大阪市此花区四貫島旭町1−3　TEL（461）3594
工場　大阪市此花区四貫島旭町1

---

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

# N.G.C式

N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国バブコ．コンパウンドアスファルト販売

## 内外工業株式会社

脇山静夫

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話（641）3434〜6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N．G．インシュライト断熱材製造発売元

---

経験と技術

# Y.C.コンベス（リグノイド）

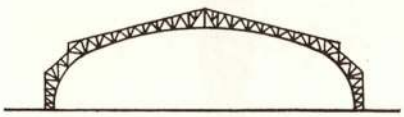
ゴムタイル
プラスチックラブ
スポンヂシート
アスファルトタイル

## 大阪コンベス建材社

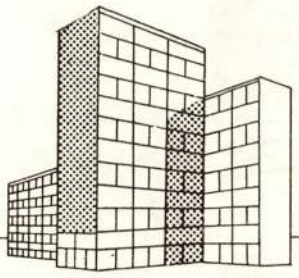
大阪市北区浪花町三五　電話豊崎㈹6760・7063

---

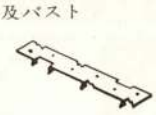
## 綜合建築設計への道

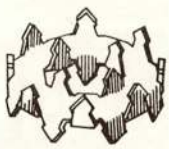


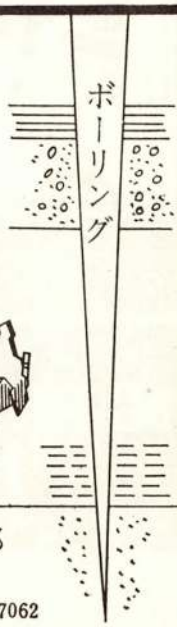
**設計部**　1．各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2．ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理



**金物部**　1．耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT．O式（織本式）ヂベル及クランプ
2．鉄筋の接手及末端定着金具
PAT．バコ及バスト








**地質部**　ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査

株式会社　**織本建築事務所**　所長 織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町3の2　電話（671）6443・7007・7062

製造発売元・責任施工

特許ニッポン防水液
ニッポン防水液B号
ニッポン急結液壱号
ニッポン耐寒剤
ニッポン防水目地材
ビルコート
標準セメント防水剤

特許 ニッポン セメント防水剤
国立大阪工業試験所鑑別済 ○強度増加 ○絶対防水 ○硬化促進

黒川化学のセメント防水

有限会社 黒川化学工業所
本店 工場 神戸市東灘区住吉町反高林 TEL (86) 2723

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨氈、舗床材一般
東洋リノリユームの 東リカーペット 発売元
亀井株式会社
大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話 大阪(251)1353(代)～6



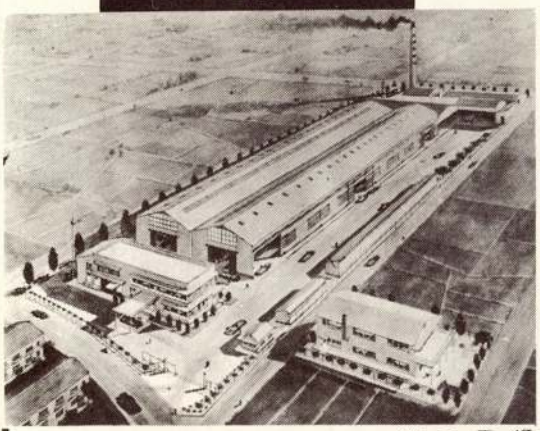
田中のガス風呂
ミリオンポリバス浴槽
清
各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂・温水鑵
大阪ガス会社指定
田中風呂鑵作所
大阪市浪速区元町1丁目742 但シ賑橋電停前 (641)5313・8128

シヤッター
重量シヤッター
電動シヤッター
軽量シヤッター
レディメイド サッシ
アルミサッシ
スチールサッシ
ドアー
HEIWA KOGYO
平和工業株式会社
大阪市浪速区西関谷町1 72
ナンバスケート場前

施工迅速
親切丁寧
在庫豊富
信用を誇る
(乞御照会)
TEL (632) 5771～3
(641) 5750. 8836

特許
昭和A-15型
片引窓
突出装置付完全エアータイト

アルミサッシ
ステンレスサッシ
完璧の防錆
デュラボン加工 デュラボン3S加工
スチールサッシ
昭和鋼機株式会社
工場・営業部 東京都板橋区志村前野町1105 電(961)6141－5
大阪支店・工場 大阪市西淀川区佃町3－155 電(471)6051－4



第二工場

# 浪建式

アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シヤッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
—製造販売—

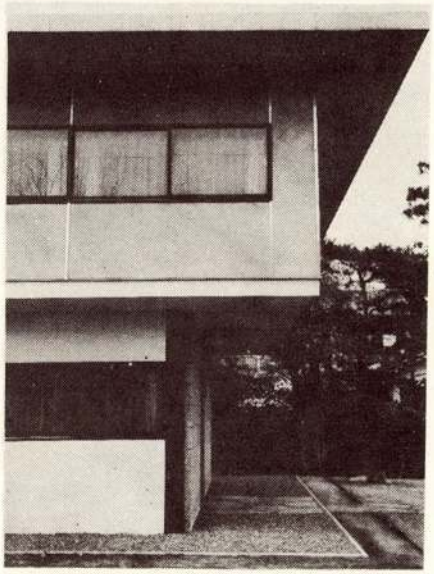
NANIWA
大正十四年
創業

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

## 浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地電話大阪(931)1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地電話大阪(931)6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話 大分 1366番

燃えない家で明るい暮し！



通商産業省認定工場 不燃 NO.

建築基準法定不燃材料

# 石綿スレート

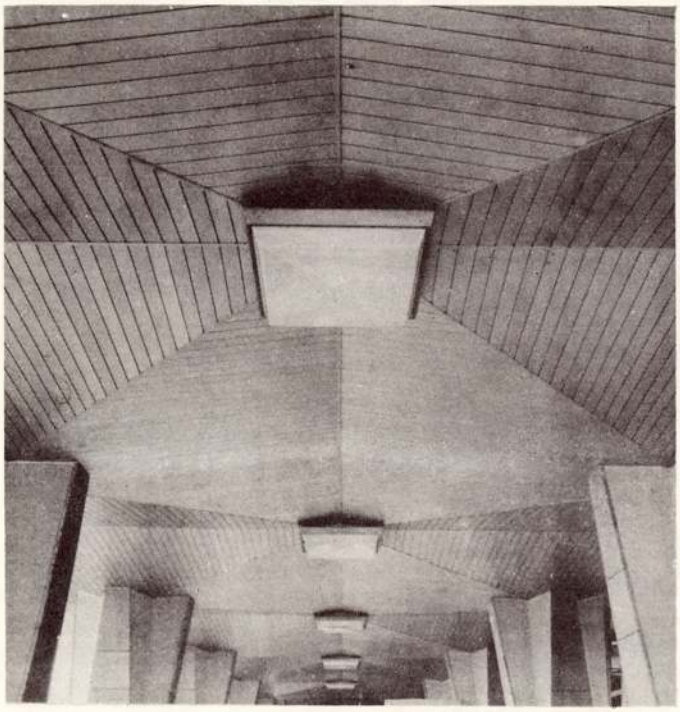
フレシキブル板
平板・軟質板
パーライト板
孔あき板
サンドイッチパネル
小波板・大波板
（着色・化粧板他 各種加工品あり）

美しいカタログお送りします

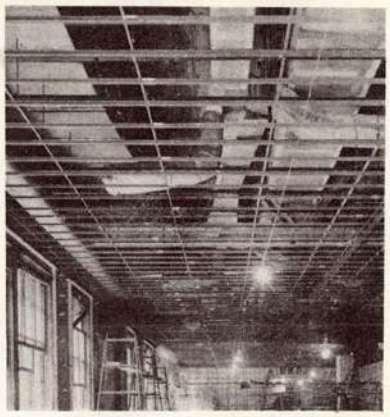
石綿セメントボード協会
波形石綿スレート協会

東京都中央区銀座7—3朝日石綿ビル
電話（571）1359・6914

アルミニウム天井　　鉄鋼会館



日進式ボード下地　　新阪急ビル



ボード下地や　アルミニウムの
仕事につきましては　何卒
**奥村重兵衛商店**に　ご照会下さい

大阪市北区木幡町60番地
**K.K.奥村重兵衛商店**
電話　大阪㊙4131(代)
福岡出張所 電話 福岡②6460

近代建築に **大建のアルミサッシ** ▶ 住友軽金属工業KKと提携

営業品目
**カーテンウォール**
ステンレスサッシ／ドア
スチールサッシ／ドア
スチールシャッター

写真は京都証券ビル

**大阪建材工業株式会社**

本　　社　堺市松屋町1－6　TEL(3)5241～9
名古屋営業所　名古屋市東区東新道町2－7　TEL(97)7264
東京事務所　東京都千代田区平河町1－2　TEL(301)1248
金沢営業所　金沢市下新町13　TEL(3)3427～8

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

# ウォータイトB号




株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝　塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東　京　（431）0874・名古屋㉜1331
仙台③0721・札　幌⑤7171
代行店電話　ウォータイト式防水工事　大三工業高松②8697　安藤工事　福　岡③5765
豊永建材　広　島④3567

仕様書型録贈呈

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

# 特許特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

本社 東京都品川区二葉町1－441　電話東京（781）1715
取締役社長 矢中龍次郎　大阪営業所 大阪市東成区西今里町2－48　電話（971）4765・0063

# 防火シヤッター

甲種

乙種

# パイプシヤッター

電動式・手動式・バランス

株式会社 日本シヤッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話 大阪（301）3656～9番
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話中原局（047）6325～7番
九州工場　福岡県柏屋郡柏屋町仲原釜屋2727　電話 福岡（65）4779番
名古屋支店　名古屋市中川区福川町1－1　電話名古屋（36）4351－2番
高松営業所　高松市丸ノ内10番地（井筒ビル内）　電話 高松②4008番
岡山営業所　岡山市内山下77　電話 岡山③3524番
高知営業所　高知市西堀屋町10番地　電話 高知②7349番
神戸営業所　神戸市生田区加納町3－2　電話 神戸（39）2650番

（星カタログ・資料）

代行販売店

| | |
|---|---|
| 中博光商店 | 札幌市北1条通東1丁目（通川通）　電話 代表（4）0281番 |
| 理研興業株式会社 | 小樽市色内町5ノ45番地　電話（20）872・2656・7523番 |
| 三協建材株式会社 | 東京都中央区八重洲3ノ1（広栄ビル2階）電話（27）2165～6番 |
| 栄進鉄工所 | 沼津市大岡南小林3400　電話 沼津 955番 |
| 佐野鋼材株式会社 | 清水市江尻竹下町8　電話（2）3628・4615番 |
| 石本金属株式会社 | 新潟市古町五番町624　電話（2）3181～5番 |
| 福田商店 | 富山市奥田北町8番地　電話代表8541市外9 |
| 永見金属株式会社 | 松江市朝日町駅南口通　電話3224・5452番 |
| 三京交易株式会社 | 福岡市下呉服町23番地　電話（3）0144（2）4647番 |
| 〃　小倉出張所 | 小倉市博労町72ノ1　電話（5）3673番 |
| 〃　長崎出張所 | 長崎市千馬町1ノ9　電話（2）0890番 |
| 大石産業株式会社 | 八幡市通町20丁目　電話（6）1195－6番 |
| 中村金物株式会社 | 鹿児島市武町570番地　電話代表6650－3番 |
| 〃　熊本支店 | 熊本市紺屋町1ノ30　電話（2）1231・4684番 |
| 田中鉄工株式会社 | 丸亀市城西町142　電話329・1221番 |
| 小川建材店 | 千葉市少見ヶ丘24番地　電話（2）0897番 |
| 橋本工作所 | 福島県郡山市北田町16　電話 郡山 2830番 |

昭和二十四年三月十九日　第三種郵便物認可
昭和三十八年五月二十日印刷　昭和三十八年五月廿五日発行（毎月廿五日発行）
売価　一部　金百八十円（送料共）

総てのビルに住宅に法定不燃建材を

# 朝日フレキシブルボード

姉妹品　朝日カラーボード

# 朝日スレート

大浪7.5山・小浪

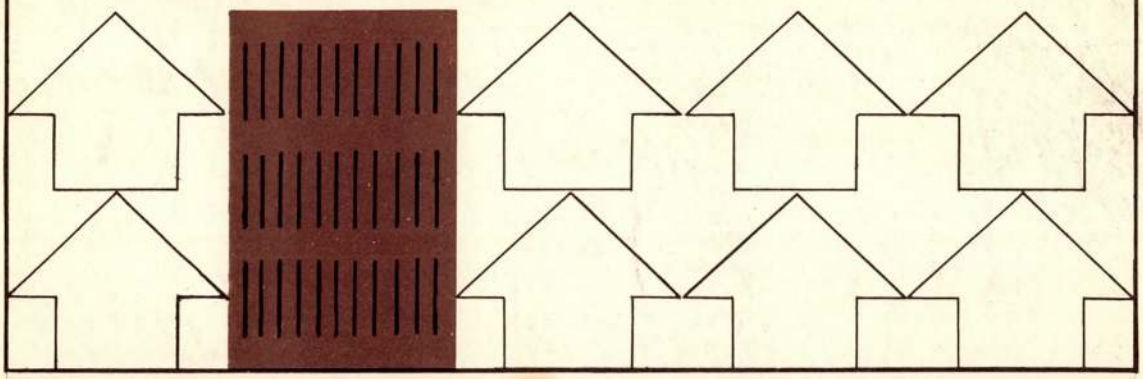
吹付石綿 朝日プロベスト

通商産業省認定 不燃 NO.3012

ASK

朝日石綿工業株式会社

大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話大阪(312) 8521 代表
本　　社　東京銀座七
営業所　東京、横浜、名古屋、岡山、新居浜、門司、札幌
工　　場　東京、横浜、山梨、名古屋、大阪、岡山、門司、宮城



三星の床材

# ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(441) 5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(341) 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19　電話(541)・6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前)
電話　(211) 0571　4
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話㉓ 3299

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(632)　0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話　㉞ 4468・㊶ 0871～2

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8　電話 ㊼ 7461～3

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話 ㉔ 1329・2106・2817

日東物産株式会社
本　社・名古屋市中区東瓦町39　電話㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話③ 2201・2360

青盛建材株式会社
本　社・広島市鉄砲町108　電話② 2281～6
岡　山・岡山市東田町3　電話② 7911・8169
福　岡・福岡市万行寺前町14　電話② 5566～8
③ 1225～6

関西三星タイル会員

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3—37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番